# HP Officejet 7200 All-in-One series

## ユーザガイド

# HP Officejet 7200 All-in-One series

# ユーザー ガイド

出版番号：Q5560-90140

Second edition

## 注意

HP 製品およびサービスに適用される保証は、当該製品およびサービスに付属する保証書に明記されています。本書の記載事項を追加保証として解釈してなりません。 HP は、本書の内容の技術上または編集上の誤りまたは省略に責任を負いません。

Hewlett-Packard Company は、本製品の設置やパフォーマンス、あるいは本ドキュメントおよび本ドキュメントに記載されているプログラムの使用に関係する、あるいは起因する付帯的なあるいは結果的な損害について責任を負わないものとします。

**注:** 規制情報は 技術情報 に記載されています。

多くの地域において、次のもののコピーを作成することは法律で禁じられています。 疑問がおありの場合は、まず法律の専門家に確認してください。

- 政府が発行する書類や文書：
  - パスポート
  - 入国管理関係の書類
  - 徴兵関係の書類
  - 身分証明バッジ、カード、身分証明章
- 政府発行の証紙：
  郵便切手
  食糧切符
- 政府機関宛ての小切手や手形
- 紙幣、トラベラーズ チェック、為替
- 定期預金証書
- 著作権で保護されている成果物

## 安全に関する情報

警告　発火や感電を防止するために、本製品を雨やその他の水分にさらさないよう注意してください。

本製品を使用する際は常に基本的な安全上の予防措置を講じるようにしてください。発火や感電によるけがのリスクの引き下げにつながります。

警告　感電の危険性があります。

1. セットアップ ガイドに記述されている指示すべてをお読みの上、内容を理解するようにしてください。
2. 本体を電源に接続する際は、接地されているコンセントのみを使用してください。 コンセントが接地されているかどうか不明の場合は、資格のある電気技術者にお尋ねください。
3. 製品に表示されているすべての警告と手順に従ってください。
4. 本体のクリーニングを行う際はコンセントから外してから行ってください。
5. 水気のある場所または身体が濡れた状態で本製品を設置したり、使用したりしないでください。
6. 本製品は平らで安定した場所に設置してください。
7. 電源コードを踏んだり、つまずいたりして電源コードが損傷しないように、本製品は安全な場所に設置してください。
8. 本製品が正常に動作しない場合については、オンスクリーン ヘルプのトラブルシューティングのページを参照してください。
9. お客様ご自身で分解修理しないでください。 修理については有資格の修理担当者にご相談ください。
10. 風通しのよいところでご使用ください。

警告　主電源の供給が停止したときは動作しません。

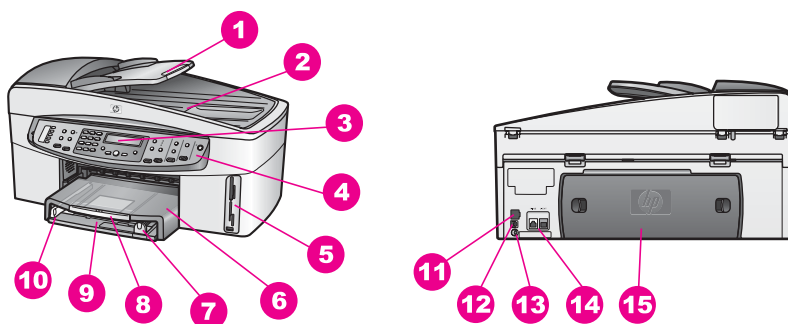
# 目次

# 1 HP All-in-One の概要

HP All-in-One の機能の多くは、コンピュータに接続しなくても使用できます。 コピー、ファクスの送信、メモリ カードからの写真の印刷などのタスクは、HP All-in-One 上で簡単かつすぐに実行できます。

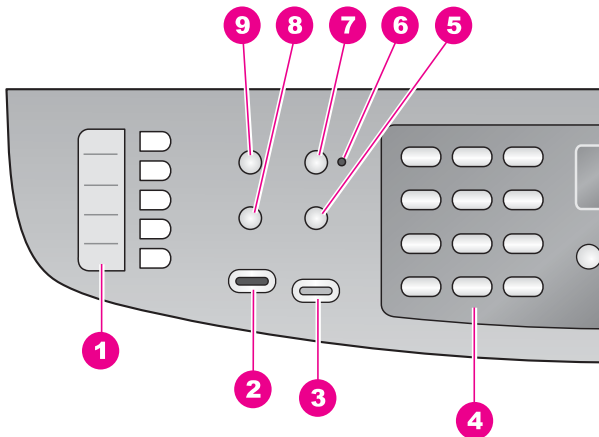
この章では、HP All-in-One のハードウェア機能、コントロール パネルの機能、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアへのアクセス方法を説明します。

ヒント コンピュータにインストールされている 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用すると、HP All-in-One の機能をフルに活用できます。 このソフトウェアはコピー、ファックス、スキャン、写真などの拡張機能を提供します。 詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」および HP Image Zone による HP All-in-One のフル活用 を参照してください。

## HP All-in-One の概要

| 番号 | 説明 |
|---|---|
| 1 | ドキュメント フィーダ トレイ |
| 2 | カバー |
| 3 | コントロール パネル ディスプレイ |
| 4 | コントロール パネル |
| 5 | メモリ カード スロットおよび PictBridge カメラ ポート |
| 6 | 排紙トレイ |
| 7 | 縦方向の用紙ガイド |

(続き)

| 番号 | 説明 |
|---|---|
| 8 | 用紙補助トレイ |
| 9 | 給紙トレイ |
| 10 | 横方向の用紙ガイド |
| 11 | Ethernet ポートおよび Ethernet インジケータ |
| 12 | 後部 USB ポート |
| 13 | 電源コネクタ |
| 14 | ファクス ポート (1 - 電話回線接続用、2 - 電話機接続用) |
| 15 | 後部アクセス ドア |

## コントロール パネルの概要

| 番号 | 名称および説明 |
|---|---|
| 1 | **ワンタッチ短縮ダイヤル ボタン**: 最初の 5 件の短縮ダイヤル番号にアクセスします。 |
| 2 | **ファクス スタート - モノクロ**: モノクロ ファクスの送信を開始します。 |
| 3 | **ファクス スタート - カラー**: カラー ファクスの送信を開始します。 |
| 4 | **キーパッド**: ファクス番号や値、文字を入力します。 |

(続き)

| 番号 | 名称および説明 |
|---|---|
| 5 | リダイヤル/ポーズ: 最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。または、ファクス番号に 3 秒間のポーズを挿入します。 |
| 6 | 自動応答ランプ: 自動応答 ランプが点灯している場合は、HP All-in-One がファクスを自動で受信するよう設定されています。 |
| 7 | 自動応答: 指定した呼び出し回数の後に自動的に応答するようにファクス機能を設定します。 |
| 8 | メニュー(ファクス）: ファクス領域で メニュー ボタンを押して、「解像度」 および 「薄く/濃く」 などのファクス オプションを選択します。 |
| 9 | 短縮ダイヤル: 短縮ダイヤルを選択します。 |

| 番号 | 名称および説明 |
|---|---|
| 10 | セットアップ: レポートの印刷やファクス設定、メンテナンス ツール、プリファレンス、ネットワーク設定を行うためのメニュー システムを呼び出します。 また、製品のヘルプにアクセスします。 |
| 11 | 左矢印: 値を減らしたり、コントロール パネル ディスプレイに表示されたファイル名を前に進めるときに使用します。 |
| 12 | OK: メニューや設定を選択したり、印刷時にコントロール パネル ディスプレイでファイル名を選択します。 |
| 13 | 右矢印: 値を増やしたり、コントロール パネル ディスプレイに表示されたファイル名を次に進めるときに使用します。 |
| 14 | キャンセル: ジョブの停止、メニューの終了、設定の終了を行います。 |

| 番号 | 名称および説明 |
|---|---|
| 15 | コピー スタート - モノクロ: モノクロ コピーを開始します。 |
| 16 | コピー スタート - カラー: カラー コピーを開始します。 |
| 17 | フォト プリント: コントロール パネル ディスプレイに表示している写真ファイルのみ印刷するか、OK ボタンを使用して選択した写真をすべて印刷します。 |
| 18 | スタート スキャン: スキャン ジョブを開始し、スキャンの送信先 ボタンで選択したスキャン先に画像を送信します。 |
| 19 | On: HP All-in-One の電源をオン/オフにします。 HP All-in-One の電源をオフにしていても、プリンタ本体には必要最小限の電力が供給されています。 HP All-in-One への電力の供給を完全に遮断するには、本体の電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。 |
| 20 | On ランプ: On ランプが点灯しているときは、HP All-in-One の電源がオンになっています。 ジョブの実行中はランプが点滅します。 |
| 21 | スキャンの送信先: スキャンの送信先を選択します。 |
| 22 | フォト シート: メモリ カード スロットにメモリ カードが挿入されていると、フォト シートを印刷します。 フォトシートには、メモリカード内のすべての写真のサムネイル ビューが表示されます。 フォトシート上で写真を選択し、そのフォトシートをスキャンすることでその写真を印刷できます。 |
| 23 | メニュー(フォト)：設定を変更すれば、フォト領域で メニュー ボタンを押して、コンピュータを使用せずに直接カスタマイズした写真を印刷できます。 |
| 24 | 品質: コピーの速度と品質を調整します。 |
| 25 | 縮小/拡大: コピー サイズを変更します。 |
| 26 | メニュー(コピー)：コピー領域の メニュー ボタンを押して、「**コピー枚数**」、「**用紙の種類**」、「**用紙サイズ**」 などのコピー オプションを選択します。 |
| 27 | 注意ランプ: 注意 ランプが点滅しているときは、注意する必要があるエラーが発生しています。 |
| 28 | コントロール パネル ディスプレイ: メニュー、写真のファイル名、およびメッセージを表示します。 |

# メニューの概要

次の表は、HP All-in-One のコントロール パネル ディスプレイに表示されるトップ メニューの一覧です。

## ファクス メニュー

「ファクス メニュー」 を選択すると送信したいファクスを調整できます。

| 番号を入力 |
|---|
| 解像度 |
| 薄く/濃く |
| ファクス方法 |
| 両面で送信 |
| 新しいデフォルトの設定 |

## セットアップ メニュー

「セットアップ メニュー」 から 「ヘルプ メニュー」 を選択すると、重要なヘルプ トピックをすばやく見つけることができます。 ほとんどのヘルプ トピックは接続しているコンピュータの画面に表示されます。

ヒント　メニューの項目に直接アクセスするには番号を押してください。

| 1. ヘルプ メニュー |
|---|
| 2. レポートの印刷 |
| 3. 短縮ダイヤルの設定 |
| 4. ファクスの基本設定 |
| 5. ファクスの詳細設定 |
| 6. ツール |
| 7. プリファレンス |
| 8. ネットワーク設定 |

## コピー メニュー

「両面」 と 「トレイ選択」 機能は、自動両面印刷対応ハガキトレイを装着したときだけ表示されます。

| コピー枚数 |
|---|
| コピー用紙サイズ |
| コピー用紙の種類 |

(続き)

| 薄く/濃く |
|---|
| 強調 |
| 色の濃さ |
| 両面 |
| トレイ選択 |
| 新しいデフォルトの設定 |

## 縮小/拡大メニュー

「リーガル > レター 72%」 機能を使用するには、ドキュメント フィーダ トレイにリーガル サイズの原稿をセットする必要があります。 「ページに合わせる」、「ページ全体に印刷」、「画像 サイズ」、「ポスター」 機能を使用するには、ガラス板から行います。 ドキュメント フィーダ トレイまたはガラス板に原稿をセットする方法については、原稿のセットを参照してください。

| 実物大 |
|---|
| ページに合わせる |
| ページ全体に印刷 |
| カスタム 100% |
| ページ全体 91% |
| リーガル > レター 72% |
| 画像サイズ |
| ポスター |

## フォト メニュー

HP All-in-One がネットワーク上の 1 台または複数のコンピュータに接続されていたり、自動両面印刷対応ハガキトレイがセットされていると、「フォト メニュー」 に追加オプションが表示されます。 以下のメニューには、使用可能なオプションがすべて含まれます。

| 写真の転送 |
|---|
| 写真の選択 |
| コピー枚数 |
| 画像サイズ |
| トレイ選択 |
| 用紙サイズ |
| 用紙の種類 |
| レイアウト スタイル |

(続き)

| スマート フォーカス |
|---|
| デジタル フラッシュ |
| 新しいデフォルトの設定 |

## フォト シート メニュー

「フォト シート メニュー」 を使用すると、メモリ カードの写真のフォト シートを印刷できます。 印刷したい写真の下の丸の中を塗りつぶし、フォト シートをスキャンすると選択した写真が印刷されます。

| フォト シートの印刷 |
|---|
| フォト シートのスキャン |

## スキャンの送信先 メニュー

「スキャンの送信先 メニュー」リストには、コンピュータにインストールされているアプリケーションなど、スキャン画像の送信先が表示されます。 ネットワーク接続されたプリンタの 「スキャンの送信先 メニュー」にはネットワーク上の他のコンピュータや HP All-in-One デバイスが表示されます。 このため、「スキャンの送信先 メニュー」 には、ここに示した送信先以外の送信先が表示されることがあります。

**USB 接続**

**Windows**

| HP Image Zone |
|---|
| Microsoft PowerPoint |
| Adobe Photoshop |
| Microsoft Word |
| メモリ カード |

**USB 接続**

**Macintosh**

| JPEG を HP ギャラリへ |
|---|
| Microsoft Word |
| Apple Mail |
| Adobe Photoshop |
| メモリ カード |

**ネットワーク接続**

Miguel's computer
AltheaMac
Jody's iBook
DavidWatsonPC
メモリ カード

## 「HP Image Zone」 による HP All-in-One のフル活用

HP All-in-One をセットアップすると、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアがコンピュータにインストールされます。詳細については、本体に付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアへのアクセスは、オペレーティング システム (OS) により異なります。

- PC を使用して Windows を実行している場合、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアには 「**HP ディレクタ**」 からアクセスします。
- Macintosh を使用して、OS 10.1.5 以降を実行している場合、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアは 「**HP Image Zone**」 ウィンドウからアクセスします。
- Macintosh を使用して、OS 9.2.6 以前を実行している場合、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアは 「**HP ディレクタ**」 ウィンドウからアクセスします。

いずれにしても、エントリ ポイントは、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアおよびサービスの起動となります。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使うと、HP All-in-One の機能の拡張をすばやく簡単に行うことができます。本書全体を通して、このようなボックスを見ると、トピック別のヒントやプロジェクトに役立つ情報が得られます。

## 「HP Image Zone」 ソフトウェアへのアクセス (Windows)

「**HP ディレクタ**」を、デスクトップ アイコン、システム トレイのアイコン、または 「**スタート**」 メニューから開きます。「**HP Image Zone**」 ソフトウェアの機能が 「**HP ディレクタ**」 に表示されます。

### 「HP ディレクタ」 を開くには

1. 次のいずれかを実行してください。
   – Windows のデスクトップで **HP ディレクタ** アイコンをダブルクリックします。
   – Windows タスクバーの右端のシステム トレイにある 「**Hewlett-Packard Digital Imaging Monitor**」 アイコンをダブルクリックします。
   – タスクバーで、 「**スタート**」 をクリックした後、 「**プログラム**」 または 「**すべてのプログラム**」 をポイントし、次に 「**HP**」 を選択して **HP ディレクタ** をクリックします。
2. 「**デバイス選択**」 ボックスで、インストールされているプリンタの一覧を、クリックして表示します。
3. HP All-in-One を選択します。
   以下の表で、HP Officejet 7200 All-in-One series で使用できる機能のアイコンについて説明します。 「**HP ディレクタ**」 では、以下の表に記載されていないアイコンが使用されている場合もあります。 「**HP ディレクタ**」 は、選択したプリンタに関連付けられている機能のアイコンを表示するようにカスタマイズされています。 選択したプリンタに特定の機能が搭載されていない場合は、その機能のアイコンが 「**HP ディレクタ**」 に表示されないこともあります。

ヒント　コンピュータ上の 「**HP ディレクタ**」 にアイコンが 1 つも表示されない場合は、ソフトウェアのインストール中にエラーが発生していることもあります。 これを修正するには、ソフトウェアのアンインストールと再インストールで説明する方法に従って、ソフトウェアをアンインストールしてから再インストールしてください。

| ボタン | 名称と用途 |
| --- | --- |
| | **画像のスキャン**: 写真、図、絵をスキャンして、「**HP Image Zone**」 に表示します。 |
| | **ドキュメント スキャン**: テキストまたはテキストとグラフィックスの両方が含まれている文書をスキャンし、選択したプログラムに表示します。 |
| | **コピーの作成**: コピー ダイアログ ボックスを表示して、画像またはドキュメントのハード コピーを作成します。 コピー品質、コピー部数、カラー、サイズの選択ができます。 |

| ボタン | 名称と用途 |
| --- | --- |
|  | 「**HP Image Zone**」: 「**HP Image Zone**」を表示し、次の操作を可能にします。<br>● 画像の表示と編集<br>● 複数のサイズでの写真の印刷<br>● フォト アルバム、ポストカード、広告の作成と印刷<br>● 電子メールまたは Web サイトでの画像の共有 |
|  | **画像の転送**: HP 画像転送ソフトウェアを表示し、画像を HP All-in-One から転送して、コンピュータに保存します。 |
|  | **ドキュメント ビューア**: 文書のインポート、検索、編集、表示、処理、印刷、送信。 |
|  | **ファクス送信**： この機能を使用すると、モノクロまたはカラーでファクスを送信できます。 |

注記　ソフトウェアの更新、クリエイティブ アイデア、HP Shopping など、その他の機能やメニューの詳細については、オンスクリーンの「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

メニュー項目やリスト項目により、使用する機器の選択、機器の状態の確認、ソフトウェア設定の調整、オンスクリーン ヘルプの利用などが可能です。次の表で、これらの項目を説明します。

| 機能 | 用途 |
| --- | --- |
| ヘルプ | この機能を使用すると、「**HP Image Zone ヘルプ**」にアクセスして、HP All-in-One のソフトウェア ヘルプやトラブルシューティング情報を入手することができます。 |
| デバイス選択 | この機能を使用すると、インストールされているプリンタの一覧から、使用するプリンタを選択することができます。 |
| 設定 | この機能を使用すると、印刷、スキャン、コピーなど、HP All-in-One の各種設定を表示したり、変更したりできます。 |
| 状態 | この機能を使用すると、HP All-in-One の現在の状態が表示されます。 |

### 「HP Image Zone」 ソフトウェアへのアクセス (Macintosh OS 10.1.5 以降)

注記　Macintosh OS 10.0.0 ～ 10.1.4 および 10.2.0 ～ 10.2.2 はサポートされていません。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアをインストールすると、「**HP Image Zone**」 アイコンは Dock に置かれます。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアにアクセスするには、次のいずれかを実行してください。

- 「**HP Image Zone**」 ウィンドウから
- 「**HP Image Zone**」 Dock メニューから

#### 「HP Image Zone」 ウィンドウを使用する

「**HP Image Zone**」 ウィンドウには 2 つのエレメントがあります。

- 「**製品/サービス**」 タブの表示領域
  - 「**製品**」 タブから、インストール製品のポップアップ メニューや現在の製品で利用できるタスク リストなど、HP イメージング製品の多くの機能にアクセスできます。 リストには、コピー、スキャン、ファックス、画像の転送などが含まれています。 タスクをクリックすると、タスクを補助するアプリケーションが開きます。
  - 「**サービス**」 タブからは、画像の表示、編集、管理、共有ができるデジタル イメージング アプリケーションにアクセスできます。
- 「**HP Image Zone ヘルプの検索**」 テキスト ボックス
  「**HP Image Zone ヘルプの検索**」 テキスト ボックスでは、キーワードやフレーズから、「**HP Image Zone ヘルプ**」 の検索ができます。

#### 「HP Image Zone」 ウィンドウを開くには

➔ Dock の 「**HP Image Zone**」 のアイコンをクリックします。
「**HP Image Zone**」 ウィンドウが表示されます。
「**HP Image Zone**」 ウィンドウには、選択したプリンタに適した 「**HP Image Zone**」 機能だけが表示されます。

「**HP Image Zone**」 ウィンドウは、選択したプリンタに関連付けられている機能アイコンを表示するようにカスタマイズされています。 選択したプリンタに特定の機能が搭載されていない場合は、その機能が「**HP Image Zone**」 ウィンドウに表示されないこともあります。 以下の表で、HP Officejet 7200 All‑in‑One series で使用できる機能のアイコンについて説明します。

| 製品 | |
|---|---|
| アイコン | 機能と用途 |
| | **画像の転送**： メモリ カードの画像をコンピュータに保存します。 |
| | **画像のスキャン**: この機能を使用すると、画像をスキャンして、「**HP ギャラリ**」 に表示することができます。 |
| | **OCR にスキャン**: この機能を使用すると、テキストをスキャンし、選択したテキスト編集ソフトウェア プログラムで表示することができます。<br><br>注記　この機能は、利用できる国/地域と利用できない国/地域があります。日本版には入っておりません。 |
| | **スキャンしてPDFにする**: この機能を使えば、文書を PDF 形式でスキャンおよび保存できます。<br><br>注記　この機能は、利用できる国/地域と利用できない国/地域があります。日本版には入っておりません。 |
| | **コピーの作成**: この機能を使用すると、モノクロまたはカラーでコピーを作成できます。 |
| | **ファクス送信**: この機能を使用すると、モノクロまたはカラーでファクスを送信できます。 |

| サービス | |
|---|---|
| アイコン | 機能と用途 |
| | **HP Image Edit**: この機能を使用すると、画像を編集できます。(10.2 以降) |
| | 「**HP ギャラリ**」: この機能を使用すると、画像を編集できます。(10.2 以降)<br>: この機能を使用すると画像の表示および編集を行うことができます。(10.1.5 のみ) |
| | **HP Image Print**:この機能を使用して、テンプレートのいずれかを基にアルバムの画像を印刷します。 |

| サービス | |
|---|---|
| アイコン | 機能と用途 |
| | **HP Instant Share**: この機能を使用して 「**HP Instant Share**」 ソフトウェア クライアント アプリケーションを開きます。 (10.2 以降) |
| | **HP Email Portal**: この機能を使用すると、写真を電子メールで簡単に送信できます。（日本語版には入っておりません。） |

メニュー項目やリスト項目により、使用する機器の選択、機器の状態の確認、ソフトウェア設定の調整、オンスクリーン ヘルプの利用などが可能です。次の表で、これらの項目を説明します。

| 機能 | 用途 |
|---|---|
| デバイス選択 | この機能を使用すると、インストールされているプリンタの一覧から、使用するプリンタを選択することができます。 |
| 設定 | この機能を使用すると、印刷、スキャン、コピーなど、HP All-in-One の各種設定を表示したり、変更したりできます。 |
| 「**HP Image Zone ヘルプ**」 の検索 | この機能を使用すると、「**HP Image Zone ヘルプ**」 を検索して、HP All-in-One のソフトウェア ヘルプやトラブルシューティング情報を入手することができます。 |

#### 「HP Image Zone」 Dock メニューを使用する

「**HP Image Zone**」 Dock メニューでは、「**HP Image Zone**」 サービスへのショートカットが利用できます。 Dock メニューには、「**HP Image Zone**」 ウィンドウの 「**サービス**」 タブ リスト で利用できるアプリケーションすべてが自動的に組み込まれます。 「**HP Image Zone**」 プリファレンスで、「**製品**」 タブ リストのタスクや 「**HP Image Zone ヘルプ**」 などの項目をメニューに追加することもできます。 詳細については、 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

**「HP Image Zone」 の Dock メニューを表示するには:**

➔ 「**HP Image Zone**」 の Dock アイコンをクリックし、マウス ボタンを押したままにします。

### 「HP Image Zone」 ソフトウェアへのアクセス (Macintosh OS 9.2.6 以前)

「**HP ディレクタ**」 は、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアへのエントリ ポイントです。 HP All-in-One の機能に応じて 「**HP ディレクタ**」 を使うと、

スキャン、コピー、ファックス、デジカメやメモリ カードからの画像転送などのデバイス機能を実行できます。また、「**HP ディレクタ**」で表示する「**HP ギャラリ**」を開き、コンピュータ上の画像を表示、変更、および管理することもできます。

**「HP ディレクタ」 ウィンドウを開くには**

1. 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアにアクセスするには、次のいずれかを実行してください。
   – デスクトップの 「**HP ディレクタ**」 エイリアスをダブルクリックします。
   – 「**アプリケーション:Hewlett-Packard:HP フォト イメージング ソフトウェア**」 フォルダ内の、「**HP ディレクタ**」 エイリアスをダブルクリックします。

   注記　異なる種類の、複数の HP デバイスをインストールする場合、((たとえば、HP All-in-One、カメラ、HP スキャナなど)、各種デバイスの 「**HP ディレクタ**」 アイコンがデスクトップに表示されます。 ただし、同種のデバイスを２つインストールする場合、(たとえば、 1 台は職場、もう1台は家にある２種類の HP All-in-One デバイスに１台のノートパソコンを接続しているような場合）、「**HP ディレクタ**」 の１つのアイコンだけがデスクトップに表示されます。

2. 「**HP ディレクタ**」 ウィンドウが表示されます。
   「**HP ディレクタ**」 には、選択したデバイスに関連するタスク ボタンだけが表示されます。

   注記　下記の表に表示されるアイコンは、コンピュータによって異なります。 「**HP ディレクタ**」 は、選択したプリンタに関連付けられている機能を表示するようにカスタマイズされています。 選択したプリンタに特定の機能が搭載されていない場合は、その機能が表示されないこともあります。 以下の表で、HP Officejet 7200 All-in-One series で使用できる機能のアイコンについて説明します。

**プリンタのタスク**

| アイコン | 用途 |
| --- | --- |
| | **画像の転送**： メモリ カードの画像をコンピュータに保存します。<br>注記　メモリ カードからコンピュータへの画像の転送は、ネットワーク経由ではサポートされていません。 |
| | **画像のスキャン**:この機能を使用すると、画像をスキャンして、「**HP ギャラリ**」 に表示することができます。 |

プリンタのタスク

| アイコン | 用途 |
| --- | --- |
| | **ドキュメントのスキャン**： この機能を使用すると、テキストをスキャンし、選択したテキスト編集ソフトウェア プログラムで表示することができます。<br><br>注記　この機能は、利用できる国/地域と利用できない国/地域があります。日本版には入っておりません。 |
| | **コピーの作成**:この機能を使用すると、モノクロまたはカラーでコピーを作成できます。 |

ソフト

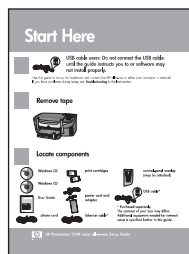
| アイコン | 用途 |
| --- | --- |
| | 「**HP ギャラリ**」: この機能を使用すると、「**HP ギャラリ**」 を表示して画像の表示および編集を行うことができます。 |

これらのアイコンのほかに、アイコンのない複数のメニュー項目を使ってコンピュータの他のアプリケーションの選択、HP All-in-One の機能設定の変更、オンスクリーン ヘルプの利用などが可能です。次の表で、これらの項目を説明します。

ソフト

| 機能 | 用途 |
| --- | --- |
| その他のソフト | この機能を使用すると、コンピュータ上で他のアプリケーションを選択することができます。 |
| HP サイト | この機能を使用すると、HP の Web サイトを選択できます。 |
| HP ヘルプ | この機能を使用すると、HP All-in-One に関するヘルプのソースを選択することができます。 |
| 設定 | この機能を使用すると、印刷、スキャン、コピーなど、HP All-in-One の各種設定を表示したり、変更したりできます。 |

# 2 詳細

印刷物およびオンスクリーンで、さまざまなリソースから、HP All-in-One の設定と使用方法に関する情報が得られます。

**セットアップ ガイド**

セットアップ ガイドでは、HP All-in-One のセットアップやソフトウェアのインストールの方法について説明します。 次の手順を順序どおりに行ってください。

セットアップ中に問題がある場合、セットアップ ガイドの最後のセクションにあるトラブルシューティング、または トラブルシューティング情報 を参照してください。

**ユーザー ガイド**

ユーザー ガイドでは、トラブルシューティングのヒントや手順を追った説明など、HP All-in-One を使用する方法が説明されています。

**「HP Image Zone」 ツアー**

「**HP Image Zone**」 のツアーは、HP All-in-One に含まれるソフトウェアの概要を対話式に、しかも楽しみながら理解できるように構成されています。 「**HP Image Zone**」 を使って、写真を編集、整理、印刷する方法がわかります。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアをインストールしたときにツアーを実行しなかった場合でも、**スタート メニュー**から実行することができます。 このツアーは Windows にのみ対応しています。

**「HP ディレクタ」**

「**HP ディレクタ**」 では、HP All-in-One のソフトウェア アプリケーション、デフォルト設定、ステータス、オンスクリーン ヘルプに簡単にアクセスできます。

**HP Image Zone ヘルプ**

| | |
|---|---|
| | 「**HP Image Zone ヘルプ**」 には、HP All-in-One 用ソフトウェアの使用方法が詳しく説明されています。<br>● **手順を 1 ステップずつ** のトピックでは、HP デバイスで 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用するための情報が得られます。<br>● **何ができるかな？** のトピックでは、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアと HP デバイスでできる実用的でクリエイティブなプロジェクトについての情報が得られます。<br>● この点の詳細や HP ソフトウェアの更新については、**トラブルシューティングとサポート** のトピックを参照してください。 |
|  | **使用しているデバイスのオンスクリーン ヘルプ**<br>オンスクリーン ヘルプは使用しているデバイスから利用でき、選択したトピックについての追加情報が得られます。 オンスクリーン ヘルプにはコントロール パネルからアクセスできます。(USB接続のみ)<br>1. コントロール パネルの **セットアップ** ボタンを押します。<br>ヘルプ メニュー がコントロール パネル ディスプレイに表示されます。<br>2. **OK** を押します。<br>3. ◀ か ▶ を押して、ヘルプオプションをスクロールします。<br>4. **OK** を押して、選択した項目をコンピュータの画面に表示させます。 |
| | **Readme**<br>Readme ファイルには、その他の出版物には含まれていない最新情報が収録されています。<br>Readme ファイルにアクセスするには、ソフトウェアをインストールします。 |
| www.hp.com/support | インターネットにアクセス可能な場合は、HP Web サイトからヘルプやサポートを入手することができます この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、サプライ品、および注文に関する情報が用意されています。 |

詳細

# 3　接続情報

HP All-in-One は有線ネットワーク接続用に RJ-45 Ethernet ポートを搭載しています。 USB ポートも搭載しているので、USB ケーブルを使用して直接コンピュータに接続できます。

## サポートされている接続の種類

| 説明 | 最高のパフォーマンスを得るための推奨接続コンピュータ数 | サポートするソフトウェアの機能 | セットアップ方法 |
|---|---|---|---|
| Ethernet (有線) 接続 | ハブまたはルーターで、5 台まで HP All-in-One にコンピュータを接続。 | Webscan を含むすべての機能をサポートします ( Mac 9x でのネットワーク経由でのメモリカード転送は除く)。<br>Webscan の詳細については、Webscan の使用を参照してください。 | 詳細については、『セットアップ ガイド』を参照してください。 |
| USB 接続 | USB ケーブルで HP All-in-One に接続した一台のコンピュータ。<br>USB ポートは、HP All-in-One の後部にあります。 | Webscan を除くすべての機能をサポートします。 | 詳細については、『セットアップ ガイド』を参照してください。 |
| Windows のプリンタ共有 | コンピュータ 5 台まで。<br>ホスト コンピュータは常に電源をオンにしておく必要があります。オフの場合、他のコンピュータは HP All-in-One に対 | ホスト コンピュータのすべての機能はサポートされています。 別のコンピュータからサポートされているのは印刷だけです。 | セットアップ手順については、Windows のプリンタ共有の使用を参照してください。 |

接続情報

| 説明 | 最高のパフォーマンスを得るための推奨接続コンピュータ数 | サポートするソフトウェアの機能 | セットアップ方法 |
| --- | --- | --- | --- |
| | して印刷を実行できません。 | | |
| プリンタ共有 (Macintosh) | コンピュータ 5 台まで。<br>ホスト コンピュータは常に電源をオンにしておく必要があります。オフの場合、他のコンピュータは HP All-in-One に対して印刷を実行できません。 | ホスト コンピュータのすべての機能はサポートされています。 別のコンピュータからサポートされているのは印刷だけです。 | セットアップ手順については、プリンタ共有の使用 (Macintosh OS X)を参照してください。 |

## Ethernet による接続

HP Officejet 7200 All-in-One series は 10 Mbps および 100 Mbps Ethernet ネットワーク接続をサポートします。13章には、HP All-in-One を Ethernet (有線) ネットワークに接続する方法についての詳細が収録されています。

## USB ケーブルを使用して接続

デバイスに同梱の『セットアップ ガイド』には、USB ケーブルによるコンピュータと HP All-in-One の接続についての詳しい説明が収録されています。

## Windows のプリンタ共有の使用

コンピュータがネットワークに接続され、同じネットワーク上の別のコンピュータに HP All-in-One が USB ケーブルで接続されている場合、Windows のプリンタ共有機能を使用してプリンタを自分のプリンタとして使用できます。 HP All-in-One に直接接続されているコンピュータがプリンタのホストとして機能し、このコンピュータがすべての機能を実行します。ネットワーク上のその他のコンピュータはクライアントと呼ばれ、印刷機能にのみアクセスでき、その他の機能はすべてホスト コンピュータで実行されます。

**Windows のプリンタ共有を有効にするには**

➔ コンピュータに付属のユーザー ガイドまたは Windows オンスクリーン ヘルプを参照してください。

## プリンタ共有の使用 (Macintosh OS X)

コンピュータがネットワークに接続され、同じネットワーク上の別のコンピュータに HP All-in-One が USB ケーブルで接続されている場合、プリンタ共有機能を使用してプリンタを自分のプリンタとして使用できます。ネットワーク上のその他のコンピュータはクライアントと呼ばれ、印刷機能にのみアクセスでき、その他の機能はすべてホスト コンピュータで実行されます。

**プリンタを共有する**

1. ホストコンピュータで Dock から 「**システム環境設定**」 を選択します。
   「**システム環境設定**」 ウィンドウが表示されます。
2. 「**共有**」 を選択します。
3. 「**サービス**」 タブで、「**プリンタ共有**」 をクリックします。

## Webscan の使用

Webscan では、Web ブラウザを使用して HP All-in-One からお使いのコンピュータへ写真や文書をスキャンできます。 コンピュータにデバイス ソフトウェアをインストールしなくても、この機能は利用できます。

1. ネットワーク設定ページを印刷し、HP All-in-One の IP アドレスを入手します。

   注記　詳細については、ネットワークの管理を参照してください。

2. お使いのコンピュータの Web ブラウザに IP アドレスを入力します。
   ブラウザに埋め込み Web サーバーのホームページを表示させます。
3. 左側の列で、「**アプリケーション**」 の下にある 「**スキャン**」 を選択します。
4. 画面上の指示に従って操作します。

Webscan は 「**HP Image Zone**」 スキャニング ソフトウェアのようにスキャンの送信先はサポートしません。

# 4 写真のメンテナンス

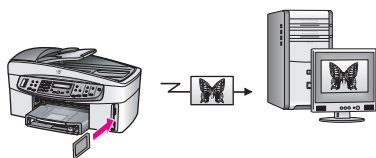
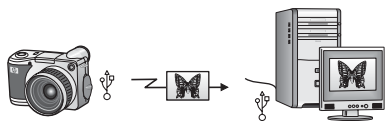
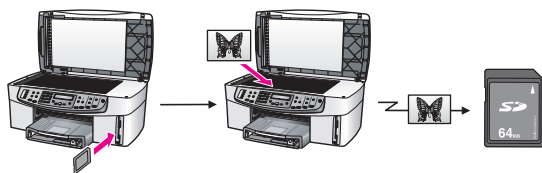
HP All−in−One を使うと、複数の異なる方法で写真を転送、編集、共有、印刷できます。この章では、プリファレンスとコンピュータの設定に応じて、これらの各タスクを実行するための方法を簡単に説明します。各タスクの詳細については、このガイドの他の章やオンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」 で利用できます。

## 写真の転送

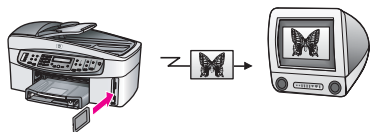
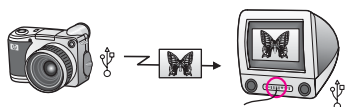
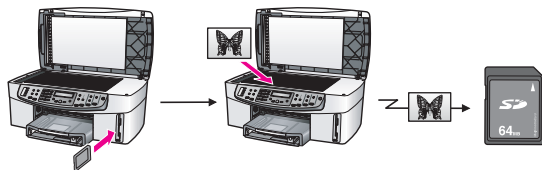
写真の転送には複数の異なるオプションがあります。 HP All−in−One、コンピュータ、メモリ カードに写真を転送できます。 詳細については、お使いのオペレーティング システム別のセクションを参照してください。

### Windows コンピュータを使用して写真を転送する

下の図には、Windows コンピュータ、メモリカードに写真を転送する方法が示されています。

HP All−in−One に挿入したメモリ カードから写真を Windows コンピュータに転送できます。

デジタル カメラから写真を Windows コンピュータに転送できます。

HP All−in−One に挿入したメモリ カードに直接スキャニングして写真を転送できます。

### Macintosh を使用して写真を転送する

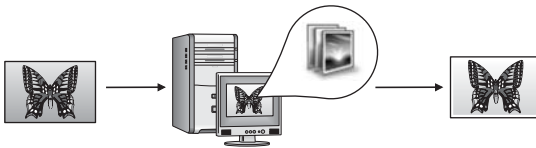
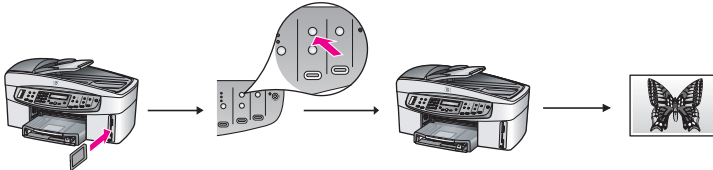
下の図には、Macintosh、メモリカードに写真を転送する方法が示されています。

HP All−in−One に挿入したメモリ カードから写真を Macintosh に転送できます。

デジタル カメラから写真を Macintosh に転送できます。

HP All−in−One に挿入したメモリ カードに直接スキャニングして写真を転送できます。

## 写真の編集

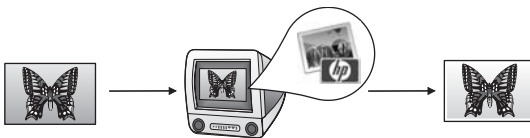
写真の編集には複数の異なるオプションがあります。 詳細については、お使いのオペレーティング システム別のセクションを参照してください。

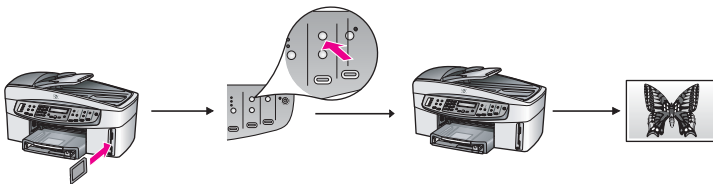
### Windows コンピュータを使用して写真を編集する

下の図には、Windows を使用して写真を編集する方法が示されています。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して、Windows コンピュータで写真を編集できます。

HP All−in−One のコントロール パネルを使用して写真を編集できます。

### Macintosh を使用して写真を編集する

下の図には、Macintosh を使用して写真を編集する方法が示されています。

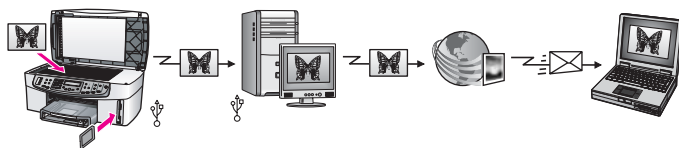
「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して、Macintosh で写真を編集できます。

iPhoto ソフトウェアを使用して、Macintosh で写真を編集できます。

HP All−in−One のコントロール パネルを使用して写真を編集できます。

# 写真の共有

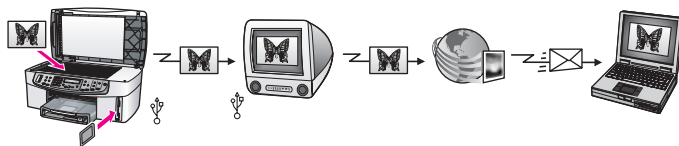
友人や家族と写真を共有する複数の異なるオプションがあります。 詳細については、お使いのオペレーティング システム別のセクションを参照してください。

### Windows コンピュータを使用して写真を共有する

下の図には、Windows を使用して写真を共有する方法が示されています。

USB 接続の HP All-in-One から、HP Instant Share サービスを使用して写真を共有できます。 HP All-in-One が USB で Windows コンピュータに接続されている場合、写真をコンピュータに転送し、HP Instant Share サービスを使用して、電子メールで友人や家族に写真を送信できます。

### Macintosh を使用して写真を共有する

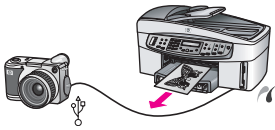
下の図には、Macintosh を使用して写真を共有する方法が示されています。

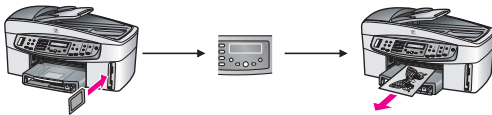
USB 接続の HP All-in-One から、HP Instant Share サービスを使用して写真を共有できます。 HP All-in-One が USB で Macintosh に接続されている場合、写真をコンピュータに転送し、HP Instant Share サービスを使用して、電子メールで友人や家族に写真を送信できます。

# 写真の印刷

写真の印刷には複数のプションがあります。 詳細については、お使いのオペレーティング システム別のセクションを参照してください。

### Windows コンピュータを使用して写真を印刷する

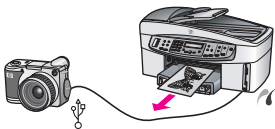
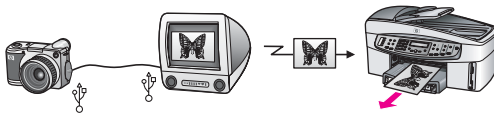
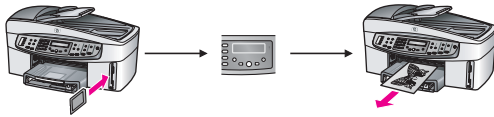
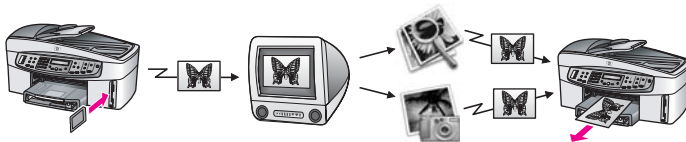
下の図には、Windows を使用して写真を印刷する方法が示されています。

PictBridge 対応のデジタル カメラから写真を印刷できます。

「**HP Image Zone**」 など、コンピュータ上のソフトウェア アプリケーションを使用してカメラから写真を印刷できます。

HP All−in−One のコントロール パネルのオプションを使用して、メモリ カードから写真を印刷できます。

メモリ カードから写真を Windows コンピュータ に転送して、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して写真を印刷する。

## Macintosh を使用して写真を印刷する

下の図には、Macintosh を使用して写真をプリントする方法が示されています。

PictBridge 対応のデジタル カメラから写真を印刷できます。

「**HP Image Zone**」 など、コンピュータ上のソフトウェア アプリケーションを使用してカメラから写真を印刷できます。

HP All−in−One のコントロール パネルのオプションを使用して、メモリ カードから写真を印刷できます。

メモリ カードから写真を Macintosh に転送して、「**HP ギャラリ**」 ソフトウェアまたは iPhoto ソフトウェアを使用して写真を印刷できます。

# 5 原稿および用紙のセット

ここでは、原稿を自動ドキュメント フィーダまたはガラス板にセットして、コピー、スキャン、またはファクスを実行する方法、ジョブに最適な用紙の種類を選択する方法、 用紙を給紙トレイにセットする方法、および紙詰まりを防ぐ方法について説明します。

## 原稿のセット

コピー、ファクス、スキャンする原稿は、自動ドキュメント フィーダまたはガラス板にセットします。 自動ドキュメントフィーダにセットされた原稿は、HP All-in-One に自動的に給紙されます。

### 自動ドキュメント フィーダに原稿をセットする

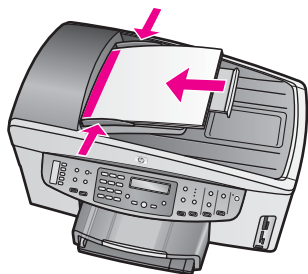
原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットすると、複数ページのレターサイズ、A4 サイズ、リーガル サイズの文書をコピー、スキャン、ファクスすることができます。

警告　自動ドキュメント フィーダには写真をセットしないでください。写真を傷めることがあります。

注記　「ページに合わせる」 や 「ページ全体に印刷」 コピー機能など機能によっては、自動ドキュメント フィーダに原稿をセットすると動作しないものもあります。また、フォトシートをスキャンしてメモリカードから写真を印刷する場合は、フォト シートをガラス板にセットする必要があります。 詳細については、ガラス板への原稿のセットを参照してください。

**自動ドキュメント フィーダに原稿をセットするには**

1. 原稿の表を上にして、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。

   ヒント　原稿を自動ドキュメント フィーダにセットする方法については、ドキュメント フィーダ トレイにある図を参照してください。

2. 用紙ガイドを、用紙の左右の端に当たって止まるまでスライドします。

## ガラス板への原稿のセット

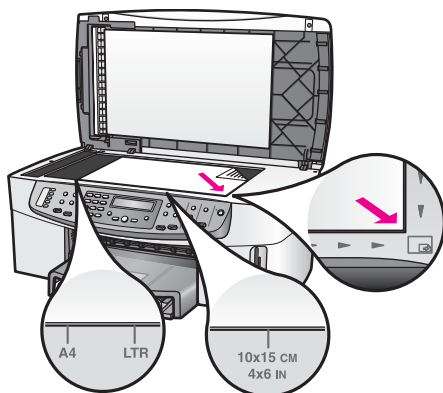
次の説明に従って、ガラス板に原稿をセットすると、最大で A4 またはレター用紙までの 1 ページの原稿を コピー、スキャン、ファクスすることができます。 原稿に複数の用紙サイズのページがある場合は、自動ドキュメント フィーダにセットしてください。 詳細については、自動ドキュメント フィーダに原稿をセットするを参照してください。

また、フォト シートをガラス板にセットして写真を印刷する場合も、同様にセットしてください。フォトシートが複数ページある場合は、一度に 1 ページずつガラス板にセットしてください。自動ドキュメント フィーダにはフォトシートをセットしないでください。

注記　ガラス板やカバーの裏に汚れが付着していると、ほとんどの特殊機能が正常に機能しなくなる可能性があります。 詳細については、HP All-in-One のクリーニングを参照してください。

### ガラス板に原稿をセットするには

1. すべての原稿をドキュメント フィーダ トレイから取り出してから、HP All-in-One のカバーを持ち上げてください。
2. 原稿の表を下にしてガラス板の右下隅に合わせてセットします。
   フォト シートの場合は、フォト シートの上端をガラス板の右端に合わせてセットします。

   ヒント　原稿のセット方法については、ガラス板の手前側と右側に示されているガイドを参照してください。

3. カバーを閉じます。

# 印刷およびコピー用紙の選択

HP All-in-One ではさまざまな種類とサイズの用紙を使用することができます。 印刷またはコピーを美しく仕上げるために、次の推奨事項をお読みください。用紙の種類またはサイズを変更する場合、必ず設定を変更してください。

## 推奨されている用紙

最高画質のプリント品質を得るには、印刷するプロジェクトのタイプに合わせて設計された HP 専用紙を推奨します。 たとえば、写真を印刷するには、給紙トレイに光沢またはつや消しフォト用紙をセットします。 ブローシャやプレゼンテーションを印刷するには、その用途で専用に設計された種類の用紙を使用します。

HP 用紙の詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」、または HP Web サイトを参照してください。

www.hp.com/support/inkjet_media

注記　現時点では、サイトのこの部分は英語版でのみ有効です。

## 使ってはいけない用紙

薄すぎる用紙、表面がつるつるの用紙、伸縮性のある用紙などを使用すると、紙詰まりが起こりやすくなります。 表面がでこぼこした用紙やインクを

はじく用紙を使用すると、印刷された画像がこすれたりにじんだり、あるいはかすれたりすることがあります。

**次のような用紙は印刷に使用しないでください。**

- 切り抜きやミシン目のある用紙 (HP インクジェット デバイスで使用できるように設計されている場合を除く)。
- リネンなど、肌触りの粗い紙。 均等に印刷できない可能性があり、インクが用紙ににじみ出たりする可能性があります。
- HP All-in-One で使用するように設計されていない、極端になめらかな用紙や光沢のある用紙、あるいは極端なコーティングがされている用紙。 HP All-in-One に紙詰まりが起きたり、インクが定着しないことがあります。
- 複写用紙 (2 枚重ねあるいは 3 枚重ねの複写用紙など)。 しわになったり詰まったりする可能性があります。また、インクもこすれやすくなります。
- 留め具付きの封筒や窓付き封筒。 ローラに引っかかって紙詰まりの原因となる場合があります。

国/地域によっては、入手できない用紙もあります。

**次のような用紙はコピーに使用しないでください。**

- 切り抜きやミシン目のある用紙 (HP インクジェット デバイスで使用できるように設計されている場合を除く)。
- 封筒。
- バナー用紙。
- プレミアム インクジェット OHP フィルムまたはプレミアム プラス インクジェット OHP フィルム以外の OHP フィルム。
- 複写用紙やラベル用紙。

## 用紙のセット

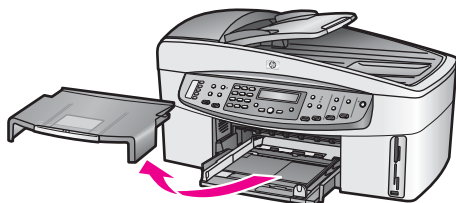
コピー、印刷、ファクスができるように、HP All-in-One にさまざまな種類およびサイズの用紙をセットする手順を説明します。

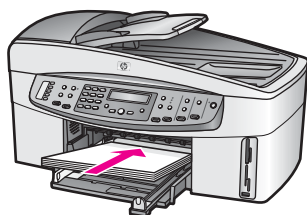
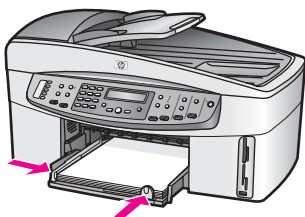
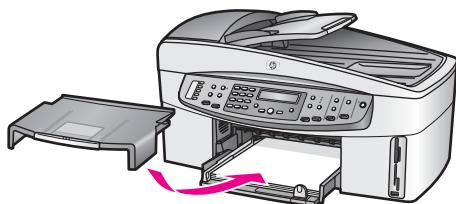
ヒント 破れたり、しわが寄ったり、波打ったり、折れたりしないように、用紙はすべてチャック付きの袋に入れ、平らな状態で保管してください。用紙を正しく保管していないと、温度や湿度の急激な変化によって用紙が波打ち、HP All-in-One でうまく利用できないことがあります。

## フルサイズ用紙のセット

HP All−in−One の給紙トレイには、A4 サイズ、レター サイズ、リーガル サイズなど、さまざまな種類の用紙をセットできます。

### フルサイズ用紙をセットするには

1. 排紙トレイを取り外し、横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドを最も外側の位置までずらします。

2. 平らな面で用紙の端を揃え、次の点を確認します。
   – 用紙に破れ、ほこり、しわ、端の折れや波打ちがないこと
   – セットするすべての用紙が同じサイズ、同じ種類であること
3. 用紙の短辺を奥にし、印刷面を下にして給紙トレイに挿入します。用紙を奥まで差し込んでください。

   ヒント　レター ヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れ、印刷面を下にしてください。フルサイズ用紙およびレター ヘッドのセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

4. 横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまでスライドします。
   給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より高くなっていないことを確認してください。

5. 排紙トレイを元に戻します。

6. 用紙補助トレイを手前いっぱいまで引き出します。 用紙補助トレイの端にあるペーパーキャッチを持ち上げ、補助トレイを完全に開きます。

### 10 x 15 cm (4 x 6 インチ) のフォト用紙のセット

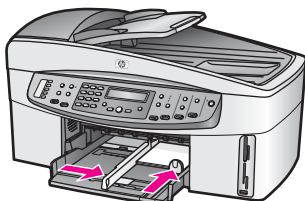
HP All-in-One のメイン給紙トレイまたはオプションの後部給紙トレイには、L 判 のフォト用紙をセットすることができます。 (このアクセサリはHP 小型用紙トレイ付き自動両面印刷モジュールと呼ばれます。 日本では、このアクセサリはHP 自動両面印刷対応ハガキトレイと呼ばれます)。

きれいに印刷するには、推奨タイプの 10 x 15 cm のHP プレミアム フォト用紙 、またはHP プレミアム プラスフォト用紙を使用して、印刷ジョブまたはコピー ジョブの用紙の種類を設定してください。 詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

ヒント 破れたり、しわが寄ったり、波打ったり、折れたりしないように、用紙はすべてチャック付きの袋に入れ、平らな状態で保管してください。用紙を正しく保管していないと、温度や湿度の急激な変化によって用紙が波打ち、HP All-in-One でうまく利用できないことがあります。

#### 10 x 15 cm のフォト用紙をメイン給紙トレイにセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。
2. 給紙トレイから用紙をすべて取り出します。
3. フォト用紙の短辺を奥にし、光沢面を下にして給紙トレイの右端に挿入します。フォト用紙を奥まで差し込んでください。
   お使いのフォト用紙にミシン目付きのタブがある場合は、そのタブが自分のほうに向くようにフォト用紙をセットしてください。

4. 横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドがフォト用紙の端に当たって止まるまでスライドします。
   給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。フォト用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より高くなっていないことを確認してください。

5. 排紙トレイを元に戻します。

#### L 判 のフォト用紙をオプションの後部トレイにセットするには

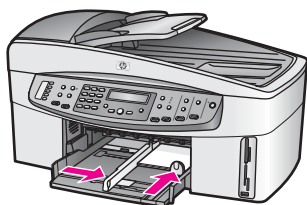
➔ 本製品には、HP 小型用紙トレイ付き自動両面印刷モジュールおよび自動両面印刷対応ハガキトレイを取り付けることができます。このオプション トレイに用紙をセットする方法については、このトレイに付属する説明書を参照してください。

### ポストカードやはがきのセット

HP All−in−One のメイン給紙トレイまたはオプションの後部給紙トレイには、ポストカードまたははがきをセットすることができます。 (このアクセサリはHP 小型用紙トレイ付き自動両面印刷モジュールです。 日本では、このアクセサリは自動両面印刷モジュール付きはがきトレイと呼ばれます)。

最高の印刷結果を得るには、印刷する前に用紙の種類と用紙サイズを設定してください。 詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

#### ポストカードまたははがきをメイン給紙トレイにセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。
2. 給紙トレイから用紙をすべて取り出します。
3. ポストカードまたははがきの短辺を奥にし、印刷面を下にして給紙トレイの右端に挿入します。カードの束を奥まで差し込んでください。
4. 横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドがカードの端に当たって止まるまでスライドします。
   給紙トレイにカードを入れすぎないようにしてください。 カードの束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より高くなっていないことを確認してください。

5. 排紙トレイを元に戻します。

**ポストカードまたははがきをオプションの後部トレイにセットするには**

➔ 本製品には、HP 小型用紙トレイ付き自動両面印刷モジュールおよび自動両面印刷対応ハガキトレイを取り付けることができます。このオプション トレイに用紙をセットする方法については、このトレイに付属する説明書を参照してください。

## 封筒のセット

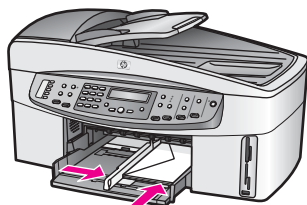
HP All-in-One の給紙トレイには、複数の封筒をセットすることができます。 光沢紙を使った封筒、エンボス加工された封筒、留め具付きの封筒、窓付き封筒などは使わないでください。

注記　文字を封筒に印刷するために書式設定する方法については、お使いのワープロ ソフトのヘルプ ファイルを参照してください。 最高の印刷結果を得るために、封筒の差出人住所にはラベルの使用をおすすめします。

**封筒をセットするには**

1. 排紙トレイを取り外します。
2. 給紙トレイから用紙をすべて取り出します。
3. 給紙トレイの右端に封筒を入れ、封筒のふたを上に向け、ふた側を左側または奥側にしてセットします。封筒の束を奥まで差し込んでください。

   ヒント　封筒のセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

4. 横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドが封筒の端に当たって止まるまでスライドします。
   給紙トレイに封筒を入れすぎないようにしてください。 封筒の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。

5. 排紙トレイを元に戻します。

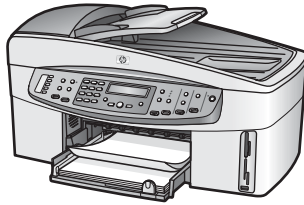
### その他の用紙のセット

特定の種類の用紙をセットするときのガイドラインを次の表に示します。 最高の印刷結果を得るには、用紙サイズまたは用紙の種類を変更するたびに用紙設定を調整してください。 用紙設定の変更の詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

注記　用紙の種類およびサイズの中には、HP All-in-One の一部の機能が対応していないものがあります。ソフトウェア アプリケーションの 「**印刷**」 ダイアログ ボックスから、印刷を実行する場合にのみ使用できる用紙の種類やサイズもあります。 こうした用紙の種類およびサイズは、コピー、ファクス、メモリ カードまたはデジタル カメラからの写真印刷には使用できません。 ソフトウェア アプリケーションからの印刷のみに対応する用紙は、次の表に注記があります。

| 用紙 | ヒント |
| --- | --- |
| HP 用紙 | ● プレミアム用紙: 用紙の非印刷面に表示されているグレーの矢印を見つけ、その矢印が表示されている側を上にして用紙を給紙トレイに挿入します。<br>● プレミアム OHP フィルム: (矢印と HP のロゴが表示されている) OHP フィルムの白いストリップが上になるように、ストリップ側から先に給紙トレイにフィルムを挿入します。<br><br>注記　正しくセットされていない場合やHP OHP フィルム以外のOHP フィルムを使用している場合、HP All-in-One では、OHP フィルムを検出できないことがあります。 最高の印刷結果を得るために、OHP フィルムに印刷またはコピーする前に、用紙タイプを OHP フィルムに設定してください。<br><br>● HP アイロンプリント紙: アイロン プリント紙を使用する前に完全に平らにします。 カールした用紙をセットしないでください (アイロン プリント紙がカールするのを防ぐには、使う直前までアイロン プリント紙を最初のパッケージ |

| 用紙 | ヒント |
| --- | --- |
| | に入れて封をしたままにしておきます)。 用紙の非印刷面に青い線があります。その線がある面を上にして、1 回に 1 枚ずつアイロン プリント紙を手動で給紙トレイに挿入します。<br>● グリーティング カード、フォト グリーティング カード、テクスチャ グリーティング カード: 印刷面を上にして、グリーティング カード用紙の束を給紙トレイに挿入します。 カードの束を奥まで差し込んでください。 |
| ラベル<br>(ソフトウェア アプリケーションからの印刷のみ) | HP インクジェット プリンタで使用できるように設計されている A4 サイズまたはレター サイズのラベル紙で、製造日から 2 年以内のものを使用してください。 古いシートのラベルはプリンタから排出されるまでに剥がれ落ちて、紙詰まりの原因となることがあります。<br>1. ページどうしがくっつかないように、ラベルを広げます。<br>2. まずフルサイズの普通紙を給紙トレイにセットし、その上に印刷面を下にしたラベル シートの束をセットします。 ラベルを 1 シートずつセットすることはしないでください。 |
| 連続バナー用紙<br>(ソフトウェア アプリケーションからの印刷のみ) | 連続バナー用紙はコンピュータ用紙や Z 折りの用紙とも呼ばれます。<br>1. 排紙トレイを取り外します。<br>2. 給紙トレイから用紙をすべて取り出します。<br>注記　連続バナー用紙が切れないように、バナー印刷中は HP All-in-One の排紙トレイを取り外したままにしておきます。<br>3. バナー用紙は最低 5 ページ以上あることを確認してください。<br>注記　HP 以外のバナー用紙を使用する場合は、20-lb 用紙を使用してください。<br>4. ミシン目の入ったストリップが両端にある場合はそれを注意深く切り離します。 そしてページどうしがくっつかないよういったん用紙を開いてからもう一度折り畳みます。<br>5. 連続していないほうの端が用紙の束の一番上に来るように、給紙トレイに用紙をセットします。<br>6. 下の図のように、用紙の最初の端を給紙トレイの奥まで挿入します。 |

| 用紙 | ヒント |
| --- | --- |
| |  |



## 紙詰まりの防止

紙詰まりを回避するには、以下に従ってください。

- 未使用の用紙はチャック付きの袋に平らに入れ、用紙が波打ったり、しわが寄ったりしないように保管してください。
- 排紙トレイから印刷された用紙を頻繁に取り除くようにしてください。
- 用紙を給紙トレイに平らに置き、端が折れたり破れたりしないようにセットしてください。
- 給紙トレイに、同じ種類とサイズの用紙をセットします。種類やサイズが異なる用紙を一緒に置かないでください。
- 用紙がぴったり収まるように、給紙トレイの用紙ガイドを調整してください。用紙ガイドで給紙トレイの用紙を折らないようにしてください。
- 用紙を給紙トレイの奥に入れすぎないでください。
- ご使用の HP All-in-One で推奨している用紙の種類をお使いください。詳細については、印刷およびコピー用紙の選択を参照してください。
- 原稿をガラス板に置いたままにしないでください。 ガラス板の上に原稿があるときに原稿を自動ドキュメント フィーダにセットすると、自動ドキュメント フィーダの中で原稿が詰まることがあります。

紙詰まりの解消方法については、用紙のトラブルシューティングを参照してください。

# 6 メモリ カードの使用または PictBridge の使用

HP All−in−One では、ほとんどのデジタルカメラに使用しているメモリ カードが利用できるので、写真を印刷、保存、管理することができます。 メモリ カードを HP All−in−One にセットして使用することもできますが、カメラを直接接続すると、メモリ カードをカメラに入れたままで、HP All−in−One からメモリ カードの内容を読み取ることができます。

この章では、HP All−in−One でメモリ カードや PictBridge カメラを使用するための情報が得られます。 コンピュータへの写真の転送、フォト印刷オプションの設定、写真の印刷、写真の編集方法などについては、このセクションをお読みください。



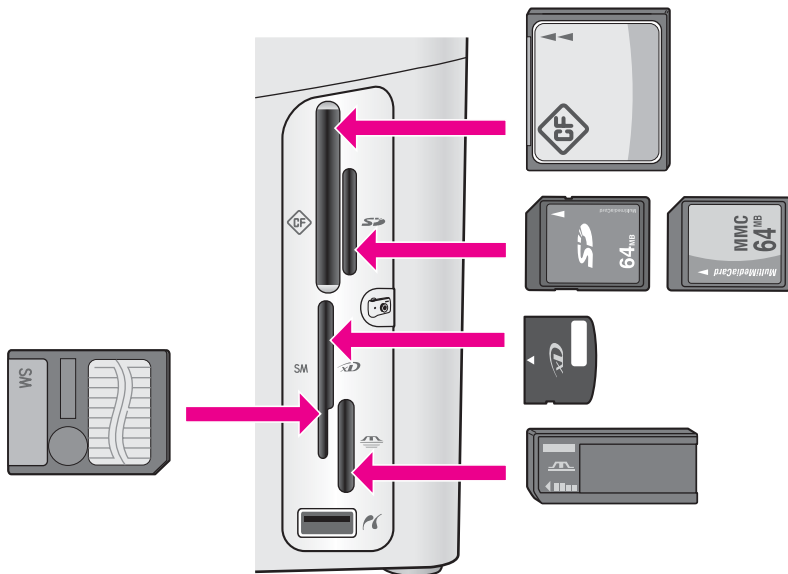
## メモリ カード スロットおよびカメラ ポート

デジタル カメラでとった写真を保存しておくのにメモリ カードを使用している場合、そのメモリ カードを HP All−in−One に挿入し、とった写真を印刷したり保存したりすることができます。

HP All−in−One がコンピュータに接続されていない場合でも、フォトシートを印刷してメモリ カードから写真を印刷できます。 フォト シートには、メモリ カードに保存されている写真のサムネイル ビューが場合によっては数ページにわたって印刷されます。お使いのデジタル カメラが PictBridge をサポートしている場合、HP All−in−One のカメラ ポートにデジタル カメラを接続して、直接印刷することもできます。

HP All−in−One では、次のメモリ カードを読み取ることができます。CompactFlash (I、II)、Memory Stick, MultiMediaCard (MMC)、Secure Digital、SmartMedia、xD-Picture Card。

HP All−in−One には、各メモリ カードを挿入できるように 4 つのスロットが用意されています。次の図に、各スロットと対応するメモリ カードを示します。

注記　HP All−in−One で一度に使用できるメモリ カードは 1 つだけです。

スロットは次のように構成されています。

- 左上のスロット: CompactFlash (I、II)
- 右上のスロット: Secure Digital, MultiMediaCard (MMC)
- 左下のスロット:SmartMedia、xD-Picture Card (スロットの右上に挿入)
- 右下のスロット: Memory Stick、Magic Gate Memory Stick、Memory Stick Duo (専用アダプタが必要です)、Memory Stick Pro
- カメラ ポート (メモリ カード スロットの下): PictBridge をサポートする USB 端子付きデジタル カメラ用。 PictBridge アイコン ( ) を確認してください。

**注記** カメラ ポートは、PictBridge をサポートしている USB 端子付きデジタル カメラのみをサポートしています。 その他の USB デバイスはサポートしていません。 互換性のあるデジタル カメラ以外の USB デバイスを、カメラ ポートに接続すると、コントロール パネル ディスプレイにエラー メッセージが表示されます。

**ヒント** デフォルトでは、Windows XP は、8 MB 以下および 64 MB 以上のメモリ カードを FAT32 形式でフォーマットします。 一方、デジタル カメラや他のデバイスでは FAT (FAT16 または FAT12) 形式を使用するため、FAT32 形式のカードは使用できません。 カメラ側でメモリ カードをフォーマットするか、あるいはWindows XP コンピュータでメモリ カードをフォーマットするときに FAT 形式を選択するようにしてください。

## コンピュータへのデジタル画像の転送

デジタル カメラで写真を撮ったら、それをすぐに印刷することもできますし、コンピュータに直接保存することもできます。写真をコンピュータに保存するには、メモリ カードをカメラから取り出して、HP All-in-One のメモリ カード スロットに挿入する必要があります。

注記　HP All-in-One で一度に使用できるメモリ カードは 1 つだけです。

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入します。
   メモリ カードが正しく挿入されると、メモリ カード スロット横のステータス ランプが点滅し始めます。「写真を読み取り中...」がコントロール パネル ディスプレイに表示されます。カードへのアクセス中は、メモリ カード スロットの横のステータス ランプが緑に点滅します。
   メモリ カードが正しく挿入されていない場合、メモリ カード スロットの横のステータス ランプがオレンジ色に点滅し、コントロール パネル ディスプレイに「カードが逆向きに装着されています。」または「カードが完全に挿入されていません。」のエラー メッセージが表示されます。

   注意　アクセス中はメモリ カードを絶対に取り出さないでください。アクセス中に取り外すと、カードのフォト ファイルが破損するおそれがあります。メモリ カード スロットの横のステータス ランプが点滅していないときだけ、カードを安全に取り外すことができます。

2. メモリ カードにまだ転送されていないフォト ファイルがあると、フォト ファイルをコンピュータに保存するか問い合わせるダイアログ ボックスが、コンピュータに表示されます。
   HP All-in-One がネットワークに接続されている場合、「フォト」メニューの「写真の転送」が選択された状態で表示されます。▶ を押して「はい」を選択してから **OK** を押します。写真の転送処理が始まります。
   「転送先」メニューが表示されたら、▶ を押して写真を転送先のコンピュータを選択します。**OK** を押してください。コンピュータの画面に転送ソフトウェアのダイアログ ボックスが表示されます。
3. 保存を選択します。
   メモリ カードの未保存のフォト ファイルがすべてコンピュータに保存されます。
   **Windows の場合**：デフォルトでは、フォト ファイルはカメラから転送された月と年のフォルダに保存されます。Windows XP および Windows 2000 の場合、このフォルダは **C:\Documents and Settings\ ユーザ名 \My Documents\My Pictures** フォルダに作成されます。
   **Macintosh の場合**：デフォルトでは、フォト ファイルはコンピュータの **Hard Drive:書類:HP All-in-One Data:Photos** フォルダ (OS 9 の場合) ま

たは、**Hard Drive:ユーザ: ユーザー名 :ピクチャ:HP Photos** フォルダ (OS X の場合) に保存されます。

ヒント　コントロール パネルを使用して、接続しているコンピュータにフォト ファイルを転送することもできます。 フォト領域で **メニュー** を押し、次に ▶ を押して 「コンピュータに転送」 を選択し、次に **OK** を押します。 コンピュータ上のプロンプト表示に従ってください。 また、メモリ カードはコンピュータにドライブとして表示されます。 フォト ファイルをメモリ カードからデスクトップに移動することができます。

HP All-in-One がメモリ カードの読み取りを終了すると、メモリ カード スロット横のステータス ランプの点滅が止まり、点灯状態になります。 メモリ カードの最初の写真が、コントロール パネル ディスプレイに表示されます。
メモリ カードのフォト ファイルを見るには、◀ または ▶ を押すと、1 ファイルずつ順に (または逆に) 表示されます。 ◀ または ▶ を押し続けると、前のフォト ファイルまたは次のフォト ファイルをさらに早く表示できます。

## フォト シートからの写真の印刷

フォトシートを使うと、コンピュータを使用しないで、直接メモリ カードから選択して印刷できます。 フォトシートにはメモリ カードに保存されている写真のサムネイル ビューが表示され、長さは数ページになることもあります。 各サムネイルにはファイル名、インデックス番号、日付が表示されています。フォト シートは、写真の簡単なカタログ作成としても利用できます。

フォト シートから写真を印刷するには 3 つのステップが必要です。 フォト シートの印刷、写真の選択、フォト シートのスキャンです。このセクションでは、3 つのステップすべてについて詳細に説明しています。

### フォトシートの印刷

フォトシートから写真を印刷するための最初のステップは、HP All-in-One からのフォトシートの印刷です。

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入します。
2. フォト領域で **フォト シート** を押して、次に **OK** を押します。
「フォトシート」 メニューが表示され、次に 「印刷」 が選択されます。

注記　メモリ カード内の写真枚数によって、フォト シートの印刷にかかる時間は大きく異なります。

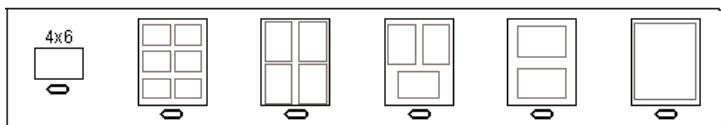
3. 20 枚以上の写真がカードに入っている場合、「写真の選択」 メニューが表示されます。 ▶ を押して、選択するオプションを表示し、**OK** をクリックします。
   – 「すべて」
   – 「最後の 20 枚」
   – 「カスタム範囲」
4. 「カスタム範囲」 を選択した場合は、印刷対象の写真の最初と最後のインデックス番号を入力する必要があります。 「最初の写真」 メッセージが表示されたら、範囲内の最初の写真の番号が表示されるまで ▶ を押し、**OK** を押します。

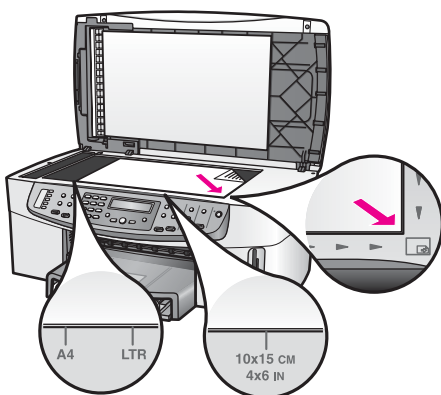
   注記 指定した番号を間違えた場合は、キャンセル を押して処理を中断し、最初からやり直します。
5. 「最後の写真」 メッセージが表示されたら、範囲内の最後の写真の番号が表示されるまで ▶ を押し、**OK** を押します。



### フォト シートの記入

フォトシートを印刷したら、印刷する写真を選択します。

1. フォト シートのサムネイル画像の下にある円を黒いペンか鉛筆で塗りつぶして、印刷する写真を選択します。
2. フォトシートの ステップ 2 から 円を塗りつぶして、レイアウト スタイルを 1 つだけ選択します。

注記　フォトシートでできる印刷設定よりも、詳細な設定が必要な場合は、コントロール パネルから写真を直接印刷してください。詳細については、メモリ カードからの写真の直接印刷を参照してください。

3. フォトシートの表を下にして、ガラス板の右下隅に合わせてセットします。 フォトシートの短辺と長辺が、ガラス板の手前側と右側に揃っていることを確認します。 カバーを閉じます。

フォト シートのスキャン セクションに進んでください。

## フォト シートのスキャン

フォトシートから写真を印刷する最後のステップは、ガラス板にセットした記入済みフォトシートのスキャンです。

ヒント　HP All-in-One のガラス板に汚れがないことを確認してください。 汚れがあると、フォトシートを正しくスキャンできないことがあります。 詳細については、ガラス板のクリーニングを参照してください。

1. フォトシートの表を下にして、ガラス板の右下隅に合わせてセットします。 フォトシートの短辺と長辺が、ガラス板の手前側と右側に揃っていることを確認します。 カバーを閉じます。
2. フォト用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。 フォトシートのスキャン中は、そのフォト シートの印刷に使用したメモリ カードがスロットに挿入されていることを確認してください。

3. フォト領域で **フォト シート** を押し、次に ▶ を押して 「スキャン」を選択します。
4. **OK** を押してください。
   HP All-in-One でフォトシートがスキャンされて、選択した写真が印刷されます。

## 写真の印刷 オプションの設定

HP All-in-One で写真を印刷する場合、用紙の種類、サイズ、レイアウトなどのさまざまな設定をコントロール パネルで操作できます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。写真印刷オプションの設定、印刷オプションの変更、写真印刷オプションのデフォルトの変更。

コントロール パネルから利用可能な 「フォト」 メニューを使用すると、写真の印刷 オプションにアクセスしたり、写真の印刷オプションを設定したりできます。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用しても、写真の印刷オプションを設定できます。 詳細については、「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。



### フォト メニューを使用して、写真の印刷オプションを設定

「フォト」 メニューからは、コピー枚数や用紙の種類など、写真の印刷方法についてさまざまな設定ができます。 デフォルトの単位とサイズは、国/地域によって異なります。

1. メモリ カードを HP All-in-One のスロットに挿入します。
2. フォト領域で **メニュー** を押します。
   「フォト」 メニューが表示されます。
3. **メニュー** を繰り返し押して、コントロール パネル ディスプレイに変更したい設定項目を表示します。 目的のオプションが表示されたら、**OK** を押します。

| 設定 | 説明 |
| --- | --- |
| 「写真の選択」 | 印刷するフォト ファイルを選択します。 「すべて」 では、メモリ カード内のすべての写真が選択され、「カスタム」 では、印刷する各写真を手動で選択できます。 |
| 「コピー枚数」 | 印刷枚数を設定します。 |
| 「画像サイズ」 | 印刷する画像のサイズを設定します。2 つの選択肢「ページ全体に印刷」 および 「ページに合わ |

| 設定 | 説明 |
| --- | --- |
| | せる」 について、次に説明します。その他については省略します。<br>– 「ページ全体に印刷」 設定では、出力紙全体に白フチ無しで画像を配置します。 トリミングも行われることがあります。<br>– 「ページに合わせる」 設定では、トリミングをしないで、原稿の縦横比を維持したまま、ページのできるだけ多くの部分が使用されます。 画像はページの中央に配置され、余白で囲まれます。 |
| 「トレイ選択」 | HP All-in-One が使用する給紙トレイ (前部または後部) を選択します。HP All-in-One の電源をオンにした際、後部トレイが検出された場合にのみ、この設定を選択することができます。 |
| 「用紙サイズ」 | 現在の印刷ジョブで使用する用紙サイズを選択します。 「自動」 設定では、デフォルトで大判 (A4 またはレター) の用紙サイズと小さい L 判/ の用紙サイズに設定されますが、国または地域に応じて異なります。 「用紙サイズ」 と 「用紙の種類」 ともに 「自動」 に設定すると、HP All-in-One は現在の印刷ジョブに最適な印刷オプションを選択します。 「用紙サイズ」 をその他の設定に変更すると、自動設定よりも優先されます。 |
| 「用紙の種類」 | 現在の印刷ジョブで使用する用紙の種類を選択します。「自動」 設定では、HP All-in-One で、自動的に用紙の種類を検出して設定します。「用紙サイズ」 と 「用紙の種類」 の両方を 「自動」 に設定すると、HP All-in-One は現在の印刷ジョブに最適な印刷オプションを選択します。「用紙の種類」 をその他の設定に変更すると、自動設定よりも優先されます。 |
| 「レイアウト スタイル」 | 現在の印刷ジョブで使用するレイアウト スタイルを、2 種類の中から 1 つ選択します。<br>「ペーパー セーバー」 レイアウト スタイルは、必要に応じて回転とトリミングを行い、その用紙 |

| 設定 | 説明 |
| --- | --- |
| | にできるだけ多くの写真が収まるようにレイアウトします。<br>「アルバム」 レイアウト スタイルは、写真原稿の向きを変えないでレイアウトします。「アルバム」 は、ページの向きについてのレイアウトで、写真の向きについてのレイアウトではありません。トリミングも行われることがあります。 |
| 「スマート フォーカス」 | 写真の自動デジタル シャープニングを有効または無効にします。 「スマート フォーカス」 は、印刷される写真にのみ適用されます。メモリ カード上の実際の画像ファイルは変更されません。 「スマート フォーカス」 はデフォルトでオンに設定されています。 |
| 「デジタル フラッシュ」 | 暗い写真を明るくします。 「デジタル フラッシュ」 は、印刷される写真にのみ適用されます。メモリ カード上の実際の画像ファイルは変更されません。「デジタル フラッシュ」 はデフォルトでオフに設定されています。 |
| 「新しいデフォルトの設定」 | 現在の写真の印刷オプション設定を新しいデフォルトとして保存します。 |



## 写真印刷オプションの変更

写真印刷オプションの設定項目はどれも同じ方法で変更できます。

1. フォト領域で、変更したい写真印刷オプションが表示されるまで **メニュー** を繰り返し押します。
2. 設定を変更してから **OK** を押します。

デフォルトの写真印刷オプションの設定の詳細については、写真印刷オプションのデフォルトの変更を参照してください。

## 写真印刷オプションのデフォルトの変更

写真印刷オプションのデフォルトをコントロール パネルで変更できます。

1. フォト領域で、変更したい写真印刷オプションが表示されるまで **メニュー** を繰り返し押します。
2. 必要なオプションを変更します。 オプションを変更したら、**OK** を押します。
   オプションの変更を確定すると、「フォト」 メニューが再表示されます。
3. フォト領域で、**新しいデフォルトの設定** が表示されるまで 「メニュー」 を押し、次に **OK**を押します。

4. ▶ を押して 「はい」 を選択してから **OK** を押します。
   現在のすべての設定が新しいデフォルトに設定されます。

# メモリ カードからの写真の直接印刷

メモリ カードを HP All-in-One に挿入し、コントロール パネルを使用すると、写真を印刷することができます。PictBridge 対応のデジタル カメラの写真を HP All-in-One で印刷する方法については、PictBridge 対応のデジタル カメラからの写真の印刷を参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。個々の写真の印刷、フチ無し写真の作成、写真の選択解除。

注記　写真を印刷するときは、用紙の種類および写真の画質向上設定について、正しいオプションを選択する必要があります。 詳細については、写真の印刷 オプションの設定を参照してください。 また、フォト プリント カートリッジを使用することでさらに印刷品質を高めることもできます。 詳細については、フォト プリント カートリッジの使用を参照してください。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用すると、単なる写真の印刷以上のことができます。このソフトウェアを使用すると、アイロン プリント紙、ポスター、バナー、ステッカーなどのクリエイティブなプロジェクトで写真を使用することができます。 詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

## 個々の写真の印刷

フォトシートを使用しないで、コントロール パネルから直接写真を印刷することができます。

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入します。
   メモリ カード スロット横のステータス ランプが点灯します。
2. 給紙トレイにフォト用紙をセットします。 印刷する写真のサイズに合った用紙をセットしてください。
3. ◀ または ▶ を押して、メモリ カードのファイル名を前後に移動します。
   ◀ または ▶ を押し続けると、ファイル名をさらに早く表示できます。
4. コントロール パネル ディスプレイに印刷したい写真のファイル名が表示されたら、**OK** を押します。 選択したファイル名の横には、チェック マークが表示されます。
5. フォト領域で **メニュー** を押して 「フォト」 メニューを表示し、写真の印刷オプションに必要な変更を加えます。 この印刷ジョブが完了すると、印刷オプションの設定はデフォルトの設定に戻ります。
6. フォト領域で **フォト プリント** を押して、選択した写真を印刷します。

### フチ無しプリントの作成

HP All-in-One を使って、メモリ カードのフォト ファイルを美しいフチ無し印刷に仕上げることができます。

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入します。
   メモリ カード スロット横のステータス ランプが点灯します。
2. ◀ または ▶ を押して、メモリ カードのファイル名を前後に移動します。
   ◀ または ▶ を押し続けると、ファイル名をさらに早く表示できます。
3. コントロール パネル ディスプレイに印刷したい写真のファイル名が表示されたら、**OK** を押します。 選択したファイル名の横には、チェック マークが表示されます。
4. 表を下向きにしてフォト用紙を給紙トレイの右奥隅にセットし、用紙ガイドを調整します。

   ヒント　お使いのフォト用紙にミシン目付きのタブがある場合は、そのタブが自分のほうに向くようにフォト用紙をセットしてください。

5. フォト領域で **フォト プリント** を押して、選択したフォト ファイルをフチなし印刷として印刷します。

### 写真の選択解除

コントロール パネルからフォト ファイルを選択解除できます。

➔ 次のいずれかを実行してください。
   – ディスプレイに表示されている写真を選択解除するには、**OK** を押します。
   – すべてのフォト ファイルを選択解除して、アイドル画面に戻るには、**キャンセル** を押します。

## PictBridge 対応のデジタル カメラからの写真の印刷

HP All-in-One は PictBridge 規格をサポートしています。PictBridge 対応のデジタル カメラをカメラ ポートに接続すると、デジタル カメラのメモリ カードに記録されている JPEG フォト ファイルを印刷することができます。

注記　HP All-in-Oneが PictBridge ポートから印刷できるのは、JPEG 形式のファイルだけです。 PictBridge 対応デジタル カメラのファイル フォーマットを変更する方法については、デジタル カメラ付属のマニュアルを参照してください。

1. HP All-in-One の電源が入っていること、および初期化プロセスが終了していることを確認してください。
2. PictBridge 対応のデジタル カメラを、そのカメラに付属する USB ケーブルを使用して、HP All-in-One の前部にあるカメラ ポートに接続します。

3. カメラの電源をオンにして、PictBridge モードになっていることを確認します。

注記　カメラが正しく接続されている場合、メモリ カード スロット横のステータス ランプが点灯します。 カメラからの印刷中は、ステータス ランプが緑に点滅します。

PictBridge 対応カメラから印刷する方法については、カメラに付属のマニュアルを参照してください。

カメラが PictBridge に対応していない場合、または PictBridge モードでない場合は、ステータス ランプがオレンジ色に点滅し、コンピュータのモニタにエラー メッセージが表示されます (HP All−in−One ソフトウェアをインストールしている場合)。 カメラの接続ケーブルを外し、問題を解決した後、再度接続してください。PictBridge カメラ ポートのトラブルシューティングの詳細については、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**トラブルシューティング ヘルプ**」 を参照してください。

PictBridge 対応のカメラを HP All−in−One に正しく接続すると、写真を印刷することができます。HP All−in−One にセットされている用紙のサイズが、カメラの設定と一致していることを確認します。 カメラの用紙サイズ設定がデフォルトに設定されている場合、HP All−in−One では現在給紙トレイにセットされている用紙を使用します。 PictBridge 対応カメラから印刷する方法については、カメラに付属のマニュアルを参照してください。

## 写真の印刷

フォト プリント ボタンを使用すると、現在コントロール パネル ディスプレイに表示している写真ファイルを印刷できます。

1. メモリ カードを HP All−in−One の適切なスロットに挿入します。
2. 印刷する写真を選択します。
3. フォト領域で フォト プリント を押して、現在の設定を使用してフォトファイルを印刷します。

注記　HP All−in−One が Macintosh コンピュータに接続されている場合、HP All−in−One からメモリ カードを抜くとコンピュータのスクリーンにエラー メッセージが表示される場合があります。 このエラーは無視して構いません。 「**OK**」 をクリックしてこのエラー メッセージ ウィンドウを閉じます。

## DPOF ファイルの印刷

Digital Print Order Format (DPOF) は、このフォーマットをサポートしているデジタル カメラによって作成される標準のファイルです。 カメラが指定する写真とは、デジタル カメラでプリントのマークをつけた写真のことです。カメラ側で写真を選択すると、カメラが、DPOF ファイルを作成します。

DPOF ファイルとは、どの写真に印刷のタグがついているかがわかるファイルです。 HP All−in−One ではこの DPOF ファイルをメモリ カードから読み取ることができるため、印刷対象のフォト ファイルを選択し直す必要がなくなります。

注記 ただし、すべてのデジタル カメラで写真に印刷のタグを付けられるとは限りません。お使いのデジタル カメラで DPOF がサポートされているかどうかは、デジタル カメラのマニュアルを参照してください。 HP All−in−One では DPOF ファイル フォーマットの 1.1 をサポートしています。

カメラ指定の写真を印刷すると、HP All−in−One による印刷設定は適用されず、DPOF ファイルによる写真レイアウトと部数の設定が HP All−in−One より優先されます。

DPOF ファイルはデジタル カメラによってメモリ カードに保存されます。このファイルには次の情報が指定されています。

- 印刷対象の写真
- 各写真の印刷部数
- 写真に適用される回転
- 写真に適用されるトリミング
- インデックス印刷 (選択写真のサムネイル)

**カメラ指定の写真を印刷するには**

1. メモリ カードを HP All−in−One の適切なスロットに挿入します。 DPOF タグが付いた写真がメモリ カードにあると、「**DPOF を印刷しますか?**」 メッセージがコントロール パネル ディスプレイに表示されます。
2. 次のいずれかを実行してください。
   – メモリ カード内の DPOF のタグが付いたフォト ファイルをすべて印刷するには **OK** を押してください。 これで 「はい」 が選択され、DPOF 設定で写真が印刷されます。
   – ▶ を押し、次に **OK**を押します。 「いいえ」 が選択され、DPOF 印刷は行われません。

メモリ カードおよび PictBridge

# 7 コピー機能の使用

HP All-in-One を使用すると、高品質のカラー コピーおよびモノクロ コピーを、OHP フィルムを含め、さまざまな種類の用紙に作成できます。 原稿のサイズを特定の用紙サイズに合わせて拡大/縮小したり、コピーの色の明るさや濃さを調整したり、特別なコピー機能を使用して写真の高品質コピーや L 判/ のフチ無しコピーを作成したりすることもできます。

この章では、コピーの高速化、コピー品質の向上、印刷するコピー部数の設定、ジョブに最適な用紙タイプとサイズを選択するガイドライン、ポスターの作成、アイロン プリント紙の作成について説明します。

ヒント 通常のコピーで最高のパフォーマンスを得るには、用紙サイズを 「**レター**」 または 「**A4**」、用紙の種類を 「**普通紙**」、コピー品質を 「**はやい**」 に設定します。

用紙サイズの設定の仕方についての詳細は コピー用紙サイズの設定 を参照してください。

用紙の種類の設定の仕方についての詳細は コピー用紙の種類の設定 を参照してください。

コピー品質の設定の仕方についての詳細は コピーの高速化またはコピー品質の向上 を参照してください。

フチなしコピーを作成、用途に合わせて写真のコピーを拡大縮小、1 ページに複数の写真のコピーを作成、色あせた写真の品質を向上させてコピーを作成する方法がわかります。

  写真のフチ無しコピーを作成する

  写真を用紙のサイズに合わせてコピーする

  1 ページに写真を複数コピーする

  コピーの薄い部分の強調

## コピー用紙サイズの設定

HP All-in-One では用紙サイズを設定できます。用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせます。コピーの場合、用紙サイズのデフォルト設定は、「**自動**」 です。この設定では給紙トレイの用紙サイズが、HP All-in-One によって検出されます。

**コントロール パネルから用紙サイズを設定するには**

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。

2. 原稿を表を下にしてガラス板の右下隅にセットするか、ドキュメント フィーダ トレイに表を上にしてセットします。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の一番上のページが最初に取り込まれるようにセットします。
3. コピー領域で、「コピー用紙サイズ」 が表示されるまで、**メニュー** を押します。
4. ▶ を押して適切な用紙サイズを選択し、次に **OK** を押します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

以下の表を参照して、給紙トレイにセットされている用紙に対応する用紙サイズを選択してください。

| 用紙の種類 | 推奨の用紙サイズの設定 |
|---|---|
| コピー専用用紙、多目的用紙、普通紙 | 「レター」 または 「A4」 |
| インクジェット用紙 | 「レター」 または 「A4」 |
| アイロン プリント紙 | 「レター」 または 「A4」 |
| レターヘッド | 「レター」 または 「A4」 |
| フォト用紙 | 「10 x 15 cm」 または 「フチ無し 10 x 15 cm」<br>「A4」 または 「フチ無し A4」<br>「L 判」 または「フチ無し L 判」 (日本のみ) |
| はがき | 「はがき」 または 「はがきフチ無し」 (日本のみ) |
| OHP フィルム | 「レター」 または 「A4」 |



## コピー用紙の種類の設定

HP All-in-One では用紙の種類を設定できます。コピーの場合、用紙の種類のデフォルト設定は、「自動」 です。この設定では給紙トレイ内の用紙の種類が HP All-in-One によって検出されます。

特殊な用紙にコピーする場合、または 「自動」 設定で十分な印刷品質が得られない場合、コピー メニューから手動で用紙の種類を設定することができます。

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。

2. 原稿を表を下にしてガラス板の右下隅にセットするか、ドキュメント フィーダ トレイに表を上にしてセットします。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の一番上のページが最初に取り込まれるようにセットします。
3. コピー領域で、「**用紙の種類**」 が表示されるまで、**メニュー** を押します。
4. ▶ を押して用紙の種類の設定を選択します。次に **OK** を押します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

以下の表を参照して、給紙トレイにセットされている用紙に対応する用紙の種類の設定を選択してください。

| 用紙の種類 | コントロール パネルの設定 |
| --- | --- |
| コピー用紙またはレターヘッド | 普通紙 |
| HP インクジェット用上質普通紙 | 普通紙 |
| HP プレミアム プラス フォト用紙 (光沢) | プレミアム フォト用紙 |
| HP プレミアム プラス フォト用紙 (つや消し) | プレミアム フォト用紙 |
| HP プレミアム プラス 4 x 6 インチ (10 x 15 cm) フォト用紙 | プレミアム フォト用紙 |
| フォト用紙 | フォト用紙 |
| エヴリデイフォト用紙 | エヴリデイフォト用紙 |
| エヴリデイフォト用紙 (半光沢) | エヴリデイつや消し用紙 |
| その他のフォト用紙 | 他のフォト用紙 |
| HP アイロンプリント紙（カラー生地専用） | アイロン プリント紙 |
| HP アイロンプリント紙 (淡色または白地用) | アイロン左右反転用紙 |
| HP プレミアム用紙 | プレミアム インクジェット用紙 |
| その他のインクジェット用紙 | プレミアム インクジェット用紙 |
| HP ブローシャ & フライヤ用紙 (光沢) | ブローシャ (光沢) |
| HP ブローシャ & フライヤ用紙 (つや消し) | ブローシャ (つや消し) |
| HP プレミアム OHP フィルムまたはプレミアム プラス インクジェット OHP フィルム | OHP フィルム |

(続き)

| 用紙の種類 | コントロール パネルの設定 |
|---|---|
| その他の OHP フィルム | OHP フィルム |
| はがき (普通紙、日本のみ) | 普通紙 |
| はがき (光沢紙、日本のみ) | プレミアム フォト用紙 |
| L 判 (日本のみ) | プレミアム フォト用紙 |

## コピーの高速化またはコピー品質の向上

HP All-in-One には、コピー速度およびコピーの品質に関する 3 つのオプションがあります。

- 「高画質」: 各種用紙を美しく印刷し、塗りつぶし領域に縞模様が出ないように仕上げます。「高画質」でコピーを行った場合は、他の品質設定の場合よりも印刷に時間がかかります。
- 「きれい」: 印刷を高品質で仕上げます。ほとんどのコピーに推奨される設定です。「きれい」設定では、「高画質」設定よりも速くコピーできます。
- 「はやい」:「きれい」設定の場合よりも速くコピーできます。文字の印刷品質は「きれい」設定と変わりませんが、グラフィックスの品質は低下します。「はやい」設定でコピーをすると、インクの消費量が少ないので、プリント カートリッジの寿命が延びます。

**コントロール パネルからコピー品質を変更するには**

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 原稿を表を下にしてガラス板の右下隅にセットするか、ドキュメント フィーダ トレイに表を上にしてセットします。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の一番上のページが最初に取り込まれるようにセットします。
3. コピー領域で、**品質** を押し、**高画質**、**きれい**、**はやい** のどれかを選択してください。
4. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

## コピーに使用する給紙トレイの選択

HP 自動両面印刷対応ハガキトレイが設置されている場合、コピー専用の給紙トレイを指定できます。

- フォト用紙や OHP フィルムなどの、サポートされているすべての用紙の種類およびサイズをメイン給紙トレイにセットすることができます。
- オプションの HP 自動両面印刷対応ハガキトレイに、フォト用紙やはがきカードなどの小さいサイズの用紙をセットできます。

例えば、10 × 15cmのフォト用紙をこのオプションの用紙トレイに、普通サイズの用紙をメイン給紙トレイにセットできます。 このオプションのトレイを使用すると、異なるサイズや種類の用紙をコピーするたびに用紙を取り除いたり、再設定する必要がないので時間を節約できます。

**注記** このオプション トレイに用紙をセットする方法については、このトレイに付属する説明書を参照してください。

**コントロール パネルから給紙トレイを選択するには**

1. コピーをする給紙トレイに用紙をセットしてください。
2. 原稿を表を下にしてガラス板の右下隅にセットするか、ドキュメント フィーダ トレイに表を上にしてセットします。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の一番上のページが最初に取り込まれるようにセットします。
3. コピー領域で、「**トレイ選択**」 が表示されるまで、**メニュー** を押します。
   オプションの用紙トレイが HP All-in-One に取り付けられている場合、「**トレイ選択**」 メニュー項目が表示されます。
4. ▶ を押して給紙トレイを選択し、次に **OK** を押します。
   給紙トレイを選択すると コピー メニューが表示されます。
5. コピー メニューの設定値は必要に応じて変更することができます。
6. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

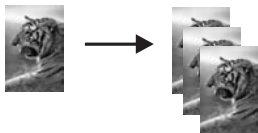
## 原稿の複数コピー

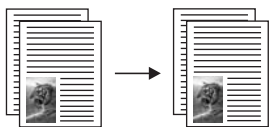
コピー メニューの 「**コピー枚数**」 オプションを使用して、印刷するコピー枚数を設定します。

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 原稿を表を下にしてガラス板の右下隅にセットするか、ドキュメント フィーダ トレイに表を上にしてセットします。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の一番上のページが最初に取り込まれるようにセットします。
3. コピー領域で、「**コピー枚数**」 が表示されるまで、**メニュー** を押します。

4. ▶ を押すか、またはキーパッドから部数を入力し、**OK** を押します。(最大コピー枚数は、モデルに応じて異なります。)

   ヒント 矢印ボタンを押し続けるとコピー枚数が 5 枚ずつ増えるので、コピー枚数が多い場合には便利です。

5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。
   下の図は、HP All-in-One で 10 x 15 cm の写真を 3 枚コピーした例です。

## 2 ページのモノクロ文書のコピー

HP All-in-One を使用すると、1 ページの文書でも複数ページの文書でもカラーまたはモノクロでコピーできます。 ここでは、HP All-in-One を使って 2 ページのモノクロ原稿をコピーする場合を例に説明します。

**コントロール パネルから 2 ページの文書をコピーするには**

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ドキュメント フィーダ トレイに原稿の表を上にして置きます。
   文書の一番上のページが最初に取り込まれるようにセットしてください。
3. **コピー スタート - モノクロ** を押します。

## 両面コピーの作成

片面または両面レターサイズ、A4サイズの原稿から両面印刷コピーができます。

注記 HP All-in-Oneに HP 自動両面印刷対応ハガキトレイが取り付けられている場合に限り、両面コピーができます。 このトレイは、一部のモデルでは標準で装備されていますが、別途購入もできます。

**コントロール パネルから両面コピーするには**

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。

コピー機能の使用

2. ドキュメント フィーダ トレイにレターサイズまたは A4 サイズの原稿をセットしてください。
文書の一番上のページが最初に取り込まれるようにセットしてください。

注記　リーガルサイズの原稿からは両面印刷コピーはできません。

3. コピー領域で、「両面」 が表示されるまで、メニュー を押します。
4. ▶ を押して、以下のいずれかの設定を選択し、次に **OK** を押します。
   – 「**1 > 1**」: 1 枚の片面の原稿から 1 枚の片面コピーを作成します。
   – 「**1 > 2**」: 2 枚の片面の原稿から 1 枚の両面コピーを作成します。
   – 「**2 > 1**」: 1 枚の両面の原稿から2枚の片面コピーを作成します。
   – 「**2 > 2**」: 1 枚の両面の原稿から 1 枚の両面コピーを作成します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

注記　両面のコピーが完了するまでトレイから用紙を取り除かないでください。

## 写真のフチ無しコピーを作成する

「ページ全体に印刷」 設定を使用して、写真のフチ無しコピーを作成できます。 原稿の縦横比を変えないでフチ無しコピーを実行すると、画像の端が切り取られる場合があります。

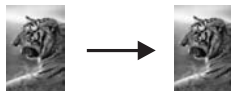
高画質で写真をコピーするときは、給紙トレイにフォト用紙をセットします。次に、コピー設定を適切な用紙の種類および写真の強調に変更します。また、フォト プリント カートリッジを使用することで、さらに印刷品質を高めることができます。 カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジをインストールすることで、6 色インクシステムが実現されます。 詳細については、フォト プリント カートリッジの使用を参照してください。

注記　フチ無しコピーを実行するには、フォト用紙またはその他の特殊用紙をセットしてください。 HP All-in-One では、用紙トレイに普通紙がセットされていることが検出されると、フチ無しコピーは実行されません。 代わりに、コピーにフチを付けます。

1. 10 x 15 cm のフォト用紙を給紙トレイにセットします。

注記　お使いのHP All-in-Oneに２つ以上の給紙トレイがあると、適切な給紙トレイを選択する必要があります。 詳細については、コピーに使用する給紙トレイの選択を参照してください。

2. 表を下にして、ガラス板の右下隅に合わせて原稿の写真をのせます。
写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3. **縮小/拡大** を押します。
「縮小/拡大」 メニューが表示されます。

4. 「ページ全体に印刷」 が表示されるまで ▶ を押して、次に 「OK」 を押します。
5. コピー スタート - カラー を押します。
   下図は、HP All-in-One で、写真原稿を 10 x 15 cm の用紙にフチ無しコピーした例です。

ヒント　出力がフチ無しにならない場合は、メニューで用紙サイズをフチ無しの適切なサイズに設定、用紙タイプを 「フォト用紙」 に設定、強調を「写真」 にしてから、もう一度やり直します。

用紙サイズを設定する詳細については、コピー用紙サイズの設定を参照してください。

用紙の種類を設定する詳細については、コピー用紙の種類の設定を参照してください。

「写真」 を強調に設定する詳細については、コピーの薄い部分の強調 を参照してください。

## 写真を用紙のサイズに合わせてコピーする

「ページ全体に印刷」 を使用すると、給紙トレイにセットされている用紙の印刷可能範囲に合わせて写真を自動的に拡大または縮小することができます。 下の例では、「ページ全体に印刷」 を選択し、10 x 15 cm の写真を用紙に合わせてフチ無しコピーを作成しています。 写真をコピーするときは、フォト プリント カートリッジを使用すると、さらに印刷品質が向上します。 カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジをセットすることで、6 色インクシステムが実現されます。 詳細は、フォト プリント カートリッジの使用を参照してください。

注記　原稿の縦横比を変えないでフチ無しコピーを実行するため、HP All-in-One で画像の端が わずかな部分でトリミングされることがあります。

注記　フチ無しコピーを実行するには、フォト用紙またはその他の特殊用紙をセットしてください。 HP All-in-One では、用紙トレイに普

通紙がセットされていることが検出されると、フチ無しコピーは実行されません。 代わりに、コピーにフチを付けます。

注記　ガラス板やカバーの裏に汚れが付着していると、この機能は正常に機能しなくなります。 詳細については、HP All-in-One のクリーニングを参照してください。

1. A4 フォト用紙またはレター用紙を給紙トレイにセットします。
   お使いのHP All-in-Oneに２つ以上の給紙トレイがあると、適切な給紙トレイを選択する必要があります。 詳細は、コピーに使用する給紙トレイの選択を参照してください。
2. 表を下にして、ガラス板の右下隅に合わせて原稿の写真をのせます。
   写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3. コピー領域で、「ページ全体に印刷」 が表示されるまで 縮小/拡大 を押します。
4. コピー スタート - カラー を押します。

ヒント　印刷物がフチ無しにならない場合は、用紙サイズを 「フチ無し 10x15 cm」 または 「フチ無し A4」、用紙の種類を 「フォト用紙」、強調を 「写真」 に設定してから、もう一度やり直します。

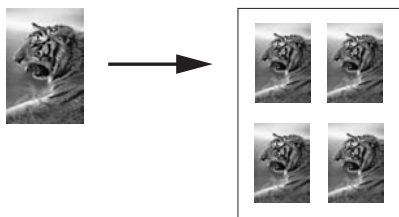
用紙のサイズを設定する詳細については、コピー用紙サイズの設定 を参照してください。

用紙の種類を設定する詳細については、コピー用紙の種類の設定を参照してください。

「写真」 を強調に設定する詳細については、コピーの薄い部分の強調 を参照してください。

## 1 ページに写真を複数コピーする

１ ページに同じ原稿のコピーを複数印刷するには、「縮小/拡大」 メニューで画像サイズを選択します。

画像サイズを選択すると、複数の写真コピーを給紙トレイにセットした用紙全体に配置するかどうか、メッセージが表示されることがあります。

**コントロール パネルから 1 ページに写真を複数コピーするには**

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。

ヒント　高画質で写真をコピーするには、給紙トレイにフォト用紙をセットしてください。

2. 表を下にして、ガラス板の右下隅に合わせて原稿の写真をのせます。
写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3. コピー領域で、「画像サイズ」 が表示されるまで **縮小/拡大** を押します。
4. ▶ を押して写真のコピー サイズを選択します。次に **OK** を押します。
選択した画像サイズによって、「ページに複数枚?」 メッセージが表示されることがあります。給紙トレイにセットした用紙に写真のコピーを複数配置するか、1 枚だけ配置して印刷するかを指定できます。
画像のサイズが大きい場合は、画像の数を選択するよう表示されることはありません。 この場合、ページにコピーされる画像は 1 つだけです。
5. 「ページに複数枚?」 メッセージが表示されたら、▶ を押して 、「はい」 または 「いいえ」 のいずれかを選択します。次に **OK** を押します。
6. **コピー スタート - カラー** を押します。

## レターまたは A4 用紙に合わせて原稿のサイズを変更

原稿の画像や文字がページ全体に配置されて、余白がない場合は、「ページに合わせる」 または 「ページ全体 91%」 を使用すると、原稿を縮小でき、用紙の端の文字や画像が不必要にトリミングされることを防ぐことができます。

ヒント　フルサイズ ページの印刷可能範囲内に合わせて、小さいサイズの写真を拡大することもできます。 オリジナルの縦横比を変えずに拡大する、または端をトリミングせずに拡大するため、HP All-in-One では端の方にある余白が不均一にそのまま残ることがあります。

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 原稿を表を下にしてガラス板の右下隅にセットするか、ドキュメント フィーダ トレイに表を上にしてセットします。
ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の一番上のページが最初に取り込まれるようにセットします。

注記 「ページに合わせる」に設定している場合、ガラス板に原稿をセットします。

3. コピー領域で、**縮小/拡大**を押します。
4. ▶ を押して、以下のいずれかの設定を選択し、次に **OK** を押します。
   – 「ページ全体 91%」: 設定する前に、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットしてください。
   – 「ページに合わせる」： 原稿の表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットしたときにこの設定を使用します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

## カスタム設定による原稿のサイズ調整

原稿のコピーを縮小または拡大する際にカスタム設定を使用できます。

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 原稿を表を下にしてガラス板の右下隅にセットするか、ドキュメント フィーダ トレイに表を上にしてセットします。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の一番上のページが最初に取り込まれるようにセットします。
3. コピー領域で、「カスタム 100%」が表示されるまで **縮小/拡大** を押して、次に **OK** を押します。
4. ◀または▶を押すか、キーパッドを使用してパーセンテージを入力しコピーを拡大または縮小します。次に**OK**を押します。
   （モデル毎のコピー値を調整するための最小および最大パーセンテージ）

   ヒント 矢印ボタンを押し続けると、拡大/縮小倍率の数字は 5 ずつ増えます。

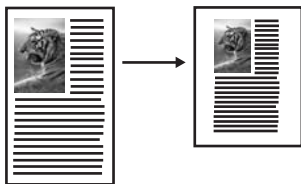
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

## リーガル サイズの文書をレター用紙にコピーする

「リーガル > レター 72%」設定を使用して、レター用紙に合うようにリーガルサイズの文書のコピーを縮小できます。

#### コントロール パネルからリーガル サイズの文書をレター用紙にコピーするには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ドキュメント フィーダ トレイに原稿の表を上にして置きます。
   文書の一番上のページが最初に取り込まれるようにドキュメント フィーダ トレイにセットします。
3. コピー領域で、「リーガル > レター 72%」が表示されるまで **縮小/拡大** を押します。

4. コピー スタート - モノクロ または コピー スタート - カラー を押します。
HP All-in-One は、以下に示すようにレター用紙の印刷可能範囲内で原稿のサイズを縮小します。

## 色あせた原稿のコピー

「薄く/濃く」 を使用すると、コピーの明るさを調節できます。 色の濃さを調整することで、コピーの色をより鮮やかに、あるいはより落ち着いたものにすることができます。

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 原稿を表を下にしてガラス板の右下隅にセットするか、ドキュメント フィーダ トレイに表を上にしてセットします。
ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の一番上のページが最初に取り込まれるようにセットします。
3. コピー領域で、「薄く/濃く」 が表示されるまで、メニュー を押します。
4. コピーの色を濃くするには ▶ を押して、次に OK を押します。

注記 コピーの色を薄くするには、◀ を押します。

5. コピー領域で、「色の濃さ」 が表示されるまで、メニュー を押します。
6. 画像をより鮮明にするには ▶ を押して、次に OK を押します。

注記 画像を薄くするには、◀ を押します。

7. コピー スタート - モノクロ または コピー スタート - カラー を押します。

## 何回もファクスされた文書のコピー

「強調」 機能を使用すると、モノクロ文字の輪郭がはっきりし、テキスト文書の品質を自動調整したり、白に見えてしまう薄い色を強調して、写真を調整することができます。

デフォルトのオプションは 「混合」 の強調です。 「混合」 強調を使用して、ほとんどの文書の文字の輪郭をはっきりさせます。

**コントロール パネルから不鮮明な文書をコピーするには**

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 原稿を表を下にしてガラス板の右下隅にセットするか、ドキュメント フィーダ トレイに表を上にしてセットします。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の一番上のページが最初に取り込まれるようにセットします。
3. コピー領域で、「**強調**」 が表示されるまで、**メニュー** を押します。
4. ▶ を押して、「**文字**」 強調設定を選択します。次に **OK** を押します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

ヒント　次のような場合は、「**写真**」 または 「**なし**」 を選択して 「**文字**」 の強調をオフにすることができます。

- コピー上で色のドットが文字の回りにはみ出している。
- 大きいモノクロ文字がまだらで、なめらかでない。
- カラーで細いオブジェクトまたは線に、黒い部分がある。
- ライト グレーからミディアム グレーの部分に、グレーがかったまたは白い帯状の横線が現れる。

## コピーの薄い部分の強調

「**写真**」 強調を使用すると、白に見えてしまう薄い色を強調することができます。「**文字**」 強調でコピーするときに起こりやすい次のような問題を解消または軽減する場合に、「**写真**」 強調は便利です。

- コピー上で色のドットが文字の回りにはみ出している。
- 大きいモノクロ文字がまだらで、なめらかでない。
- カラーで細いオブジェクトまたは線に、黒い部分がある。
- ライト グレーからミディアム グレーの部分に、グレーがかったまたは白い帯状の横線が現れる。

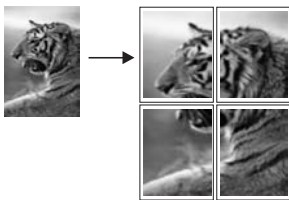
**コントロール パネルから露出過度の写真をコピーするには**

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。

   ヒント　高画質で写真をコピーするには、給紙トレイにフォト用紙をセットしてください。

2. 表を下にして、ガラス板の右下隅に合わせて原稿の写真をのせます。
   写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3. コピー領域で、「**強調**」 が表示されるまで、**メニュー** を押します。
4. ▶ を押して、「**写真**」 強調設定を選択します。次に **OK** を押します。
5. **コピー スタート - カラー** を押します。

## ポスターの作成

「ポスター」 を使用すると、原稿を分割して拡大コピーし、その分割したものを組み合わせて、1 つの大きなポスターにできます。

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。

   ヒント　写真をコピーしてポスターにする場合、高画質でコピーするにはフルサイズのフォト用紙を使用してください。

2. 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。
   写真をコピーするには、写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3. コピー領域で、「ポスター」 が表示されるまで **縮小/拡大** を押して、次に **OK** を押します。
4. ▶ を押して、ポスターのページ幅を選択します。
   デフォルトのポスター サイズは 2 ページ幅分です。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。
   ポスターの幅を選択したら、HP All-in-One では原稿の縦横比を維持するよう自動的に高さを調整します。

   ヒント　選択したポスター サイズが最大ズーム倍率を超えているため原稿を拡大できない場合は、「サイズを縮小してください」 というエラーメッセージが表示されます。 もう少し小さいポスター サイズを選択し、もう一度コピーしてください。

6. ポスターの印刷が終わったら、紙の端を切り取り、テープで綴じ合わせます。

## カラーのアイロン プリント紙の作成

画像や文字をアイロン プリント紙の上にコピーできます。さらにアイロンプリント紙にコピーした画像や文字を T シャツやまくらカバー、プレースマット、またはその他の繊維品にアイロンプリントできます。

ヒント　初めての場合は、いらなくなった衣服などを使用して、アイロン プリントの練習をすることをおすすめします。

1. アイロン プリント紙を給紙トレイにセットします。

コピー機能の使用

2. 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。
   写真をコピーするには、写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3. コピー領域で、「**用紙の種類**」 が表示されるまで、**メニュー** を押します。
4. ▶ を押して、「**アイロンプリント紙**」 または 「**アイロン左右反転用紙**」 を選択します。次に **OK** を押します。
   – カラー生地用 HP アイロンプリント紙 を使用している場合は、用紙の種類で 「**アイロンプリント紙**」 を選択します。 カラー生地用 HP アイロンプリント紙 を使用している場合は、画像を反転しなくても正しく生地にプリントされます。
   – 淡色または白地用 HP アイロン左右反転用紙 を使用している場合は、「**アイロン左右反転用紙**」 を選択します。 HP All-in-One では原稿の左右反転イメージが自動的にコピーされます。淡色または白地にアイロンプリントすると正しい向きになります。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

## デフォルトのコピー設定の変更

コピー設定をコントロール パネルまたは 「**HP ディレクタ**」 から変更すると、その変更は現在のコピー ジョブのみに適用されます。今後すべてのコピー ジョブにこのコピー設定を適用するには、その設定をデフォルト設定として保存します。

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 原稿を表を下にしてガラス板の右下隅にセットするか、ドキュメント フィーダ トレイに表を上にしてセットします。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の一番上のページが最初に取り込まれるようにセットします。
3. コピー領域で、**メニュー** を押して、必要に応じてコピー設定を変更します。
4. コピー領域で、**新しいデフォルトの設定** が表示されるまで、「**メニュー**」 を押します。
5. ▶ を押して 「**はい**」 を選択します。
6. **OK** を押して、デフォルト設定の変更を確定します。
7. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

ここで指定した設定は、HP All-in-One 本体にのみ保存されます。 ソフトウェアの設定には適用されません。 HP All-in-One に付属している「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して頻繁に使用する設定を保存できます。 詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

## コピーの中止

➔ コピーを中止するには、コントロール パネルの キャンセル を押します。

# 8 スキャン機能の使用

スキャンとは、コンピュータで使用できるように、文字や写真を電子的な形式に変換する過程のことです。 写真、雑誌記事、書類など、さまざまなものがスキャンできます。 スキャンの際は、HP All-in-One のガラス板に傷をつけないように注意してください。 スキャンした画像をメモリ カードに記録すると、携帯性がさらに向上します。

HP All-in-One のスキャン機能を使用すると、次のようなことが可能です。

- 記事からテキストをワード プロセッサにスキャンして記事の内容をレポートに取り込む。
- ロゴをスキャンし、パブリッシング ソフトウェアで使用して、名刺やカタログを印刷する。
- お気に入りの写真をスキャンして電子メールに添付し、友人や家族に送信する。
- 自宅やオフィスのデータを写真のように記録できます。
- 大切な写真を電子スクラップブックとして保存できます。

注記　市販のテキストのスキャン (光学式文字認識または OCR) を活用すると、雑誌記事や本などの印刷物の中身を編集可能なテキストとして、ワード プロセッサ （およびその他のさまざまなプログラム) に取り込むことができます。最高の読み取り結果を得るには、OCR の使用方法を知ることが大切です。OCR ソフトウェアを初めてお使いになるときは、スキャンしたテキスト文書の文字が完璧に認識されない場合があります。OCR ソフトウェアの操作は 1 つの技能なので、習得するには時間と練習が必要です。 文書、特にテキストとグラフィックの両方を含む文書のスキャンについては、OCR ソフトウェアに付属するヘルプを参照してください。

スキャン機能を使用するには、HP All-in-One とコンピュータとを接続して、電源をオンにする必要があります。 また、スキャンを実行するに先立ってコンピュータに HP All-in-One ソフトウェアをインストールし、実行しておく必要もあります。 Windows コンピュータで HP All-in-One ソフトウェアが動作していることを確認するには、画面右下の時刻の横にあるシステム トレイに HP All-in-One のアイコンが表示されていることを確認します。 Macintosh の場合、HP All-in-One ソフトウェアは常に動作しています。

注記　システム トレイにある HP Windows のアイコンを閉じると、HP All-in-One からスキャン機能の一部が失われ、「接続していません」 エラー メッセージが表示されます。 このエラー メッセージが表示された場合、コンピュータを再起動するか、または 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを起動してください。

コンピュータからのスキャン方法や、スキャン画像の調整、サイズ変更、回転、トリミング、解像度調整については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

この章では、アプリケーション、HP Instant Share の送信先、メモリ カードへスキャンする方法について説明します。 また、「**HP ディレクタ**」 からのスキャンやプレビュー画像の調整方法についても説明します。

# アプリケーションへのスキャン画像の送信

ガラス板にセットした原稿を、コントロール パネルの操作で直接スキャンすることができます。

注記　ここに示されているメニューは、お使いのコンピュータのオペレーティング システムと、「**HP Image Zone**」 でスキャン画像の送信先に設定されたアプリケーションによって、内容が異なることがあります。

### 原稿のスキャン (USB 接続)

USB ケーブルで HP All-in-One をコンピュータに直接接続している場合は、次の手順に従ってください。

1. 原稿の表を下にしてガラス板の右下隅に合わせてセットします。
2. スキャン領域で、**スキャンの送信先**を押します。
   「スキャンの送信先」メニューが表示され、スキャン画像の送信先 (アプリケーション名を含む) 一覧が表示されます。 デフォルトのスキャン先には、前回このメニューを使用したときに選択したスキャン先が指定されます。 「スキャンの送信先」メニューの設定は変更できます。 お使いのコンピュータで 「**HP Image Zone**」 を使用すると、「スキャンの送信先」メニューに表示するアプリケーションと送信先を指定できます。
3. スキャンした画像を受信するアプリケーションを指定するには、コントロール パネル ディスプレイに目的のアプリケーションが表示されるまで ▶ を押して、次に **スキャン スタート** を押します。
   スキャンのプレビュー画像が、コンピュータの 「**HP スキャン**」 ウィンドウに表示されます。最終的なスキャンを行う前に、このプレビュー画面で変更を加えることができます。 プレビュー画像に加えられた変更は元の画像ファイルには保存されません。
   プレビュー画像の編集の詳細については、ソフトウェアに付属するオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。
4. 「**HP スキャン**」 ウィンドウでプレビュー画像を編集します。 編集が終了したら、「**適用**」 をクリックします。
   スキャン画像が HP All-in-One から選択したアプリケーションに送信されます。たとえば、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを送信先に選択している場合は、HP Image Zone が自動的に開いて、画像を表示します。

### 原稿のスキャン (ネットワーク接続)

ご使用の HP All-in-One がネットワークを経由して 1 台以上のコンピュータに接続している場合は、次の手順に従ってください。

1. 原稿の表を下にしてガラス板の右下隅に合わせてセットします。
2. スキャン領域で、**スキャンの送信先**を押します。
「スキャンの送信先」メニューが表示され、オプションが一覧で表示されます。
3. ▶ を押し、「**コンピュータの選択**」 を押して、次に **OK** を押します。
「**コンピュータの選択**」 メニューが表示され、HP All-in-One に接続されているコンピュータが一覧表示されます。

   **注記** 「**コンピュータの選択**」 には、ネットワーク接続されているコンピュータの他に、USB 接続されているコンピュータも一覧に表示されることがあります。

4. デフォルトのコンピュータを選択するには、**OK** を押してください。 別のコンピュータを選択するには、▶ を押して目的のコンピュータを選択し、次に **OK** を押します。 コンピュータのアプリケーションにスキャン画像を送信するには、メニューからお使いのコンピュータを選択します。
「スキャンの送信先」メニューが表示され、スキャン画像の送信先 (アプリケーション名を含む) 一覧が表示されます。 デフォルトのスキャン先には、前回このメニューを使用したときに選択したスキャン先が指定されます。 お使いのコンピュータで 「**HP Image Zone**」 を使用して、「スキャンの送信先」メニュー に表示する送信先を指定します。 詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。
5. スキャン画像を受信するアプリケーションを選択するには、▶ を押して目的のアプリケーションを選択し、次に **OK** または **スキャン スタート** を押します。
「**HP Image Zone**」 を選択すると、コンピュータの 「**HP スキャン**」 ウィンドウにスキャンのプレビュー画像が表示されます。ここから編集ができます。
6. 「**HP スキャン**」 ウィンドウでプレビュー画像を編集します。 編集が終了したら、「**適用**」 をクリックします。
スキャン画像が HP All-in-One から選択したアプリケーションに送信されます。たとえば、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを送信先に選択している場合は、HP Image Zone が自動的に開いて、画像を表示します。

## HP Instant Share の送信先へのスキャン画像の送信

HP Instant Share を使用すると、電子メールのメッセージ、オンライン フォト アルバム、高画質プリントで写真を家族や友人と共有できます。

注記　一部の国/地域では、写真印刷のオンライン注文は利用できません。

このセクションでは、USB 接続のデバイスおよびネットワーク接続のデバイスからスキャンした画像を共有する方法について説明します。

### 友人や家族とスキャンした画像を共有 (USB接続デバイス)

スキャンした画像を共有するには、本体のコントロール パネルにある **スキャンの送信先** ボタンを押します。**スキャンの送信先** ボタンを使用する場合は、表を下にして画像をガラス板の上に置き、画像の送信先を選択してから、スキャンを開始します。

注記　以前にネットワークで HP Instant Share をセットアップしている場合、USB接続のデバイスでは、HP Instant Share を使用できません。

1. 原稿の表を下にして原稿ガラスの右下隅または (ドキュメント フィーダ トレイを使用している場合は) ドキュメント トレイにセットします。
2. スキャン領域で、**スキャンの送信先**を押します。
「スキャンの送信先」メニューが、コントロール パネル ディスプレイに表示されます。
3. ▶ を使用して、「**HP Instant Share**」 を強調表示します。
4. **OK** ボタンを押して、送信先を指定し、画像をスキャンします。
画像がスキャンされ、コンピュータにアップロードされます。
Windows をご使用の場合、コンピュータで 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアが起動します。 「**HP Instant Share**」 タブが開きます。選択トレイ に、スキャンした画像のサムネイルが表示されます。 「**HP Image Zone**」 の詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。
Macintosh をご使用の場合、コンピュータで 「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアが起動します。「**HP Instant Share**」 ウィンドウに、スキャンした画像のサムネイルが表示されます。

注記　Machintosh OS X v10.1.5 以前または OS 9 をご使用の場合、スキャンした画像はMacintosh の 「**HP ギャラリ**」 にアップロードされます。 「**メール送信**」 をクリックします。 コンピュータの画面に表示される指示に従うと、画像を電子メールの添付ファイルとして送信できます。

HP Instant Share を使用してスキャンを共有するには、コンピュータに表示されるメッセージに従ってください。

### 友人や家族とスキャン画像を共有 （ネットワーク接続）

スキャンした画像を共有するには、本体のコントロール パネルにある **スキャンの送信先** ボタンを押します。**スキャンの送信先** ボタンを使用する場合は、

表を下にして画像をガラス板の上に置き、画像の送信先を選択してから、スキャンを開始します。

ネットワーク接続の HP All-in-One でスキャンした画像を共有する前に、コンピュータに 「**HP Image Zone**」 をインストールする必要があります。 コンピュータに 「**HP Image Zone**」 をインストールする方法の詳細については、 HP All-in-One に付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

1. 原稿の表を下にして原稿ガラスの右下隅または (ドキュメント フィーダ トレイを使用している場合は) ドキュメント トレイにセットします。
2. スキャン領域で、**スキャンの送信先**を押します。
「スキャンの送信先」メニューが、コントロール パネル ディスプレイに表示されます。
3. ▶ を押し、「**コンピュータの選択**」 を押して、次に **OK** を押します。
「**コンピュータの選択**」 メニューが、コントロール パネル ディスプレイに表示されます。
4. ▶ を押してスキャン画像の送信先を選択し、次に **OK** を押します。
「アプリケーションへのスキャン画像の送信」メニューが表示されます。
5. ▶ を押して 「**HP Instant Share**」 を選択し、次に **OK** を押します。
6. 画像がスキャンされ、選択した送信先に送信されます。

## メモリ カードにスキャン画像を保存

スキャンした画像は、HP All-in-One のメモリ カード スロットに現在挿入されているメモリ カードに JPEG 画像として送信することができます。 また、メモリ カード機能を使用すると、スキャンした画像からフチなしプリントを作成したり、アルバム ページを作成したりできます。 また、メモリ カードをサポートしているほかのデバイスから、スキャンした画像にアクセスすることもできます。

### HP All-in-One 内のメモリ カードへスキャン画像を保存 (USB 接続)

スキャンした画像をJPEG画像としてメモリ カードに送信できます。このセクションでは、お使いのHP All-in-OneがUSBケーブルで直接コンピュータに接続されている場合の過程について説明します。HP All-in-One にメモリ カードが挿入されていることを確認してください。

1. 原稿の表を下にしてガラス板の右下隅に合わせてセットします。
2. スキャン領域で、コントロール パネル ディスプレイに 「**メモリ カード**」 が表示されるまで **スキャンの送信先** を押します。
3. **OK** を押します。
HP All-in-One によって画像がスキャンされ、そのファイルがメモリ カードに JPEG 形式で保存されます。

### HP All−in−One 内のメモリ カードへスキャン画像を送信 (ネットワーク接続)

スキャンした画像をJPEG画像としてメモリ カードに送信できます。このセクションでは、お使いのHP All−in−Oneがネットワークに接続されている場合の手順について説明します。

1. 原稿の表を下にしてガラス板の右下隅に合わせてセットします。
2. スキャン領域で、コントロール パネル ディスプレイに 「**メモリ カード**」 が表示されるまで **スキャンの送信先** を押します。
3. **OK** を押します。
   HP All−in−One によって画像がスキャンされ、そのファイルがメモリ カードに JPEG 形式で保存されます。

## スキャンの中止

➔ スキャンを中止するには、コントロール パネルの **キャンセル** を押します。または、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアで 「**キャンセル**」 をクリックします。

# 9 コンピュータからの印刷

HP All−in−One は印刷が可能な任意のソフトウェアから使用できます。Windows PC から印刷するか Macintosh から印刷するかによって、手順は多少異なります。この章では、使用しているオペレーティング システム用の説明に従ってください。

この章で説明する印刷機能に加えて、フチ無し印刷、ニュース レター、バナ-などの特殊な印刷ジョブを印刷することができます。メモリ カード、または PictBridge をサポートするデジタル カメラからの画像の直接印刷、また 「**HP Image Zone**」 の印刷プロジェクトでスキャンした画像の使用などが可能です。

- メモリ カードまたはデジタル カメラからの印刷の詳細については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用を参照してください。
- 特殊な印刷ジョブや 「**HP Image Zone**」 での画像印刷の詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

## ソフトウェア アプリケーションからの印刷

プリント設定のほとんどは、プリント元のソフトウェア アプリケーションか HP の ColorSmart テクノロジかによって自動的に処理されます。印刷の品質の変更、特定の種類の用紙やフィルムに印刷、特殊機能の使用にのみ、手動で設定を変更する必要があります。

**文書の作成に使用したソフトウェア アプリケーションから印刷するには (Windows ユーザー)**

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションで、「**ファイル**」 メニューの 「**印刷**」 をクリックします。
3. HP All−in−One をプリンタとして選択します。
4. 設定を変更する必要がある場合は、「**プロパティ**」 ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。
   ソフトウェア アプリケーションによっては、このボタンは 「**プリファレンス**」、「**プロパティ**」、「**オプション**」、「**プリンタ設定**」、「**プリンタ**」 などの名前になっています。
5. 「**用紙/品質**」、「**レイアウト**」、「**機能**」、「**基本設定**」、「**カラー**」 タブなどで、印刷ジョブのための適切なオプションを選択します。

   ヒント 「**印刷ショートカット**」 タブで定義済みの印刷タスクのいずれか 1 つを選択すると、現在の印刷ジョブに適したオプションを簡単に選択できます。「**実行する印刷タスク**」 一覧で、印刷タスクの種類をクリックします。 その種類の印刷タスクのデフォルト設定が設定されて、「**印刷機能のショートカット**」 タブに表示されます。 必要に応じて、ここで設定を調整するか、または

「プロパティ」 ダイアログ ボックスのその他のタブで変更することができます。

6. 「**OK**」 をクリックして、「**プロパティ**」 ダイアログ ボックスを閉じます。
7. 印刷を開始するには、「**印刷**」 か 「**OK**」 をクリックします。

**文書の作成に使用したソフトウェア アプリケーションから印刷するには (Macintosh ユーザー)**

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 印刷を開始する前に、「**セレクタ**」 (OS 9)、「**プリント センター**」 (OS 10.2 以前)、または 「**プリント設定ユーティリティ**」 (OS 10.3 以降) で HP All-in-One を選択します。
3. お使いのソフトウェア アプリケーションの 「**ファイル**」 メニューで 「**ページ設定**」 を選択します。
   「**ページ設定**」 ダイアログ ボックスが表示され、用紙のサイズ、方向、倍率を指定することができます。
4. ページ属性を選択します。
   – 用紙のサイズを選択します。
   – 方向を選択します。
   – 倍率を入力します。

   注記 OS 9 では 「**ページ設定**」 ダイアログ ボックスに、画像の左右反転オプションと、両面印刷用の用紙余白調整オプションがあります。

5. 「**OK**」をクリックします。
6. お使いのソフトウェア アプリケーションの 「**ファイル**」 メニューで 「**プリント**」 を選択します。
   「**プリント**」 ダイアログ ボックスが表示されます。 OS 9 を使用している場合は、「**全般**」 パネルが開きます。 OS X を使用している場合は、「**印刷部数と印刷ページ**」 パネルが開きます。
7. 印刷するプロジェクトに適するように、ポップアップ メニューでそれぞれのオプションの印刷設定を変更します。
8. 印刷を開始するには、「**プリント**」 をクリックします。

# 印刷設定の変更

HP All-in-One の印刷設定をカスタマイズして、ほぼすべての印刷タスクを取り扱うことができます。

## Windows ユーザーの場合

印刷設定を変更する前に、現在の印刷ジョブの設定のみを変更するのか、その設定をこれ以後のすべての印刷ジョブのデフォルトに設定するのか決める必要があります。印刷設定の表示方法は、変更をこれ以後のすべての印刷ジ

ョブに適用するのか、現在の印刷ジョブにだけ適用するのかによって異なります。

**今後すべての印刷ジョブに適用される設定値の変更**

1. 「**HP ディレクタ**」で、「**設定**」をクリックし、「**印刷設定**」をポイントして、次に「**印刷設定**」をクリックします。
2. 印刷設定を変更し、「**OK**」をクリックします。

**現在のジョブに対して印刷設定を変更するには**

1. お使いのソフトウェア アプリケーションで、「**ファイル**」メニューの「**印刷**」をクリックします。
2. HP All-in-One がプリンタに選択されていることを確認します。
3. 「**プロパティ**」ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。ソフトウェア アプリケーションによっては、このボタンは「**プリファレンス**」、「**プロパティ**」、「**オプション**」、「**プリンタ設定**」、「**プリンタ**」などの名前になっています。
4. 印刷設定を変更し、「**OK**」をクリックします。
5. ジョブを印刷するには、「**印刷**」ダイアログ ボックスで「**印刷**」または「**OK**」をクリックします。

## Macintosh ユーザーの場合

印刷ジョブの設定を変更するには、「**ページ設定**」と「**プリント**」ダイアログ ボックスを使用します。使用するダイアログ ボックスは、設定の変更によります。

**用紙のサイズ、方向、倍率 (%) を変更するには**

1. 印刷を開始する前に、「**セレクタ**」(OS 9)、「**プリント センター**」(OS 10.2 以前)、または「**プリンタ設定ユーティリティ**」(OS 10.3 以降) で HP All-in-One を選択します。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションの「**ファイル**」メニューで「**ページ設定**」を選択します。
3. 用紙のサイズ、方向、倍率 (%) の設定を変更し、「**OK**」をクリックします。

**その他のすべての印刷設定を変更するには**

1. 印刷を開始する前に、「**セレクタ**」(OS 9)、「**プリント センター**」(OS 10.2 以前)、または「**プリンタ設定ユーティリティ**」(OS 10.3 以降) で HP All-in-One を選択します。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションの「**ファイル**」メニューで「**プリント**」を選択します。
3. 印刷設定を変更し、「**プリント**」をクリックしてジョブを印刷します。

## 印刷ジョブの中止

印刷ジョブを中止する場合、HP All-in-One とコンピュータの両方から操作できますが、HP All-in-One から中止することをおすすめします。

**HP All-in-One から印刷ジョブを中止するには**

➔ コントロール パネルで、**キャンセル** を押します。 コントロール パネル ディスプレイに表示される 「**印刷取消済**」 メッセージを確認します。このメッセージが表示されない場合は、**キャンセル** ボタンをもう一度押します。

# 10 ファクスのセットアップ

セットアップ ガイドで行うすべての手順が完了したら、この章の説明を読みファクスのセットアップを行ってください。セットアップ ガイドは後で使用できるように保管してください。

ここでは、同じ電話回線で HP All-in-One と他の機器やサービスを一緒に使用しても正常にファクスできるよう、HP All-in-One のセットアップ方法を説明します。

ヒント 「**ファクス セットアップ ウィザード**」 (Windows) または「**セットアップ アシスタント**」 (Macintosh) を使用して、応答モードやファクスのヘッダ情報などの重要なファクス設定を簡単に設定することもできます。 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアから 「**ファクス セットアップ ウィザード**」 (Windows) または 「**セットアップ アシスタント**」 (Macintosh) にアクセスできます。 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用するための詳細については、HP Image Zone による HP All-in-One のフル活用を参照してください。 「**ファクス セットアップ ウィザード**」 (Windows) または 「**セットアップ アシスタント**」 (Macintosh) を起動したら、本章の手順にしたがってファクスの設定を行います。

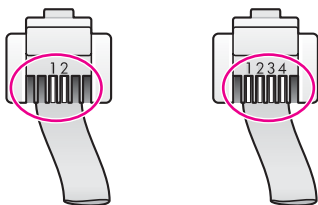
HP All-in-One のファクス機能のセットアップを開始する前に、お住まいの国または地域でどのタイプの電話システムを使用しているか確認します。HP All-in-One のファクス機能のセットアップの説明は、パラレル方式またはシリアル方式のどちらの電話方式を使用しているかによって異なります。

- 共用電話機 (モデム、電話機、留守番電話など) のコネクタ タイプが、HP All-in-One の「2-EXT」ポートに物理的に接続できず、壁側のモジュラー ジャックに接続する必要がある場合、シリアル タイプの電話方式をご使用のはずです。お住まいの国または地域が下記の表にあるか、確認してください。シリアル方式またはパラレル方式のどちらの電話方式かわからない場合は、最寄りの電話会社にお問い合わせください。このタイプの電話システムは、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに接続するために 4 線式コードを使用します。
- お住まいの国または地域が下記の表にあれば、パラレル タイプの電話方式をご使用のはずです。このタイプの電話システムは、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに接続するために 2 線式コードを使用します。

| | | |
|---|---|---|
| アルゼンチン | オーストラリア | ブラジル |
| カナダ | チリ | 中国 |
| コロンビア | ギリシャ | インド |

(続き)

| インドネシア | アイルランド | 日本 |
|---|---|---|
| 韓国 | 中南米 | マレーシア |
| メキシコ | フィリピン | ポーランド |
| ポルトガル | ロシア | サウジアラビア |
| シンガポール | スペイン | 台湾 |
| タイ | アメリカ | ベネズエラ |
| ベトナム | | |

ヒント　HP All-in-One に付属の電話コードの端を確認して判別することもできます。電話コードの線が 2 本のようであれば、2 線式電話コードです。電話コードの線が 4 本のであれば、4 線式電話コードです。下図で電話コードの違いを参照できます。

## 自宅またはオフィスに合ったセットアップの選択

ファクスを正常に使用するには、同じ電話回線で HP All-in-One とともに何か機器やサービスを使用する場合、その種類を知っておく必要があります。既存のオフィス機器を HP All-in-One に直接接続しなければならない場合に重要です。 また、正常にファクスするには、ファクスの設定を一部変更しなければならないこともあります。

自宅またはオフィスに合った HP All-in-One のセットアップ方法を調べるには、まずこのセクションの質問を最後まで読んで答えてみてください。そして、1 つ後のセクションにある表から、ご自分の答えに対するセットアップ方法を選択してください。

以下の質問は必ず順番に読んでお答えください。

1. 電話会社からデジタル加入者線 (DSL) を利用していますか。
   - ❑ はい、DSL を利用しています。
   - ❑ いいえ。

「はい」とお答えの方は ケース B: DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ に進んでください。ここから先の質問に答える必要はありません。

「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。

2. 構内交換機 (PBX) システムまたは統合サービス デジタル通信網 (ISDN) システムを利用していますか。

   「はい」とお答えの方は ケース C: PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップ に進んでください。ここから先の質問に答える必要はありません。

   「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。

3. 複数の電話番号が与えられ、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変えられる、電話会社の着信識別サービスを利用していますか。

   ❑ はい、着信識別サービスを利用しています。

   ❑ いいえ。

   「はい」とお答えの方は ケース D: 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する に進んでください。ここから先の質問に答える必要はありません。

   「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。

   この着信識別サービスでは、電話番号ごとに異なる呼び出し音パターンを使用します。シングル呼び出し音、ダブル呼び出し音、トリプル呼び出し音など、番号によって違う呼び出し音パターンを使用できます。一方の電話番号をシングル呼び出し音にして電話用に、もう一方の電話番号をダブル呼び出し音にしてファクス用に割り当てることができます。こうしておけば、電話が鳴ったときに電話かファクスかがわかります。

4. 同じ電話番号で HP All-in-One ファクスと電話を一緒に利用しますか。

   ❑ はい、電話も受け取ります。

   ❑ いいえ。

   続けて質問にお答えください。

5. HP All-in-One と同じ電話回線でコンピュータ モデムも利用しますか。

   ❑ はい、コンピュータ モデムを利用します。

   ❑ いいえ。

   次のいずれかに当てはまる場合は、コンピュータ モデムを利用しています。

   – ダイアルアップ接続でコンピュータのソフトウェア プログラムから直接ファクスを送受信している
   – ダイアルアップ接続でコンピュータから電子メールのメッセージを送受信している
   – ダイアルアップ接続でコンピュータからインターネットを利用している

   続けて質問にお答えください。

6. 同じ電話番号で HP All-in-One ファクスと留守番電話を一緒に利用しますか。
   ❑ はい、留守番電話も利用します。
   ❑ いいえ。

   続けて質問にお答えください。
7. 同じ電話番号で HP All-in-One ファクスと電話会社からのボイスメールサービスを一緒に利用しますか。
   ❑ はい、ボイスメールサービスを利用します。
   ❑ いいえ。

   質問にすべて答えたら、次のセクションに進み、適切なファクス セットアップを選択します。



## 適切なファクス セットアップの選択

これで、同じ電話回線で HP All-in-One と機器やサービスを一緒に利用する場合の質問はすべて終了です。自宅またはオフィスに合ったセットアップを選択できます。

表の 1 列目から、自宅やオフィスの設定に当てはまる機器とサービスの組み合わせを選択してください。ご使用の電話方式に合わせて、2 列目、3 列目から適切なセットアップを選択します。各方法については、この後手順を追って説明します。

前述の質問にすべて答えたが、どの機器やサービスも利用していなかった場合は、表の 1 列目から「なし」を選択してください。

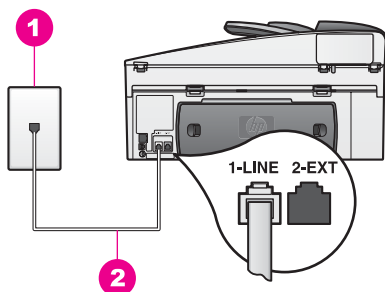
注記　自宅またはオフィスのセットアップがこの章で説明されていない場合、HP All-in-One を通常のアナログ電話のようにセットアップします。HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。他の電話コードを使用している場合は、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。

| ファクスと一緒に利用する機器やサービス | パラレル方式に推奨するファクス セットアップ | シリアル方式に推奨するファクス セットアップ |
|---|---|---|
| なし<br>(すべての質問に「いいえ」と回答した場合) | ケース A: 単独のファクス回線 (電話の着信なし) | ケース A: 単独のファクス回線 (電話の着信なし) |
| DSL サービス<br>(質問 1 にだけ「はい」と回答した場合) | ケース B: DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ | ケース B: DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ |
| PBX または ISDN システム<br>(質問 2 にだけ「はい」と回答した場合) | ケース C: PBX システムまたは ISDN 回線の環境で | ケース C: PBX システムまたは ISDN 回線の環境 |

(続き)

| ファクスと一緒に利用する機器やサービス | パラレル方式に推奨するファクス セットアップ | シリアル方式に推奨するファクス セットアップ |
|---|---|---|
| | HP All-in-One をセットアップ | で HP All-in-One をセットアップ |
| 着信識別サービス<br>(質問 3 にだけ「はい」と回答した場合) | ケース D: 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する | ケース D: 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する |
| 電話<br>(質問 4 にだけ「はい」と回答した場合) | ケース E:電話とファクスを一緒に利用する | ケース E:電話とファクスを一緒に利用する |
| 電話とボイスメールサービス<br>(質問 4 と 7 にだけ「はい」と回答した場合) | ケース F: 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する | ケース F: 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する |
| コンピュータのモデム<br>(質問 5 にだけ「はい」と回答した場合) | ケース G: 同じ回線でファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし) | 該当せず: |
| 電話とコンピュータ モデム<br>(質問 4 と 5 にだけ「はい」と回答した場合) | ケース H: 電話とファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する | 該当せず: |
| 電話と留守番電話<br>(質問 4 と 6 にだけ「はい」と回答した場合) | ケース I:電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する | 該当せず: |
| 電話とコンピュータ モデムと留守番電話<br>(質問 4 と 5 と 6 にだけ「はい」と回答した場合) | ケース J: 電話とファクスとコンピュータ モデムと留守番電話を一緒に利用する | 該当せず: |
| 電話とコンピュータ モデムとボイスメールサービス<br>(質問 4 と 5 と 7 にだけ「はい」と回答した場合) | ケース K: 電話とファクスとコンピュータ モデムとボイスメールを一緒に利用する | 該当せず: |

# ケース A: 単独のファクス回線 (電話の着信なし)

電話を受け付けない単独の電話回線を利用し、この電話回線に機器を何も接続しない場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

**HP All-in-One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | 「1-LINE」ポートに接続した HP All-in-One 付属の電話コード |

**単独のファクス回線の環境に HP All-in-One をセットアップするには**

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

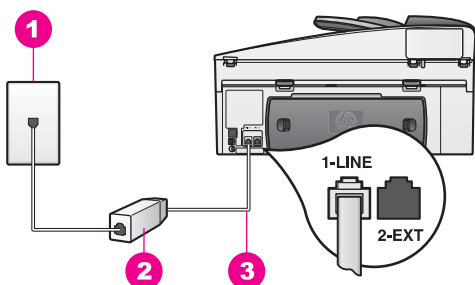
   注意　付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP All-in-One に付属の電源コードの長さが十分でないを参照してください。

2. 着信に自動的に応答するよう HP All-in-One を設定する ランプが点灯するまで**自動応答**ボタンを押します。
3. 「応答呼出し回数」 設定を呼び出し 1 回もしくは呼び出し 2 回に変更します。
   この設定の変更については、応答するまでの呼出し回数を設定するを参照してください。
4. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

電話が鳴ると、「応答呼出し回数」 で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後に HP All-in-One が自動応答します。そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

## ケース B: DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ

電話会社から DSL サービスを利用する場合は、次のように壁側のモジュラージャックと HP All-in-One の間に DSL フィルタを取り付けます。DSL フィルタは、HP All-in-One が電話線とうまくやり取りするのを妨害するデジタル信号を除去します。(DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています。)

注意　DSL を利用しているのにこの DSL フィルタを取り付けないと、HP All-in-One でファクスを送受信できなくなります。

**HP All-in-One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | DSL プロバイダから支給された DSL フィルタおよびコード |
| 3 | 「1-LINE」ポートに接続した HP All-in-One 付属の電話コード |

**DSL の環境で HP All-in-One をセットアップするには**

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。
2. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタの空きポートに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

   注意　付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。

3. DSL フィルタのコードを壁側のモジュラージャックに接続します。
4. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

## ケース C: PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップ

PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合、次の指示に従ってください。

- PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合は、ファクスおよび電話用のポートに HP All-in-One が接続されていることを確認してください。また、ターミナル アダプタがお住まいの国/地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。

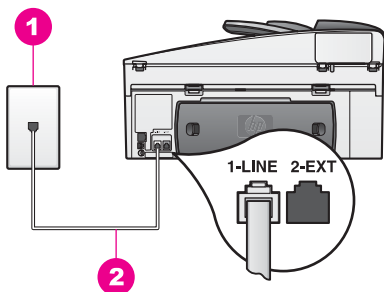
注記　ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機器に応じてポートを設定できるようになっているものがあります。たとえば、電話と G3 規格のファクスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。ISDN コンバータのファクス/電話ポートに接続しているときに問題が発生する場合は、多目的用のポート（「多目的」と書かれている場合があります）を使用してください。

- PBX システムを使用している場合は、電話の保留音送出機能をオフにします。

注意　多くのデジタル PBX システムでは、電話の保留音送出機能が工場出荷時の設定で「オン」になっています。電話の呼び出し音は、ファクス送信の妨害となり、HP All-in-One でファクスの送受信ができなくなります。電話の呼び出し音をオフにする方法については、PBX システム付属のマニュアルを参照してください。

- PBX システムを使用している場合は、ファクス番号をダイヤルする前に外線番号をダイヤルします。
- 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP All-in-One に付属の電源コードの長さが十分でない を参照してください。

# ケース D: 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する

1 本の電話回線に複数の電話番号があり、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変える、電話会社の着信識別サービスを利用している場合、次のように HP All-in-One を設定します。

**HP All-in-One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | 「1-LINE」ポートに接続した HP All-in-One 付属の電話コード |

**着信識別サービスの環境で HP All-in-One をセットアップするには**

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

注意　付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP All-in-One に付属の電源コードの長さが十分でないを参照してください。

2. 着信に自動的に応答するよう HP All-in-One を設定します。 ランプが点灯するまで **自動応答** ボタンを押します。
3. 「**応答呼び出し音のパターン**」 設定を、電話会社がファクス番号に割り当てていたパターンに変更します。 例えば、呼び出し2回 や 呼び出し3回 に変更します。
この設定の変更については、応答呼び出し音のパターンの変更 (着信識別音) を参照してください。

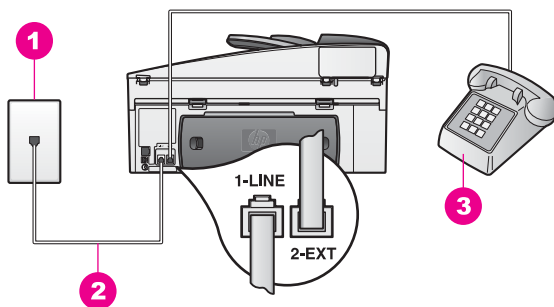
注記　HP All-in-One の工場出荷時の初期設定では、すべての呼び出し音パターンに応答するよう設定されています。電話会社がファクスに割り当てていた呼び出し音のパターンを正しく設定しないと、HP All-in-One が電話とファクスの両方の呼び出し音に応答

してしまったり、まったく応答しなくなったりすることがあります。

4. 「**応答呼出し回数**」 設定を呼び出し 1 回もしくは呼び出し 2 回に変更します。
   この設定の変更については、応答するまでの呼出し回数を設定する を参照してください。
5. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

「**応答呼び出し音のパターン**」 設定で選択した呼び出し音パターンで、「**応答呼出し回数**」 設定で選択した数だけ呼び出し音が鳴ると、HP All-in-One が着信音に自動応答します。そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

## ケース E:電話とファクスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にオフィス機器 (またはボイスメールサービス) を何も接続しない場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

**HP All-in-One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | 「1-LINE」ポートに接続した HP All-in-One 付属の電話コード |
| 3 | 電話機 |

**電話とファクスの共有回線環境に HP All-in-One をセットアップするには**

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

注意　付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法に

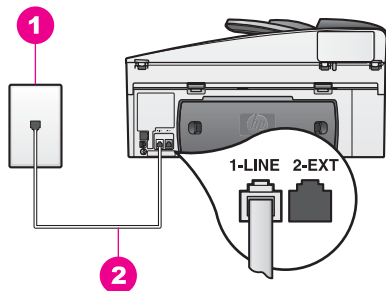
ついて、HP All-in-One に付属の電源コードの長さが十分でないを参照してください。

2. 電話システムによって、次のいずれかの操作を行います。
   – パラレル方式の電話システムを使用している場合、HP All-in-One の背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。
   – シリアル タイプの電話システムを使用している場合、電話機を直接壁側のモジュラージャックに接続できます。
3. ここで、HP All-in-One でのファクス呼び出し音の応答方法を決めます。 自動と手動の 2 通りがあります。
   – 着信に自動で応答する設定の場合は、HP All-in-One がすべての着信に応答し、ファクスを受信します。 HP All-in-One では、ファクスの受信と電話の着信の違いを識別できません。電話の呼び出し音だと思う場合は、HP All-in-One が応答する前に電話を取ってください。
     ファクスの呼び出しに自動応答するには、ランプが点灯するまで **自動応答** ボタンを押します。
   – ファクスを手動で受信するように HP All-in-One を設定した場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、HP All-in-One でファクスを受信できません。
     ファクスの呼び出しに手動で応答するには、**自動応答** ボタンを押してランプを消します。
4. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

HP All-in-One より前に電話を取って、送信側ファクスからファクスのトーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答しなければなりません。 詳細については、ファクスの手動受信を参照してください。

## ケース F: 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、電話会社からボイスメールサービスも利用する場合は、次のように HP All-in-One を接続します。

**注記** ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。 この場合、ファクスを手動で受信しなければならないため、ファクスの受信時にユーザー自身が本製品を操作できる場所にいる必要があります。これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。

**HP All-in-One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | 「1-LINE」ポートに接続した HP All-in-One 付属の電話コード |

**ボイスメールサービスの環境で HP All-in-One をセットアップするには**

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

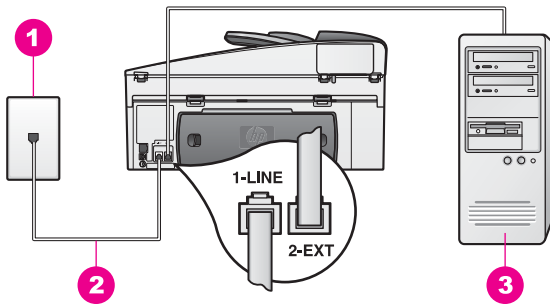
注意　付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP All-in-One に付属の電源コードの長さが十分でない を参照してください。

2. 着信に手動で応答するよう HP All-in-One を設定するランプが消灯するまで**自動応答**ボタンを押します。
3. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

ファクス着信に直接応答してください。 そうしないと HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。 ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信 を参照してください。

## ケース G: 同じ回線でファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)

電話を受け付けないファクス回線を利用し、この回線にコンピュータ モデムを接続する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

コンピュータ モデムと HP All-in-One が同じ電話回線を利用しているため、コンピュータ モデムと HP All-in-One を同時にファクスに使用することはできなくなります。たとえば、コンピュータ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All-in-One をファクスには使用できません。

**HP All−in−One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | 「1-LINE」ポートに接続した HP All−in−One 付属の電話コード |
| 3 | モデム搭載コンピュータ |

**コンピュータ モデムの環境で HP All−in−One をセットアップするには**

1. HP All−in−Oneの背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All−in−Oneの背面の「2-EXT」と書かれているポートに差し込みます。
3. HP All−in−One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All−in−One の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

注意　付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP All−in−One を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP All−in−One に付属の電源コードの長さが十分でないを参照してください。

4. コンピュータ モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

注意　コンピュータ モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All−in−Oneでファクスを受信できなくなります。

5. 着信を自動的に受信するように HP All−in−One を設定してください。 ランプが点灯するまで**自動応答** ボタンを押します。

ファクスのセットアップ

6. 「**応答呼出し回数**」 設定を呼び出し 1 回もしくは呼び出し 2 回に変更します。
   この設定の変更については、応答するまでの呼出し回数を設定する を参照してください。
7. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

電話が鳴ると、「**応答呼出し回数**」 で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後に HP All-in-One が自動応答します。そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。



## ケース H: 電話とファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にコンピュータ モデムも接続する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

コンピュータ モデムと HP All-in-One が同じ電話回線を利用しているため、コンピュータ モデムと HP All-in-One を同時にファクスに使用することはできなくなります。たとえば、コンピュータ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All-in-One をファクスには使用できません。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータに HP All-in-One をセットアップする方法は 2 種類あります。はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータの電話ポートが 1 つなら、次のセクション電話ポートが 1 つのコンピュータに HP All-in-One をセットアップするを参照してください。 下の図のような、パラレル スプリッタ (カプラ) を購入する必要があります。(パラレル スプリッタは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります)。

**パラレル スプリッタの例**

- コンピュータの電話ポートが 2 つなら、電話ポートが 2 つのコンピュータに HP All-in-One をセットアップする を参照してください。

## 電話ポートが 1 つのコンピュータに HP All−in−One をセットアップする

このセクションでは、コンピュータの電話ポートが 1 つだけの場合に、コンピュータ モデム環境で HP All−in−One をセットアップする方法を説明します。

**HP All−in−One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | 「2-EXT」 ポートに接続した電話コード |
| 3 | パラレル スプリッタ |
| 4 | 電話 |
| 5 | モデム搭載コンピュータ |
| 6 | 「1-LINE」ポートに接続した HP All−in−One 付属の電話コード |

**電話ポートが 1 つのコンピュータに HP All−in−One をセットアップするには**

1. コンピュータ (コンピュータ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。 壁側のモジュラージャックからコードを外し、パラレル スプリッタの電話ポートが 2 つある側に差し込みます。
2. HP All−in−One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All−in−One の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

**注意** 付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP All−in−One を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP All−in−One に付属の電源コードの長さが十分でないを参照してください。

3. HP All−in−Oneの背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。

4. 別の電話コードを使用して、HP All−in−One の背面の「2-EXT」と書かれたポートに一方の端を接続します。電話コードのもう一方の端は、パラレル スプリッタの電話ポートが 1 つある側に接続します。
5. コンピュータ モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   **注意** コンピュータ モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All−in−Oneでファクスを受信できなくなります。

6. 電話をパラレル スプリッタのもう一方の電話ポートに接続します。
7. ここで、HP All−in−One でのファクス呼び出し音の応答方法を決めます。自動と手動の 2 通りがあります。
   – 着信に自動で応答する設定の場合は、HP All−in−One がすべての着信に応答し、ファクスを受信します。 HP All−in−One では、ファクスの受信と電話の着信の違いを識別できません。電話の呼び出し音だと思う場合は、HP All−in−One が応答する前に電話を取ってください。
     ファクスの呼び出しに自動応答するには、ランプが点灯するまで **自動応答** ボタンを押します。
   – ファクスを手動で受信するように HP All−in−One を設定した場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、HP All−in−One でファクスを受信できません。
     ファクスの呼び出しに手動で応答するには、**自動応答** ボタンを押してランプを消します。
8. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

ファクスのセットアップ

HP All−in−One より前に電話を取って、送信側ファクスからファクスのトーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答しなければなりません。 詳細については、ファクスの手動受信を参照してください。

## 電話ポートが 2 つのコンピュータに HP All−in−One をセットアップする

このセクションでは、コンピュータの電話ポートが 2 つの場合に、コンピュータ モデム環境で HP All−in−One をセットアップする方法を説明します。

**HP All−in−One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | コンピュータの「IN」電話ポート |
| 3 | コンピュータの「OUT」電話ポート |
| 4 | 電話 |
| 5 | モデム搭載コンピュータ |
| 6 | 「1-LINE」ポートに接続した HP All−in−One 付属の電話コード |

**電話ポートが 2 つのコンピュータに HP All−in−One をセットアップするには**

1. HP All−in−Oneの背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All−in−Oneの背面の「2-EXT」と書かれているポートに差し込みます。
3. 電話をコンピュータ モデムの背面の「OUT」ポートにつなぎます。
4. HP All−in−One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All−in−One の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

**注意**　付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP All−in−One を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違

います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP All-in-One に付属の電源コードの長さが十分でないを参照してください。

5. コンピュータ モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

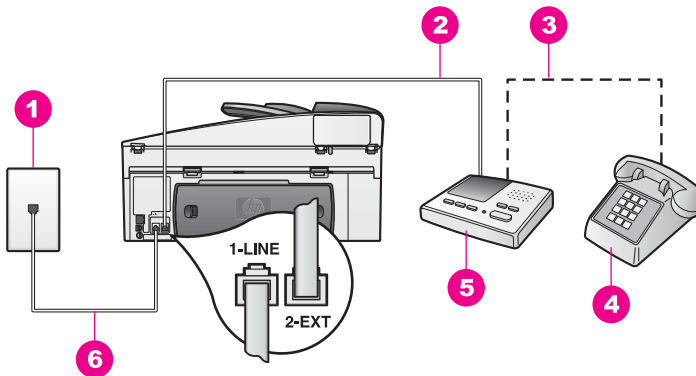
**注意** コンピュータ モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-Oneでファクスを受信できなくなります。

6. ここで、HP All-in-One でのファクス呼び出し音の応答方法を決めます。 自動と手動の 2 通りがあります。
   – 着信に自動で応答する設定の場合は、HP All-in-One がすべての着信に応答し、ファクスを受信します。 HP All-in-One では、ファクスの受信と電話の着信の違いを識別できません。電話の呼び出し音だと思う場合は、HP All-in-One が応答する前に電話を取ってください。
   ファクスの呼び出しに自動応答するには、ランプが点灯するまで **自動応答** ボタンを押します。
   – ファクスを手動で受信するように HP All-in-One を設定した場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、HP All-in-One でファクスを受信できません。
   ファクスの呼び出しに手動で応答するには、**自動応答** ボタンを押してランプを消します。
7. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

ファクスのセットアップ

HP All-in-One より前に電話を取って、送信側ファクスからファクスのトーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答しなければなりません。 詳細については、ファクスの手動受信を参照してください。

## ケース I:電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話番号で留守番電話も接続する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

**HP All-in-One の背面図 (日本では留守電機能付き電話が一般的です)**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | 留守番電話の「IN」ポート |
| 3 | 留守番電話の「OUT」ポート |
| 4 | 電話機 |
| 5 | 留守番電話 |
| 6 | 「1-LINE」ポートに接続した HP All-in-One 付属の電話コード |

**電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する環境で HP All-in-One をセットアップには**

1. HP All-in-Oneの背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. 留守番電話のコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All-in-Oneの背面の「2-EXT」と書かれているポートに差し込みます。

   注記　HP All-in-One に留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、HP All-in-One でファクスを受信できないことがあります。

3. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

注意　付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP All-in-One に付属の電源コードの長さが十分でないを参照してください。

4. 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある「OUT」ポートに電話をつなぐこともできます。
5. 着信を自動的に受信するように HP All-in-One を設定してください。 ランプが点灯するまで**自動応答** ボタンを押します。
6. 留守番電話が応答するまでの呼び出し回数を 4 回以下に設定します。
7. HP All-in-One の 「**応答呼出し回数**」 設定を 6 回 に変更します。
   この設定の変更については、応答するまでの呼出し回数を設定するを参照してください。
8. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、HP All-in-One は呼び出し音を監視し、ファクス トーンが鳴らないか聞いています。 着信ファクス トーンを検出すると、HP All-in-One はファクス受信トーンを発信してファクスを受信します。ファクス トーンが検出されなかった場合は、HP All-in-One が回線の監視を終了し、留守番電話によって伝言メッセージが録音されます。

## ケース J: 電話とファクスとコンピュータ モデムと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にコンピュータ モデムと留守番電話も接続する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

コンピュータ モデムと HP All-in-One が同じ電話回線を利用しているため、コンピュータ モデムと HP All-in-One を同時にファクスに使用することはできなくなります。たとえば、コンピュータ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All-in-One をファクスには使用できません。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータに HP All-in-One をセットアップする方法は 2 種類あります。はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータの電話ポートが 1 つなら、次のセクション電話ポートが 1 つのコンピュータに HP All-in-One をセットアップするを参照してください。 下の図のような、パラレル スプリッタ (カプラ) を購入する必要があります。 (パラレル スプリッタは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります)。

**パラレル スプリッタの例**

- コンピュータの電話ポートが 2 つなら、電話ポートが 2 つのコンピュータに HP All-in-One をセットアップする を参照してください。

### 電話ポートが 1 つのコンピュータに HP All-in-One をセットアップする

このセクションでは、コンピュータの電話ポートが 1 つだけの場合に、コンピュータ モデム環境で HP All-in-One をセットアップする方法を説明します。

**HP All-in-One の背面図 (日本では留守電機能付き電話が一般的です)**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | 「2-EXT」 ポートに接続した電話コード |
| 3 | パラレル スプリッタ |
| 4 | 電話機 (オプション) |
| 5 | 留守番電話 |
| 6 | モデム搭載コンピュータ |
| 7 | 「1-LINE」ポートに接続した HP All-in-One 付属の電話コード |

**電話ポートが 1 つのコンピュータに HP All-in-One をセットアップするには**

1. コンピュータ (コンピュータ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。 壁側のモジュラージャックからコードを外し、パラレル スプリッタの電話ポートが 2 つある側に差し込みます。
2. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

**注意** 付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP All-in-One に付属の電源コードの長さが十分でない を参照してください。

3. HP All-in-Oneの背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
4. 別の電話コードを使用して、HP All-in-One の背面の「2-EXT」と書かれたポートに一方の端を接続します。電話コードのもう一方の端は、パラレル スプリッタの電話ポートが 1 つある側に接続します。
5. 留守番電話のコードを壁側のモジュラー ジャックから抜き、パラレル スプリッタの電話ポートが 2 つある側に接続します。

**注記** 留守番電話をこのように接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、HP All-in-One でファクスを受信できないことがあります。

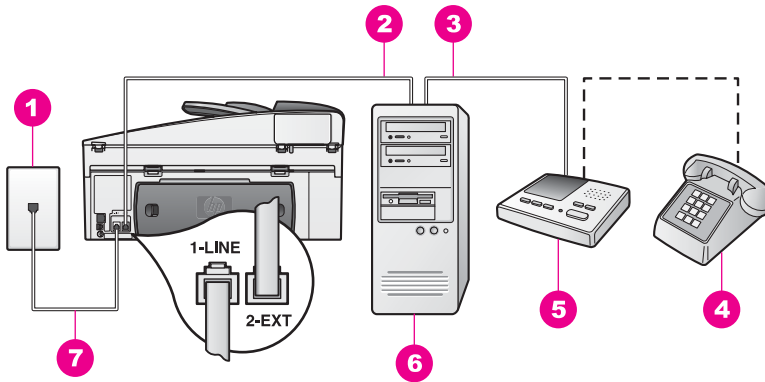
6. 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある「OUT」ポートに電話をつなぐこともできます。
7. コンピュータ モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

**注意** コンピュータ モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-Oneでファクスを受信できなくなります。

8. 着信を自動的に受信するように HP All-in-One を設定してください。 ランプが点灯するまで**自動応答**ボタンを押します。
9. 留守番電話が応答するまでの呼び出し回数を 4 回以下に設定します。
10. HP All-in-One の 「応答呼出し回数」 設定を 6 回 に変更します。
    この設定の変更については、応答するまでの呼出し回数を設定する を参照してください。
11. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、HP All-in-One は呼び出し音を監視し、ファクス トーンが鳴らないか聞いています。 着信ファクス トーンを検出すると、HP All-in-One はファクス受信トーンを発信してファクスを受信します。ファクス トーンが検出されなかった場合は、HP All-in-One が回線の監視を終了し、留守番電話によって伝言メッセージが録音されます。

## 電話ポートが 2 つのコンピュータに HP All−in−One をセットアップする

このセクションでは、コンピュータの電話ポートが 2 つの場合に、コンピュータ モデム環境で HP All−in−One をセットアップする方法を説明します。

**HP All−in−One の背面図 (日本では留守電機能付き電話が一般的です)**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | コンピュータの「IN」電話ポート |
| 3 | コンピュータの「OUT」電話ポート |
| 4 | 電話 |
| 5 | 留守番電話 |
| 6 | モデム搭載コンピュータ |
| 7 | 「1-LINE」ポートに接続した HP All−in−One 付属の電話コード |

**電話ポートが 2 つのコンピュータに HP All−in−One をセットアップするには**

1. HP All−in−Oneの背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All−in−Oneの背面の「2-EXT」と書かれているポートに差し込みます。
3. 留守番電話のコードを壁側のモジュラージャックから抜き、コンピュータ モデムの背面の「OUT」ポートに接続します。
   こうすると、たとえコンピュータ モデムの方が先に回線に接続されていても、HP All−in−One と留守番電話の間を直接接続できます。

   注記　留守番電話をこのように接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、HP All−in−One でファクスを受信できないことがあります。

4. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

注意　付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP All-in-One に付属の電源コードの長さが十分でないを参照してください。

5. 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある「OUT」ポートに電話をつなぐこともできます。
6. コンピュータ モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

注意　コンピュータ モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-Oneでファクスを受信できなくなります。

7. 着信を自動的に受信するように HP All-in-One を設定してください。 ランプが点灯するまで自動応答ボタンを押します。
8. 留守番電話が応答するまでの呼び出し回数を 4 回以下に設定します。
9. HP All-in-One の 「応答呼出し回数」 設定を 6 回 に変更します。
この設定の変更については、応答するまでの呼出し回数を設定するを参照してください。
10. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、HP All-in-One は呼び出し音を監視し、ファクス トーンが鳴らないか聞いています。 着信ファクス トーンを検出すると、HP All-in-One はファクス受信トーンを発信してファクスを受信します。ファクス トーンが検出されなかった場合は、HP All-in-One が回線の監視を終了し、留守番電話によって伝言メッセージが録音されます。

## ケース K: 電話とファクスとコンピュータ モデムとボイスメールを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線でコンピュータ モデムも利用して電話会社からボイスメール サービスも利用する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

注記　ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。 この場合、ファクスを手動で受信しなければならないため、ファクスの受信時にユー

ザー自身が本製品を操作できる場所にいる必要があります。これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。

コンピュータ モデムと HP All-in-One が同じ電話回線を利用しているため、コンピュータ モデムと HP All-in-One を同時にファクスに使用することはできなくなります。たとえば、コンピュータ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All-in-One をファクスには使用できません。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータに HP All-in-One をセットアップする方法は 2 種類あります。はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータの電話ポートが 1 つなら、次のセクション電話ポートが 1 つのコンピュータに HP All-in-One をセットアップするを参照してください。 下の図のような、パラレル スプリッタ (カプラ) を購入する必要があります。(パラレル スプリッタは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります)。

**パラレル スプリッタの例**

- コンピュータの電話ポートが 2 つなら、電話ポートが 2 つのコンピュータに HP All-in-One をセットアップする を参照してください。

ファクスのセットアップ

### 電話ポートが 1 つのコンピュータに HP All-in-One をセットアップする

このセクションでは、コンピュータの電話ポートが 1 つだけの場合に、コンピュータ モデム環境で HP All-in-One をセットアップする方法を説明します。

**HP All-in-One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | 「2-EXT」 ポートに接続した電話コード |
| 3 | パラレル スプリッタ |
| 4 | 電話 |
| 5 | モデム搭載コンピュータ |
| 6 | 「1-LINE」ポートに接続した HP All-in-One 付属の電話コード |

**電話ポートが 1 つのコンピュータに HP All-in-One をセットアップするには**

1. コンピュータ (コンピュータ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。 壁側のモジュラージャックからコードを外し、パラレル スプリッタの電話ポートが 2 つある側に差し込みます。
2. HP All-in-Oneの背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
3. 別の電話コードを使用して、HP All-in-One の背面の「2-EXT」と書かれたポートに一方の端を接続します。電話コードのもう一方の端は、パラレル スプリッタの電話ポートが 1 つある側に接続します。
4. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

注意　付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法に

ついて、HP All-in-One に付属の電源コードの長さが十分でない を参照してください。

5. コンピュータ モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

**注意** コンピュータ モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-Oneでファクスを受信できなくなります。

6. 電話をパラレル スプリッタのもう一方の電話ポートに接続します。
7. 着信に手動で応答するよう HP All-in-One を設定するランプが消灯するまで**自動応答**ボタンを押します。
8. ファクス テストを実行します。 詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

ファクス着信に直接応答してください。 そうしないと HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。 ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信 を参照してください。

## 電話ポートが 2 つのコンピュータに HP All-in-One をセットアップする

**HP All-in-One の背面図**

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | コンピュータの「IN」電話ポート |
| 3 | コンピュータの「OUT」電話ポート |
| 4 | 電話 |
| 5 | モデム搭載コンピュータ |
| 6 | 「1-LINE」ポートに接続した HP All-in-One 付属の電話コード |

**電話ポートが 2 つのコンピュータに HP All-in-One をセットアップするには**

1. HP All-in-Oneの背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。

2. コンピュータ (コンピュータ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All-in-Oneの背面の「2-EXT」と書かれているポートに差し込みます。
3. 電話をコンピュータ モデムの背面の「OUT」ポートにつなぎます。
4. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

**注意** 付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP All-in-One に付属の電源コードの長さが十分でない を参照してください。

5. コンピュータ モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

**注意** モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-Oneでファクスを受信できなくなります。

6. 着信に手動で応答するよう HP All-in-One を設定するランプが消灯するまで**自動応答**ボタンを押します。
7. ファクス テストを実行します。 詳細については、次のセクションファクス設定のテストを参照してください。

ファクス着信に直接応答してください。 そうしないと HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。 ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信 を参照してください。

## ファクス設定のテスト

ファクス設定をテストして HP All-in-One の状態を確認し、正常にファクス送信できるように設定されたことを確認することができます。このテストは、HP All-in-One のファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。テストの内容は次のとおりです。

- ファクス機の検査
- 電話線が正しいポートに接続されているか検証
- ダイヤル トーンの検出
- アクティブな電話回線の検出
- 電話回線の接続状態の検出

テスト結果は、レポートとして HP All-in-One から印刷されます。テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認し、テストを再実行してください。

**コントロール パネルからファクス機能のセットアップをテストするには**

1. この章の説明に従って、HP All-in-One ファクスをセットアップする
2. テストを開始する前に、印刷カートリッジと A4 普通紙がセットされていることを確認してください。
   詳細については、プリント カートリッジの交換およびフルサイズ用紙のセットを参照してください。
3. セットアップ ボタンを押します。
4. **6** を押し、次に **5** を押します。
   「ツール メニュー」 が表示され、「ファクス テストを実行」 が選択されます。
   コントロール パネルのディスプレイにテストの状態が表示され、HP All-in-Oneからレポートが印刷されます。
5. レポートを確認します。
   – テストに合格してもファクスの問題が解消されない場合は、レポートに記載されているファクス設定を調べて、正しく設定されていることを確認します。ファクス設定が行われていない、または不適切な場合は、ファクスに問題が発生する可能性があります。
   – テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認してください。
6. HP All-in-One からファクス レポートを取り出した後、**OK** を押します。
   必要なら、見つかった問題を解決して、テストを再実行します。
   テストで見つかった問題を解決するための詳細については、ファクス テストが失敗したを参照してください。

# 11 ファクス機能の使用

HP All-in-One を使用して、カラー ファクスなどのファクスの送受信ができます。 よく使用するファクス番号にすばやく簡単にファクスを送信するには、短縮ダイヤルを設定できます。コントロール パネルからは、解像度などのファクス オプションが設定できます。

注記　開始する前に、ファクスできるように HP All-in-One を正しく設定しておいてください。 詳細については、ファクスのセットアップを参照してください。 「**ファクス セットアップ ウィザード**」 (Windows) または 「**セットアップ アシスタント**」 (Mac) を使用して、応答モードやファクスのヘッダ情報などの重要なファクス設定を簡単に設定することもできます。 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアから 「**ファクス セットアップ ウィザード**」 (Windows) または 「**セットアップ アシスタント**」 (Mac) にアクセスできます。 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用するための詳細については、HP Image Zone による HP All-in-One のフル活用を参照してください。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアをいろいろと使用して、すべての機能を十分に活用してください。 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用すれば、コンピュータ上で作成したカバー ページを付けてコンピュータからファクスを送信したり、短縮ダイヤルを簡単に設定したりすることができます。詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアおよびオンスクリーン ヘルプにアクセスするには、HP Image Zone による HP All-in-One のフル活用を参照してください。



## ファクスを受信するように HP All-in-One を設定する

HP All-in-One は、家庭やオフィスなどの用途に応じて、自動か手動を選択してファクスを受信することができます。 自動でファクスを受信する場合は、HP All-in-One がすべての着信に応答し、ファクスを受信します。 ファクスを手動で受信するように HP All-in-One を設定した場合は、ファクス受信に直接応答してください。 ファクスの手動受信の詳細については、ファクスの手動受信を参照してください。

状況に応じてファクスを手動で受信することもできます。 たとえば、HP All-in-One と電話で一本の回線を共有し、かつ着信識別や留守番電話がない場合、ファクスの着信に HP All-in-One が手動で応答するように設定してください。 ボイス メール サービスを契約している場合も、ファクスの受信に手動で応答する必要があります。 HP All-in-One では、ファクスの着信と電話の着信の違いを識別できないためです。

注記 オフィス機器を HP All-in-One 用にセットアップする詳細については、ファクスのセットアップ を参照してください。

### セットアップに適した推奨応答モードを選択する

以下の表を参照して、HP All-in-One の自宅またはオフィス設定に適切な推奨応答モードを選びます。表の最初の列で、オフィス設定に該当する機器とサービスの種類を選択します。 次に、その推奨応答モードを 2 列目から選びます。 3 列目には、HP All-in-One が着信にどのように応答するかが示されます。

自宅またはオフィス設定に適切な推奨応答モードの選択が完了したら、詳細について、応答モードの設定 を参照してください。

| ファクスの電話回線を共有する機器およびサービス | 推奨応答モード | 説明 |
|---|---|---|
| なし<br>(ファクス受信のみを受信する、個別の電話回線がある場合) | 自動<br>(自動応答 ランプが点灯している場合) | HP All-in-One は 「応答呼出し回数」 設定に基づいて、すべての受信に自動的に応答します。 応答呼出し回数の設定については、応答するまでの呼出し回数を設定する を参照してください。 |
| 電話とファクスで電話回線を共有し、留守番電話がない<br>(電話とファクスの両方を受信する、共有の回線がある場合) | 手動<br>(自動応答 ランプが点灯していない場合) | HP All-in-One は着信に自動で応答しません。 ファクス スタート - モノクロ または ファクス スタート - カラー を押して、手動ですべてのファクスを受信する必要があります。 ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信 を参照してください。<br>電話の着信が多く、あまりファクスを受信しない場合に、この設定を使用します。 |
| 電話会社が提供するボイス メール サービス | 手動<br>(自動応答 ランプが点灯していない場合) | HP All-in-One は着信に自動で応答しません。 ファクス スタート - モノクロ または ファクス スタート - カラー を押して、手動ですべてのファクスを受信する必要があります。 ファクスの手動受信については、ファクスの手動受信 を参照してください。 |
| 留守番電話と、電話とファクスで共有する電話回線 | 自動<br>(自動応答 ランプが点灯している場合) | 留守番電話が着信に応答し、HP All-in-One は回線をモニタします。 HP All-in-One がファクス トーンを検出 |

| ファクスの電話回線を共有する機器およびサービス | 推奨応答モード | 説明 |
| --- | --- | --- |
| | | すると、HP All-in-One はファクスを受信します。<br>注記 これは、留守番電話が設置されている場合に推奨される、デフォルト設定です。 留守番電話が、HP All-in-One について適切に設定されていることを確認してください。 詳細については、ファクスのセットアップを参照してください。<br>また、HP All-in-One が応答するまでの呼び出し回数には、留守番電話が応答するまでの呼び出し回数よりも多い数値を設定してください。 応答するまでの呼び出し回数を設定する詳細については、応答するまでの呼出し回数を設定するを参照してください。 |
| 着信識別サービス | 自動<br>(自動応答 ランプが点灯している場合) | HP All-in-One が、すべての受信に自動で応答します。<br>電話会社がファクス回線に設定した呼出し音のパターンが、HP All-in-One に設定された 「応答呼び出し音のパターン」 と一致することを確認します。 詳細については、応答呼び出し音のパターンの変更 (着信識別音)を参照してください。 |



### 応答モードの設定

応答モードでは、HP All-in-One が電話の着信に自動で応答するかどうかについての設定を行います。 ファクスを自動で受信するように設定 (自動応答 ランプが点灯) すると、HP All-in-One がすべての着信に応答してファクスを受信します。 ファクスを手動で受信するように設定 (自動応答 ランプが消灯) すると、HP All-in-One でファクスを受信するには、着信に手動で応答する必要があります。 ファクスの手動受信の詳細については、ファクスの手動受信を参照してください。

どちらの応答モードが適切か判断できない場合は、セットアップに適した推奨応答モードを選択する を参照してください。

➔ 自動応答 ボタンを押して、応答モードを設定します。
自動応答 ランプが点灯している場合、HP All-in-One が自動で着信に応答します。 このランプが点灯していない場合、HP All-in-One は着信への応答を行いません。

# ファクスの送信

さまざまな方法でファクスを送信できます。 HP All-in-One のコントロールパネルからモノクロまたはカラーでファクスを送信できます。付属の電話機から手動でファクスを送信することもできます。この方法では、ファクスを送信する前に受信者と通話することができます。

よく同じ番号にファクスするなら、短縮ダイヤル やワンタッチ短縮ダイヤルボタンを使用して、短縮ダイヤルを設定し、すばやくファクスを送信できます。ファクス送信のすべての方法の詳細については、このセクションを参照してください。

## 基本的なファクスの送信

コントロール パネルから、1 ページまたは複数ページのファクスを送信することができます。

注記　ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、ファクスを送信する **前に** ファクス送受信の確認を有効にします。 詳細については、ファクス確認レポートの印刷を参照してください。

ヒント　ダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信できます。この方法では、ダイヤルする速度を指定できます。 ダイヤル中に音声ガイダンスに応答する必要があるときに、この機能は役に立ちます。詳細については、ダイヤルのモニタ機能を使用したファクス送信を参照してください。

1. 原稿の表を上にして、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダトレイにセットします。 1 ページのファクスを送信する場合は、ガラス板にセットすることもできます。

   注記　複数のページをファクス送信する場合は、自動ドキュメント フィーダに原稿をセットしてください。

2. キーパッドを使用してファクス番号を入力します。

   ヒント　ファクス番号にポーズを入れるには、**リダイヤル/ポーズ** を押します。

3. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
4. 原稿をガラス板にセットした場合は、「ガラス板からファクス送信?」が表示されます。 **1** を押して 「はい」 を選択します。

ヒント HP All-in-One から写真などをカラーでファクス送信できます。 **ファクス スタート - モノクロ** の代わりに、**ファクス スタート - カラー** を押すだけです。 ファクスの解像度やコントラストを変更することもできます。 詳細については、ファクスの解像度と濃淡を変更するを参照してください。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属の 「**HP ディレクタ**」 を使用すると、コンピュータからファクスを送信できます。 ファクスとともに送信するカバーページもコンピュータで作成して付けることができます。 操作はとても簡単です。 詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

## ファクス確認レポートの印刷

ファクスが正しく送受信されたことを印刷物で確認したい場合は、ファクスを送信する**前に**以下の指示にしたがってファクス確認を有効にしてから、「送信」 または 「送受信」 のどちらかを選択します。

ファクス送受信を確認するデフォルトの設定は、「オフ」 です。 この設定では、ファクスの送受信ごとに確認レポートは印刷されずに、 ファクスの送受信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージが、送受信処理後にコントロール パネル ディスプレイに表示されます。

1. **セットアップ** ボタンを押します。
2. **2** を押し、次に **1** を押します。
   これで 「レポートの印刷」 が選択され、次に 「ファクスの確認」 が選択されます。
3. ▶ を押し、以下のいずれかの設定を選択します。
   – 「オフ」 : ファクス送受信時にファクス確認レポートを印刷しません。
   – 「送信」 : ファクスの送信ごとにファクス確認レポートを印刷します。
   – 「受信」 : ファクスの受信ごとに確認レポートを印刷します。
   – 「送受信」 : ファクスの送受信ごとにファクス確認レポートを印刷します。
4. **OK** を押します。

## 両面原稿を送信する

HP 自動両面印刷対応ハガキトレイが取り付けられている場合、両面原稿をモノクロでファクス送信することができます。 このオプション トレイに用紙をセットする方法については、このトレイに付属する説明書を参照してください。

この機能は、モノクロでファクスを送信する場合だけサポートされています。カラー ファクスを送信する場合は利用できません。

ヒント　また、受信したファクスを紙の両面に印刷することができます。 詳細については、HP All-in-One を設定して片面および両面ファクスを印刷するを参照してください。

1. 原稿の表を上にして、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。

   注記　ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。両面現行の送信は、ガラス板を使用する場合はサポートされません。

2. キーパッドを使用してファクス番号を入力します。
3. ファクス領域で、「両面で送信」 が表示されるまで、メニュー を押します。
4. ▶ を押して以下の両面オプションのいずれかを選択し、次に **OK** を押します。
   – カバーページを含む両面原稿を送信する場合、「両面原稿とカバーページ」 を選択します。
   この設定では、カバー ページは表面だけが、残りのページは両面がスキャンおよび送信されます。これにより、カバーページ裏面の白紙のページを誤って送信してしまうのを防ぐことができます。
   – カバーページを含まない両面原稿を送信する場合、「両面の原稿」 を選択します。
   この設定で、全てのページの両面がスキャンおよび送信されます。すべての原稿ページの両面に文字がある場合、この設定を使用してください。

   注記　裏面のスキャンが済む前に原稿を出力領域から取り除かないようにしてください。 HP All-in-One は、まず原稿の表面をスキャンし、出力領域に一時的に置いてから、再び取り込んで裏面のスキャンをします。 各ページの両面のスキャンが終わると、原稿を取り除くことができます。

5. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。

   注記　選択した設定は、現在作業中のファクスにのみ適用されます。以後のファクス送信時も今回と同じオプションを適用したい場合、デフォルトを変更してください。 詳細については、新しいデフォルトの設定を参照してください。

### 電話からのファクスの手動送信

ファクスを送信する前に、電話をかけて受信者と話をすることができます。この方法は、手動でのファクス送信と呼ばれます。手動でのファクス送信

は、送信前に、受信者がファクスを受信可能であることを確認する場合に役に立ちます。

電話は、HP All−in−One の背面の 「2-EXT」 ポートに接続します。電話に HP All−in−One をセットアップする方法の詳細については、ファクスのセットアップ を参照してください。

1. 原稿の表を上にして、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。
2. HP All−in−One に接続された電話のキーパッドから、番号をダイヤルします。

 **注記** 番号をダイヤルするには、電話のキーパッドを使用する必要があります。HP All−in−One のコントロール パネルのキーパッドは使用しないでください。

3. 次のいずれかを実行してください。
   – 番号をダイヤルした後でダイヤルトーンが聞こえたら、3 秒以内に **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押し、ファクスを送信します。
   – 電話の受信者が応答したら、ファクスを送信する前に会話をすることができます。 ファクスの送信準備ができたら、コントロール パネルの **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押してください。その後、相手にファクス開始ボタンを押してもらいます。

## リダイヤルでのファクス送信

リダイヤルを使用すると、コントロール パネルから最後にダイヤルしたファクス番号に、ファクスを再び送信することができます。

1. 原稿の表を上にして、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。
2. **リダイヤル/ポーズ** を押します。
   最後にダイヤルした番号が、コントロール パネル ディスプレイに表示されます。
3. **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。

## 短縮ダイヤルでのファクス送信

**短縮ダイヤル** またはコントロール パネル上のワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押すことによって、ファクスをすばやく送信することができます。

注記　ワンタッチ短縮ダイヤル ボタンは、最初の5件の短縮ダイヤル番号に対応しています。

短縮ダイヤル番号は、設定後に初めて表示されます。 詳細については、短縮ダイヤルのセットアップを参照してください。

1. 原稿の表を上にして、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。
2. 次のいずれかを実行してください。
   – 目的の短縮ダイヤルがコントロール パネル ディスプレイに表示されるまで、**短縮ダイヤル** を押します。
   – また、**短縮ダイヤル** を押して、コントロール パネルのキーパッドから短縮ダイヤルを入力することもできます。
   – ワンタッチ短縮ボタンを、1 つ押します。
3. **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。

## ファクスのスケジュール設定

モノクロ ファクスのスケジュール設定をして、電話が込み合っていない時間帯や通話料金が低い時間帯など、同日中 (24 時間以内) に送信することができます。 ファクスをスケジュール設定する場合、ガラス板ではなく、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。 指定した時刻になると、HP All-in-One が自動でファクスを送信します。

ファクスのスケジュール設定ができる原稿は、一度に 1 件のみです。 ファクスのスケジュール設定がされている状態でも、通常のファクスは送信が可能です。

1. 原稿の表を上にして、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。

   注記　ガラス板ではなく、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。 ガラス板に原稿をセットした場合、この機能は作動しません。

2. ファクス領域で、「ファクス方法」 が表示されるまで、**メニュー** を押します。
3. ▶ を押して 「後でファクスを送信」 を選択し、次に **OK** を押します。
4. 数値キーパッドを使用して送信時刻を入力し、**OK** を押します。
5. キーパッドを使用してファクス番号を入力するか、短縮ダイヤルボタンを押すか、または **短縮ダイヤル** を押し、送信する番号を選択します。

6. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   HP All-in-One はスケジュール設定された時刻にファクスを送信します。「**後でファクスを送信**」 が、コントロール パネル ディスプレイにスケジュール設定された時刻と共に表示されます。

## スケジュール ファクスのキャンセル

スケジュール設定したファクスをキャンセルできます。 ファクスをスケジュール設定すると、予約時刻がコントロール パネル ディスプレイに表示されます。

**コントロール パネルから、スケジュール設定済みファクスの変更およびキャンセルをするには**

➔ 予約時刻がコントロール パネル ディスプレイに表示されたら、**キャンセル** を押し、次に **1** を押します。
   スケジュール設定済みのファクスがキャンセルされます。

## メモリ内のファクス送信

モノクロ ファクスをメモリに読み込んで、メモリからファクスを送信することができます。 この機能は、これから送信しようとしているファクス番号が通話中、または一時的に通話不能な場合に便利です。 HP All-in-One は原稿をメモリに読み込み、受信するファクス機に接続が完了した時点で送信を行います。 HP All-in-One が原稿のスキャンが完了したら、すぐに原稿をドキュメント フィーダ トレイから取り除くことができます。

1. 原稿の表を上にして、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。

   
   注記　ガラス板ではなく、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。 ガラス板に原稿をセットした場合、この機能は作動しません。

2. ファクス領域で、「**ファクス方法**」 が表示されるまで、**メニュー** を押します。
3. ▶ を押して 「**スキャンとファクス**」 を選択し、次に **OK** を押します。
4. キーパッドを使用してファクス番号を入力するか、短縮ダイヤルボタンを押すか、または **短縮ダイヤル** を押し、送信する番号を選択します。
5. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。

   
   注記　**ファクス スタート - カラー** を押すと、モノクロ ファクスが送信され、コントロール パネル ディスプレイにメッセージが表示されます。

   HP All-in-One は、相手側ファクス機が受信可能な場合に、原稿をメモリに読み込んでファクスを送信します。

### ダイヤルのモニタ機能を使用したファクス送信

ダイヤルのモニタ機能を使用すると、通常電話するように、コントロール パネルから番号をダイヤルすることができます。 ダイヤル中に音声ガイダンスに応答する必要があるときに、この機能は役に立ちます。 また、必要に応じて、ダイヤルする速度を指定するために使うこともできます。

注記　音量をオンにしないと、ダイヤル トーンは聞こえません。 詳細については、音量の調整を参照してください。

1. 原稿の表を上にして、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダトレイにセットします。 ファクスを一枚のみ送信する場合、ガラス板にセットして送信することもできます。
2. **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。
3. 原稿をガラス板にセットした場合は、「**ガラス板からファクス送信?**」が表示されます。 **1** を押します。
4. ダイヤル トーンが聞こえたら、コントロール パネルのキーパッドで番号を入力します。
5. 音声ガイダンスがあれば、従ってください。
   受信側のファクス機が応答したときに、ファクスは送信されます。

## ファクスの受信

HP All-in-One は、設定された応答モードにより、ファクスを自動または手動で受信します。 **自動応答** ボタンの横のランプが点灯している場合、HP All-in-One は自動で着信に応答し、ファクスを受信します。 このランプが点灯していない場合、ファクスを手動で受信する必要があります。 応答モードの詳細については、ファクスを受信するように HP All-in-One を設定するを参照してください。

ヒント　受信ファクスをページの両面に印刷するように HP All-in-One を設定して、用紙を節約できます。 詳細については、HP All-in-One を設定して片面および両面ファクスを印刷するを参照してください。

注記　ファクスを受信するときに、写真を印刷するためのカラー フォト プリント カートリッジやグレー プリント カートリッジをセットしている場合、黒プリント カートリッジに交換することをおすすめします。 プリント カートリッジのメンテナンスを参照してください。

### 応答するまでの呼出し回数を設定する

HP All-in-One が着信に自動で応答する前の、呼び出し回数を指定することができます。

注記　この設定は、HP All-in-One がファクスの自動受信をするよう設定されている場合のみ適用されます。

「応答呼出し回数」 設定は、特に HP All-in-One と同じ電話回線で留守番電話を使用している場合に重要です。 HP All-in-One の応答呼出し回数には、留守電に応答する回数よりも多い回数を設定しなければなりません。

たとえば、留守番電話の呼び出し回数を 4 回に設定し、HP All-in-One の呼び出し回数を、お使いの機器でサポートされている最大回数に設定してください。 (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP All-in-One が電話回線を監視します。HP All-in-One がファクス トーンを検出すると、HP All-in-One はファクスを受信します。 音声の場合には、留守番電話が着信メッセージを録音します。

**コントロール パネルで応答までの呼び出し回数を設定するには**

1. **セットアップ** を押します。
2. **4** を押し、次に **3** を押します。
   これで 「**ファクスの基本設定**」 が選択され、次に 「**応答呼出し回数**」 が選択されます。
3. キーパッドを使用して、適切な呼び出し回数を入力します。
4. **OK** ボタンを押して設定を確定します。

## HP All-in-One を設定して片面および両面ファクスを印刷する

HPの両面印刷用のオプション トレイがインストールされている場合、両面ファクスを印刷することができます。

このオプション トレイに用紙をセットする方法については、このトレイに付属する説明書を参照してください。

ヒント 自動ドキュメント フィーダを使用して、両面原稿を送信することもできます。 詳細については、両面原稿を送信するを参照してください。

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. **セットアップ** を押して、次に **4** を押します。
   「**ファクスの基本設定**」 が選択されます。
3. 「**受信ファクスを両面印刷**」 が表示されるまで ▶ を押し、次に **OK** を押します。

   注記 このオプションは、HP 自動両面印刷対応ハガキトレイが取り付けられている場合にのみ表示されます。

4. ▶を押し、以下のいずれかのオプションを選択します。
   – 片面のみを印刷する場合、「**片面出力**」 を選択します。
   – 両面を印刷する場合、「**両面出力**」 を選択します。

   注記 「**両面出力**」 を選択する場合、ファクスの印刷が終わるまで出力トレイから原稿を取り出さないよう注意してください。 HP All-in-One はページの表面に印刷し、排紙トレイに排

紙してから、再び取り込んで反対面に印刷します。 すべてのページの両面が印刷されてから、ファクスを取り出します。

ファックスを受信時に 「両面出力」 が選択されていると、モノクロのファクスは用紙の短い辺を上にして(縦方向に) 印刷されます。 カラー ファクスの場合は、用紙の長い辺を上にして (横方向に) 印刷されます。

5. **OK** を押します。
   HP All-in-One はすべてのファクスの印刷に、この設定を適用します。

### ファクスの手動受信

ファクスを手動で受信するように HP All-in-One を設定した場合 (**自動応答** ランプが点灯していない状態)、または電話を取って、ファクスのトーンが聞こえた場合、このセクションの説明を参照してファクスを受信してください。

次のように設定した電話で、ファクスを手動受信することができます。

- HP All-in-One の「2-EXT」ポートに直接接続された電話
- 同じ電話回線上にあるが、直接 HP All-in-One に接続されていない電話

1. HP All-in-One の電源がオンになっていて、用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ドキュメント フィーダ トレイから原稿を取り除きます。
3. HP All-in-One が応答する前に、ユーザーが着信に応答できるように、「応答呼出し回数」 を多めに設定します。 または、ファクスの着信に手動で応答するように HP All-in-One を設定します。
   応答するまでの呼出し回数の設定は、応答するまでの呼出し回数を設定するを参照してください。 ファクスを手動で応答するのための HP All-in-One の設定方法については、応答モードの設定 を参照してください。
4. 次のいずれかを実行してください。
   – ご使用の電話が同じ電話回線につながっていて、HP All-in-One の背面につながっていない場合、送信元のファクス機からのファクス受信音が聞こえたら、5～10 秒待ってから、電話のキーを **1 2 3** と押します。 HP All-in-One のファクス受信が始まらない場合、もう数秒後に再び **1 2 3** と押します。

     注記 HP All-in-One が着信に応答する場合、コントロール パネル ディスプレイに 「呼び出し中」 と表示されます。 受話器を取ると、数秒後に 「受話器が外れています」 と表示されます。 このメッセージが表示されるまで待ってから、電話機を **1 2 3** と押さなければ、ファクスを受信できません。

   – 電話が HP All-in-One の後部に直接接続されていて、送信側のファクス機からのファクス音が聞こえる場合は、コントロール パネルの

ファクス スタート - モノクロ または ファクス スタート - カラー を押します。

– HP All-in-One に接続した電話を使用している送信者と電話がつながっている場合は、最初に相手のファクス機で スタート を押すよう指示します。 送信元のファクス機からファクス音が聞こえたら、コントロール パネルの ファクス スタート - モノクロ または ファクス スタート - カラー を押してください。

注記 ファクス スタート - カラー を押しても、送信者がモノクロでファクスを送信した場合、HP All-in-One では、ファクスはモノクロで印刷されます。

ファクスの受信が始まったら、受話器を置いてください。

## ポーリングしてファクスを受信する

ポールすることで HP All-in-One は現在キューに入っているファクスを送信するよう、他のファクス機に依頼することができます。 「ポーリング受信」の機能を使用すると、HP All-in-One は指定された他のファクス機にコールし、ファクスの送信を依頼して受信することができます。指定されたファクス機はポーリングの設定がされ、ファクスを送信できる状態である必要があります。

注記 HP All-in-One は、ポーリング パス コードをサポートしていません。 ポーリング パス コードは、受信側のファクス機に対し、ファクスを受信するために、ポーリングしているデバイスに パス コードを送信するよう要求するセキュリティ機能です。 ポーリングしているデバイスでパス コードが設定されていないこと (またはデ フォルト パス コードが変更されていること) を確認してください。パス コードが設定されている場合、HP All-in-One はファクスを受信できません。

1. ファクス領域で、「ファクス方法」 が表示されるまで、メニュー を押します。
2. ▶ を押して 「ポーリング受信」 を選択し、次に OK を押します。
3. 他のファクス機のファクス番号を入力します。
4. ファクス スタート - モノクロ または ファクス スタート - カラー を押します。

注記 スタート - カラー を押して、送信者がモノクロでファクスを送信した場合、HP All-in-One では、ファクスはモノクロで印刷されます。

## 日付と時刻の設定

コントロール パネルから日付と時刻を設定することができます。 ファクスを送信すると、その時の日付と時刻がファクスの見出しに印刷されます。 この日付と時刻の形式は、言語と国または地域の設定に基づいています。

注記 1　一部の国または地域では、法令等によりファクスの日付スタンプの明記が義務付けられています。

注記 2　HP All-in-One の電源が 72 時間以上切れていると、日付と時刻の再設定が必要になります。

1. セットアップ ボタンを押します。
2. **4** を押し、次に **1** を押します。
これで 「ファクスの基本設定」 が選択され、次に 「日付と時刻」 が選択されます。
3. キーパッドの数字を押して、年、月、日を入力します。言語と国/地域の設定によっては、入力する順序が異なることがあります。
アンダーライン カーソルは最初の桁の下にあり、ボタンを押すと自動的に次の桁に進みます。 また、日付の最後の桁を入力するとタイム プロンプトが自動的に表示されます。
4. 時間と分を入力してください。

## ファクス ヘッダーの設定

ファクスのヘッダーを使用すると、すべての送信ファクスの上部に名前とファクス番号が印刷されます。 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアのインストール中に、「**ファクス セットアップ ウィザード**」 (Windows ユーザー) か 「**セットアップ アシスタント**」 (Macintosh ユーザー) で、ファクスのヘッダーを設定することをお勧めします。

また、コントロール パネルからファクスのヘッダーを設定することもできます。

注記　一部の国または地域では、法令等によりファクスのヘッダー情報の明記が義務付けられています。

1. セットアップ を押します。
2. **4** を押し、次に **2** を押します。
これで 「ファクスの基本設定」 が選択され、次に 「ファクスのヘッダー」 が選択されます。
3. キーパッドで個人名または会社名を入力して、次に **OK** を押します。
コントロール パネルからテキストを入力する方法については、文字と記号の入力 を参照してください。 最大で 25 文字を入力できます。
4. キーパッドを使用して、ファクス番号を入力します。 最大で 19 桁を入力できます。
5. **OK** ボタンを押します。

ファクスのヘッダー情報を入力するには、コントロール パネルよりも「**HP Image Zone**」 を使用する方が簡単です。 ファクスのヘッダー情報、カバー ページの情報も入力できます。この情報は、コンピュータからファクスを送信する際のカバー ページに印刷されます。 詳細については、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

## 文字と記号の入力

短縮ダイヤルおよびファクスのヘッダー情報を設定するとき、コントロール パネルのキーパッドを利用して、コントロール パネルから文字と記号を入力することができます。

ファクス番号や電話番号をダイヤルするときも、キーパッドから記号を入力することができます。HP All-in-One は、番号をダイヤルするときに、記号に応じた動作をします。たとえば、ファクス番号の途中にダッシュがある場合は、HP All-in-One はダイヤルするときに、その場所で一定の間隔を置きます。この間隔は、ファクス番号をダイヤルする前に、外線番号を入力する必要がある場合などに役に立ちます。

### コントロール パネルのキーパッドからの文字の入力

コントロール パネルのキーパッドから文字と記号を入力できます。

- 名前の文字に対応するキーパッドの数字を押します。 以下に示すように、A、B、C の文字は数字 [2] に対応しています。

  2 abc

- 何度もボタンを押すと、そのボタンで入力可能な文字が順に表示されます。

  注記　選択した言語と国または地域によって、その他の文字が使用できることもあります。

- 正しい文字が表示された後で、しばらくしてカーソルが自動的に右に進んで文字が確定されます。または ▶ を押して手動で確定します。名前の次の文字に対応する数字を押します。 正しい文字が出てくるまでまた何回か数字ボタンを押してください。
- スペースを挿入するには、**スペース (#)** ボタンを押します。
- ポーズを入力するには、**リダイヤル/ポーズ** ボタンを押します。 番号にダッシュが入力されます。
- 間違えた場合は、◀ を押して文字を消します。
- テキスト、数字、記号を入力したら、**OK** を押します。

# レポートの印刷

HP All-in-One を、エラー レポートを自動印刷し、かつファクスの送受信のたびに確認のレポートを印刷するよう設定できます。 必要に応じて、システムのレポートも手動で印刷できます。これらのレポートから HP All-in-One について有用なシステム情報を知ることが出来ます。

デフォルト設定では、ファクスの送受信に問題があった場合にのみ、HP All-in-One でレポートが印刷されます。 ファクスの送受信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージが、送受信処理後にコントロール パネル ディスプレイに表示されます。

ヒント　ファクスの送受信確認レポートを印刷することもできます。詳細については、ファクス確認レポートの印刷を参照してください。

## ファクス エラー レポートの印刷

ファックスの送受信中にエラーが起きたときにレポートを自動印刷するように HP All-in-One を設定できます。 デフォルトの設定は 「オン」 です。

1. セットアップ を押します。
2. 2 を押し、もう一度 2 を押します。
   これで 「レポートの印刷」 が選択され、次に 「ファクス エラー レポート」 が選択されます。
3. ▶ を押して以下のいずれかのオプションを選択し、次に OK を押します。
   – 「送受信」 ： ファクスの送受信中に起きたエラーのファクス エラー レポートを印刷します。
   – 「オフ」 ： ファクスの送受信中にエラーが起きてもファクス エラー レポートを印刷しません。
   – 「送信」 ： ファクスの送信中に起きたエラーのファクス エラー レポートを印刷します。
   – 「受信」 ： ファクスの受信中に起きたエラーのファクス エラー レポートを印刷します。

### その他のレポートの印刷

以前に送信したファクスの状態、短縮ダイヤル一覧、自己診断テストなどの HP All-in-One についてのレポートを手動で生成することができます。

1. **セットアップ** を押して、次に **2** を押します。
   「**レポートの印刷**」 が選択されます。
2. レポートには次のような種類があり、▶ を押すことでスクロールできます。
   – 「**1. ファクス確認**」 : ファクス確認レポートの印刷で説明されているようにファクス確認レポートの方法を印刷します。
   – 「**2. ファクス エラー レポート**」 : ファクス エラー レポートの印刷で説明されているようにファクスの送受信中に起きたすべてのエラーのレポートを印刷します。
   – 「**3. 最後の処理**」 : 最後のファクス処理についての詳細を印刷します。
   – 「**4. ファクス ログ**」 : 最近の約 30 件のファクス送受信の一覧が印刷されます。
   – 「**5. 短縮ダイヤル一覧**」 : プログラムされている短縮ダイヤルのエントリ一覧を印刷します。
   – 「**6. セルフテスト レポート**」 : 印刷に関する問題や調整に関する問題を特定できるレポートを印刷します。 詳細については、セルフテスト レポートの印刷を参照してください。
3. 目的のレポートが選択されたら **OK** を押してください。

## 短縮ダイヤルのセットアップ

短縮ダイヤル エントリをよく使うファクス番号に登録できます。 コントロール パネルのワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを使用して、ファクスをすばやく送信できます。 また、**短縮ダイヤル** を押して短縮ダイヤル番号をスクロールし、一覧の中から選択することができます。

最初の 5 件の短縮ダイヤル番号が、コントロール パネルのワンタッチ短縮ダイヤル ボタンに自動的に保存されます。

短縮ダイヤルでファクスを送信する詳細については、短縮ダイヤルでのファクス送信を参照してください。

グループ短縮ダイヤルも設定できます。各受信者に個々にファクスを送信するのではなく、あるグループに属する複数の受信者に一度にファクスを送信できるので、時間の節約になります。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用すると、短縮ダイヤル エントリをコンピュータからすばやく簡単に設定できます。 詳細については、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

### 短縮ダイヤル番号の作成

よく使うファクス番号について短縮ダイヤル番号を作成できます。

1. **セットアップ** を押します。
2. **3** を押し、次に **1** を押します。
   「**短縮ダイヤルのセットアップ**」 が選択され、次に 「**個別の短縮ダイヤル**」 が選択されます。
   まだ登録されていない短縮ダイヤルが、コントロール パネル ディスプレイに表示されます。
3. 表示された短縮ダイヤル番号を選択するには **OK** ボタンを押します。 まだ登録されていない別の短縮ダイヤルを選択するには、▶ または ◀ を押して、次に **OK** を押します。
4. その短縮ダイヤル番号に登録するファクス番号を入力し、**OK** ボタンを押します。

   ヒント　ファクス番号にポーズを入れるには、**リダイヤル/ポーズ** を押します。

5. 名前を入力し、次に **OK** をクリックします。
   文字入力の詳細については、文字と記号の入力を参照してください。
6. 別の番号を設定する場合は **1** を、「**短縮ダイヤルの設定**」 メニューを終了する場合は **2** を押します。

### グループ短縮ダイヤル番号の作成

グループ短縮ダイヤル番号を作成し、この番号に個別の短縮ダイヤル番号を登録することができます。 これにより、特定のグループに属する複数の人に、単一の短縮ダイヤル番号を使用してモノクロ ファクスを送信することができます。

注記　グループに対してファクスを送信する場合、モノクロ ファクスのみ可能です。 「**超高画質**」 解像度はこの機能ではサポートされていません。

グループに登録することができる短縮ダイヤル番号は、既に個別の短縮ダイヤルとして登録済みのものに限られます。 さらに、個別の短縮ダイヤルのみがグループに登録できます。あるグループを別のグループに登録することはできません。

1. **セットアップ** を押します。
2. **3** を押し、次に **2** を押します。
   「**短縮ダイヤルの設定**」 が選択され、次に 「**グループ短縮ダイヤル**」 が選択されます。
   まだ登録されていない短縮ダイヤルが、コントロール パネル ディスプレイに表示されます。

3. 表示された短縮ダイヤル番号を選択するには **OK** ボタンを押します。 まだ登録されていない別の短縮ダイヤルを選択するには、▶ または ◀ を押して、次に **OK** を押します。
4. ▶ を押して、個別の短縮ダイヤル番号をそのグループ短縮ダイヤルに追加します。
5. **OK** を押します。
6. 別の個別の短縮ダイヤル番号を追加する場合は **1** を、終了する場合は **2** を押します。
7. グループ短縮ダイヤル名を入力して、次に **OK** をクリックします。
   文字入力の詳細については、文字と記号の入力を参照してください。
8. 別のグループを追加する場合は **1** を、終了する場合は **2** を押します。

### 短縮ダイヤル番号の更新

個別の短縮ダイヤルの電話番号や名前を、変更することができます。

注記　グループ短縮ダイヤルに属する短縮ダイヤル番号を個別に更新した場合、そのグループでの番号も同時に更新されます。

1. セットアップ を押します。
2. **3** を押し、次に **1** を押します。
   「短縮ダイヤルのセットアップ」 が選択され、次に 「個別の短縮ダイヤル」 が選択されます。
3. ▶ を押して短縮ダイヤルをスクロールして目的の項目を探し、次に **OK** を押して選択します。
4. 現在のファクス番号が表示されたら、◀ を押してそれを消去します。
5. 新しいファクス番号を入力します。
6. **OK** を押して新しい番号を保存します。
7. 新しい名前を入力します。
   文字入力の詳細については、文字と記号の入力を参照してください。
8. **OK** を押します。
9. 別の短縮ダイヤルを更新するには **1** を、終了するには **2** を押します。

### 短縮ダイヤルの削除

短縮ダイヤルは、個別に、またグループで削除できます。 グループ短縮ダイヤルに所属する個別の短縮ダイヤル番号を削除する場合、そのグループからも同時に削除されます。

1. セットアップ を押します。
2. **3** を押し、もう一度 **3** を押します。
   「短縮ダイヤルの設定」 が選択され、次に 「短縮ダイヤルを削除」 が選択されます。
3. 削除する短縮ダイヤルが表示されるまで ▶ を押し、次に **OK** ボタンを押して削除します。

# ファクスの解像度と濃淡を変更する

ファクス送信する文書の「解像度」と「薄く/濃く」の設定は変更することができます。

## ファクス解像度の変更

「解像度」の変更は、ファクス送信されるモノクロ文書の送信速度と印字品質に影響します。HP All-in-One の解像度の上限は、受信側のファクスでサポートされている解像度で決定します。解像度やコントラストの変更はモノクロ文書に限ります。 カラー ファクスはすべて「高画質」の解像度で送信されます。次の解像度設定を選択できます。

- 「高画質」: ほとんどの文書でファクス送信するのに適した高品質な文字です。これがデフォルトで設定されています。
- 「超高画質」: 極めて精密な画像の文書をファクス送信する場合に、最高の品質が得られます。 「超高画質」を選択する場合、ファクスの送信に通常より時間がかかり、またモノクロでのみ送信可能であるということにご注意ください。 カラー ファクスを送信する場合、代わりに「高画質」解像度で送信されます。
- 「写真」: 写真のファクス送信に適した最高画質です。 「写真」を選択すると、ファクス送信に通常よりも時間がかかります。 写真をファクスするときは「写真」を選択することをおすすめします。
- 「標準」: ファクス品質は下がりますが、最も速くファクスを送信することができます。

この設定は、新規デフォルトとして保存されない限り、処理が終了するとデフォルト値に戻ります。 詳細については、新しいデフォルトの設定を参照してください。

### コントロール パネルで解像度を変更するには

1. 原稿の表を上にして、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。
2. キーパッドを使用してファクス番号を入力するか、短縮ダイヤルボタンを押すか、または 短縮ダイヤル を押し、送信する番号を選択します。
3. ファクス領域で、「解像度」が表示されるまで、メニュー を押します。
4. 解像度設定を選択するには、▶ を押します。
5. ファクス スタート - モノクロ を押します。

注記 ファクス スタート - カラー を押すと、ファクスは「高画質」設定で送信されます。

これでファクスが「高画質」で送信されます。 これ以降もこの設定でファクスを送りたい場合は、デフォルトを変更してください。 詳細については、新しいデフォルトの設定を参照してください。

### 濃淡の設定の変更

ファクスのコントラストの明暗を変更することができます。 かすれた文書や色あせた文書、手書きの文書などをファクスするときに役に立ちます。原稿の濃度を濃くするには、コントラストを調整します。

この設定は、新規デフォルトとして保存されない限り、処理が終了するとデフォルト値に戻ります。 詳細については、新しいデフォルトの設定を参照してください。

1. 原稿の表を上にして、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダトレイにセットします。
2. キーパッドを使用してファクス番号を入力するか、短縮ダイヤルボタンを押すか、または **短縮ダイヤル** を押し、送信する番号を選択します。
3. ファクス領域で、「薄く/濃く」 が表示されるまで、**メニュー** を押します。
4. ファクスを明るくするには ◀ を、暗くするには ▶ を押します。
   押した矢印ボタンに応じて、インジケータが左右に動きます。
5. **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。
   これでファクスが「薄く/濃く」 設定で送信されます。 これ以降もこの設定でファクスを送りたい場合は、デフォルトを変更してください。 詳細については、新しいデフォルトの設定を参照してください。

### 新しいデフォルトの設定

コントロール パネルから、「両面で送信」、「解像度」、「薄く/濃く」 設定などのデフォルトの設定をそれぞれ変更することができます。

1. 「両面で送信」(可能な場合)、「解像度」 または 「薄く/濃く」 などの設定を変更します。
2. ファクス領域で、**新しいデフォルトの設定** が表示されるまで、「メニュー」 を押します。
3. ▶ を押して 「はい」 を選択します。
4. **OK** を押します。

## ファクス オプションの設定

ビジー状態の番号に HP All-in-One で自動的にリダイヤルするかどうかを制御する、HP All-in-One の音量を調整する、別の番号にファクスを転送するなど、数々のファクス オプションがあります。 次のオプションに変更を加えた場合、新しい設定がデフォルトになります。 ファクス オプションの変更には、このセクションを参照してください。

## 受信するファクスの用紙サイズを設定する

受信ファクスの用紙サイズを選択できます。用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせます。 ファクスはレター用紙、A4 用紙、またはリーガル用紙にのみ印刷できます。

**注記** ファクスを受信したときにこの他の用紙サイズが給紙トレイにセットされていると、ファクスを印刷しないで、コントロール パネル ディスプレイにエラー メッセージが表示されます。 ファクスを印刷するには、A4 用紙、レター用紙、リーガル用紙のいずれかをセットし、次に **OK** を押します。

1. **セットアップ** を押します。
2. **4** を押し、もう一度 **4** を押します。
   これで 「**ファクスの基本設定**」 が選択され、次に 「**ファクスの用紙サイズ**」 が選択されます。
3. ▶ を押してオプションを選択してから **OK** を押します。

## トーン ダイヤルまたはパルス ダイヤルの設定

HP All-in-One のダイヤル モードを、トーン ダイヤルまたはパルス ダイヤルに設定できます。 ほとんどの電話機は、トーン ダイヤルとパルス ダイヤルのどちらかを使用します。 公衆電話か構内交換機 (PBX) システムの場合は、「**パルス ダイヤル**」 を選択します。 どちらの設定を使用しているかわからないときは、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

**注記 1** 「**パルス ダイヤル**」 を選択した場合は、いくつかの電話システム機能が使用できないことがあります。また、ファクスや電話番号をダイヤルするのに時間がかかることがあります。

**注記 2** この機能は、一部の国/地域ではサポートされていません お住まいの国/地域でサポートされていない場合、メニューに 「**トーン、パルス選択**」 は表示されません。

1. **セットアップ** を押します。
2. **4** を押し、次に **5** を押します。
   「**ファクスの基本設定**」 が選択され、次に 「**トーン、パルス選択**」 が選択されます。
3. ▶ を押してオプションを選択し、次に **OK** を押します。

## 音量の調整

HP All-in-Oneでは、呼び出し音およびスピーカの音量を 3 段階で調整できます。呼び出し音のボリュームとは、電話がかかってきたときに鳴る音の大きさです。 スピーカのボリュームとは、ダイヤル トーンやファクス トーン、ボタンを押したときに鳴る音など、それ以外の音の大きさのことです。 デフォルトの設定は 「**小さい**」 です。

1. **セットアップ** を押します。

2. **4** を押し、次に **6** を押します。
   「ファクスの基本設定」 が選択され、次に 「呼び出し音とプッシュ音の音量」 が選択されます。
3. ▶を押し、 「小さい」、「大きい」、「オフ」 の中からいずれかを選択します。

   注記 「オフ」 を選択すると、ダイヤル トーン、ファクス受信音、着信の呼び出し音がまったく聞こえなくなります。

4. **OK** を押します。

## 別の番号へのファクスの転送

受信するファクスを他のファクス番号に転送するように HP All-in-One を設定することができます。 カラー ファクスを受信した場合でも、ファクスはモノクロで転送されます。

注記 HP All-in-One がファクスを転送中は、問題がある場合を除いて受信したファクスを印刷しません。 HP All-in-One が指定されたファクス機にファクスを転送できない場合 (たとえば、電源が入っていない場合等)、HP All-in-One はファクスとエラー レポートを印刷します。

転送の前に、転送先のファクス番号を確認することをおすすめします。テストでファクスを送信し、ファクス機がファクスの転送を受信できるか確認してください。

1. **セットアップ** を押します。
2. **4** を押し、次に **7** を押します。
   「ファクスの基本設定」 が選択され、次に 「モノクロでファクスを転送」 が選択されます。
3. ▶ を押して、「オン」 を選択します。
4. キーパッドから、転送先ファクス機の番号を入力します。
5. **OK** を押します。
   「ファクスを転送」 が、コントロール パネル ディスプレイに表示されます。



## ファクスの転送のキャンセル

コントロール パネルからファクス転送をキャンセルすることができます。

### コントロール パネルからファクス転送をキャンセルするには

➔ **キャンセル** を押して、次に **1** を押します。
  ファクス転送がキャンセルされます。

## 応答呼び出し音のパターンの変更 (着信識別音)

多くの電話会社から、1 本の電話回線に複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。この着信識別サービスでは、シングル呼び出し音、ダブル呼び出し音、トリプル呼び出し音など、番号によって違う呼び出

し音パターンを使用できます。HP All-in-One は、特定の呼び出し音のパターンの着信に応答するようにセットアップすることができます。

着信識別音が設定されている電話回線に HP All-in-One を接続する場合は、電話会社に音声着信の呼び出し音とファクス受信の呼び出し音を、それぞれ別に割り当ててもらいます。 ファクス番号には、ダブル呼び出し音かトリプル呼び出し音を割り当てることをお勧めします。HP All-in-One は、指定した呼び出し音のパターンを検出したときに、ファクスの受信を開始します。

たとえば、電話会社にファクス番号に 2 回の呼び出し音パターン、電話に 1 回の呼び出し音パターンを割り当ててもらうことができます。このセットアップでは、HP All-in-One の 「応答呼び出し音のパターン」 を 「呼び出し 2 回」 に設定します。また、「応答呼出し回数」 設定を 「3」 に設定できます。2 回の呼び出し音パターンで電話があると、呼び出し音 3 回で HP All-in-One が応答し、ファクスを受信します。

この着信識別サービスを使用していない場合は、デフォルトの呼び出し音パターン、すなわち 「すべての呼び出し」 を使用してください。

**コントロール パネルで応答呼び出し音のパターンを変更するには**

1. HP All-in-One がファクスの呼び出しに自動応答するよう設定されていることを確認します。 詳細については、応答モードの設定を参照してください。
2. **セットアップ** を押します。
3. **5** を押し、次に **1** を押します。
これで 「ファクスの詳細設定」 が選択され、次に 「応答呼出し音のパターン」 が選択されます。
4. ▶ を押してオプションを選択してから **OK** を押します。
ファクス電話回線に割り当てられた呼び出し音で電話が鳴ると、HP All-in-One は着信に応答して、ファクスを受信します。

## ビジー状態または応答のない番号への自動リダイヤル

HP All-in-Oneを、ビジー状態あるいは応答のない番号に自動的にリダイヤルするよう設定できます。 「ビジー リダイヤル」 のデフォルト設定は 「リダイヤルする」 です。 「 応答なし リダイヤル」 のデフォルト設定は 「リダイヤルしない」 です。

1. **セットアップ** を押します。
2. 次のいずれかを実行してください。
   – 「ビジー リダイヤル」 設定を変更するには、**5** を押してから **2** を押します。
   「ファクスの詳細設定」 が選択され、次に 「ビジー リダイヤル」 が選択されます。
   – 「応答なし リダイヤル」 設定を変更するには、**5** を押してから、もう一度 **3** を押します。

「ファクスの詳細設定」 が選択され、次に 「応答なしリダイヤル」 が選択されます。

3. ▶ を押して 「リダイヤルする」 または 「リダイヤルしない」 を選択します。
4. **OK** を押します。

## 着信ファクスを自動縮小するよう設定する

これは、受信したファクスがデフォルトの用紙サイズよりも大きい場合に HP All-in-One がどう対応するかの設定です。この設定をオン (デフォルトの設定) にすると、受信したファクスの画像を 1 ページに収まるように縮小します。この機能がオフの場合は、1 ページ目からはみ出した内容は 2 ページ目に印刷されます。 「自動縮小」 は、レター サイズの用紙が給紙トレイにセットされていて、リーガル サイズのファクスを受信する場合に役に立ちます。

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **4** を押します。
   「ファクスの詳細設定」 が選択され、次に 「自動縮小」 が選択されます。
3. ▶ を押して 「オフ」 または 「オン」 を選択します。
4. **OK** を押します。

## バックアップ ファクス受信の設定

HP All-in-One は、すべての受信したファクスをメモリに保存します。エラーが発生して HP All-in-One がファクスを印刷できない場合、「バックアップ ファクス受信」 機能でファクスを受信することができます。 エラー状態の時、「バックアップ ファクス受信」 が有効の場合、ファクスはメモリに保存されます。

たとえば、HP All-in-One の紙が不足した状態で 「バックアップ ファクス受信」 が有効な場合、すべての受信したファクスはメモリに保存されます。 用紙をセットすると、保存されたファクスを印刷することができます。 この機能が無効な場合、HP All-in-One はエラーが解決するまで着信に応答しません。

通常の運用では (「バックアップ ファクス受信」 が 「オン」 または 「オフ」 にかかわらず)、HP All-in-Oneはすべてのファクスをメモリに保存します。 メモリがいっぱいになると、HP All-in-One は新たにファクスを受信するにしたがって、印刷済みのファクスを古い順に消去します。 メモリに保存されているすべてのファクスを消去したい場合、**電源 (On)** ボタンを押して HP All-in-One の電源をオフにします。

注記 「バックアップ ファクス受信」 が 「オン」 に設定され、エラーが発生していない状態の場合、HP All-in-Oneは受信したファクスを「未印刷」としてメモリに保存します。 まだ印刷されていないファクスは、印刷するか削除されない限りメモリに残ります。 印刷済みでな

いファクスでメモリがいっぱいになると、それらのファクスを印刷するかメモリから削除するまで、HP All-in-One はファクスの受信ができなくなります。 メモリに保存されたファクスを印刷または削除するには、メモリにあるファクスの再印刷と削除 を参照してください。

デフォルトでは、「バックアップ ファクス受信」 設定は 「オン」 になっています。

**コントロール パネルでバックアップ ファクス受信を設定するには**

1. セットアップ を押します。
2. **5** を押して、次にもう一度 **5** を押します。
「ファクスの詳細設定」 が選択され、「バックアップ ファクス受信」 が選択されます。
3. ▶ を押して 「オン」 または 「オフ」 を選択してください。
4. **OK** を押します。

## エラー補正モードの使用

「エラー補正モード」 (ECM) は、電話回線の問題により、送受信中に喪失したデータを排除し、検出されたエラー部分を再送信するよう自動的に要求する機能です。 この処理を行っても、品質の良い電話回線を使用している場合、電話料金は変わらず、場合によっては安くなることもあります。 電話回線の状態が悪い場合、ECM を選択すると、送信時間と電話料金が増えますが、送信するデータの信頼性が上がります。デフォルトの設定はオンです。電話料金を安くするためにファクスの品質を問わないという場合のみ、ECM をオフにしてください。

以下の規則が ECM に適用されます:

- ECM がオンに設定されている場合、送信するファクスのみに適用されます。受信するファクスには適用されません。
- ECM がオフに設定されている場合、「ファクス速度」 を 「標準」 にセットします。「ファクス速度」 が 「はやい」 にセットされていると、ECM がオンの場合にファクスが自動的に送信されます。 「ファクス速度」 の詳細については、ファクス速度の設定 を参照してください。
- ファクスをカラーで送信する場合、現在 ECM がどちらにセットされていても、オンの状態になってファクスが送信されます。

**コントロール パネルで ECM 設定を変更するには**

1. セットアップ を押します。
2. **5** を押し、次に **6** を押します。
「ファクスの詳細設定」 が選択され、次に 「エラー補正モード」 が選択されます。
3. ▶ を押して 「オフ」 または 「オン」 を選択します。
4. **OK** を押します。

### ファクス速度の設定

ファクスを送受信するときに HP All-in-One と相手のファクス機の間で通信する、ファクス速度を設定することができます。デフォルトのファクス速度は 「はやい」 です。

以下のサービスを使用している場合は、ファクス速度を「おそい」設定にする必要があることがあります。

- インターネット電話サービス
- PBX システム
- Fax over Internet Protocol (FoIP)
- ISDN (総合デジタル通信網) サービス

ファクスの送受信に問題がある場合は、「ファクス速度」 設定を 「標準」 または 「おそい」 に設定することをお勧めします。以下の表に、選択できるファクス速度の設定を示します。

| ファクス速度の設定 | ファクス速度 |
| --- | --- |
| 「はやい」 | v.34 (33600 ボー) |
| 「標準」 | v.17 (14400 ボー) |
| 「おそい」 | v.29 (9600 ボー) |

#### コントロール パネルからファクス速度を設定するには

1. セットアップ を押します。
2. 5 を押し、次に 7 を押します。
   「ファクスの詳細設定」 が選択され、次に 「ファクス速度」 が選択されます。
3. ▶ を押してオプションを選択してから OK を押します。

## メモリにあるファクスの再印刷と削除

メモリ内の最新の 8 つのファクスを再印刷するか、メモリ内のファクスをすべて削除できます。 HP All-in-One がファクスを受信している間に用紙がなくなった場合は、いったんメモリにファクスを保存して、後で再印刷する必

要があります。 また、セキュリティ確保のためにメモリ内のファクスをすべて削除することもできます。

注記　HP All-in-Oneでは、すでに印刷されたものも含むすべてのファクスがメモリに保存されます。 これにより、必要に応じて、後でファクスを再印刷することができます。 メモリがいっぱいになると、HP All-in-One は新たにファクスを受信するたびに、印刷済みのファクスを古い順に消去します。

きめの細かいカラー写真など、サイズの大きなファクスを受信した場合は、メモリ容量の制限により、メモリに保存されないことがあります。 大きすぎてメモリに保存できなかったファクスは、再印刷できません。

**コントロール パネルで、メモリに保存されたファクスを再印刷するには**

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. **セットアップ** を押します。
3. **6** を押し、次に **4** を押します。
   「ツール」 が選択され、「メモリ内のファクスを再印刷」 が選択されます。
   受信したときとは逆の順序で、直前に受信したファクスが最初に印刷されます。
4. 再印刷するファクスがこれ以上ない場合は、**キャンセル** を押します。
   HP All-in-One がメモリ内の次のファクスを印刷し始めます。

   注記　印刷を中止するには、保存されているファクスごとに **キャンセル** を押してください。

**コントロール パネルで、メモリに保存されたすべてのファクスを削除するには**

➔ メモリに保存されているすべてのファクスを消去するには、**電源 (On)** ボタンを押して HP All-in-One の電源をオフにします。

HP All-in-One の電源をオフにすると、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。

## インターネット経由でファクスする

HP All-in-One を使用して、インターネット経由でファクスを送受信できる低コスト電話サービスを利用できる場合があります。 この方法は、Fax over Internet Protocol (FoIP) と呼ばれます。 次のような場合は、(電話会社が提供する) FoIP サービスを使用しているはずです。

- ファクス番号と一緒に特別のアクセス コードをダイヤルしている
- インターネットに接続する IP コンバータ ボックスがあり、ファクス接続用のアナログ電話ポートがある

注記　電話コードを HP All-in-One の「1-LINE」と書かれたポートに接続した場合だけファクスの送受信が可能で、 Ethernet ポートは使用

できません。つまり、インターネット接続は、コンバータ ボックス (ファクス接続用に通常のアナログ電話ジャックを装備) または電話会社経由で行う必要があるということです。

FoIP サービスは、HP All-in-One が高速 (33600bps) でファクスを送受信していると正常に動作しない場合があります。 インターネット ファクス サービスを使用して、ファクスの送受信で問題が起きたら、ファクス速度を遅くしてください。 「ファクス速度」 の設定を 「はやい」(デフォルト) から 「標準」 にすれば、ファクス速度が遅くなります。 この設定の変更については、ファクス速度の設定 を参照してください。

また、インターネット電話サービスがファクスをサポートしているか電話会社に確認してください。 ファクスをサポートしていない場合、インターネット経由でファクスを送受信することはできません。

## ファクスの中止

送受信中のファクスはいつでもキャンセルすることができます。

**コントロール パネルでファクス送信を中止するには**

➔ 送受信しているファクスを中止するには、コントロール パネルで **キャンセル** を押します。 コントロール パネル ディスプレイに表示される 「ファクス取消済」 メッセージを確認します。 このメッセージが表示されない場合は、**キャンセル** ボタンをもう一度押します。
HP All-in-One は、既に印刷を開始したページをすべて印刷してから、残りのファクスをキャンセルします。 しばらく時間がかかる場合があります。

**番号のダイヤルを中止するには**

➔ ダイヤルを中止するには、**キャンセル** を押します。

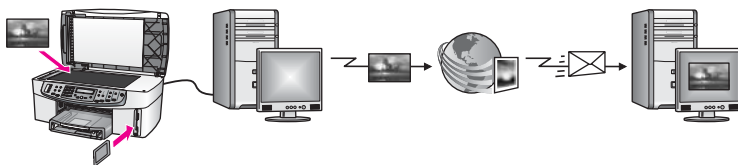
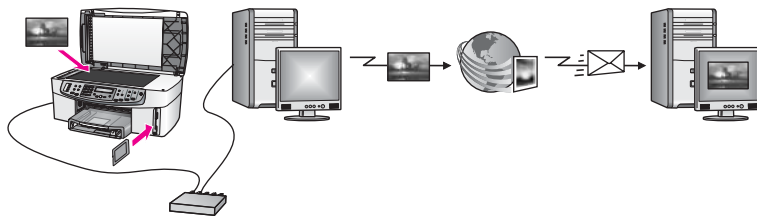
# 12 HP Instant Share の使用

HP Instant Share を使用すると、家族や友人と写真を簡単に共有できます。写真をスキャンする、または HP All-in-One のカード スロットにメモリ カードを挿入した後、共有する写真を選択し、送信先を選択して写真を送信するだけです。 また、オンライン フォト アルバムや、オンライン写真仕上げサービスに写真をアップロードすることもできます。 利用できるサービスは、国/地域によって異なります。

「**HP Instant Share メール送信**」 を使用すると、いつでも写真を家族や友人と楽しむことが出来ます。ダウンロードしたファイルのサイズや受け取った画像が大きすぎて開けないといったことはなくなります。送信されるのは、写真のサムネイル画像が添付された電子メール メッセージです。これにはセキュリティで保護された Web ページへのリンクが記されていて、このページで写真を簡単に表示、共有、印刷、保存できます。

## 概要

HP Officejet 7200 All-in-One series は USB ポートも搭載しているので、USB ケーブルを使用して直接コンピュータに接続できます。 また、Ethernet ポートも装備しているので既存の LAN (ローカル エリア ネットワーク) に接続できます。 接続先の環境に最も適したポートを選択してください。 その後、HP All-in-One とコンピュータにインストールされている「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用することにより、お友達やご家族と写真を共有できます。

USB 接続およびネットワーク接続デバイスを以下に示します。

送信先に指定できるのは、電子メール アドレス、オンライン フォト アルバム、またはオンライン写真仕上げサービスなどです。利用できるサービスは、国/地域によって異なります。

注記　画像は、友人や家族が使用しているネットワーク接続の HP All-in-One (またはフォト プリンタ) にも送信できます。本体への送信には、HP Passport のユーザー ID とパスワードが必要です。受信側のデバイスは、セットアップして、HP Instant Share に登録する必要があります。また、送信者が受信側デバイスに割り当てている名前を入手する必要があります。 詳しい説明は、 HP All-in-One による画像の共有.を使用して画像を送信するステップ 7 に出ています。

## はじめに

HP Instant Share を HP All-in-One で利用するには、次のものが必要です。

- コンピュータに接続した HP All-in-One (USB ケーブルまたは LAN を使用)
- ブロードバンド インターネット アクセス
- ご使用のオペレーティング システムに応じて以下のものが必要です。
  - Windows:コンピュータにインストール済みの 「**HP Image Zone**」 ソフトウェア
  - Macintosh:コンピュータにインストール済みの 「**HP Image Zone**」 ソフトウェア。「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアを含む。

HP All-in-One をセットアップし、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアをインストールしたら、HP Instant Share を使用して、写真を共有する作業を開始できます。HP All-in-One をセットアップする方法の詳細については、デバイス付属のセットアップ ガイドを参照してください。

## HP All-in-One による画像の共有

画像には、写真やスキャンした文書があります。 どちらも、HP All-in-One と HP Instant Share を使用して友人や家族と共有できます。 メモリ カードからコンピュータに写真を転送するか、画像をスキャンして、共有する画像を選択し、送信先を選択して送信するだけです。

### メモリ カードからの写真を送信する

HP All-in-One を使用して、メモリ カードの写真を共有 することができます。 写真をコンピュータに転送して、送信する写真を選択し、「**HP Instant Share E-mail**」 を使用して写真を共有します。

注記　メモリ カードの使用方法については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用を参照してください。

1. メモリ カードが HP All-in-One のカード スロットに挿入されていることを確認します。
   – USB ケーブル接続の場合は、ステップ 5 に進んでください。
   – Ethernet ネットワーク接続の場合は、次のステップ 2 に進みます。
2. コントロール パネル ディスプレイに、フォト メニューの 「写真の転送」 が選択された状態で表示されます。 ▶ を押して 「はい」 を選択してから **OK** を押します。
   写真の転送処理が始まります。

   注記　動画ファイル タイプは、HP Instant Share サービスではサポートされない場合があります。

3. 「転送先メニュー」 が表示されたら、▶ を押して写真を転送したいコンピュータを選択します。
4. **OK** を押します。
5. 以下のいずれかの操作を実行してください。
   – Windows の場合、コンピュータの画面に HP フォト トランスファー ソフトウェアのダイアログ ボックスが表示されます。 コンピュータに写真を保存するオプションをクリックします。
   – Macintosh OS X の場合、コンピュータの画面に 「**画像キャプチャ**」 ダイアログが表示されます。

     注記　設定が済んでいる場合のみ 「**画像のキャプチャ**」 が自動的に開きます。設定方法については、「**HP Image Zone ヘルプ**」 の 「**画像の転送**」 セクションの説明に従ってください。

     • 「**ダウンロード先**」 ポップアップ メニューから画像の送信先を選択します。
     • 「**自動タスク**」 ポップアップ メニューから 「**HP ギャラリで画像を表示**」 を選択します。
   – Macintosh OS 9 の場合、コンピュータの画面に 「**画像の保存**」 ソフトウェアのダイアログが表示されます。

     ヒント　Macintosh OS 9 をご使用の場合、写真を Macintosh の 「**HP ギャラリ**」 にアップロードします。 「**電子メール**」 をクリックし、コンピュータの画面に表示される指示に従う

と、スキャンした画像を電子メールの添付ファイルとして送信できます。

6. 以下のうち、ご使用のオペレーティング システムに適した手順に従ってください。

**Windows ベースのコンピュータをご使用の場合**

a. デスクトップにある「**HP Image Zone**」のアイコンをダブルクリックします。
コンピュータに「**HP Image Zone**」のウィンドウが表示されます。このウィンドウに「**マイ イメージ**」タブが表示されます。
b. 画像が保存されているフォルダから、画像を選択します。
詳細については、オンスクリーンの「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。
c. 「**HP Instant Share**」タブをクリックします。
「**HP Image Zone**」のウィンドウに「**HP Instant Share**」タブが表示されます。
d. 「**HP Instant Share**」タブの「**コントロール**」または「**作業**」から写真を送信するために使用するリンクまたはサービスのアイコンをクリックします。

注記 「**すべてのサービスを見る**」をクリックすると、お住まいの国/地域で利用できるすべてのサービスの中から、いずれかを選択できます。たとえば、「**HP Instant Share メール送信**」および「**オンライン アルバムの作成**」などです。画面上の指示に従って操作します。

「**インターネットに接続**」画面が作業領域に表示されます。
e. 「**次へ**」をクリックし、画面上の指示に従って操作します。

**Macintosh OS X をご使用の場合:**

a. 「**HP ギャラリ**」画像領域で、共有する写真を 1 枚または複数選択します。
b. 「**サイドバー**」で、「**画像共有**」アイコンをクリックします。
「**HP Instant Share**」クライアント アプリケーション ソフトウェアのウィンドウが表示されます。
c. 共有する写真が「**HP Instant Share**」ウィンドウに表示されていることを確認します。
写真を削除するには「**-**」ボタンを使用し、ウィンドウに写真を追加するには「**+**」ボタンを使用します。
d. 「**続行**」をクリックし、画面上の指示に従って操作します。
e. HP Instant Share サービス一覧から、写真を送信するために使用するサービスを選択します。
f. 画面上の指示に従って操作します。

7. 「**HP Instant Share メール送信**」 サービスからは次のことが可能です。
   – 写真のサムネイル画像が添付された電子メール メッセージを送信。画像は 表示、印刷、保存できる。
   – 電子メールのアドレス帳を開いて利用。「**アドレス帳**」 をクリックし、HP Instant Share の登録を行って、HP Passport アカウントを作成。
   – 電子メールを複数のアドレスに送信。複数のアドレスのリンクをクリック。
   – 複数の画像をまとめて友人または家族のネットワーク接続デバイスに送信。本体で受信機能を搭載しているプリンタに送る場合には、「**宛先**」フィールドで @send.hp.com の前に、受信者がプリンタに割り当てた名前を入力してください。アドレス帳の登録には HP Passport の「**ユーザーID**」と「**パスワード**」を使用して HP Instant Share にサインインするように要求されます。

注記　HP Instant Share をまだセットアップしていない場合には、「**HP Passport サインイン**」 画面の 「**HP Passportのアカウントを作成する**」 をクリックします。HP Passport のユーザー ID とパスワードを取得します。

### スキャンした画像の送信

スキャンした画像を共有することができます。 ガラス板に画像を置いて、送信先を選択し、画像をスキャンし、「**HP Instant Share 電子メール**」 を使用して画像を共有します。

注記　画像をスキャンする方法については、スキャン機能の使用を参照してください。

1. 原稿の表を下にしてガラス板の右下隅に合わせてセットします。
2. HP All-in-One のコントロール パネルにある **スキャンの送信先** を押します。
   「スキャン」 メニューがコントロール パネル ディスプレイに表示されます。
3. 以下のいずれかの操作を実行してください。
   – USB ケーブル接続の場合は、ステップ 6 に進んでください。
   – Ethernet ネットワーク接続の場合は、次のステップ 4 に進みます。
4. ▶ を押して 「コンピュータの選択」 を押し、次に **OK** を押します。
5. ▶ を押して画像の送信先を選択し、次に **OK** を押します。
6. ▶ を押して「**HP Instant Share**」 を選択し、次に **OK** または**スキャン スタート** を押します。
   画像がスキャンされ、コンピュータにアップロードされます。
   Windows をご使用の場合、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアが起動し、「**HP Instant Share**」 タブが開きます。 [選択トレイ] に、スキャン

した画像のサムネイルが表示されます。 「**HP Image Zone**」 の詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。
Macintosh OS X （v10.2 以降）をご使用の場合、コンピュータで「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアが起動します。「**HP Instant Share**」 ウィンドウに、スキャンした画像のサムネイルが表示されます。

注記 Macintosh OS X (v10.2 以前) または OS 9 をご使用の場合、Macintosh 上の 「**HP ギャラリ**」に写真がアップロードされます。 「**電子メール**」 をクリックします。 コンピュータの画面に表示される指示に従うと、スキャンした画像を電子メールの添付ファイルとして送信できます。

7. 以下のうち、ご使用のオペレーティング システムに適した手順に従ってください。

**Windows ベースのコンピュータをご使用の場合**

a. 「**HP Instant Share**」 タブの 「**コントロール**」 または 「**作業**」 からスキャンした画像を送信するために使用するリンクまたはサービスのアイコンをクリックします。

注記 「**すべてのサービスを見る**」 をクリックすると、お住まいの国/地域で利用できるすべてのサービスの中から、いずれかを選択できます。たとえば、「**HP Instant Share メール送信**」 および 「**オンライン アルバムの作成**」 などです。画面上の指示に従って操作します。

「**インターネットに接続**」 画面が作業領域に表示されます。

b. 「**次へ**」 をクリックし、画面上の指示に従って操作します。

**Macintosh をご使用の場合**

a. 共有するスキャンした画像が 「**HP Instant Share**」ウィンドウに表示されていることを確認します。
写真を削除するには 「**-**」 ボタンを使用し、ウィンドウに写真を追加するには 「**+**」 ボタンを使用します。
b. 「**続行**」 をクリックし、画面上の指示に従って操作します。
c. HP Instant Share サービス一覧から、スキャンした画像を送信するために使用するサービスを選択します。
d. 画面上の指示に従って操作します。

8. 「**HP Instant Share メール送信**」 サービスからは次のことが可能です。
   – 写真のサムネイル画像が添付された電子メール メッセージを送信。画像は 表示、印刷、保存できる。
   – 電子メールのアドレス帳を開いて利用。「**アドレス帳**」 をクリックし、HP Instant Share の登録を行って、HP Passport アカウントを作成。

– 電子メールを複数のアドレスに送信。複数のアドレスのリンクをクリック。
– 複数の画像をまとめて友人または家族のネットワーク接続デバイスに送信。本体で受信機能を搭載しているプリンタに送る場合には、「**宛先**」フィールドで @send.hp.com の前に、受信者がプリンタに割り当てた名前を入力してください。アドレス帳の登録には HP Passport の「**ユーザーID**」と「**パスワード**」を使用して HP Instant Share にサインインするように要求されます。

注記 HP Instant Share をまだセットアップしていない場合には、「**HP Passport サインイン**」 画面の 「**HP Passportのアカウントを作成する**」 をクリックします。HP Passport のユーザー ID とパスワードを取得します。

注記 スキャンの送信先 ボタンを使用してスキャンした画像を送信することもできます。 詳細については、スキャン機能の使用を参照してください。

## コンピュータを使用して画像を送信する

画像は、HP All-in-One を使用して HP Instant Share を介して送信できます。また、コンピュータにインストールされている 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して送信することもできます。「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用すると、画像を選択して編集でき、それから HP Instant Share にアクセスして、サービス (たとえば、「**HP Instant Share メール送信**」) を選択して、画像を送信できます。少なくとも、以下の方法で画像を共有できます。

- HP Instant Share メール送信 (電子メール アドレスへ送信)
- HP Instant Share メール送信（本体への送信）
- オンライン アルバム
- オンライン写真仕上げサービス (国/地域によってはご利用になれないことがあります)

### 「HP Image Zone」 ソフトトウェアを使用して画像を送信する （Windows）

友人や家族と画像を共有するには、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用します。「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを起動して共有する画像を選択

し、「**HP Instant Share メール送信**」 サービスを使用してその画像を送信します。

**「HP Image Zone」 ソフトウェアを使用するには**

1. デスクトップにある 「**HP Image Zone**」 のアイコンをダブルクリックします。
   コンピュータに 「**HP Image Zone**」 のウィンドウが表示されます。このウィンドウに 「**マイ イメージ**」 タブが表示されます。
2. 画像が保存されているフォルダから、画像を選択します。
   詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

   注記　「**HP Image Zone**」 の画像編集ツールを使用すると、画像を編集することができます。 詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

3. 「**HP Instant Share**」 タブをクリックします。
   「**HP Image Zone**」 のウィンドウに 「**HP Instant Share**」 タブが表示されます。
4. 「**HP Instant Share**」 タブの 「**コントロール**」 または 「**作業**」 からスキャンした画像を送信するために使用するリンクまたはサービスのアイコンをクリックします。

   注記　「**すべてのサービスを見る**」 をクリックすると、お住まいの国/地域で利用できるすべてのサービスの中から、いずれかを選択できます。たとえば、「**HP Instant Share メール送信**」 および 「**オンライン アルバムの作成**」 などです。画面上の指示に従って操作します。

   「**HP Instant Share**」 タブの「**作業**」 領域に、「**インターネットに接続**」 画面が表示されます。
5. 「**次へ**」 をクリックし、画面上の指示に従って操作します。
   「**HP Instant Share メール送信**」 サービスからは次のことが可能です。
   – 写真のサムネイル画像が添付された電子メール メッセージを送信。画像は 表示、印刷、保存できる。
   – 電子メールのアドレス帳を開いて利用。「**アドレス帳**」 をクリックし、HP Instant Share の登録を行って、HP Passport アカウントを作成。
   – 電子メールを複数のアドレスに送信。複数のアドレスのリンクをクリック。
   – 複数の画像をまとめて友人または家族のネットワーク接続デバイスに送信。本体で受信機能を搭載しているプリンタに送る場合には、「**宛先**」フィールドで @send.hp.com の前に、受信者がプリンタに割り当てた名前を入力してください。アドレス帳の登録には HP

Passport の「**ユーザーID**」と「**パスワード**」を使用して HP Instant Share にサインインするように要求されます。

注記　HP Instant Share をまだセットアップしていない場合には、「**HP Passport サインイン**」 画面の 「**HP Passportのアカウントを作成する**」 をクリックします。HP Passport のユーザー ID とパスワードを取得します。

### HP Instant Share クライアント アプリケーション ソフトウェアによる画像の送信 (Macintosh OS X v10.2 以降の場合)

注記　Macintosh OS X v10.2.0 およびv10.2.1、v10.2.2 はサポートされていません。

友人や家族と画像を共有するには、HP Instant Share クライアント アプリケーションを使用します。HP Instant Share ウィンドウを起動して共有する画像を選択し、「**HP Instant Share メール送信**」 サービスを使用してその画像を送信します。

注記　「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーションの使用方法については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

#### HP Instant Share クライアント アプリケーションを使用するには

1. Dock の 「**HP Image Zone**」 のアイコンを選択します。
   「**HP Image Zone**」 が起動します。
2. 「**HP Image Zone**」 で、ウィンドウの上部にある 「**サービス**」 ボタンをクリックします。
   「**HP Image Zone**」 の下部にアプリケーションの一覧が表示されます。
3. アプリケーションのリストから、「**HP Instant Share**」 を選択します。
   コンピュータで 「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアが起動します。
4. 「**+**」 ボタンを使用してウィンドウに画像を追加するか、「**-**」 ボタンを使用して画像を削除します。

   注記　「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーションの使用方法については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

5. 共有する画像が 「**HP Instant Share**」ウィンドウに表示されていることを確認します。
6. 「**続行**」 をクリックし、画面上の指示に従って操作します。
7. HP Instant Share サービス一覧から、スキャンした画像を送信するために使用するサービスを選択します。

8. 画面上の指示に従って操作してください。
   「**HP Instant Share メール送信**」 サービスからは次のことが可能です。
   – 写真のサムネイル画像が添付された電子メール メッセージを送信。画像は 表示、印刷、保存できる。
   – 電子メールのアドレス帳を開いて利用。「**アドレス帳**」 をクリックし、HP Instant Share の登録を行って、HP Passport アカウントを作成。
   – 電子メールを複数のアドレスに送信。複数のアドレスのリンクをクリック。
   – 複数の画像をまとめて友人または家族のネットワーク接続デバイスに送信。本体で受信機能を搭載しているプリンタに送る場合には、「**宛先**」フィールドで @send.hp.com の前に、受信者がプリンタに割り当てた名前を入力してください。アドレス帳の登録には HP Passport の「**ユーザーID**」と「**パスワード**」を使用して HP Instant Share にサインインするように要求されます。

注記 HP Instant Share をまだセットアップしていない場合には、「**HP Passport サインイン**」 画面の 「**HP Passportのアカウントを作成する**」 をクリックします。HP Passport のユーザー ID とパスワードを取得します。

### 「HP Image Zone」 による画像の共有 (Macintosh OS X v10.2 以前の場合)

注記 Macintosh OS X v10.0 および v10.0.4 は、サポートされていません。

電子メール アカウントを持っている相手であれば誰とでも画像を共有できます。操作は簡単です。まず、「**HP Image Zone**」を起動し、「**HP ギャラリ**」を開きます。次に、コンピュータにインストールされている電子メール アプリケーションで、電子メール メッセージを新規作成します。

注記 詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」 で、 「**HP ギャラリ**」 に関するセクションを参照してください。

#### 「HP Image Zone」 で電子メール オプションを使用するには

1. Dock の 「**HP Image Zone**」 のアイコンを選択します。
   「**HP Image Zone**」 が起動します。
2. 「**HP Image Zone**」 で、ウィンドウの上部にある 「**サービス**」 ボタンをクリックします。
   「**HP Image Zone**」 の下部にアプリケーションの一覧が表示されます。
3. アプリケーションのリストから、 「**HP ギャラリ**」 を選択します。
   コンピュータに 「**HP ギャラリ**」 が表示されます。

4. 共有する画像を選択します。
   詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。
5. 「**メール送信**」 をクリックします。
   Macintosh で電子メール プログラムが開きます。
   コンピュータの画面に表示される指示に従うと、画像を電子メールの添付ファイルとして送信できます。

### 「HP ディレクタ」による画像の共有 (Macintosh OS 9 の場合)

電子メール アカウントを持っている相手であれば誰とでも画像を共有できます。操作は簡単です。まず、「**HP ディレクタ**」を起動し、「**HP ギャラリ**」を開きます。次に、コンピュータにインストールされている電子メール アプリケーションで、電子メール メッセージを新規作成します。

注記　詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」で、 「**HP ギャラリ**」 に関するセクションを参照してください。

#### 「HP ディレクタ」 で電子メール オプションを使用するには

1. デスクトップにある 「**HP ディレクタ**」 のショートカットをダブルクリックします。
   「**HP ディレクタ**」 メニューが起動します。
2. 「**HP ギャラリ**」をダブルクリックします。
   「**HP ギャラリ**」 が起動します。
3. 共有する画像を選択します。
   詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。
4. 「**電子メール**」 をクリックします。
   Macintosh で電子メール プログラムが開きます。
   コンピュータの画面に表示される指示に従うと、画像を電子メールの添付ファイルとして送信できます。

# 13 ネットワークを設定する

この章では、HP All-in-One を Ethernet ネットワークに接続して、お使いの HP All-in-One を他のコンピュータと共有する方法について説明します。 また、推奨されるネットワーク構成およびネットワークの管理情報についても説明します。 お使いの HP All-in-One を初めてネットワークに接続する場合、または USB で直接接続する場合は、HP All-in-One 付属の『セットアップ ガイド』をご覧ください。

この章では、以下のトピックの情報が得られます。



注記 この章で使用されるネットワーク用語の定義については、ネットワーク用語集 を参照してください。

## USB 接続からネットワーク接続へ切り替える

USB 接続された HP All-in-One は、後から切り替えてネットワークに接続することができます。

**USB 接続からネットワーク接続へ切り替えるには**

1. HP All-in-One の後部から USB 接続ケーブルを取り外します。
2. ネットワークへの接続用のソフトウェアをインストールする を参照して付属のソフトウェアをインストールします。
3. ソフトウェアのインストールが完了したら、以下の手順でコンピュータ上のプリンター用各種アイコンにアクセスします。
   – **Windows XP の場合**：「プリンタとファクス」 フォルダを開きます。
   – **Windows 98/Me または Windows 2000の場合**：「プリンタ」 フォルダを開きます。
   – **Macintosh OS X の場合**:「ユーティリティ」 一覧にある「プリンター セットアップ ユーティリティ」 を開きます。
4. その中に HP All-in-One 用の USB プリンターのアイコンが存在するかどうかを確認します。USB プリンタのアイコンが表示されている場合は削除してください。

# 推奨の Ethernet 接続を選択する

このセクションでは、すでに所定の位置に接続した、またはセットアップしようとする Ethernet ネットワークの種類を確認します。ここで示される各ネットワークは、Ethernet ルーターなどのデバイスを使用してネットワーク構成要素を接続します。このように接続されたネットワークは **インフラストラクチャ** ネットワークと呼ばれます。 Ethernet は性能、信頼性、セキュリティの面で優れています。

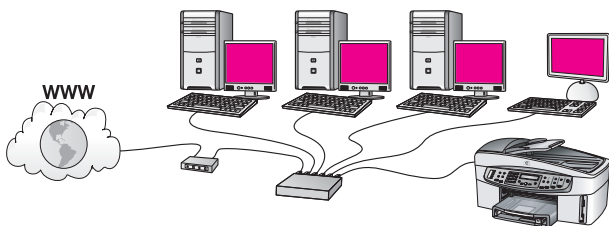
Ethernet ネットワークは、インターネットに接続する場合と接続しない場合があります。 HP All-in-One をインターネット接続の Ethernet ネットワークに配置する場合は、HP All-in-One の IP アドレスが Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) で動的に割り当てられるようにするため、ゲートウェイを使用することをお勧めします。ゲートウェイには、ルータか Internet Connection Sharing (ICS) が稼働している Windows コンピュータを使用できます。

注記　用語の定義が本章に記載されていないものについては、ネットワーク用語集 を参照してください。

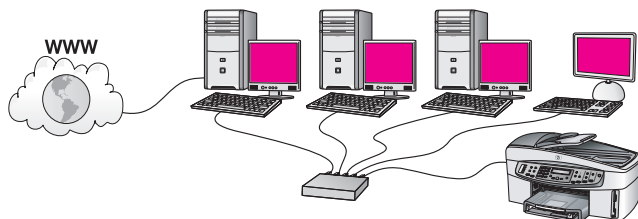
以下の有線 LAN （ローカル エリア ネットワーク）構成でHP All-in-One を使用することをお勧めします。

## DSL またはケーブル インターネット接続された有線ネットワークへの Ethernet 接続

DSL またはケーブルでインターネットにアクセスする場合は、インターネット ゲートウェイとしてルーターかコンピュータ、どちらかを使用します。 DSL またはケーブルでは、HP Instant Share を使用してインターネット上で写真を共有するなど、HP All-in-One のすべての機能を利用できます。

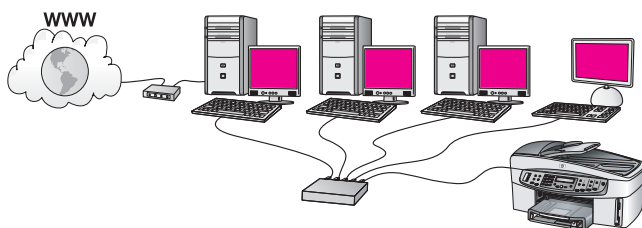
**ルーター ゲートウェイ**

この例では、ルーターがネットワーク接続を管理し、DSL またはケーブル モデムがインターネットにアクセスします。この構成を使用する場合は HP All-in-One を Ethernet ケーブルでルーターに接続します。

この構成では、インターネット上で写真を共有するなど、HP All-in-One のすべての機能を利用できます。接続方法については、 Ethernet ネットワークへの接続 を参照してください。

### コンピュータ ゲートウェイ

この例では､ネットワーク デバイスはスイッチまたはルーターに接続されます。 ネットワーク上の 1 台のコンピュータが、ネットワークとインターネット間のゲートウェイとなります｡このゲートウェイ コンピュータは、Windows Internet Connection Sharing (ICS) か類似のソフトウェアを使ってネットワーク接続を管理し､また他の機器がインターネットにアクセスできるようにします。

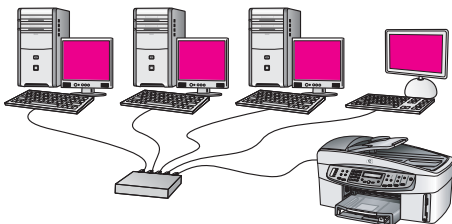
注記　ゲートウェイの働きをしているコンピュータの電源がオフになると、ネットワーク上の他のコンピュータはインターネットに接続できなくなります。 また、HP All-in-One のインターネットに関連する機能も利用できなくなります。

この構成を使用する場合は、 HP All-in-One を Ethernet ケーブルでスイッチまたはルーターに接続します。接続方法については、 Ethernet ネットワークへの接続 を参照してください。

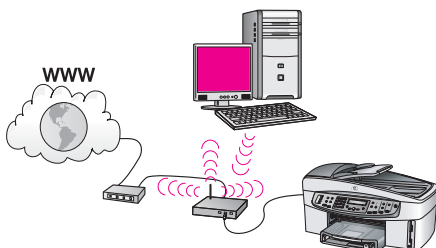
### モデムでインターネット接続する有線ネットワークへの Ethernet 接続

この例では、ネットワーク デバイスはスイッチまたはルーターに接続され、モデム（この図では左側のコンピュータに接続されている）がインターネットにアクセスします。モデムは､電話コードとジャックを使用してコンピュータに接続されています｡1台のコンピュータだけがインターネットにアクセスできます。 ネットワーク上のHP All-in-One や他のコンピュータは、インターネットにアクセスできません｡この構成を使用する場合は、 HP All-in-One

を Ethernet ケーブルでスイッチまたはルーターに接続します。接続方法については、 Ethernet ネットワークへの接続 を参照してください。

注記 HP All-in-One で HP Instant Share の機能を使用するには、ケーブルや DSL などの、ブロードバンドによるインターネット アクセスが必要です。HP Instant Share の詳細については、HP Instant Share の使用を参照してください。

### インターネットに接続しない有線ネットワークへの Ethernet 接続

この例では、ネットワーク デバイスはスイッチまたはルーターには接続されていますが、インターネットへは接続されていません。デバイスは AutoIP を使用するため、 IP アドレスは自動的に設定されます。この構成を使用する場合は、 HP All-in-One を Ethernet ケーブルでスイッチまたはルーターに接続します。接続方法については、 Ethernet ネットワークへの接続 を参照してください。

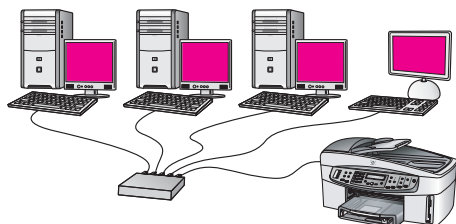
注記 HP All-in-One で HP Instant Share の機能を使用するには、ケーブルや DSL などの、ブロードバンドによるインターネット アクセスが必要です。HP Instant Share の詳細については、HP Instant Share の使用を参照してください。

### ワイヤレス ネットワークへの Ethernet 接続

アクセス ポイントによって有線デバイスがワイヤレス ネットワークに接続されます。このモデルでは、ワイヤレス ネットワーク アダプタを使用してコンピュータをワイヤレス ネットワーク用に設定し、データの送受信はアクセス ポイント経由で行います。HP All-in-One は有線ネットワーク用に設定し、ま

た Ethernet ケーブルでアクセス ポイントに接続します。DSL またはケーブル モデムがインターネットにアクセスします。接続方法については、Ethernet ネットワークへの接続 を参照してください。

注記　この構成では、インターネット接続を Ethernet ケーブルを使用してアクセス ポイント経由で直接行うことをお勧めします。

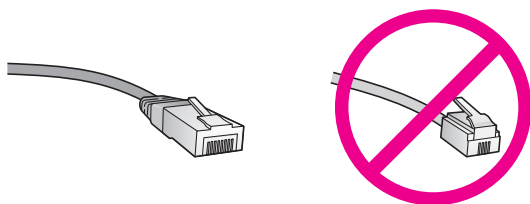
## Ethernet ネットワークへの接続

本章では、HP All-in-One をルーター、スイッチ、またはアクセス ポイントに Ethernet ケーブルを使用して接続する方法について説明します。

有線ネットワークの設定については、推奨の Ethernet 接続を選択する を参照してください。

注記　用語の定義が本章に記載されていないものについては、ネットワーク用語集 を参照してください。

HP All-in-One をコンピュータへ接続するには、まず次のセクションを参照して、準備するものを確認してください。HP All-in-One の接続が完了したら、ネットワークへの接続用のソフトウェアをインストールする を参考にして必要なソフトウェアをインストールします。

### 準備するもの

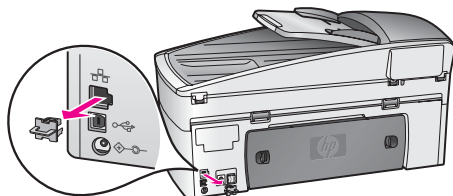
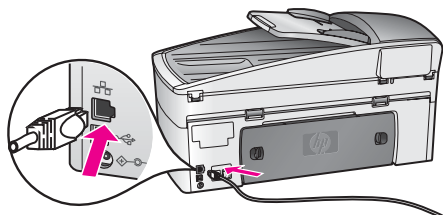
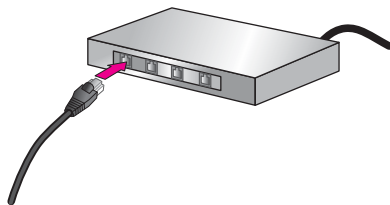
- Ethernet ルーター、スイッチまたはワイヤレス アクセス ポイントをもつ、稼働中の Ethernet ネットワーク
- CAT-5 Ethernet ケーブル。 お手持ちの Ethernet ケーブルの長さがネットワークの設定に足りない場合、十分な長さのケーブルを購入することをお勧めします。

標準の Ethernet ケーブルは普通の電話ケーブルと似ていますが､互換性はありません。この2種類のケーブルでは線の本数が異なり、また異なるコネクタが付いています。 Ethernet ケーブルのコネクタ（RJ-45 コネクタ）のほうが幅と厚みがあり、先端の接点は必ず 8 箇所です。 電話コネクタの場合は 2 ～ 6 箇所です。

- ルーターまたはアクセス ポイントへ有線またはワイヤレス接続をもつデスクトップ コンピュータまたはノートパソコン

注記　HP All−in−One は 10 Mbps および 100 Mbps Eithernet ネットワークへ接続可能です。ネットワーク インターフェース カード (NIC) の購入をお考え場合、または既にご購入済みの場合、この両方の速度で動作することを確認してください。

- ケーブルおよび DSL 等のブロードバンド インターネット アクセス (「**HP Instant Share**」 にデバイスから直接アクセスしたい場合のみ)。HP Instant Share の詳細については、HP Instant Share の使用を参照してください。

**HP All−in−One の接続**

1. HP All−in−One の後部から黄色のプラグを抜きます。

2. HP All−in−One の後部にある Ethernet ポートに Ethernet ケーブルを接続します。

3. Ethernet ケーブルのもう一方の端を Ethernet ルーター、スイッチまたはワイヤレス アクセス ポイントの空いているポートに接続します。

4. HP All−in−One のネットワークへの接続が完了したら、コンピュータへソフトウェアをインストールします。ネットワークへの接続用のソフトウェアをインストールするを参照してください。

## ネットワークへの接続用のソフトウェアをインストールする

このセクションでは、HP All−in−One のソフトウェアを Ethernet ネット-ワークに接続された Windows または Macintosh コンピュータへインストールする方法について説明します。 ソフトウェアをインストールする前に、Ethernet ネットワークへの接続を参考にして、HP All−in−One が Ethernet ネットワークに接続されていることを確認してください。

注記 コンピュータが一連のネットワーク ドライブに接続するよう設定する場合、ソフトウェアをインストールする前に、コンピュータが現在それらのドライブに接続されていることを確認してください。さもないと、インストール ソフトウェアがネットワーク ドライブに割り当てられた予約済みドライブ名を使用する可能性があり、そのネットワーク ドライブ名へのアクセスが不可能になります。

お手持ちのコンピュータの OS が Windows または Macintosh コンピュータかに応じて、下記の手順を参照してください。

### Windows の場合

この後の説明は、Windows コンピュータだけに適用されます。

注記 インストールに要する時間は、お使いの OS、空いているディスク スペース、プロセッサの速度などによって異なりますが、20 分から 45 分かかります。

**HP All−in−One のソフトウェアをインストールするには**

1. 実行中の全てのアプリケーションを終了します。これには OS 内の XP ファイヤーウォールやその他のファイヤーウォール、ウイルス対策用ソフトウェアも対象とされます。
2. HP All−in−One に付属する Windows 用の CD をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。
「**ようこそ**」 画面が表示されます。

注記　**Windows XP のみ**: スタートアップの画面が表示されない場合、「**マイ コンピュータ**」 をダブルクリックし、CD-ROM アイコンをダブルクリックし、「**setup.exe**」 ファイルをダブルクリックしてください。

3. システムの点検および準備のためのインストール画面、また、ドライバー、プラグインおよびソフトウェアのインストール画面では、「**次へ**」をクリックします。
   さらにいくつかの画面を経て、「**接続タイプ**」 画面が表示されます

   注記　お使いのファイヤーウォールについての警告が画面に表示されたら、承諾をしてインストール作業を続けてください。

4. 「**接続タイプ**」 画面で 「**ネットワークを介して接続**」 を選択し、「**次へ**」 をクリックします。
   セットアップ プログラムがネットワーク上の HP All−in−One を探している間、「**検索中**」 画面が表示されます。
5. 「**プリンタが見つかりました**」 画面で、そのプリンタについての詳細が正しいことを確認してください。
   ネットワーク上で複数のプリンタが検出されると、「**複数のプリンタが見つかりました**」 画面が表示されます。接続するデバイスを選択してください。
   お使いの HP All−in−One に対してのデバイスの設定を参照するには
   a. お使いのデバイスのセットアップボタンを押します。
   b. 「ネットワーク 」 の「ネットワーク設定の印刷」 から設定ページを印刷して確認します。
6. デバイスの説明が正しい場合、「**はい、このプリンタをインストールします**」 を選択します。
7. コンピュータの再起動をメッセージに合わせて行い、インストール処理を終了します。
   ソフトウェアのインストールが完了したら、HP All−in−One の準備は完了です。
8. ファイヤーウォールやウィルス検出ソフトウェアを無効にしていた場合は、もう一度有効にしてください。
9. ネットワークへの接続を確認するには、お使いのコンピュータから HP All−in−One へテスト ページの印刷を行います。 詳細については、コンピュータからの印刷を参照してください。

### Macintosh の場合

この後の説明は、Macintosh コンピュータだけに適用されます。

注記　インストールに要する時間は、お使いの OS、空いているディスク スペース、プロセッサの速度などによって異なりますが、20 分から 45 分かかります。

**HP All−in−One のソフトウェアをインストールするには**

1. 実行中の全てのアプリケーションを終了します。
2. HP All−in−One に付属する Macintosh 用の CD をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。
3. 「**HP All−in−Oneインストーラ**」 アイコンをダブルクリックします。
4. 「**認証**」 画面で、コンピュータやネットワークへのアクセスに使用される、管理者用パスワードを入力してください。
   このインストーラ ソフトウェアは HP All−in−One デバイスを検索して一覧を表示します。
5. 「**デバイスの選択**」 画面で、HP All−in−One を選択します。
6. 画面上の指示に従って、「**セットアップ アシスタント**」 を含む全てのインストール作業を完了してください。
   ソフトウェアのインストールが完了したら、HP All−in−One の準備は完了です。
7. ネットワークへの接続を確認するには、お使いのコンピュータから HP All−in−One へテスト ページの印刷を行います。 詳細については、コンピュータからの印刷を参照してください。

## 他のコンピュータの接続

HP All−in−One が推奨ネットワークに接続されている場合、HP All−in−One をネットワーク上の他のコンピュータと共有することができます。 追加する各コンピュータについて、ネットワークへの接続用のソフトウェアをインストールする を参照して HP All−in−One のソフトウェアをインストールする必要があります。このソフトウェアは、インストール中に接続中のネットワークの SSID (ネットワーク名) を自動的に検出します。HP All−in−One のネットワーク接続が一旦完了すれば、次回コンピュータを追加する際、再び設定を行う必要がなくなります。

## ネットワークの管理

このセクションでは、HP All−in−One のコントロール パネルと 埋め込み Web サーバー上のネットワーク ツールの使用法について説明します。これらのツールを使用すると、ネットワーク構成の表示や編集をしたり、ネットワークのセキュリティを強化したりできます。

### HP All−in−One コントロール パネルの使用

#### ネットワーク設定ページの印刷と確認

「ネットワーク設定ページ」 には、IP アドレス、リンク速度、DNS、DNS-SD など、重要なネットワーク設定の一覧が表示されます。

**ネットワーク設定ページを印刷するには**

1. セットアップ を押します。

2. **8** を押し、次に **1** を押します。
「**ネットワーク設定**」 メニューが選択され、「**ネットワーク設定の印刷**」 が印刷されます。
3. 確定するには、**1** または **OK** を押します。

設定ページの項目の定義については、設定ページの定義を参照してください。

### ネットワーク設定をデフォルトに戻す

必要に応じて、HP All-in-One のネットワーク設定を工場出荷時のデフォルトに戻すことができます。

#### 工場出荷時の初期設定に戻すには

1. **セットアップ** を押します。
2. **8** を押し、次に **4** を押します。
「**ネットワーク設定**」 メニューが選択され、「**ネットワーク デフォルトに戻す**」 が選択されます。
3. 確定するには **OK** を押します。

### 詳細ネットワーク設定

ネットワークを詳細に設定することができます。 ただし、ネットワーク管理に詳しくない場合は、これらの設定を変更しないでください。 詳細設定には、「**リンク速度の設定**」 と 「**IP 設定**」 があります。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- リンク速度の設定
- IP 設定の変更

#### リンク速度の設定

ネットワークのデータ伝送速度を変更することができます。 デフォルトの設定は 「**自動**」 です。

#### リンク速度を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **8** を押し、次に **2** を押します。
「**ネットワーク設定**」 メニューが選択され、「**リンク速度の設定**」 が選択されます。
3. リンク速度が表示されるまで、▶ を押します。
   – 「**自動**」
   – 「**10 Mb/sec 全二重通信**」
   – 「**10 Mb/sec 半二重通信**」
   – 「**100 Mb/sec 全二重通信**」
   – 「**100 Mb/sec 半二重通信**」

### IP 設定の変更

デフォルトの IP 設定は 「自動」 です。 ただし、必要に応じて IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイを手動で変更できます。 HP All-in-One の IP アドレスとサブネット マスクを確認するには、HP All-in-One からネットワーク設定ページを印刷します (ネットワーク設定ページの印刷と確認を参照)。 IP アドレスやサブネット マスクなど、設定ページのアイテムの説明については、 設定ページの定義を参照してください。

#### コントロール パネルで IP 設定を変更するには

1. セットアップ を押します。
2. 8 を押し、次に 3 を押します。
   「ネットワーク設定」 メニューが選択され、「IP 設定」 が選択されます。
3. 「手動」 が表示されるまで ▶ を押し、次に OK を押します。
4. 「IP アドレス」 を編集して、次に OK を押します。
5. 「サブネット マスク」 を押し、次に OK を押します。
6. 「デフォルト ゲートウェイ」 を編集して、次に OK を押します。

## 埋め込み Web サーバーの使用

HP All-in-One の全般ネットワーク設定の管理には、HP All-in-One のコントロール パネルを使用するのが最も便利です。 詳細については、HP All-in-One コントロール パネルの使用を参照してください。

より詳細にネットワークを設定するには、埋め込み Web サーバー (EWS) を使用できます。この Web サーバーは Web ブラウザからアクセスするネットワーク構成ツールです。 ご使用の Web ブラウザから、状態の監視、HP All-in-One のネットワーキング パラメータの設定、および HP All-in-One の機能を使用することができます。

埋め込み Web サーバーで使用可能な機能の詳細については、サーバー内のオンスクリーン ヘルプを参照してください。 埋め込み Web サーバーのヘルプにアクセスするには、下記の説明にしたがって埋め込み Web サーバーを開き、「**ホーム**」 タブの 「**その他のリンク**」 の下にある 「**ヘルプ**」 リンクをクリックします。

ヒント　埋め込み Webサーバーを使用すれば、プリント カートリッジのインク残量を確認することができます。 詳細については、推定インク残量の確認を参照してください。

#### 埋め込み Web サーバーにアクセスするには

1. セットアップ を押します。
2. 8 を押し、次に 1 を押します。
   IP アドレスを含む HP All-in-One の設定ページが印刷されます。 次のステップではこの IP アドレスを使用します。

3. ご使用の Web ブラウザの 「**アドレス**」 ボックスに、ネットワーク設定ページに記載されている HP All-in-One の IP アドレスを入力します。
   例: http://195.168.0.5.
   HP All-in-One のデバイス情報を示す、埋め込み Web サーバーの 「**ホーム**」 ページが表示されます。

   
   注記　ブラウザでプロキシ サーバーを使用している場合は、埋め込み Web サーバーにアクセスする前に無効にしておいてください。

4. 埋め込み Web サーバーで使用されている言語を変更する必要がある場合、以下の手順に従います。
   a. 「**設定**」 タブをクリックします。
   b. 「**設定**」 ナビゲーション メニューの 「**言語の選択**」 をクリックします。
   c. 「**言語の選択**」 のリストで、適切な言語をクリックします。
   d. 「**適用**」 をクリックします。
5. 「**ホーム**」 タブをクリックすると、デバイスとネットワークに関する情報を確認できます。また、「**ネットワーク**」 タブをクリックすると、ネットワーク情報の詳細を確認したり、ネットワーク情報を変更したりできます。

   
   注記　TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol) は、コンピュータで無効にしないでください。 埋め込み Web サーバーとの通信に必要です。

## 設定ページの定義

このセクションでは、ネットワーク設定ページの項目について説明します。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 全般ネットワーク設定
- ワイヤレス ネットワーク設定
- その他

### 全般ネットワーク設定

次の表で、ネットワーク設定ページに表示される全般ネットワーク設定について説明します。

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| ネットワーク状態 | HP All-in-One の状態には以下のようなものがあります。<br>● **準備完了**： HP All-in-One はデータ送受信の待機中です。<br>● **オフライン**: HP All-in-One は現在ネットワークに接続されていません。 |

(続き)

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| アクティブな接続の種類 | HP All-in-One のネットワーク モードを以下に示します。<br>● **有線**：HP All-in-One は Ethernet ケーブルで IEEE 802.3 ネットワークに接続されています。<br>● **なし**： ネットワーク接続がありません。<br>注記 1 度に使用できる接続方式は 1 方式だけです。 |
| URL | 埋め込み Web サーバーの Web アドレスまたは IP アドレス。<br>注記 埋め込み Web サーバーを開くには、この URL が必要です。 |
| ハードウェア アドレス (MAC) | HP All-in-One ごとに付けられているMAC (媒体アクセス制御) アドレス。 これは、ネットワーク ハードウェアに割り振られた12桁の固有の識別番号です。 複数のハードウェアが同一の MAC アドレスを持つことはありません。<br>注記 取り付け時にケーブル モデムや DSL モデムに接続したネットワーク カードや LAN アダプタの MAC アドレスを、登録するように求めるインターネット サービス プロバイダ (ISP) もあります。 |
| ファームウェア リビジョン | 内部ネットワーキング コンポーネントおよび本体ファームウェアのバージョン コード。ハイフンでつながっています。<br>注記 サポートセンターに電話をかけると、問題にもよりますが、このファームウェア バージョン コードを問われることがあります。 |
| ホスト名 | インストール ソフトウェアがデバイスに割り振っている TCP/IP 名。 デフォルトでは、HP の文字の後に 6 桁の MAC アドレスが続きます。 |
| IP アドレス | ネットワーク上のデバイスを識別する固有のアドレスです。 IP アドレスは、DHCP または AutoIP から動的に割り当てられます。 静的 IP アドレスを設定することもできますが、推奨いたしません。<br>注記 無効な IP アドレスをインストール時に手動で割り当てると、各ネットワーク コンポーネントから HP All-in-One を参照できなくなります。 |
| サブネット マスク | サブネットはインストール ソフトウェアが割り当てる IP アドレスで、これを使うと大きなネットワークの中の一部分 |

(続き)

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| | としてネットワークを利用できるようになります。 サブネットは、サブネット マスクで指定されます。 このマスクによって、HP All-in-One の IP アドレスを構成するビットのうちネットワークとサブネットを示す部分が決まります。また、本体自体を示すビットも決まります。<br><br>注記　サブネットを利用するすべての HP All-in-One とコンピュータに、同じサブネットを割り当てることをお奨めします。 |
| デフォルト ゲートウェイ | 他のネットワークへの入り口となる、ネットワーク上のノード。 この役割を果たすノードとしては、コンピュータやその他のデバイスなどがあります。<br><br>注記　デフォルト ゲートウェイのアドレスはインストール ソフトウェアが割り当てます。 |
| 構成ソース | IP アドレスを HP All-in-One に割り当てるためのプロトコル。以下のものがあります。<br>● **AutoIP**: インストール ソフトウェアによって自動的に構成パラメータが決められます。<br>● **DHCP** : 構成パラメータは、そのネットワーク上の動的ホスト構成プロトコル (DHCP) サーバーから提供されます。 小さなネットワークでは、ルーターがこのサーバーに当たります。<br>● **手動**:静的 IP アドレスなどの構成パラメータが手動で設定されます。<br>● **指定なし** : HP All-in-One の初期化に使用するモード。 |
| DNS サーバー | ネットワークのドメイン名サービス (DNS) の IP アドレス。 Web の使用や電子メールの送信には、ドメイン名が使用されています。 たとえば、URL http://www.hp.com には、ドメイン名の hp.com が含まれています。インターネット上の DNS は、このドメイン名を IP アドレスに変換します。この IP アドレスを使用して、デバイス間で相互に参照が行われます。<br>● **IP アドレス**: ドメイン名サーバーの IP アドレス。<br>● **指定なし** : IP アドレスが指定されていないか、本体が初期化中です。<br><br>注記　DNS の IP アドレスがネットワーク設定ページに表示されているかどうかを確認してください。 表示されていない場合は、インターネット サービス プロバイダ (ISP) から DNS の IP アドレスを入手してください。 |

(続き)

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| mDNS | Rendezvous は、中央の DNS サーバーを使用しないようなローカル ネットワークおよびアドホック ネットワークで使用されます。 Rendezvous でネーム サービスを行うには、DNS の代わりに mDNS を使用します。<br>mDNS を使用すると、LAN に接続されているすべての HP All-in-One をご使用のコンピュータから認識できます。 また、Ethernet 対応のデバイスであれば、ネットワーク上のどのコンピュータでも取り扱うことができます。 |
| 管理者パスワード | 埋め込み Web サーバーで使用する管理者のパスワード状態。以下のような状態があります。<br>● **設定**：パスワードが指定されています。 埋め込み Web サーバーのパラメータを変更するには、パスワードの入力が必要です。<br>● **未設定**：パスワードが設定されていません。 埋め込み Web サーバーのパラメータを変更するには、パスワードの入力は必要ありません。 |
| リンク構成 | ネットワークのデータ伝送速度。以下のような種類があります。<br>● **10TX-Full**： 有線ネットワーク用。<br>● **10TX-Half**: 有線ネットワーク用。<br>● **100TX-Full**: 有線ネットワーク用。<br>● **100TX Half**： 有線ネットワーク用。<br>● **なし**： ネットワーク接続は無効です。 |

#### ワイヤレス ネットワーク設定

次の表に、ネットワーク設定ページに表示されるワイヤレス ネットワーク設定を説明します。（7200 seriesはワイヤレス機能はありません）

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| ワイヤレス状態 | ワイヤレス ネットワークの状態：<br>● **接続**: HP All-in-One はワイヤレス LAN に接続され、動作中です。<br>● **切断**: 設定が間違っているか (不正な WEP キーなど)、HP All-in-One がエリア外にあるなどの理由で、HP All-in-One はワイヤレス LAN に接続されていません。 |

(続き)

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
|  | ● **無効**： 無線機能がオフになっているか、Ethernet ケーブルが差し込まれています。<br>● **適用できません**: このパラメータはこの種類のネットワークには適用されません。 |
| 通信モード | デバイスやステーションが互いに通信する、IEEE 802.11 ネットワーキング フレームワーク<br>● **インフラストラクチャ**: HP All-in-One は、ワイヤレス ルーターや無線基地局などのワイヤレス アクセス ポイントを経由して、他のネットワーク デバイスと通信します。<br>● **アドホック**: HP All-in-One はネットワーク上のデバイスと直接通信します。 ワイヤレス アクセス ポイントは使用しません。 ピア ツー ピア ネットワークとも呼ばれます。 Macintosh ネットワークでは、アドホック モードはコンピュータ間モードとも呼ばれます。<br>● **適用できません**: このパラメータはこの種類のネットワークには適用されません。 |
| ネットワーク名 (SSID) | サービス設定 ID。 ワイヤレス LAN (WLAN) の識別に使用される 32 文字までの固有の識別子。SSID はネットワーク名とも呼ばれます。この場合は、HP All-in-One が接続されているネットワークの名前を示しています。 |
| 信号強度 (1 ～ 5) | 送信信号または帰還信号は 1 段階から 5 段階に分けられます。<br>● **5**：最高<br>● **4**：良い<br>● **3**：普通<br>● **2**：悪い<br>● **1**：最低<br>● **信号なし**： ネットワーク上に信号が検出されません。<br>● **適用できません**: このパラメータはこの種類のネットワークには適用されません。 |
| チャネル | 現在ワイヤレス通信に使用されているチャネルの番号。 これはご使用のネットワークによって決まります。また、要求されたチャネル数とは異なる場合があります。 値は 1 ～ |

(続き)

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| | 14 です。ただし、国/地域によっては認可チャネルの範囲が制限されていることがあります。<br>● **<番号>**: 1 ～ 14 の範囲の値。国/地域によって異なります。<br>● **なし**： 使用中のチャネルはありません。<br>● **適用できません**： WLAN は無効に設定されているか、この種類のネットワークには適用されません。<br><br>注記 アドホック モードを使用していて、コンピュータと HP All-in-One 間でデータを送受信ができない場合は、コンピュータと HP All-in-One で通信チャネルが同じかどうか確認してください。 インフラストラクチャ モードの場合、チャネルはアクセス ポイントを見れば分かります。 |
| 認証の種類 | 使用中の認証の種類です。以下の種類があります。<br>● **なし**： 使用中の認証はありません。<br>● **オープン システム** (アドホック、インフラストラクチャ両用): 認証は使用しません。<br>● **共有キー** (インフラストラクチャのみ)： WEP キーが必要です。<br>● **WPA-PSK** (インフラストラクチャのみ)： 事前共有キーを使用する WPA。<br>● **適用できません**: このパラメータはこの種類のネットワークには適用されません。<br>ユーザーとデバイスの身元を認証による確認後ネットワークへのアクセスを認めるため、無許可のユーザーによるネットワーク リソースへの侵入が発生しにくくなります。 このセキュリティ方式はワイヤレス ネットワークでよく使われています。<br>オープン システム認証を使うネットワークでは、ネットワーク ユーザーを身元に応じて選別しません。 このネットワークでは、すべてのワイヤレス ユーザーがアクセスを許可されます。 ただし、このようなネットワークでは、簡単に傍受が行われるのを防ぐための第 1 レベルのセキュリティとして、WEP (Wired Equivalent Privacy) 暗号化が使用されることがあります。<br>共有キーによる認証を行うネットワークでは、ユーザーやデバイスに対し、静的キー (16 進数または英数字からなる文字列) を使用して本人 (本物) であることを証明するように求めるという方法で、セキュリティを高めています。 ネットワーク上のすべてのユーザーまたはデバイスは同じキー |

(続き)

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| | を共有します。 WEP 暗号化は、共有キーによる認証とともに使用されます。このとき、認証と暗号化の両方に同じキーが使用されます。<br>サーバー ベースの認証 (WPA-PSK) を行うネットワークは、セキュリティが大いに強化されます。このようなネットワークは、ほとんどのワイヤレス アクセス ポイントとワイヤレス ルーターでサポートされています。 アクセス ポイントやルーターは、ネットワークへのアクセスを求めるユーザーやデバイスの身元を検証した上で、アクセスを許可します。 認証サーバーでは、複数の異なる認証プロトコルが使用される場合があります。<br>**注記** 共有キーと WPA-PSK 認証は、埋め込み Web サーバーからのみ設定できます。 |
| 暗号化 | ネットワークで使用されている暗号化方式<br>● **なし**： 暗号化は使用されていません。<br>● **64-bit WEP**： 5 文字、あるいは 10 桁の 16 進数による WEP キーが使用されています。<br>● **128-bit WEP**： 13 文字、あるいは 26 桁の 16 進数による WEP キーが使用されています。<br>● **WPA-AES**： 高度な暗号化または標準暗号化が使用されます。 米国政府機関内で取扱注意だが機密扱いではない資料を保護するための暗号化アルゴリズムです。<br>● **WPA-TKIP**: Temporal Key Integrity Protocol。高度な暗号化プロトコルが使用されます。<br>● **自動**： AES または TKIP が使用されます。<br>● **適用できません**: このパラメータはこの種類のネットワークには適用されません。<br>WEP は、電波を経由するデータを暗号化することで、エンド ツー エンドの転送の場合と同様のデータ保護を実現することを目的としています。 このセキュリティ方式はワイヤレス ネットワークでよく使われています。 |
| アクセス ポイントのハードウェア アドレス | HP All-in-One が接続されているネットワークにあるアクセス ポイント ハードウェアのアドレス。以下の種類があります。<br>● **<MAC アドレス>**： アクセス ポイントに固有の MAC (媒体アクセス制御) ハードウェア アドレス。<br>● **適用できません**: このパラメータはこの種類のネットワークには適用されません。 |

**その他**

次の表では、ネットワーク設定ページに表示されるデータ送受信情報について説明します。

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 転送されたパケットの合計 | HP All-in-One が起動してから正常に送信したパケットの数。 このカウンタは、HP All-in-One の電源をオフにするとクリアされます。 パケット交換方式のネットワークでメッセージを送信すると、メッセージはパケット単位に分けられます。 各パケットには、データだけでなく宛先アドレスも格納されます。 |
| 受信したパケットの合計 | HP All-in-One が起動してから正常に受信したパケットの数。 このカウンタは、HP All-in-One の電源をオフにするとクリアされます。 |

## ネットワーク用語集

ASCII
: American Standard Code for Information Interchange（情報交換用米国標準コード）すべてのラテン文字（大文字および小文字）、数字、句読点などをコンピュータで表すのに使用されている標準コードです。

autoIP
: インストール ソフトウェアの機能のひとつで、ネットワーク上のデバイスの構成パラメータを決定します。

DHCP
: Dynamic Host Configuration Protocol 。ネットワーク上のデバイスに構成パラメータを送るネットワーク上のサーバーです。 小さなネットワークでは、ルーターがこれに当たります。

DNS
: Domain Name Service 。Web の使用や電子メールの送信には、ドメイン名が使用されています。たとえば、URL http://www.hp.com には、ドメイン名の hp.com が含まれています。インターネット上の DNS は、このドメイン名を IP アドレスに変換します。デバイス側では、この IP アドレスを使用して相互に参照を行います。

DNS-SD
: DNS を参照してください。SDの部分は、 Service Discovery の略です。Apple によって開発されたプロトコルの一部で、自動的にコンピュータやデバイスを見つけることができる IP ネットワークのサービスです。

DSL
: Digital Subscriber Line 。高速インターネット通信のひとつです。

| | |
|---|---|
| Ethernet | 銅線ケーブルを使用してコンピュータを接続する最も一般的なローカル ネットワーク技術です。 |
| Ethernet ケーブル | 有線接続でネットワーク構成要素を接続するのに使用されるケーブル。CAT-5 Ethernet ケーブルは、ストレートケーブルとも呼ばれます。Ethernet ケーブルを使用する場合は、ネットワーク構成要素がルーターに接続されている必要があります。 Ethernet ケーブルには RJ-45 コネクタが使用されます。 |
| EWS | Embedded (埋め込み) Web サーバー。HP All-in-One を簡単に管理できる、ブラウザをベースにしたユーティリティです。状態の監視や、 HP All-in-One のネットワーク パラメータの設定、 HP All-in-One の機能へのアクセスなどが可能です。 詳細については、埋め込み Web サーバーの使用を参照してください。 |
| ゲートウェイ | コンピュータやルータなど他のデバイス。インターネットや他のネットワークへの入り口として機能します。 |
| HEX | 16 進数。16を基数とする記数法。0〜9の数字とA〜Fの文字を使用します。 |
| ハブ | 最近のホーム ネットワークではあまり使用されていませんが、ハブは各コンピュータから信号を受け取り、その信号をハブに接続されている他のコンピュータすべてに送ります。 ハブは受動的なデバイスです。ネットワーク上の他のデバイスは互いに通信するためにハブに接続します。ハブは、ネットワークを管理しません。 |
| IP アドレス | ネットワーク上のデバイスを識別する固有の数字です。IP アドレスは、DHCP または AutoIP によって動的に割り当てられます。 静的 IP アドレスを設定することもできますが、推奨していません。 |
| インフラストラクチャ | インフラストラクチャ ネットワークは、ルーターやスイッチ、アクセス ポイントを使ってネットワーク構成要素を接続します。 |
| MAC アドレス | HP All-in-One ごとに固有に付けられている媒体アクセス制御 (MAC) アドレス。 これは、ネットワーク ハードウェアに割り振られた12桁の固有の識別番号です。 複数のハードウェアが同一の MAC アドレスを持つことはありません。 |
| NIC | ネットワーク インタフェース カード。コンピュータのカードで、Ethernet 接続を行います。これによってコンピュータをネットワークに接続することができます。 |

(続き)

| | |
|---|---|
| RJ-45 コネクタ | Ethernet ケーブルの端のコネクタ。標準の Ethernet ケーブル コネクタ（RJ-45 コネクタ）は普通の電話ケーブルコネクタと似ていますが、互換性はありません。 RJ-45 コネクタのほうが幅と厚みがあり、先端の接点は必ず 8 箇所です。 電話コネクタの場合は 2 ～ 6 箇所です。 |
| SSID | サービス設定 ID。 ワイヤレス LAN (WLAN) の識別に使用される 32 文字までの固有の識別子。SSID はネットワーク名とも呼ばれます。このフィールドは、HP All-in-One が接続されているネットワークの名前を示しています。 |
| ルーター | ルーターは2つ以上のネットワーク間の中継を行います。ルーターを導入すると、ネットワークをインターネットに接続できるばかりでなく、2 つのネットワークをリンクして両方をインターネットに接続することができます。また、ファイアウォールを使用し、動的アドレスの割り当てを行うことで、ネットワークの安全性を高めることができます。ルーターはゲートウェイの働きもします。スイッチには、こうした機能はありません。 |
| スイッチ | スイッチを使用すると、複数のユーザーがネットワーク上で情報を同時に送信することができ、お互いの速度が低下することもありません。ネットワークのさまざまなノード (ネットワーク接続ポイント、通常はコンピュータ) が、互いに直接通信できます。 |

# 14 サプライ品の注文

HP 推奨の印刷用紙、プリント カートリッジ、HP All-in-One のアクセサリは、HP Web サイトでオンライン注文できます。

## 用紙や OHP フィルムなどのメディアの注文

HP プレミアム用紙、HP プレミアム プラスフォト用紙、HP プレミアム OHP フィルム、HP アイロン プリント紙 などの用紙を注文するときは、www.hp.com/jp/hho にアクセスしてください。

## プリント カートリッジの注文

プリント カートリッジの注文番号は国/地域によって異なります。 このガイドに出ている注文番号が、ご使用の HP All-in-One に現在取り付けられているプリント カートリッジの番号と一致しない場合は、現在取り付けられているものと同じ番号の新しいプリント カートリッジを注文してください。 ご使用の HP All-in-One では、次のプリント カートリッジがサポートされています。

| プリント カートリッジ | HP 注文番号 |
| --- | --- |
| HP 黒プリント カートリッジ | #130 21 ml 黒プリント カートリッジ<br>#131 11 ml 黒プリント カートリッジ |
| HP カラー プリント カートリッジ | #134 14 ml カラー プリント カートリッジ<br>#135 7 ml カラー プリント カートリッジ |
| HP フォト プリント カートリッジ | #138 13 ml カラー フォト プリント カートリッジ |
| HP グレー フォト プリント カートリッジ | #100 15 ml グレー プリント カートリッジ |

ご使用のデバイスがサポートするすべてのプリント カートリッジの注文番号は、次の手順で確認できます。

- **Windows ユーザーの場合**: 「**HP ディレクタ**」で、「**設定**」 をクリックし、「**印刷設定**」 を選択して、次に 「**プリンタ ツールボックス**」 をク

リックします。「**推定インク残量**」タブをクリックし、次に「**プリント カートリッジについて**」をクリックします。

- **Macintosh ユーザーの場合**:「**HP ディレクタ**」(OS 9) または「**HP Image Zone**」(OS X) で、「**設定**」を選択し、「**プリンタの保守**」を選択します。
  入力を要求されたら、使用している HP All-in-One を選択し、「**ユーティリティ**」をクリックします。ポップアップ メニューから、「**サプライ品**」を選択します。

また、最寄りの HP 販売代理店にお尋ねいただくか、www.hp.com/support にアクセスして、お住まいの国/地域の正しいプリント カートリッジ注文番号を確認できます。

HP All-in-One 用のプリント カートリッジを注文するには、www.hp.com/jp/hho にアクセスしてください。



## アクセサリの注文

インクやオプションを注文するときは、www.hp.com/jp/hho にアクセスしてください。

| アクセサリと HP モデル番号 | 説明 |
| --- | --- |
| HP 小型用紙トレイ付き自動両面印刷モジュール<br>(HP 自動両面印刷対応ハガキトレイ)<br>ph3032 | 小さい用紙や封筒の専用トレイです。HP All-in-One の後部に追加すると、通常サイズの用紙と小さい用紙の両面に、自動印刷できるようになります。アクセサリを取り付けると、通常サイズの用紙をメイン給紙トレイにセットして、はがきなどの小さい用紙を後部給紙トレイにセットできます。用紙のサイズを切り替えながら印刷するときに、用紙をその都度セットし直す必要がなくなるので、時間を節約できます。 |

# 15 HP All−in−One のメンテナンス

HP All−in−One はメンテナンスがほとんど不要です。 ガラス板とカバーの裏側に付いたごみを掃除し、きれいな状態でコピーとスキャンができるようにしてください。また、プリント カートリッジの交換、調整、クリーニングを適宜行う必要があります。この章では、HP All−in−One を最高の状態に保つための方法について説明します。 必要に応じてこれらの簡単な保守手順を実行してください。

## HP All−in−One のクリーニング

指紋、汚れ、髪の毛などのごみがガラス板やカバーの裏側に付着していると、パフォーマンスが低下したり、「ページに合わせる」 などの特別な機能の精度に影響する可能性があります。 きれいにコピーやスキャンをするには、ガラス板とカバーの裏側をクリーニングしてください。また、外側のほこりも拭き取ってください。

### ガラス板のクリーニング

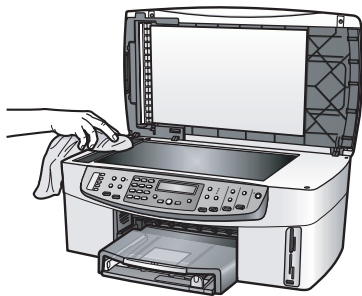
1. HP All−in−Oneの電源をオフにし、電源コードを外し、カバーを上げます。

注意　電源コードを 72 時間以上外しておくと、日付と時刻は消去されます。 後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻の再設定が必要になります。詳細については、日付と時刻の設定を参照してください。 メモリに保存されているファクスもすべて消去されます。

2. 非摩耗性のガラス クリーナを使用し少し湿らせた柔らかい布かスポンジでコピー ガラス板を拭きます。

注意　研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス板を拭かないでください。ガラス板を傷める可能性があります。 また、液体を直接ガラス板にかけないでください。ガ ラス板の下に液体が入り込んで本体を傷める可能性があります。

3. しみにならないよう、セーム革かセルロース スポンジでガラス板を拭いてください。

注記　メイン ガラス板表面の左側にあるガラスの細片がきれいになっていることを確認してください。この細片は自動ドキュメント フィーダからのジョブを処理するためのものです。ガラスの細片が汚れていると縦筋が生じることがあります。

### カバーの裏側のクリーニング

HP All-in-One のカバーの裏側にある白い原稿押さえの表面に微少な塵がたまることがあります。

1. HP All-in-One の電源をオフにし、電源ケーブルを抜き、カバーを上げます。

注意 電源コードを 72 時間以上外しておくと、日付と時刻は消去されます。 後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻の再設定が必要になります。詳細については、日付と時刻の設定 を参照してください。 メモリに格納されているファクスも消去されます。

2. 柔らかい布かスポンジを、刺激性の少ない石鹸とぬるま湯で湿らせて原稿押さえを拭きます。
3. 原稿押さえを軽く拭いて汚れを落とします。力を入れてこすらないでください。
4. セーム革あるいは柔らかい布でカバーの裏を拭いて乾かしてください。

注意 カバーの裏側を傷つける可能性があるので、紙でできたクロスは使用しないでください。

5. さらにクリーニングが必要な場合には、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用して上記の手順を繰り返してから、湿らせた布でカバーの裏側に残ったアルコールを完全に拭き取ってください。

注意 ガラス板またはHP All-in-Oneの塗装部品にアルコールをこぼさないように注意してください。デバイスに損傷を与える場合があります。

### 外側のクリーニング

柔らかい布か、または少し湿らせたスポンジで、外側の塵やしみ、汚れを拭き取ります。 プリンタの内側はクリーニングの必要はありません。

HP All-in-One のコントロール パネルや内側に液体がかからないようにしてください。

注意　HP All-in-One の塗装部品を傷めますので、コントロール パネル、ドキュメント フィーダ トレイ、カバー、デバイスのその他の塗装部品に対してアルコールやアルコールベースの洗浄液を使用しないでください。

## 推定インク残量の確認

インク残量を簡単にチェックして、いつ頃プリント カートリッジを交換すれば良いか知ることができます。 インク残量には、プリント カートリッジの推定インク残量が表示されます。

ヒント　セルフテスト レポートを印刷して、プリント カートリッジの交換が必要かどうかを調べることもできます。 詳細については、セルフテスト レポートの印刷を参照してください。

Windowsコンピュータを使用しており、ネットワークで接続しているデバイスがある場合、埋め込みWebサーバを使用して推定インク残量レベルを確認できます。 詳細については、埋め込み Web サーバを使用してインク残量を確認するには (Windows)を参照してください。

**「HP ディレクタ」 からインク残量を確認するには (Windows)**

1. 「**HP ディレクタ**」で、「**設定**」 をクリックし、「**印刷設定**」 を選択して、「**プリンタ ツールボックス**」 をクリックします。

   注記　また、「**印刷のプロパティ**」 ダイアログ ボックスから 「**プリンタ ツールボックス**」 を開くこともできます。 「**印刷のプロパティ**」 ダイアログ ボックスで、「**サービス**」 タブをクリックし、「**プリンタのメンテナンス**」 をクリックします。

2. 「**推定インク残量**」 タブをクリックします。
   プリント カートリッジの推定インク残量が表示されます。

**埋め込み Web サーバを使用してインク残量を確認するには (Windows)**

1. セットアップ を押します。
2. **8** を押し、次に **1** を押します。
   IP アドレスを含む HP All-in-One の構成ページが印刷されます。 次のステップではこの IP アドレスを使用します。
3. Web ブラウザを開きます。 Web ブラウザの 「**アドレス**」 ボックスに、ネットワーク構成ページに記載されている HP All-in-One の IP アドレスを入力します。 例: http://195.168.0.5.
   デバイス情報を示す、埋め込み Web サーバーの 「**ホーム**」 ページが表示されます。

注記　ブラウザでプロキシ サーバーを使用している場合は、埋め込み Web サーバーにアクセスする前に無効にしておいてください。

4. 「**ホーム**」 タブをクリックし、デバイス情報を表示します。

注記　コンピュータの TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol) を無効にしないでください。 埋め込み Web サーバーとの通信に必要です。

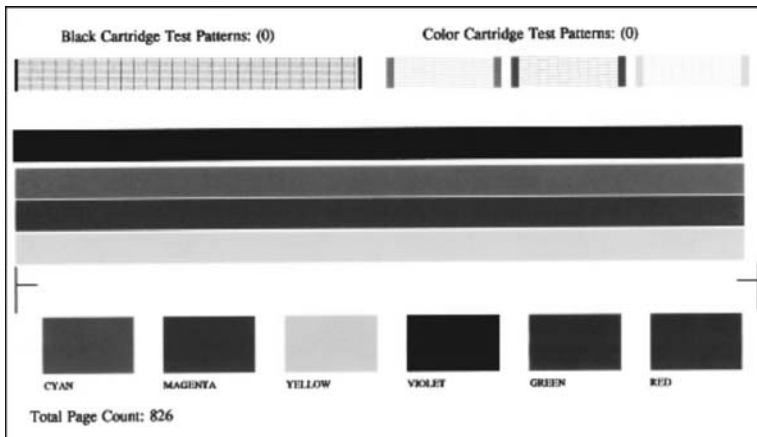
5. 「**状態**」 セクションで、取り付けたプリント カートリッジの推定インク レベルを確認します。
   埋め込み Web サーバーの使用方法の詳細については、埋め込み Web サーバーの使用を参照してください。 HP All-in-One をネットワークに接続する方法の詳細については、 ネットワークを設定する を参照してください。

**「HP Image Zone」 ソフトウェアからインク残量を確認するには (Macintosh)**

1. 「**HP ディレクタ**」 (OS 9) または 「**HP Image Zone**」 (OS X) で、「**設定**」 を選択し、「**プリンタの保守**」 を選択します。
2. 「**出力プリンタ**」 ダイアログ ボックスが表示されたら、ご使用の HP All-in-One を選択して 「**ユーティリティ**」 をクリックします。
3. ポップアップ メニューから 「**インク量**」 を選択します。
   プリント カートリッジの推定インク残量が表示されます。

## セルフテスト レポートの印刷

印刷時に問題が発生した場合は、プリント カートリッジを交換する前に、セルフテスト レポートを印刷してください。 このレポートには、プリンタ カートリッジなど、本体に関する役立つ情報があります。

1. 給紙トレイに、レター、A4、またはリーガルの未使用の白い普通紙をセットします。
2. **セットアップ** を押します。
3. **2** を押し、次に **6** を押します。
   「レポートの印刷」 メニューが選択され、次に 「セルフテスト レポート」 が選択されます。
   HP All-in-One でセルフテスト レポートが印刷されます。このレポートから印刷時の問題の原因が分かることがあります。 セルフテスト レポートにインク テストのサンプルがある場合は以下のことを示しています。

4. テスト パターンが均一でグリッドがきちんと印刷されていることを確認します。
   ひとつのパターン内で2、3本以上のラインが壊れているときは、ノズルに問題がある場合があります。 プリント カートリッジのクリーニングが必要です。 詳細については、プリント カートリッジのクリーニングを参照してください。
5. カラーのラインがページ幅いっぱいに印刷されていることを確認します。
   黒のラインが欠けている、かすれている、筋が出ている状態の場合、右スロットの黒プリント カートリッジあるいはフォト プリント カートリッジに問題がある可能性があります。
   残りの 3 本のラインが欠けている、かすれている、筋が出ている、または縞模様が現れている状態の場合、左スロットのカラー プリント カートリッジに問題がある可能性があります。
6. カラー ブロックが均一で、次の色が表示されていることを確認します。
   シアン、マゼンタ、黄色、紫、緑、赤のカラー ブロックが表示されます。
   カラー ブロックが欠けているか、カラーの一つのブロックがはっきりしない、または以下のブロックに示されているラベルにマッチしない場合は、カラー プリント カートリッジのインク切れを示していることがあります。プリント カートリッジを交換してください。 プリント カートリッジの交換の詳細については、プリント カートリッジの交換を参照してください。

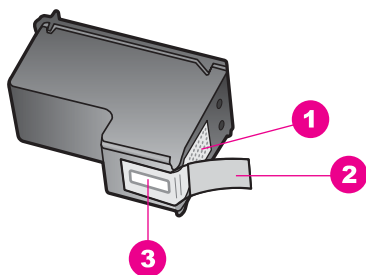
注記　正常なプリント カートリッジと故障しているプリント カートリッジのテスト パターン、カラー ライン、カラーブロックの例については、ソフトウェア付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

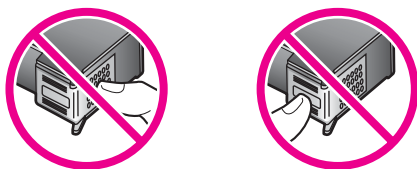
HP All-in-One のメンテナンス

# プリント カートリッジのメンテナンス

HP All−in−One から最高の印刷品質を得るために、簡単なメンテナンス手順を実行する必要があります。このセクションでは、プリント カートリッジの扱い方のガイドラインおよびプリント カートリッジのクリーニング、調整、交換について説明します。

## プリント カートリッジの取扱い

プリント カートリッジを交換、またはクリーニングする前に、プリント カートリッジの部品の名前や取り扱い方を知っておく必要があります。

| | |
|---|---|
| 1 | 銅色の接点 |
| 2 | ピンクのつまみの付いたプラスチック テープ (取り付ける前にはがしてください) |
| 3 | テープの下にあるインク ノズル |

ラベルを上にして、プリント カートリッジの黒いプラスチックの部分の横を持ちます。 銅色の接点やインク ノズルには触れないでください。

 

△ 注意　プリント カートリッジを落とさないように注意してください。破損して使用できなくなることがあります。

## プリント カートリッジの交換

プリント カートリッジのインク残量が低下すると、コントロール パネル ディスプレイにメッセージが表示されます。

 注記　プリント カートリッジの推定インク残量は、HP All−in−One に付属の 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して確認することも

できます。 詳細については、推定インク残量の確認を参照してください。

インク残量の低下を警告するメッセージが、コントロール パネル ディスプレイに表示されたら、プリント カートリッジを交換してください。 文字がかすれたり、プリント カートリッジが原因で印刷の品質に問題が生じたりした場合にも、プリント カートリッジを交換してください。

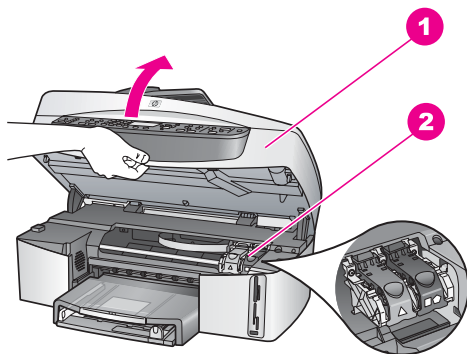
ヒント　黒プリント カートリッジをフォト プリント カートリッジやグレー プリント カートリッジと交換して、高品質のカラー写真やモノクロ写真を印刷する場合も、次の手順を使用できます。

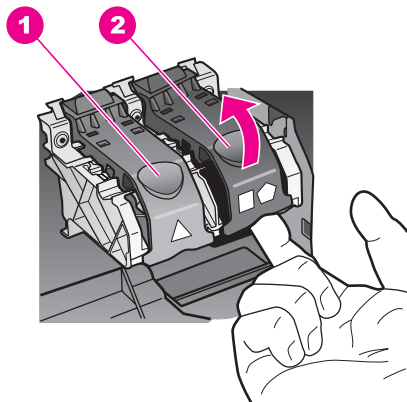
お使いのHP All-in-Oneをサポートしているすべてのプリント カートリッジの注文番号を調べるには、プリント カートリッジの注文を参照してください。 HP All-in-One 用のプリント カートリッジを注文するには、www.hp.com にアクセスしてください。 入力を要求されたら、国または地域を選択して、質問内容にしたがって製品を選択したのち、ページ上のショッピング リンクの一つをクリックしてください。

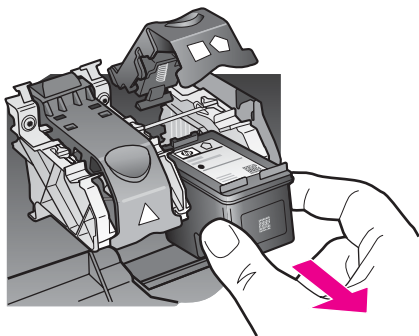
**プリント カートリッジを交換するには**

1. HP All-in-One の電源がオンになっていることを確認します。

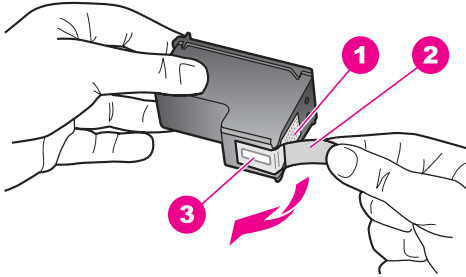
   注意　プリント カートリッジを交換するためにアクセス ドアを上げても、電源がオフの場合は、カートリッジは固定されて取り外すことができません。 また、プリント カートリッジを取り出す際、カートリッジがきちんと右側にセットされていないと、HP All-in-Oneに損傷を与えるおそれがあります。

2. プリント キャリッジのアクセス ドアを本体前面の中央から持ち上げて、所定の位置で止まるまで開きます。
   プリント キャリッジは HP All-in-One の右端にあります。

| 1 | プリント キャリッジ アクセス ドア |
|---|---|
| 2 | プリント キャリッジ |

3. プリント キャリッジが停止して静かになったら押し下げ、
   HP All-in-One 内側のラッチを上げます。
   カラー プリント カートリッジを交換する場合は、左側の緑のラッチを上げます。
   黒プリント カートリッジ、フォト プリント カートリッジ、またはグレー プリント カートリッジを交換する場合は、右側の黒のラッチを上げます。

| | |
|---|---|
| 1 | カラー プリント カートリッジのプリント カートリッジ ラッチ |
| 2 | 黒、フォト、およびグレー フォト プリント カートリッジのプリント カートリッジ ラッチ |

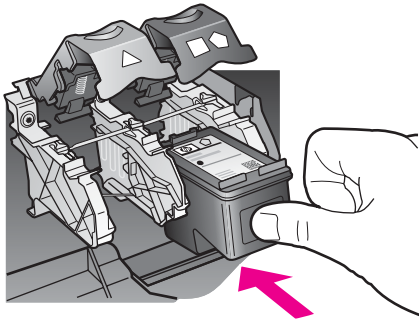
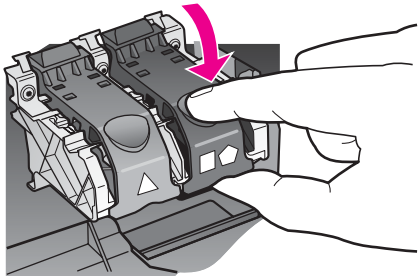
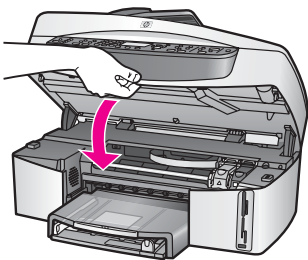
4. プリント カートリッジを下げて固定解除し、それからカートリッジを手前に引いてカートリッジ スロットから取り外します。

5. 黒プリント カートリッジを取り外してフォト プリント カートリッジまたはグレー プリント カートリッジを取り付ける場合には、取り外した黒プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースに入れて保存してください。 詳細については、プリント カートリッジ ケースの使用を参照してください。

インク不足またはインク切れで取り外したプリント カートリッジはリサイクルしてください。HP のインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのプリント カートリッジを無料でリサイクルすることができます。詳しくは、次の Web サイトを参照してください。
www1.jpn.hp.com/info/company/environment/index.html

6. 新しいプリント カートリッジをパッケージから出した後、黒いプラスチックの部分以外に触れないように注意して、ピンクのつまみを持ってプラスチック テープをゆっくりはがします。

| | |
|---|---|
| 1 | 銅色の接点 |
| 2 | ピンクのつまみの付いたプラスチック テープ (取り付ける前にはがしてください) |
| 3 | テープの下にあるインク ノズル |

**注意** 銅色の接点やインク ノズルにはさわらないでください。この部分に手を触れると、目詰まり、インクの吹き付け不良、および電気的な接触不良が発生することがあります。

7. 新しいプリント カートリッジを、空きスロットの底の傾斜に沿ってスライドさせながら挿入します。きちんとはまるまでプリント カートリッジを押し込んでください。
取り付けているプリント カートリッジのラベルに白い三角形が付いている場合は、左側のスロットにプリント カートリッジをスライドしてください。ラッチは緑色で白い三角形が付いています。
取り付けるプリント カートリッジのラベルに白い四角形または白い五角形が付いている場合は、右側のスロットにプリント カートリッジをスラ

イドしてください。ラッチは黒で白い四角形と白い五角形が付いています。

8. きちんとはまるまでラッチを押し下げます。 ラッチが下側のつまみに留まっていることを確認してください。

9. プリント キャリッジのアクセス ドアを閉じます。

### フォト プリント カートリッジの使用

フォト プリント カートリッジを購入すると、HP All-in-One で印刷またはコピーされるカラー写真の品質を最高のものにすることができます。 黒プリント カートリッジを取り外して代わりにフォト プリント カートリッジをセットしてください。 カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリ

ッジの両方をセットすると、6 色インク システムになり、写真の品質がさらに向上します。

通常のテキスト文書を印刷するには、モノクロ プリント カートリッジに入れ替えてください。 使用していないプリント カートリッジは、プリント カートリッジ ケースに入れて安全に保管してください。

- フォト プリント カートリッジの購入方法については、プリント カートリッジの注文 を参照してください。
- プリント カートリッジの交換の詳細については、プリント カートリッジの交換を参照してください。
- プリント カートリッジ ケースの使用方法については、プリント カートリッジ ケースの使用を参照してください。

### グレー プリント カートリッジの使用

グレー プリント カートリッジを利用すると、HP All−in−One でモノクロ写真を美しく印刷またはコピーすることができます。 黒プリント カートリッジを取り外し、代わりにグレー プリント カートリッジを取り付けてください。 これで、カラー プリント カートリッジとグレー プリント カートリッジが本体に取り付けられ、グレーをさまざまな濃度で印刷することができ、モノクロ写真の品質が向上します。

通常の文書を印刷するときは、黒プリント カートリッジと取り替えてください。使用していないプリント カートリッジは、プリント カートリッジ ケースに入れて安全に保管してください。

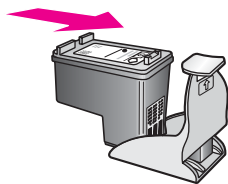
- グレー プリント カートリッジの購入方法については、プリント カートリッジの注文を参照してください。
- プリント カートリッジの交換方法については、プリント カートリッジの交換を参照してください。
- プリント カートリッジ ケースの使用方法については、プリント カートリッジ ケースの使用を参照してください。

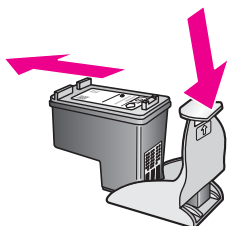
### プリント カートリッジ ケースの使用

国/地域によっては、フォト プリント カートリッジを購入するとプリント カートリッジ ケースも付属してきます。 付属していない国/地域では、プリント カートリッジ ケースは、HP All−in−One に付属しています。

プリント カートリッジ ケースは、使用していないプリント カートリッジを安全に保管できて、乾燥を防止できるように設計されています。
HP All−in−One からプリント カートリッジを取り外し、後でまた利用する場合、プリント カートリッジ ケースに入れて保管してください。たとえば、カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジを使用して高品質の写真を印刷するために、黒プリント カートリッジを外す場合、黒プリント カートリッジはプリント カートリッジ ケースに保管します。

**プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースに入れるには**

➔ プリント カートリッジを少し角度を付けてスライドさせながら、プリント カートリッジ ケースに差し込み、パチンと音がするまで押し込みます。

**プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースから取り外すには**

➔ プリント カートリッジ ケースの上部を後方に押し下げ、プリント カートリッジの固定を解除します。その後、プリント カートリッジ ケースからプリント カートリッジをスライドさせて取り出します。

## プリント カートリッジの調整

HP All−in−One では、プリント カートリッジを取り付けたり取り換えたりするたびに、カートリッジの調整を求めるメッセージが表示されます。コントロール パネルまたはコンピュータの 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して、いつでもプリント カートリッジを調整できます。 プリント カートリッジを調整することで、高品質の出力が得られます。

注記 プリント カートリッジを取り外した後、もう一度 HP All−in−One に取り付けた場合には、プリント カートリッジの調整のメッセージは表示されません。 HP All−in−One にはプリント カートリッジに合わせて調整した値が記憶されるので、プリント カートリッジの再調整は必要ありません。

**メッセージに従って本体のコントロール パネルからプリント カートリッジを調整するには**

➔ レターまたは A4 の未使用の白い普通紙が、給紙トレイにセットされていることを確認してから、**OK** を押します。
HP All-in-One によってプリント カートリッジ調整シートが印刷されて、プリント カートリッジが調整されます。 この用紙は再利用するか捨ててください。

注記 プリント カートリッジを調整するときに、色付きの用紙が給紙トレイにセットされていると、調整に失敗します。 その場合は、給紙トレイに未使用の白い普通紙をセットしてから、調整をやり直してください。

調整にもう一度失敗した場合、センサーまたはプリント カートリッジに問題がある可能性があります。 HP サポートにお問い合わせください。

**任意の時点で本体のコントロール パネルからカートリッジを調整するには**

1. 給紙トレイに、レターまたは A4 の未使用の白い普通紙をセットします。
2. **セットアップ** を押します。
3. **6** を押し、次に **2** を押します。
「ツール」 メニューが選択され、「プリント カートリッジの調整」 が選択されます。
HP All-in-One によってプリント カートリッジ調整シートが印刷されて、プリント カートリッジが調整されます。 この用紙は再利用するか捨ててください。

HP All-in-One に付属の 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して、プリント カートリッジを調整する方法については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

## プリント カートリッジのクリーニング

セルフテスト レポートでカラー ラインのいずれかに筋や白線が表示されたときに、この機能を使用してください。不必要にプリント カートリッジのクリーニングをしないでください。インクの無駄になり、インク ノズルの寿命を縮めます。

**本体のコントロール パネルからプリント カートリッジをクリーニングするには**

1. 給紙トレイに、レターまたは A4 の未使用の白い普通紙をセットします。
2. **セットアップ** を押します。
3. **6** を押し、次に **1** を押します。
「ツール」 メニューが選択され、「プリント カートリッジのクリーニング」 が選択されます。

HP All-in-One で 1 枚の用紙が印刷されます。この用紙は再利用するか捨ててください。
プリント カートリッジをクリーニングしても、コピーや印刷の品質が上がらない場合は、プリント カートリッジを交換する前に、問題のプリント カートリッジの接点をクリーニングしてください。 プリント カートリッジの接点をクリーニングする方法については、プリント カートリッジの接点のクリーニングを参照してください。プリント カートリッジの交換方法については、プリント カートリッジの交換を参照してください。

HP All-in-One に付属の 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して、プリント カートリッジをクリーニングする方法については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

## プリント カートリッジの接点のクリーニング

プリント カートリッジの接点のクリーニングは、プリント カートリッジのクリーニングと調整をしても、コントロール パネル ディスプレイに、プリント カートリッジの確認のメッセージが繰り返し表示される場合にのみ実行してください。

プリント カートリッジの接点をクリーニングする前に、プリント カートリッジを取り外し、プリント カートリッジの接点に何も付着していないことを確認してから取り付け直してください。 プリント カートリッジの確認のメッセージがその後も表示される場合、プリント カートリッジの接点をクリーニングしてください。

次のものを用意してください。

- 乾いたスポンジ棒、糸くずの出ない布、繊維がちぎれたり残ったりしない柔らかい布

ヒント　コーヒー用のフィルタは糸くずがでないため、プリント カートリッジのクリーニングに適しています。

- 蒸留水、ろ過水、瓶詰水のいずれか (水道水にはプリント カートリッジを傷める汚染物質が含まれているおそれがあります)

注意　プリント カートリッジの接点のクリーニングには、プラテン クリーナやアルコールを**使用しないでください**。 プリント カートリッジまたは HP All-in-One を傷める可能性があります。

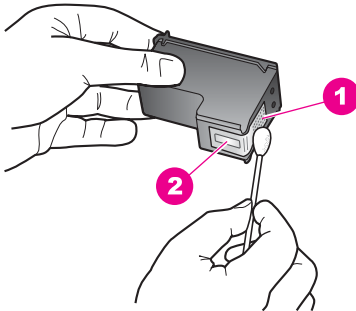
### プリント カートリッジの接点をクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源を入れ、プリント キャリッジのアクセス ドアを開きます。
   プリント キャリッジは HP All-in-One の右端にあります。
2. プリント キャリッジが停止して静かになってから、HP All-in-One の背面から電源コードを抜きます。

注意　電源コードを 72 時間以上外しておくと、日付と時刻は消去されます。 後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻の再設定が必要になります。詳細については、日付と時刻の設定 を参照してください。 メモリに格納されているファクスも消去されます。

3. どちらかのラッチを上げて、プリント カートリッジを取り外します。

注意　両方のプリント カートリッジを同時に取り外さないでください。 取り外してクリーニングする作業は一度に 1 つずつ行ってください。30 分以上プリント カートリッジを HP All-in-One の外側に放置しないでください。

4. プリント カートリッジの接点に、インクや汚れが付着していないか調べます。
5. 汚れていないスポンジ棒または糸くずの出ない布を蒸留水に浸し、余分な水分を絞ります。
6. プリント カートリッジの横を持ちます。
7. 銅色の接点のみをクリーニングします。 インク ノズル領域のクリーニングについての情報は、インク ノズル周辺のクリーニングを参照してください。

| | |
|---|---|
| 1 | 銅色の接点 |
| 2 | インク ノズル (クリーニングしないでください) |

8. プリント カートリッジが乾くまで、10分ほど待ちます。
9. プリント カートリッジをプリント キャリッジのスロットに戻し、ラッチを閉じます。
10. 必要であれば、もう一方のプリンタ カートリッジについても同じ作業を繰り返します。
11. プリント キャリッジのアクセス ドアをゆっくり閉め、HP All-in-One の背面に電源コードを差し込みます。

## インク ノズル周辺のクリーニング

ほこりっぽい環境でHP All-in-Oneを使用している場合は、本体の中に少量のゴミがたまることがあります。 このゴミには、ほこり、髪の毛、カーペットまたは衣料繊維が含まれることがあります。 ゴミがプリント カートリッジの中に入った場合は、印刷されたページの上にインク縞やインクの汚れがつくことがあります。 インク縞はここで説明されている通りにインク ノズル周辺のクリーニングを行うことにより修正されます。

注記 コントロール パネルまたは「**HP Image Zone**」を使用してプリント カートリッジのクリーニングを行った後も、引き続き印刷されたページにインク縞やインクの汚れがつく場合は、インク ノズル周辺をクリーニングしてください。 詳細については、プリント カートリッジのクリーニングを参照してください。

次のものを用意してください。

- 乾いたスポンジ棒、糸くずの出ない布、繊維がちぎれたり残ったりしない柔らかい布

  ヒント コーヒー用のフィルタは糸くずがでないため、プリント カートリッジのクリーニングに適しています。

- 蒸留水、ろ過水、瓶詰水のいずれか (水道水にはプリント カートリッジを傷める汚染物質が含まれているおそれがあります)

注意 銅色の接点やインク ノズルには**さわらないでください。** この部分に手を触れると、目詰まり、インクの吹き付け不良、および電気的な接触不良が発生することがあります。

#### インク ノズル周辺をクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源を入れ、プリント キャリッジのアクセス ドアを開きます。
   プリント キャリッジは HP All-in-One の右端にあります。
2. プリント キャリッジが停止して静かになってから、HP All-in-One の背面から電源コードを抜きます。

   注意 電源コードを 72 時間以上外しておくと、日付と時刻は消去されます。 後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻の再設定が必要になります。詳細については、日付と時刻の設定 を参照してください。 メモリに格納されているファクスも消去されます。

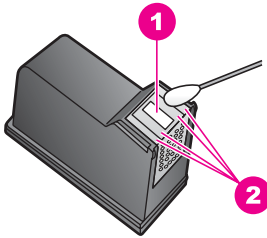
3. どちらかのラッチを上げて、プリント カートリッジを取り外します。

   注意 両方のプリント カートリッジを同時に取り外さないでください。 取り外してクリーニングする作業は一度に 1 つずつ行って

HP All-in-One のメンテナンス

ください。30 分以上プリント カートリッジを HP All-in-One の外側に放置しないでください。

4. インク ノズルの表面を上にして一枚の用紙の上にプリント カートリッジを置いてください。
5. きれいなスポンジ棒を蒸留水で軽く湿らします。
6. 以下に示すように、スポンジ棒でインク ノズル周辺の端をクリーニングしてください。

| 1 | ノズル プレート (クリーニングしないでください) |
|---|---|
| 2 | インク ノズル周辺 の表面と端 |

**注意** ノズル プレートは**クリーニングしない** でください。

7. インク ノズル部分が乾くまで、10分ほど待ちます。
8. プリント カートリッジをプリント キャリッジのスロットに戻し、ラッチを閉じます。
9. 必要であれば、もう一方のプリンタ カートリッジについても同じ作業を繰り返します。
10. プリント キャリッジのアクセス ドアをゆっくり閉め、HP All-in-One の背面に電源コードを差し込みます。

# 本体の設定の変更

HP All-in-One の省電力時間やプロンプト遅延時間の設定は、お客様ご自身で変更することができます。 また、本体の設定を、購入時の設定に戻すこともできます。 この場合、新しく設定したデフォルト値はすべて消去されます。

## スクロール速度の設定

「**スクロール速度**」 オプションを使用すると、コントロール パネル ディスプレイをテキスト メッセージがスクロールする際の速度を調整できます。 たとえば、「**用紙をセットして [OK] を押してください。**」 というメッセージは、コントロール パネル ディスプレイに収まらないので、スクロールする必要があります。 スクロールによって、メッセージ全体を読むことができるよ

うになります。 スクロール速度は、 「普通」、「はやい」、「おそい」 のいずれかから選択できます。 デフォルトの設定は 「普通」 です。

1. セットアップ を押します。
2. 7 を押し、次に 2 を押します。
   「プリファレンス」 メニューが選択され、「スクロール速度の設定」 が選択されます。
3. ▶ を押してスクロール速度を選択し、OK を押します。

### 省電力時間の設定

印刷要求があったときに HP All-in-One がすぐに応えられるよう、HP All-in-One のスキャナ部分のバルブは指定した時間はオンになっています。 指定した時間に HP All-in-One が使用されなかった場合は、電力を節約するためにバルブがオフになります。本体のコントロール パネルでいずれかのボタンを押すと、このモードを終了できます。

HP All-in-One は 12 時間後に省電力モードになります。 省電力モードに入る時間を早めたい場合は、次の手順に従います。

1. セットアップ を押します。
2. 7 を押し、次に 4 を押します。
   これで 「プリファレンス」 が選択され、次に 「省電力時間の設定」 が選択されます。
3. ▶ を押して適切な時間を選択し、OK を押します。
   1 時間、4 時間、8 時間、12 時間のいずれかを省電力時間として選択できます。

### プロンプト遅延時間の設定

「プロンプト遅延時間」 オプションを使用すると、指示メッセージが表示されるまでの時間を管理できます。 たとえば、ファクス領域の 「メニュー」 を押した後、他のボタンを押す前にプロンプト遅延時間が過ぎると、コントロール パネル ディスプレイに 「スタート - モノクロまたはカラーを押してください。」 というメッセージが表示されます。 設定値は 「はやい」、「標準」、「おそい」、「オフ」 のいずれかから選択できます。 「オフ」 を選択すると、コントロール パネル ディスプレイにヒントが表示されなくなります。ただし、インク残量の低下に関する警告やエラー メッセージなどの他のメッセージは引き続き表示されます。

1. セットアップ を押します。
2. 7 を押し、次に 3 を押します。
   「プリファレンス」 メニューが選択され、「プロンプト遅延時間の設定」 が選択されます。
3. ▶ を押して遅延時間を選択し、OK を押します。

### 工場出荷時の初期設定に戻す

HP All-in-One の現在のデバイス設定は、工場出荷時の初期設定 (購入したときの設定) に戻すことができます。

**注記** 工場出荷時の初期設定に戻しても、設定してあった日付情報は変更されませんし、スキャン設定、言語、国、地域設定に行った変更にも影響しません。

この作業は、本体のコントロール パネルからのみ実行できます。

1. **セットアップ** を押します。
2. **6** を押し、次に **3** を押します。
   これで 「**ツール**」 メニューが選択され、次に 「**出荷時デフォルト値に戻す**」 が選択されます。
   これで工場出荷時の初期設定に戻されました。

## セルフメンテナンス音

HP All-in-One は長期間（約2週間）使用しない場合に作動音が鳴ることがあります。これは、正常な動作で最高品質の出力を保証するために必要なことです。

# 16 トラブルシューティング情報

このセクションでは、HP All-in-One のトラブルシューティング情報について説明します。インストールおよび設定に関する問題や動作時のトピックについて詳しく説明します。トラブルシューティングの詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

HP All-in-One を USB ケーブルで接続してから、HP All-in-One ソフトウェアをコンピュータにインストールすると、いろいろな問題の原因になります。ソフトウェア インストール画面で指示される前に HP All-in-One をコンピュータに接続した場合、次の手順に従ってください。

1. コンピュータから USB ケーブルを取り外します。
2. ソフトウェアをアンインストールします (インストール済みの場合)。
3. コンピュータを再起動します。
4. HP All-in-One の電源をオフにし、1 分間待ってから再起動します。
5. HP All-in-One ソフトウェアを再インストールします。

**注意**　ソフトウェアのインストール画面で指示されるまで、USB ケーブルをコンピュータに接続しないでください。

ソフトウェアのアンインストールと再インストールの方法については、ソフトウェアのアンインストールと再インストール を参照してください。

この章では、次のトピックについて説明します。

- **セットアップに関するトラブルシューティング**:ハードウェアの設定、ソフトウェアのインストール、ファクスのセットアップに関するトラブルシューティングについて説明します。
- **動作時のトラブルシューティング**:HP All-in-One の機能を使用中に、通常のタスクで発生する可能性がある問題について説明します。
- **デバイスの更新**: HP カスタマ サポートからのアドバイスやコントロールパネル ディスプレイに表示されるメッセージに応じて、HP サポート Web サイトにアクセスして、ご使用のデバイスを更新する方法を取得できます。 このセクションでは、ご使用のデバイスを更新する方法を説明します。

## サポートに連絡する前に

問題が発生した場合は、以下の手順に従ってください。

1. HP All-in-One に付属するマニュアルを確認してください。
   - **セットアップ ガイド**:セットアップ ガイドでは、HP All-in-One をセットアップする方法を説明します。
   - **ユーザー ガイド**:ユーザー ガイドは本書です。本書では、HP All-in-One の基本的な機能やコンピュータに接続せずに HP All-in-One を使用する方法、またセットアップや 動作時のトラブルシューティングについて説明します。

– 「**HP Image Zone ヘルプ**」: オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 は、コンピュータと HP All-in-One を使用する方法を説明しており、ユーザー ガイドでカバーされていない、追加のトラブルシューティング情報もあります。
– **Readme ファイル**:Readme ファイルには、インストール時に発生する問題についての情報が出ています。詳細については、Readme ファイルの表示を参照してください。

2. マニュアルの説明を参照しても問題が解決しないときは、www.hp.com/support にアクセスして次のようにしてください。
   – オンライン サポートのページにアクセスする。
   – HP に、質問に対する答を求めるメッセージを電子メールで送信する。
   – ソフトウェアのアップデートを確認する。

   製品、国/地域、言語により、ご利用いただけるサポートは異なります。
3. オンスクリーン ヘルプや HP Web サイトで問題を解決できない場合は、お住まいの国/地域の HP サポート サービス電話番号までお問い合わせください。詳細については、HP製品サポートについてを参照してください。

## Readme ファイルの表示

インストール時に発生するその他の問題の詳細については、Readme ファイルを参照してください。

- Windows の場合は、タスク バーで 「**スタート**」 ボタンをクリックした後、「**プログラム**」 または 「**すべてのプログラム**」、「**HP**」、「**HP Officejet 7200 All-in-One series**」 の順に選択して、「**Readme ファイルの表示**」 をクリックします。
- Macintosh の OS 9 または OS X の場合は、HP All-in-One ソフトウェア CD-ROM の最上位のフォルダにあるアイコンをダブルクリックすると、Readme ファイルにアクセスできます。

Readme ファイルには、次のような情報が含まれています。

インストールに失敗した後、再インストール ユーティリティを使用し、HP All-in-One を再インストールできる状態までコンピュータを戻す方法

## セットアップに関するトラブルシューティング

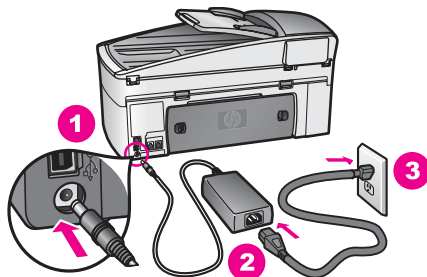
このセクションでは、HP All-in-One のハードウェアとソフトウェアのインストール、ファクスのセット アップに関連する一般的な問題のいくつかに関して、インストールおよび設定時のトラブルシューティングのヒントについて説明します。

## ハードウェアのセットアップに関するトラブルシューティング

このセクションは、HP All-in-One ハードウェアのセットアップ時に発生する可能性がある問題を解決する際に使用してください。

### HP All-in-One の電源がオンにならない

**解決方法**　以下を試みてください。

- 電源コードが、HP All-in-One と電源アダプタの両方に正しく接続されているかどうか確認してください。

- 電源コードは、電源コンセントか、サージ保護器か、テーブル タップに差し込んでください。テーブル タップを使用している場合は、テーブル タップがオンになっていることを確認してください。
- 電源コンセントをテストして、正しく機能していることを確認してください。作動することが確認できている電気製品を接続して、電力が供給されているか確認します。電力が供給されていない場合、電源コンセントに問題があります。
- スイッチ付きの電源コンセントに HP All-in-One を接続している場合は、そのスイッチが入っていることを確認してください。
- **On** ボタンを押したら、HP All-in-One の電源が入るまでしばらくお待ちください。

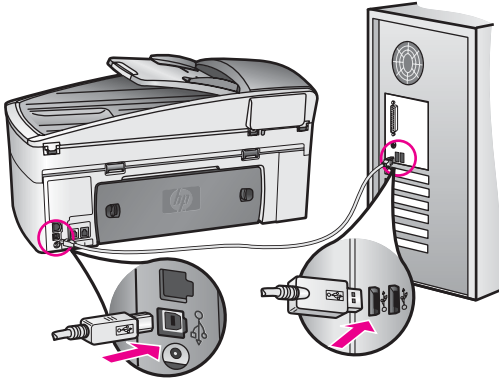
---

### USB ケーブルが接続されていない

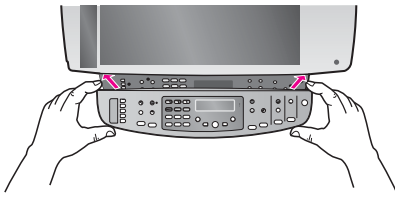
**解決方法**　初めに、HP All-in-One 付属のソフトウェアをインストールしてから、USB ケーブルを接続します。インストールしている間、画面上で指示されるまで、USB ケーブルは差し込まないでください。USB を指示される前に接続するとエラーが発生します。

ソフトウェアをインストールしたら、USB ケーブルを使ってコンピュータを HP All-in-One に接続するのは簡単です。USB ケーブルの一方の端をコンピュータの背後に接続し、他方の端を HP All-in-One の背後に接続するだけで済みます。コンピュータの背後にある任意の USB ポートに接続できます。

注記　USB ケーブルをキーボード上の USB ポートに接続しないでください。

---

**コントロール パネル カバーの取り付け時、コントロール パネル ディスプレイにメッセージが表示される**

**解決方法**　コントロール パネル オーバーレイが取り付けられていないか、その取り付け方が正しくない可能性があります。 オーバーレイは、カバーを持ち上げてから、取り付けてください。HP All-in-One 上の一連のボタンにオーバーレイを合わせ、パチンと音がするまで押し込みます。

---

**コントロール パネルに表示される言語が正しくない**

**解決方法**　言語および国/地域は通常、HP All-in-One を初めてセットアップする際に設定します。ただし、以下の手順に従うと、それらの設定値をいつでも変更できます。

1. **セットアップ** を押します。
2. **7** を押し、次に **1** を押します。
   「プリファレンス」 が選択されるので、次に 「言語と国/地域の設定」 を選択します。
   言語がリスト表示されます。 ▶ を押して、言語リストをスクロールできます。
3. 言語を選択したら、**OK** を押します。
4. プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は **1**、[いいえ] の場合は **2** を押します。
   選択した言語に適した国/地域が表示されます。リストをスクロールするには ▶ を押します。
5. キーパッドを使用し、該当する国/地域の 2 桁の数字を入力します。
6. プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は **1**、[いいえ] の場合は **2** を押します。

「セルフテスト レポート」 を印刷して、言語と国/地域を確認します。

1. **セットアップ** を押します。
2. **2** を押し、次に **6**を押します。
   これで 「レポートの印刷」、そして 「セルフテスト レポート」 が選択されます。

---

### コントロール パネル ディスプレイのメニューに間違った単位が表示される

**解決方法**　HP All-in-One をセットアップするときに不適切な国/地域を選択した可能性があります。 選択する国/地域で、コントロール パネル ディスプレイに表示される用紙サイズが決まります。

国/地域を変更するには、もう一度デフォルトの言語を設定する必要があります。ただし、以下の手順に従うと、それらの設定値をいつでも変更できます。

1. **セットアップ** を押します。
2. **7** を押し、次に **1** を押します。
   「プリファレンス」 が選択されるので、次に 「言語と国/地域の設定」 を選択します。
   言語がリスト表示されます。 ▶ を押して、言語リストをスクロールできます。
3. 言語を選択したら、**OK** を押します。
4. プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は **1**、[いいえ] の場合は **2** を押します。
   選択した言語に適した国/地域が表示されます。リストをスクロールするには ▶ を押します。

5. キーパッドを使用し、該当する国/地域の 2 桁の数字を入力します。
6. プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は **1**、[いいえ] の場合は **2** を押します。

「セルフテスト レポート」 を印刷して、言語と国/地域を確認します。

1. **セットアップ** を押します。
2. **2** を押し、次に **6**を押します。
   これで 「レポートの印刷」、そして 「セルフテスト レポート」 が選択されます。

---

### プリント カートリッジの位置を調整するよう示すメッセージがコントロール パネル ディスプレイに表示される

**解決方法**　HP All-in-One では、新しいプリント カートリッジを取り付けるたびに、カートリッジの調整を求めるメッセージが表示されます。レターまたは A4 の未使用の白い普通紙が、給紙トレイにセットされていることを確認してから、**OK** を押します。HP All-in-One によってプリント カートリッジ調整シートが印刷されて、プリント カートリッジが調整されます。この用紙は再利用するか捨ててください。詳細については、プリント カートリッジの調整を参照してください。

注記　プリント カートリッジを取り外した後、もう一度 HP All-in-One に取り付けた場合には、プリント カートリッジの調整のメッセージは表示されません。HP All-in-One にはプリント カートリッジに合わせて調整した値が記憶されるので、プリント カートリッジの再調整は必要ありません。

---

### プリント カートリッジの位置調整に失敗したというメッセージがコントロール パネル ディスプレイに表示される

**原因**　給紙トレイに間違った種類の用紙がセットされています。

**解決方法**　プリント カートリッジの調整を行うときに給紙トレイに色付き用紙をセットしていると、調整に失敗します。レターまたは A4 の白い普通紙を給紙トレイにセットして、カートリッジの調整をもう一度行ってください。詳細については、プリント カートリッジの調整を参照してください。

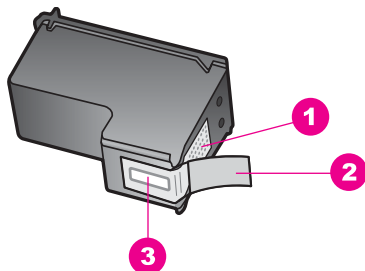
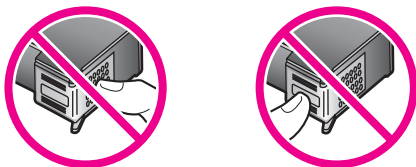
調整にもう一度失敗した場合、センサーまたはプリント カートリッジに問題がある可能性があります。

---

**原因**　保護テープがプリント カートリッジをふさいでいます。

**解決方法**　各プリント カートリッジを確認してください。テープがインク ノズルをふさいでいる場合、ピンクのつまみを持ってテープを慎重に

トラブルシューティング情報

取り除いてください。銅色の接点やインク ノズルには触れないでください。

| | |
|---|---|
| 1 | 銅色の接点 |
| 2 | ピンクのつまみの付いたプラスチック テープ (本体に取り付ける前に取り外してください) |
| 3 | テープの下にあるインク ノズル |

プリント カートリッジを挿入し、カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入されロックされていることを確認し、もう一度調整を行います。詳細については、プリント カートリッジの調整を参照してください。

**原因**　プリント カートリッジの接点がプリント キャリッジの接点に接触していません。

**解決方法**　プリント カートリッジを取り出して、もう一度挿入してください。 カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入されロックされていることを確認し、もう一度調整を行います。詳細については、プリント カートリッジの調整を参照してください。

**原因**　HP 以外のプリント カートリッジを使用しているか、詰め替えたプリント カートリッジを使用しています。

**解決方法**　HP プリント カートリッジを使用していないと、調整が失敗する場合があります。 また詰め替えたプリント カートリッジを使用していても、調整が失敗する場合があります。 詰め替えたものではない HP 純正プリント カートリッジを挿入し、カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入され、ロックされていることを確認し、もう一度調整を行います。プリント カートリッジの交換方法ついては、プリント カートリッ

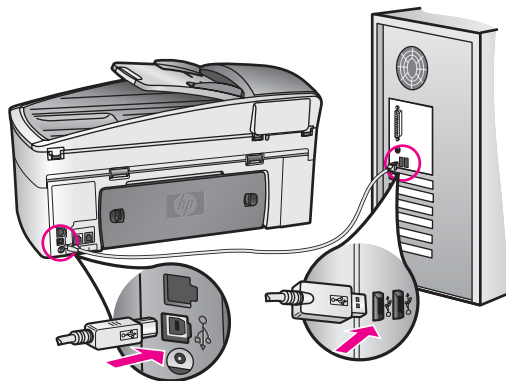
ジの交換を参照してください。プリント カートリッジの調整方法については、プリント カートリッジの調整を参照してください。

**原因**　プリント カートリッジまたはセンサーに問題があります。

**解決方法**　HP サポート センターにお問い合わせください。

#### HP All-in-One が印刷しない

**解決方法**　HP All-in-One とコンピュータが互いに通信できない場合は、次のことを行ってください。

- HP All-in-One のコントロール パネル ディスプレイを確認してください。コントロール パネル ディスプレイに何も表示されておらず、**On** ボタンの横のランプが点灯していない場合は、HP All-in-One の電源が入っていません。HP All-in-One の電源コードが電源コンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。**On** ボタンを押して、HP All-in-One の電源を入れてください。
- USB ケーブルを確認します。古いケーブルの場合、使用できないことがあります。別の製品に接続して、USB ケーブルが使用できるかどうか確認してください。問題が発生した場合、USB ケーブルを交換する必要がある場合もあります。また、USB ケーブルの長さが 3 メートル 以下であることも確認してください。
- コンピュータで USB が使用可能であることを確認してください。Windows 95 や Windows NT など、オペレーティング システムによっては USB 接続をサポートしていないものもあります。詳細については、お使いのオペレーティング システムに付属しているマニュアルを参照して下さい。
- HP All-in-One からコンピュータまでの接続状態を確認します。USB ケーブルが HP All-in-One の後部にある USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。また USB ケーブルのもう一方の端がコンピュータの USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。USB ケーブルを正しく接続した後、HP All-in-One の電源を入れ直してください。

- Macintosh をご使用の場合Apple System Profiler (OS 9) または System Profiler (OS X) で USB 接続を確認します。USB ウィンドウに HP All-in-One の名前が表示されている場合は、コンピュータと HP All-in-One との USB 接続は機能しています。機能している場合は、ソフトウェアの問題の可能性があります。「**HP All-in-One 設定アシスタント**」 を実行して、HP All-in-One が検出できるかどうか確認してください。(「**HP Image Zone**」 ソフトウェアから 「**HP All-in-One 設定アシスタント**」 にアクセスできます。)
- 他のプリンタやスキャナを確認します。コンピュータから古い製品を削除しなければならない場合があります。
- USB ケーブルをコンピュータ上の別の USB ポートに接続してください。接続を確認したら、コンピュータを再起動してください。
  HP All-in-Oneの電源を入れ直してください。
- HP All-in-One がネットワーク接続されている場合、ネットワークで HP All-in-One を設定する方法については、ネットワークを設定する を参照してください。
- HP All-in-Oneの電源を入れ直してください。

HP All-in-One のセットアップとコンピュータへの接続方法については、HP All-in-One に付属のセットアップ ガイドを参照してください。

---

**紙詰まりやキャリッジが動かないというメッセージがコントロール パネル ディスプレイに表示される**

**解決方法**　紙詰まりやカートリッジが動かないというエラー メッセージがコントロール パネル ディスプレイに表示された場合は、
HP All-in-One の内部に梱包用材料が詰まっている可能性があります。
プリント カートリッジ交換用カバーを開き、カートリッジをブロックしている梱包用材料 (テープや厚紙) や異物を取り除きます。
HP All-in-One の電源をオフにし、1 分間待ってから **On** ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオンにしてください。

紙詰まりの解消方法については、HP All-in-Oneで用紙が詰まったを参照してください。

---

## ソフトウェアのインストール時のトラブルシューティング

ソフトウェアのインストール時に問題が検出された場合は、以下のトピックを参照して問題を解決してください。ハードウェアのインストール時に問題が検出された場合は、ハードウェアのセットアップに関するトラブルシューティングを参照してください。

HP All-in-One ソフトウェアの通常のインストール時は、以下の処理が実行されます。

1. HP All-in-One ソフトウェアの CD-ROM が自動的に実行される。
2. ソフトウェアがインストールされる。
3. 一連のファイルがハード ドライブにコピーされる。
4. HP All-in-One をコンピュータに接続するように要求される。
5. 緑色の OK とチェック マークがインストール ウィザードの画面に表示される。
6. コンピュータを再起動するよう要求される（XPでは再起動しない場合あり）。
7. ファクス セットアップ ウィザードが実行される。
8. 登録プロセスが実行される。

これらのいずれかの処理が実行されない場合は、インストールに問題がある可能性があります。PC に対するインストールをチェックするには、以下の事柄を確認します。

- 「**HP ディレクタ**」 を起動し、次のアイコンが表示されることを確認してください。「**画像のスキャン**」、「**ドキュメント スキャン**」、「**ファクスの送信**」、「**HP ギャラリ**」。「**HP ディレクタ**」 の起動の詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。アイコンがすぐに表示されない場合は、お使いのコンピュータに HP All-in-One が接続されるまで数分待たなければならないこともあります。または、HP ディレクタ に一部のアイコンが表示されない を参照してください。

  注記　標準インストールではなく、ソフトウェアの最小インストールを行った場合、「**HP Image Zone**」 および 「**コピー**」 はインストールされず、「**HP ディレクタ**」 から使用できません。

- [プリンタ] ダイアログ ボックスを開き、HP All-in-One がリスト表示されることを確認します。
- Windows タスクバーの右端にあるシステム トレイで HP All-in-One のアイコンを確認してください。表示されていれば、HP All-in-One が待機中であることを示しています。

**CD-ROM ドライブに CD-ROM を挿入したが、何も実行されない**

**解決方法**　次の手順に従ってください:

1. Windows の 「**スタート**」 メニューの 「**ファイル名を指定して実行**」 をクリックします。
2. 「**ファイル名を指定して実行**」 ダイアログ ボックスで、「**d:\setup.exe**」 と入力し (CD-ROM ドライブにドライブ文字 D が割り当てられていない場合は、該当するドライブ文字を入力) 、「**OK**」 をクリックします。

---

### 最小システム チェック画面が表示される

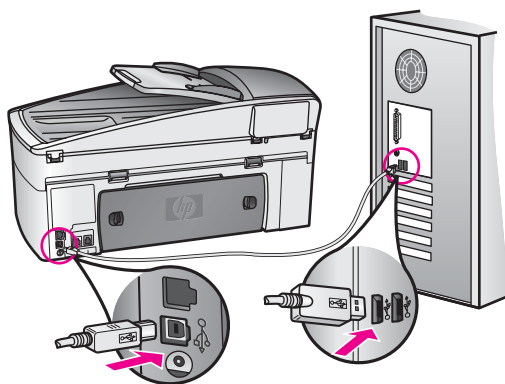
**解決方法**　お使いのシステムが、ソフトウェアのインストールに必要な最小の要件を満たしていません。「**詳細**」 をクリックして、具体的な問題点を確認して、ソフトウェアをインストールする前に問題を解決してください。

---

### 赤の X が USB 接続プロンプトに表示される

**解決方法**　通常は、プラグ アンド プレイが成功したことを示す緑のチェック記号が表示されます。赤の X は、プラグ アンド プレイ が失敗したことを示します。

次の手順に従ってください。

1. コントロール パネル オーバーレイがしっかりと取り付けられていることを確認した後、HP All-in-One の電源ケーブルをいったん抜き、再度差し込みます。
2. USB ケーブルおよび電源ケーブルが接続されていることを確認します。

3. 「**再試行**」 をクリックして、プラグ アンド プレイの設定をやり直します。解決しなければ、次の手順に進みます。

4. USB ケーブルが正しくセットアップされていることを以下のようにして確認します。
   – USB ケーブルを、いったん抜き、再度差し込みます。
   – USB ケーブルを、キーボードや給電されないハブに接続してはいけません。
   – USB ケーブルは、3 m 以下の長さとしてください。
   – お使いのコンピュータに USB デバイスが複数個接続されている場合は、インストール中、ほかのデバイスの接続を解除した方がよい場合もあります。
5. インストール処理を継続し、指示されたらコンピュータを再起動します。次に、「**HP ディレクタ**」を起動して、必須アイコン (「**画像のスキャン**」、「**ドキュメントのスキャン**」、「**ファクスの送信**」、「**HP ギャラリ**」) を確認します。
6. 必須アイコンが表示されない場合は、本ソフトウェアを削除した後、再インストールしてください。詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

---

### 不明なエラーが発生したことを示すメッセージが出力される

**解決方法**　インストールを引き続き実行してみてください。解決しない場合、中止してインストールをやり直し、画面の指示に従います。エラーが発生した場合は、該当ソフトウェアをアンインストールした後、再インストールする必要があります。

注意　HP All-in-One のプログラム ファイルをハード ドライブから単に削除するだけでは不十分です。HP All-in-One プログラム グループに入っているアンインストール ユーティリティを使って、該当するファイルを正しく削除してください。

詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

---

### 「HP ディレクタ」に一部のアイコンが表示されない

必須アイコン (「**画像のスキャン**」、「**ドキュメントのスキャン**」、「**ファクスの送信**」、「**HP ギャラリ**」) が表示されない場合は、インストールが完了していない可能性があります。

**解決方法**　インストールが完了していない場合は、該当ソフトウェアをアンインストールした後、再インストールする必要があります。詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

注意　HP All-in-One のプログラム ファイルをハード ドライブから単に削除するだけでは不十分です。HP All-in-One プログラム

グループに入っているアンインストール ユーティリティを使って、該当するファイルを正しく削除してください。

---

**「ファクス セットアップ ウィザード」 が起動されない**

**解決方法** 以下のように「**ファクス セットアップ ウィザード**」 を起動します。

1. 「**HP ディレクタ**」 を起動します。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。
2. 「**設定**」 メニューをクリックし、「**ファクス設定とセットアップ**」 を選択して、次に 「**ファクス セットアップ ウィザード**」 をクリックします。

---

**登録画面が表示されない**

**解決方法**

→ Windows では、Windows タスクバーで [スタート] をクリックして、「**プログラム**」 または 「**すべてのプログラム**」 (XP)、「**HP**」、「**HP Officejet 7200 All-in-One series**」 と進み、「**いますぐサインアップ**」 をクリックすると、登録画面にアクセスできます。

---

**システム トレイに「デジタル イメージング モニタ」が表示されない**

**解決方法** システム トレイにデジタル イメージング モニタが表示されない場合は、「**HP ディレクタ**」 を起動して、必須アイコンがそこに表示されるかどうかを確認します。「**HP ディレクタ**」 の起動の詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

「**HP ディレクタ**」 に必須アイコンが表示されない場合の詳細については、HP ディレクタ に一部のアイコンが表示されない を参照してください。

システム トレイは通常、デスクトップの右下隅に表示されます。

---

**ソフトウェアのアンインストールと再インストール**

インストールが不完全な場合、またはソフトウェア インストール画面で指示される前に USB ケーブルをコンピュータに接続した場合は、ソフトウェアをアンインストールしてから再インストールする必要があります。

**注意** HP All-in-One のプログラム ファイルをハード ドライブから単に削除するだけでは不十分です。HP All-in-One プログラム グループ

に入っているアンインストール ユーティリティを使って、該当するファイルを正しく削除してください。

再インストールには、Windows コンピュータでも Macintosh コンピュータでも 20 ～40 分かかります。 Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法には、次の 3 つがあります。

**Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 1**

1. お使いのコンピュータから HP All-in-One の接続を解除します。ソフトウェアのアンインストールが完了するまで、HP All-in-One をコンピュータに接続しないでください。
2. Windows タスクバーで、**「スタート」**、**「プログラムの開始」** または **「すべてのプログラム」** (XP)、**「HP」**、**「HP Officejet 7200 All-in-One series」**、**「アンインストール」** の順にクリックします。
3. 画面上の指示に従って操作します。
4. 共有ファイルを削除するかどうか尋ねられたら、**「いいえ」** をクリックします。
共有ファイルを削除すると、これらのファイルを使用する他のプログラムが動作しなくなってしまう可能性があります。
5. コンピュータを再起動します。

注記　コンピュータを再起動する前に HP All-in-One の接続を解除することが重要です。ソフトウェアのアンインストールが完了するまで、HP All-in-One をコンピュータに接続しないでください。

6. ソフトウェアを再インストールするには、HP All-in-One の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入し、画面の指示および HP All-in-One 付属のセットアップ ガイドの指示に従ってください。

ソフトウェアのインストールが完了したら、システム トレイに [ステータス モニタ] アイコンが表示されます。

ソフトウェアが正しくインストールされているかどうかを確認するには、デスクトップで **「HP ディレクタ」** アイコンをダブルクリックしてください。**「HP ディレクタ」** に主要なアイコン (**「画像のスキャン」**、**「ドキュメント スキャン」**、**「ファクス送信」**、**「HP ギャラリ」**) が表示されている場合、ソフトウェアは正しくインストールされています。

**Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 2**

注記　この方法は、Windows の [スタート] メニューから **「アンインストール」** が利用できない場合に使用します。

1. Windows のタスクバーで、**「スタート」**、**「設定」**、**「コントロール パネル」**の順にクリックします。
2. **「アプリケーションの追加と削除」**をダブルクリックします。

トラブルシューティング情報

3. 「**HP psc & Officejet 4.x**」 を選択して、「**変更と削除**」 をクリックします。
   画面上の指示に従って操作します。
4. お使いのコンピュータから HP All-in-One の接続を解除します。
5. コンピュータを再起動します。

   注記　コンピュータを再起動する前に HP All-in-One の接続を解除することが重要です。ソフトウェアのアンインストールが完了するまで、HP All-in-One をコンピュータに接続しないでください。

6. セットアップ プログラムを起動します。
7. 画面の指示および HP All-in-One 付属のセットアップ ガイドの指示に従ってください。

**Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 3**

注記　この方法は、Windows の [スタート] メニューで 「**ソフトウェアのアンインストール**」 が利用できない場合に使用します。

1. HP Officejet 7200 All-in-One series ソフトウェア セットアップ プログラムを起動します。.
2. 「**アンインストール**」 を選択して、画面上の指示に従って操作します。
3. お使いのコンピュータから HP All-in-One の接続を解除します。
4. コンピュータを再起動します。

   注記　コンピュータを再起動する前に HP All-in-One の接続を解除することが重要です。ソフトウェアのアンインストールが完了するまで、HP All-in-One をコンピュータに接続しないでください。

5. HP Officejet 7200 All-in-One series ソフトウェアのセットアップ プログラムをもう一度実行します。
6. 「**インストール**」 を起動します。
7. 画面の指示および HP All-in-One 付属のセットアップ ガイドの指示に従ってください。

**Macintosh コンピュータからアンインストールするには**

1. Macintosh から HP All-in-One の接続を解除します。
2. 「**アプリケーション**」 の「**HP All-in-One ソフトウェア**」 フォルダのアイコンをダブルクリックします。
3. 「**HP アンインストーラ**」 をダブルクリックします。
   画面上の指示に従って操作します。
4. ソフトウェアのアンインストールが終了したら、HP All-in-One を切断し、コンピュータを再起動します。

   注記　コンピュータを再起動する前に HP All-in-One の接続を解除することが重要です。ソフトウェアのアンインストールが完了するまで、HP All-in-One をコンピュータに接続しないでください。

5. ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブに HP All-in-One の CD-ROM を挿入します。
6. デスクトップで、CD-ROM を開き、「**HP All-in-One インストーラ**」 をダブルクリックします。
7. 画面の指示および HP All-in-One 付属のセットアップ ガイドの指示に従ってください。

## ファクス セットアップ時のトラブルシューティング

このセクションでは、HP All-in-One のファクス セットアップに関するトラブルシューティング情報について説明します。HP All-in-One でファクスが正しくセットアップされていないと、ファクスの送信、ファクスの受信またはその両方で問題が発生する可能性があります。

ヒント このセクションでは、セットアップに関連したトラブルシューティングだけを説明しています。印刷出力や受信が遅いなどの問題に関する追加のファクス トラブルシューティングについては、「**HP Image Zone**」 ソフトウェア付属のオンスクリーン トラブルシューティング ヘルプを参照してください。

ファクスに問題がある場合、ファクス テスト レポートを印刷して、HP All-in-One の状態を確認できます。HP All-in-One で正しくファクスがセットアップされていない場合、テストは失敗します。このテストは、HP All-in-One のファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。

### ファクスの設定をテストするには

1. テストを開始する前に、印刷カートリッジとA4普通紙がセットされていることを確認してください。
   詳細については、プリント カートリッジの交換およびフルサイズ用紙のセットを参照してください。
2. セットアップ を押します。
3. **6** を押し、次に **5** を押します。
   「ツール」 メニューが表示され、「ファクス テストを実行」 が選択されます。
   コントロール パネルのディスプレイにテストの状態が表示され、HP All-in-Oneからレポートが印刷されます。
4. レポートを確認します。
   – テストに合格してもファクスの問題が解消されない場合は、レポートに記載されているファクス設定を調べて、正しく設定されている

ことを確認します。 ファクス設定が行われていない、または不適切な場合は、ファクスの問題が発生する可能性があります。
   – テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認してください。 詳細については、次のセクションファクス テストが失敗したも参照してください。
5. **OK** を押して、「セットアップ メニュー」 に戻ります。

それでもファクスに問題がある場合は、次のセクションに進み、トラブルシューティング ヘルプの指示に従います。

### ファクス テストが失敗した

ファクス テストを実行して失敗した場合、レポートを調べてエラーの基本情報を確認します。詳細については、テストのどの部分で失敗したか確認し、このセクションの該当箇所に移動して指示に従います。

- ファクス ハードウェア テストが失敗した
- 壁側の電話モジュラー ジャックに接続したファクスがテストに失敗した
- 電話コードを正しいポートに接続しているが、ファクス テストに失敗した
- ファクス回線状態テストが失敗した
- ダイヤルトーン検出テストが失敗した

### ファクス ハードウェア テストが失敗した

#### 解決方法

- コントロール パネルの **On** ボタンを使用して、HP All-in-One の電源をオフにし、HP All-in-One の背面から電源コードを抜きます。数秒経ってから、電源コードを挿し直して、電源をオンにします。もう一度テストを実行します。またテストに失敗した場合、引き続きこのセクションのトラブルシューティング情報を調べてください。
- テスト ファクスを送信または受信してみてください。ファクスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。
- If you are using a Windows computer and are running the test from the 「**ファクス セットアップ ウィザード**」 でテストを実行している場合、HP All-in-One が、ファクスの受信やコピー作成など別のタスクを完了しようとしてビジーになっていないことを確認します。 コントロール パネル ディスプレイのメッセージで、HP All-in-One がビジー状態であるか確認してください。 ビジー状態の場合、タスクが終了してアイドル状態になってからテストを実行します。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。「ファクス ハードウェア テスト」 が失敗し続け、ファクスができない場合、HP サポートにお問い合わせください。

### 壁側の電話モジュラー ジャックに接続したファクスがテストに失敗した

**解決方法**

- 電話の壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認してください。
- 必ず HP All-in-One 付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスの送受信ができないことがあります。
  HP All-in-One 付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
- HP All-in-One が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。
  HP All-in-One でファクスをするためのセットアップの詳細については、ファクスのセットアップ を参照してください。
- 電話スプリッターを使用している場合、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。)スプリッタを取り除き、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP All-in-One に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- テスト ファクスを送信または受信してみてください。ファクスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。

---

### 電話コードを正しいポートに接続しているが、ファクス テストに失敗した

**解決方法**　電話コードが、HP All-in-One 背面の間違ったポートに差し込まれています。

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

注記 「2-EXT」ポートを使用して壁側のモジュラー ジャック に接続すると、ファクスの送受信はできません。「2-EXT」ポートは、留守番電話や電話機などの機器接続専用です。

2. 「1-LINE」と書かれたラベルのポートに電話コードを接続したら、もう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。
3. テスト ファクスを送信または受信してみてください。

---

### ファクス回線状態テストが失敗した

**解決方法**

- HP All-in-Oneをアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファクスを送受信できません。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤルトーンが聞こえない場合は、その回線はデジタル電話用に設定された電話回線である可能性があります。HP All-in-One をアナログ回線に接続して、ファックスを送受信してみてください。
- 電話の壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認してください。
- HP All-in-One が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。
  HP All-in-One でファクスをするためのセットアップの詳細については、ファクスのセットアップ を参照してください。
- HP All-in-One と同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因となっている可能性があります。他の機器が原因になっているかどうかを確認するために、電話回線からすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。
  – 他の機器が無くても「ファクス回線状態テスト」に合格する場合は、それらの機器のいくつかに障害が発生しています。1つずつ機器を取り付けてはテストを実行し、傷害が発生している機器を見つけてください。
  – 他の機器が無くても、「ファクス回線状態テスト」 に失敗する場合は、正常に機能している電話回線に HP All-in-One を接続して、引き続きこのセクションのトラブルシューティング情報を調べてください。
- 電話スプリッターを使用している場合、ファクスの問題の原因になる場合があります(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに

接続する 2 コード コネクタです)。スプリッタを取り除き、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。「**ファクス回線状態**」 テストに引き続き失敗し続け、ファクスができない場合、電話会社に連絡して回線の検査を依頼してください。

---

**ダイヤルトーン検出テストが失敗した**

**解決方法**

- HP All-in-One と同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因となっている可能性があります。他の機器が原因になっているかどうかを確認するために、電話回線からすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。 他の機器が無くても「**ダイヤルトーン検出テスト**」 に合格する場合、それらの機器の幾つかに障害が発生しています。 1 つずつ機器を取り分けてはテストを実行し、障害が発生している機器を見つけてください。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP All-in-One に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- HP All-in-One が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。
  HP All-in-One でファクスをするためのセットアップの詳細については、ファクスのセットアップ を参照してください。
- 電話スプリッターを使用している場合、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。)スプリッタを取り除き、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- PBX システムなど、ご使用の電話システムが通常のダイヤル トーンを使用していない場合、テストに失敗する原因になる可能性があります。これは、ファクス送受信の問題の原因にはなりません。テスト ファクスを送信または受信してみてください。
- お住まいの国/地域に対して、国/地域の設定が適切に設定されていることを確認してください。国/地域が設定されてないか、間違って設定されていると、テストに失敗し、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。 設定を確認するには、**セットアップ** を押してから **7** を押します。 言語および国/地域の設定が、コントロール パネル ディスプレイに表示されます。 国/地域の設定が不適切な場合、

**OK** を押し、コントロール パネル ディスプレイの指示に従って変更してください。

- HP All-in-Oneをアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファクスを送受信できません。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤルトーンが聞こえない場合は、その回線はデジタル電話用に設定された電話回線である可能性があります。HP All-in-One をアナログ回線に接続して、ファックスを送受信してみてください。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。「**ダイヤル トーン検出**」 テストに引き続き失敗し続ける場合、電話会社に連絡して回線の検査を依頼してください。

---

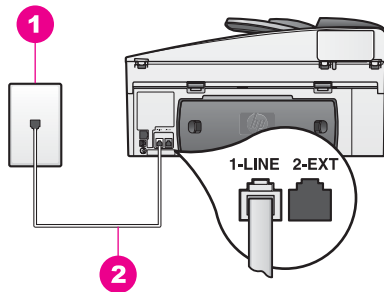
### HP All-in-One でファクスの送受信がうまくできない

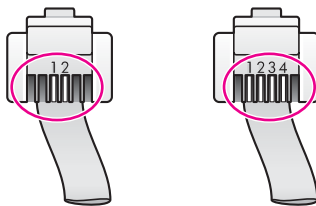
**解決方法**　HP All-in-One の電源が入っていることを確認します。HP All-in-One のコントロール パネル ディスプレイを確認してください。コントロール パネル ディスプレイに何も表示されておらず、**On** ボタンの横のランプが点灯していない場合は、HP All-in-One の電源が入っていません。HP All-in-One の電源コードが電源コンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。**On** ボタンを押して、HP All-in-One の電源を入れてください。

---

**解決方法**

**注記**　この解決策が適用するのは、2 線式電話コードが HP All-in-One に同梱されている次のような国または地域のみです。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

- HP All-in-One に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。下図のように、専用 2 線式コードの一方の端を HP All-in-One の後部にある「1-LINE」と書かれたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | HP All-in-One 付属の電話コード |

これは特殊な 2 線式コードで、自宅やオフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。コードの端を確認して、下図に示されている 2 種類のコードと比較してください。

4 線式コードを使用している場合は、それを取り外し、付属の 2 線式コードを HP All-in-One の後部にある「1-LINE」と書かれたポートに接続します。この電話コードの接続と HP All-in-One でのファクスのセットアップの詳細については、ファクスのセットアップ を参照してください。
付属電話コードでは不足な場合、延長可能です。詳細については、HP All-in-One に付属の電源コードの長さが十分でないを参照してください。

- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP All-in-One に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- HP All-in-One と同じ電話回線の他の機器が使用中である可能性があります。 内線電話の受話器が外れている場合や、コンピュータのモデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、HP All-in-One のファクス機能は使用できません。
- 他のプロセスがエラーの原因となっていないか確認してください。コントロール パネル ディスプレイまたはコンピュータで、問題とその解決法を示したエラー メッセージを確認してください。エラーが

解決するまで、HP All-in-One はファクスの送受信をすることができません。

- 電話回線の接続ノイズが発生している可能性があります。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。電話を壁側のモジュラー ジャックに接続し、静電ノイズなどのノイズに注意して、電話線の音質をチェックしてください。ノイズが聞こえたら、「エラー補正モード」 (ECM) をオフにして、もう一度ファクスしてみてください。詳細については、エラー補正モードの使用を参照してください。問題が解決しない場合、電話会社に連絡してください。
- デジタル加入者線 (DSL) サービスの使用時は、DSL フィルタが接続されていることを確認してください。そうしないと、ファクスを使用することができません。DSL フィルタは、このデジタル信号を除去して、HP All-in-One が電話回線と正しく交信できるようにします。DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。DSL フィルタを入手済みの場合、正しく接続されていることを確認してください。詳細については、ケース B: DSL の環境で HP All-in-One をセットアップを参照してください。
- HP All-in-Oneが、デジタル電話用にセットアップされた壁側のモジュラージャックに接続されていないことを確認してください。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤルトーンが聞こえない場合は、その回線はデジタル電話用に設定された電話回線である可能性があります。
- 構内電話交換システム (PBX) または統合サービス デジタル通信網 (ISDN) コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合、HP All-in-One がファクスおよび電話用のポートに接続されていることを確認してください。また、ターミナル アダプタがお住まいの国/地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。
  ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機器に応じてポートを設定できるようになっているものがあります。たとえば、電話と G3 規格のファクスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。 ファクス/電話ポートに接続しても問題が解決されない場合は、多用途向けのポートを使用してみてください。ポートには、"multi-combi" や似たようなラベルが付けられていることがあります。PBX 電話システムや ISDN 回線で HP All-in-One をセットアップする方法については、ファクスのセットアップ を参照してください。
- HP All-in-One が DSL サービスと同じ電話回線を共有している場合、DSL モデムが正しく接地されていない可能性があります。DSL モデムが正しく接地されていない場合、電話回線でノイズが発生することがあります。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。電話機を壁側のモ

ジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取ると、電話回線の音質を確認できます。ノイズが聞こえる場合は、DSL モデムをオフにして、少なくとも 15 分間電力を完全に除去します。DSL モデムをもう一度オンにして、ダイヤル トーンを聞いてください。

**注記** 将来、電話で再び静電ノイズが聞こえることがあります。HP All-in-Oneでファクスの送受信ができない場合は、以下の作業を行ってください。

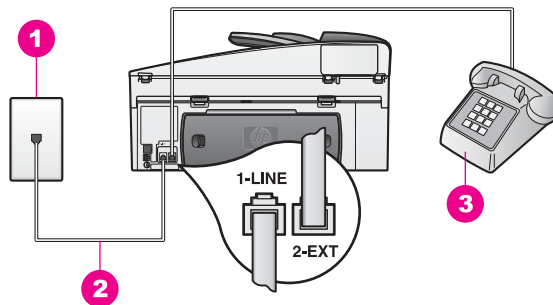
電話回線でノイズが聞こえる場合、または DSL モデムをオフにする詳細については、DSL プロバイダにサポートを依頼してください。電話会社に問い合わせることも可能です。

- 電話スプリッターを使用している場合、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。)スプリッタを取り除き、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

---

**HP All-in-One で手動によるファクスの送信がうまくできない**

**解決方法**

- 受信者に、受信側のファクス機がファクスを手動で受信できるか確認してください。
- ファクスを実行するために使用する電話機が、直接 HP All-in-One に接続されていることを確認してください。ファクスを手動で送信するには、下図のように、HP All-in-One の後部にある「2-EXT」と書かれたポートに電話機を直接接続してください。ファクスの手動送信についての詳細は、電話からのファクスの手動送信を参照してください。

| | |
|---|---|
| 1 | 壁側のモジュラージャック |
| 2 | HP All-in-One 付属の電話コード |
| 3 | 電話 |

- HP All-in-One に直接接続された電話から手動でファクスを送信する場合、ファクス送信には電話機のキーパッドを使用する必要があります。HP All-in-One のコントロール パネルのキーパッドは使用できません。
- 受信側のファクス トーンが聞こえてから 3 秒以内に **スタート ファクス - モノクロ** または **スタート ファクス - カラー** を押してください。3秒を超えると送信できません。

---

**HP All-in-One でファクスの受信ができない**

**解決方法**

- 着信識別サービスを使用していない場合は、HP All-in-One の 「応答呼出し音のパターン」 機能に 「すべての呼び出し」 が設定されていることを確認してください。詳細については、応答呼び出し音のパターンの変更 (着信識別音)を参照してください。
- 「自動応答」 が 「オフ」 に設定されている場合はファクスを手動で受信するように設定しなければ、ファクスを受信できません。ファクスの手動受信についての詳細は、ファクスの手動受信を参照してください。
- ファクスと同じボイスメールサービスをお使いの場合は、ファクスを手動で受信しなければなりません。自動受信することはできません。受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。ボイスメール サービスをお使いの場合に HP All-in-One でファクスをセットアップする方法については、ファクスのセットアップ を参照してください。ファクスの手動受信についての詳細は、ファクスの手動受信を参照してください。
- HP All-in-One と同じ電話回線上にコンピュータのモデムがある場合は、PC モデムのソフトウェアがファクスを自動受信するような設定になっていないことを確認してください。 モデムのファクス自動受信機能がオンになっていると、送信されたファクスをすべて受信し

ます。そのため、HP All-in-One は、ファクスを受信することができません。

- HP All-in-One と同じ電話回線上に留守番電話がある場合は、以下のいずれかの問題が発生している可能性があります。
  - 留守番電話が HP All-in-One に対して適切にセットアップされていない可能性があります。
  - 発信メッセージが長すぎる、または発信メッセージの音量が大きすぎるために HP All-in-One がファクス トーンを検出できず、それが原因で送信元のファクス機が切断されます。
  - ご使用の留守番電話は、外出メッセージを流した後に、ファクスが着信したことを検出するための時間が短い可能性があります。この場合、HP All-in-One はファクス トーンを検出できません。この問題は、デジタル留守番電話の場合に最もよく発生します。

解決方法

- ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ファクスのセットアップ の説明のとおり、留守番電話を HP All-in-One に直接接続してください。
- 必ず、HP All-in-One がファクスを自動受信するように設定してください。HP All-in-One でファクスを自動受信するように設定する方法については、ファクスを受信するように HP All-in-One を設定する を参照してください。
- 「**応答呼出し回数**」 の設定が正しいことを確認してください。留守番電話の呼び出し回数を 4 回に設定し、HP All-in-One の呼び出し回数を、お使いの機器でサポートされている最大回数に設定してください(呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP All-in-One が電話回線を監視します。HP All-in-One がファクス トーンを検出すると、HP All-in-One はファクスを受信します。音声の場合には、留守番電話が着信メッセージを録音します。応答までの呼出し回数の設定についての詳細は、応答するまでの呼出し回数を設定する を参照してください。
- 留守番電話の接続を解除し、ファクスを受信してみる。この状態でファクスを受信できる場合は、留守番電話が原因である可能性があります。
- 留守番電話をもう一度接続し、発信メッセージを録音し直します。メッセージはできるだけ短くし (10 秒以下)、録音時はやさしくゆっくりとしゃべってください。メッセージの最後に、3、4 秒間の無音部分 (ノイズなし) を残してください。もう一度ファクスを受信してください。

**注記** デジタル留守番電話には、外出メッセージの最後に録音した無音部分を保持しないものもあります。外出メッセージを再生して確認してください。

トラブルシューティング情報

- HP All−in−One が、留守番電話やコンピュータのモデム、マルチポート スイッチ ボックスなど、その他のタイプの電話機器と同じ電話回線を共有している場合は、ファクスの信号レベルが減衰することがあります。 信号レベルの減衰により、ファクス受信時に問題が発生することがあります。
  ほかの機器が問題の原因となっているかどうかを調べるには、HP All−in−One 以外のすべてのものを電話回線から取り外し、ファクスを受信してみてください。 他の機器が無くてもファクスを受信できる場合、それらの機器のいくつかに障害が発生しています。1つずつ機器を取り付けてはファクスを受信し、傷害が発生している機器を見つけてください。
- ファクス用電話番号の呼び出し音のパターンが特殊な場合 (電話会社を通じて着信識別サービスを使用している場合) は、HP All−in−One の 「**応答呼出し音のパターン**」 機能がそれに合致するように設定されていることを確認してください。たとえば、電話会社からファクス番号にダブルの呼び出し音パターンが割り当てられている場合は、「**応答呼び出し音のパターン**」の設定値として「**呼び出し 2 回**」が選択されていることを確認します。この設定の変更については、応答呼び出し音のパターンの変更 (着信識別音) を参照してください。

  
  **注記** 短い呼び出し音パターンと長い呼び出し音パターンが交互になっている場合など、HP All−in−One では一部の呼び出し音パターンを認識することができません。このようなタイプの呼び出し音パターンをつかっているときに問題がある場合は、電話会社に、交互型でない呼び出し音パターンを割り当てを依頼してください。

---

### HP All−in−One でファクスの送信ができない

#### 解決方法

- HP All−in−One のダイヤルする速度が速すぎるか、またはダイヤルの間隔が短すぎます。 ファクス番号の途中に間隔の挿入が必要になることがあります。 たとえば、電話番号をダイヤルする前に外線にアクセスする必要がある場合、アクセス番号の後ろに間隔を挿入してください。 ダイヤルする番号が 95555555 で、9 が外線へのアクセス番号である場合、9-555-5555 のように間隔を挿入します。 ダイヤル中に間隔を挿入するには、ダッシュ記号が表示されるまで、**リダイヤル/間隔** ボタンを繰り返し押します。
  ファクスを送信する際に短縮ダイヤルを使用している場合、短縮ダイヤルを登録し直し、番号の途中に間隔を挿入してください。 短縮

ダイヤルの詳細については、短縮ダイヤルのセットアップを参照してください。

- ファクス送信の際に入力したファクス番号の形式が正しくありません。 入力したファクス番号とその書式が間違っていないか確認してください。 たとえば、電話システムによっては番号の最初に「9」を加えてダイヤルする必要があります。
電話回線で PBX システムを使用している場合は、ファクス番号をダイヤルする前に外線用の番号をダイヤルしていることを確認してください。
- 受信側のファクス機に問題があります。 それを調べるには、電話からファクス番号をダイヤルし、ファクス トーンを聞いてみてください。 ファクス トーンが聞こえない場合は、受信側のファクス機の電源が入っていなかったり、接続されていなかったりする場合があります。また、ボイス メール サービスが、受信側の電話回線を妨害している場合もあります。 受信者に、受信側のファクス機に問題がないか確認するように依頼してください。

---

**ファクス トーンが留守番電話に録音されている**

**解決方法**

- ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ファクスのセットアップ の説明のとおり、留守番電話を HP All-in-One に直接接続してください。留守番電話を推奨される方法で接続しないと、ファクス トーンが留守番電話に録音される場合があります。
- 必ず、HP All-in-One がファクスを自動受信するように設定してください。HP All-in-One が手動でファクスを受信するように設定されていると、HP All-in-One が受信ファクスに応答しません。受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP All-in-One はファクスを受信せず、留守番電話にファクス トーンが録音されます。HP All-in-One でファクスを自動受信するように設定する方法については、ファクスを受信するように HP All-in-One を設定する を参照してください。
- 「応答呼出し回数」 の設定が正しいことを確認してください。
HP All-in-Oneの応答呼出し回数は、留守番電話の応答回数よりも多く設定しなければなりません。留守番電話と HP All-in-One の応答呼出し回数が同じ回数に設定されていると、電話とファクスの両方が着信に応答してしまうため、ファクス トーンが留守番電話に録音されます。
留守番電話の呼び出し回数を 4 回に設定し、HP All-in-One の呼び出し回数を、お使いの機器でサポートされている最大回数に設定してください。(呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP All-in-One が電話回線

を監視します。HP All−in−One がファクス トーンを検出すると、HP All−in−One はファクスを受信します。音声の場合には、留守番電話が着信メッセージを録音します。応答までの呼出し回数の設定についての詳細は、応答するまでの呼出し回数を設定する を参照してください。

---

### HP All−in−One を接続したあと、電話回線上で静的ノイズが聞こえる

**解決方法**

- HP All−in−One に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。下図のように、電話コードの一方の端を HP All−in−One の後部にある「1-LINE」と書かれたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。付属電話コードでは不足な場合、延長可能です。詳細については、HP All−in−One に付属の電源コードの長さが十分でないを参照してください。
- 電話スプリッターを使用している場合、電話回線で静的ノイズの原因になる場合があります (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッタを取り除き、HP All−in−One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- HP All−in−One の接続に、適切な電源コンセントを使用していない場合、電話回線で静的ノイズの原因になる場合があります。別の電源コンセントに接続してください。

---

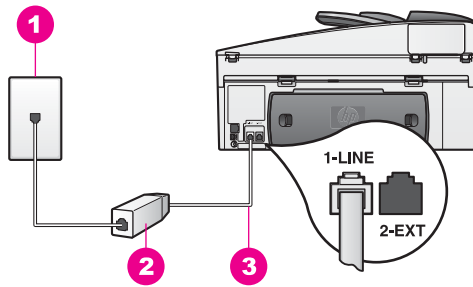
### HP All−in−One に付属の電源コードの長さが十分でない

**解決方法**　HP All−in−One 付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。カプラーは、電話のアクセサリを扱っている電器店で購入できます。自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要です。

ヒント　HP All−in−One に 2 線式電話コード アダプタが付属していたら、4 線式電話コードと合わせて使用して長さを延長できます。2 線式電話コード アダプタの使用方法については、付属のマニュアルを参照してください(日本では付属しておりません）　。

**電話コードを延長するには**

1. HP All−in−One に付属の電話コードの一方の端をカプラーに、もう一方の端を HP All−in−One の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。
2. もう 1 本の電話コードを、下図のとおりに、空いているカプラーのポートと壁側のモジュラー ジャックに接続します。

トラブルシューティング情報

| 1 | 壁側のモジュラージャック |
|---|---|
| 2 | カプラー |
| 3 | HP All-in-One に付属の電話コードを使用 |

---

**インターネットでファクスを送ることができない**

**解決方法**

次の点を確認してください。

- FoIP サービスは、HP All-in-One が高速 (33600bps) でファクスを送受信していると正常に動作しない場合があります。 インターネット ファクス サービスを使用して、ファクスの送受信で問題が起きたら、ファクス速度を遅くしてください。 「**ファクス速度**」 の設定を「**はやい**」 (デフォルト) から 「**標準**」 にすれば、ファクス速度が遅くなります。 この設定の変更については、ファクス速度の設定を参照してください。
- 電話コードを HP All-in-One の「1-LINE」と書かれたポートに接続した場合だけファクスの送受信が可能で、 Ethernet ポートは使用できません。つまり、インターネット接続は、コンバータ ボックス (ファクス接続用に通常のアナログ電話ジャックを装備) または電話会社経由で行う必要があるということです。
- 電話会社のインターネット電話サービスがファクスをサポートしているか確認してください。 ファクスをサポートしていない場合、インターネット経由でファクスを送受信することはできません。

---

# 動作時のトラブルシューティング:

「**HP Image Zone ヘルプ**」のHP Officejet 7200 All-in-One series トラブルシューティングのセクションには、HP All-in-One に関連するいくつかの一般的な問題に対するトラブルシューティングのヒントが記述されています。

Windows コンピュータでトラブルシューティング情報にアクセスするには、「**HP ディレクタ**」 に移動し、 「**ヘルプ**」 をクリックした後、「**トラブルシューティングとサポート**」 を選択します。トラブルシューティング情報は、

一部のエラー メッセージに表示される [ヘルプ] ボタンを使っても表示できます。

Macintosh OS X v10.1.5 以降でトラブルシューティング情報にアクセスするには、Dock で 「**HP Image Zone**」 アイコンをクリックし、メニュー バーから「**ヘルプ**」 を選択し、「**ヘルプ**」 メニューから 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を選択してから、ヘルプ ビューアで HP Officejet 7200 All-in-One series を選択します。

インターネットにアクセス可能な場合は、HP サポート センターからヘルプ情報を入手することができます。

## 用紙のトラブルシューティング

紙詰まりを防止するために、ご使用の HP All-in-One で推奨している用紙の種類をお使いください。 推奨されている用紙の一覧については、HP サポート センターにお問い合わせください。

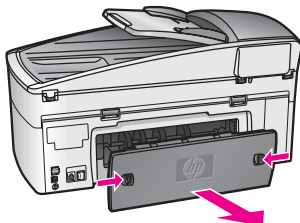
波打ったり、しわが寄ったりしている用紙や端が折れたり破れたりしている用紙は、給紙トレイにセットしないでください。詳細については、紙詰まりの防止を参照してください。

デバイスの中で紙が詰まった場合、次の指示に従い、紙詰まりを取り除いてください。

### HP All-in-Oneで用紙が詰まった

**解決方法**

1. 下図のように、後部アクセス ドアにある両脇のタブを押し込んで、このカバーを取り外します。
   ご使用の HP All-in-One にHP 自動両面印刷対応ハガキトレイが付属している場合、図の後部アクセス ドアが付いていない場合があります。紙詰まりを直すには、このモジュールを取り外す必要があります。詳細については、このトレイに付属するマニュアルを参照してください。

トラブルシューティング情報

注意　HP All-in-One の正面側から詰まった紙を取り除くと、プリンタが損傷する場合があります。必ず、後部アクセス ドアを開けて、詰まった紙を後部から取り除いてください。

2. 詰まっている用紙をローラーからゆっくり引っ張り出します。

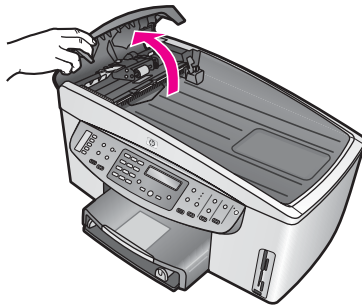
警告　ローラーから引き出している途中に用紙が破れてしまった場合、ローラーとホイールを点検して、本体の中に紙切れが残っていないか確認してください。HP All-in-One に紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。

3. 後部アクセス ドアを取り付けます。パチンと音がするまでカバーをゆっくり押し込みます。
4. 現在のジョブを続行するには、**OK** を押します。

---

### 用紙が自動ドキュメント フィーダに詰まった

**解決方法**

1. ドキュメント フィーダ トレイを引っ張って HP All-in-Oneから取り外します。
2. 自動ドキュメント フィーダのカバーを外します。

3. 詰まっている用紙をローラーからゆっくり引っ張り出します。

警告　ローラーから引き出している途中に用紙が破れてしまった場合、ローラーとホイールを点検して、自動ドキュメントフィーダの中に紙切れが残っていないか確認してください。HP All-in-One に紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。

自動ドキュメント フィーダの正面から、面板を取り外して、ピック アセンブリを持ち上げて自動ドキュメント フィーダの奥から紙切れを取り除いてください。詳細については、自動ドキュメント フィーダが一度にたくさんのページを給紙してしまう、またはまったく給紙しないを参照してください。

4. 自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じ、ドキュメント フィーダ トレイを付け直します。

---

### オプションのHP 自動両面印刷対応ハガキトレイに用紙が詰まった

**解決方法**　自動両面印刷対応ハガキトレイを取り外す必要があります。詳細については、このトレイに付属するマニュアルを参照してください。

注記　紙詰まりを直す前に HP All-in-One の電源をオフにした場合は、オンに戻してからプリント ジョブやコピー ジョブ、ファクス ジョブを再開してください。

---

### 自動ドキュメント フィーダが一度にたくさんのページを給紙してしまう、またはまったく給紙しない

**原因**　自動ドキュメント フィーダ内部のセパレータ パッドやローラーをクリーニングする必要があります。手書き原稿やインクを多量に使用した原稿をコピーする場合、あるいは長期間の使用後には、鉛筆の芯、ロウ、インクがローラーやセパレータ パッドに蓄積する場合があります。

- 自動ドキュメント フィーダがまったく給紙しない場合、自動ドキュメント フィーダ内のローラーをクリーニングする必要があります。
- 自動ドキュメント フィーダが、1 枚ずつではなく何枚も給紙する場合、自動ドキュメント フィーダ内のセパレータ パッドをクリーニングする必要があります。

**解決方法**　給紙トレイに A4 サイズで未使用の白い普通紙を 1、2 枚セットしてから、**コピー スタート - モノクロ** を押して、自動ドキュメント フィーダに用紙を通します。ローラーやセパレータ パッドから取れたカスが普通紙に吸着されます。

ヒント　自動ドキュメント フィーダが普通紙を給紙しない場合、前面ローラーをクリーニングしてみてください。柔らかく、糸くずの出ない布を蒸留水で湿らせてローラーを拭きます。

トラブルシューティング情報

問題が解決しない場合や、 自動ドキュメント フィーダが普通紙を給紙しない場合、ローラーやセパレータ パッドを手動でクリーニングしてください。次の手順の説明に従い、自動ドキュメント フィーダの正面から、面板を取り外して、自動ドキュメント フィーダ内部のピック アセンブリにアクセスし、ローラーやセパレータ パッドをクリーニングしてから、面板を取り付けます。

**自動ドキュメント フィーダの前面から面板を取り外すには**

1. ドキュメント フィーダ トレイから原稿をすべて取り除きます。

   ヒント 自動ドキュメント フィーダ トレイを先に取り外したほうが作業がしやすいかもしれません。

2. 図 1 のように、自動ドキュメント フィーダのカバーを外します。

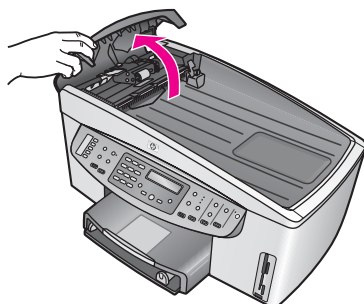



**図 1**

3. ガラス板に原稿をセットするように、HP All-in-One のカバーを持ち上げます。
   図 2 は、カバーが開き、ノッチ (1) の場所が、カバーの裏側 (2) の右上の端であることを示しています。

トラブルシューティング情報

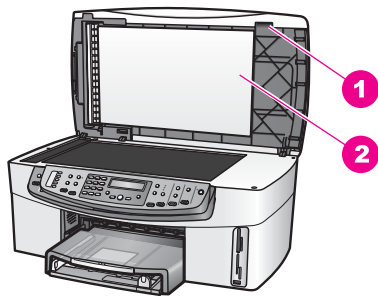



**図 2**

| | |
|---|---|
| 1 | ノッチ |
| 2 | カバーの裏側 |

4. 図 3 のとおりに指を 1、2 本当てます。

警告　まだ面板を完全に外さないでください。面板を固定するためのプラスチック製留め具が面板内部の左端にあります。面板をまっすぐに引っ張って外すと、面板内部の留め具を破損する可能性があります。

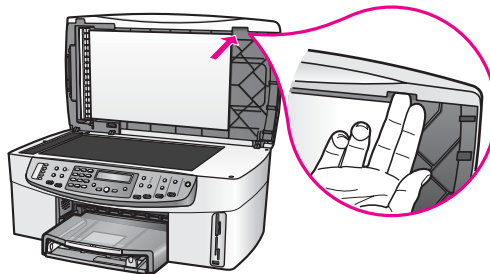



**図 3**

5. カバーがほぼ閉まるまで、ノッチに指を当てて、カバーを押し下げます。
6. 図 4 のように、親指で面板 (1) の上部に押し当てながら、指で引いて HP All-in-One の右側から底部を外します。
   面板が外れやすいように、右側でわずかにひねりを加えます。

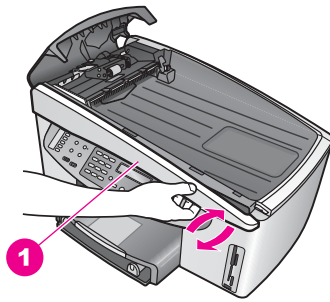



**図 4**

| 1 | 面板 |
|---|---|

7. 図 5 のとおり、面板 (1) の左側をスライドして、プラスチック製の留め具を HP All-in-One の左側から完全に離してから、面板を本体 (2) から外します。

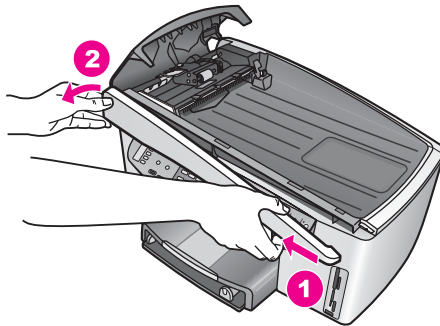



**図 5**

**ローラーやセパレータ パッドをクリーニングするには**

1. 図 6 に出ている青緑のハンドル (1) を使用して、ピック アセンブリ (2) を持ち上げます。

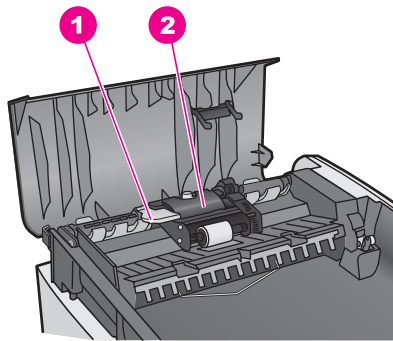



**図 6**

| | |
|---|---|
| 1 | ハンドル |
| 2 | ピック アセンブリ |

図 7 のとおり、このようにするとローラー (3) と セパレータ パッド (4) に簡単にアクセスできます。

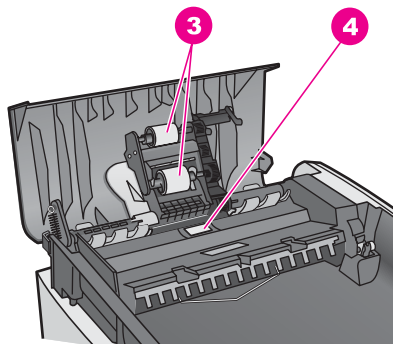



**図 7**

| | |
|---|---|
| 3 | ローラー |
| 4 | セパレータ パッド |

2. きれいな糸くずの出ない布を蒸留水に浸し、余分な水分を絞ります。
3. 湿った布を使用して、ローラーやセパレータ パッドからカスを拭き取ります。
4. 蒸留水でカスが取れない場合は、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用してみます。
5. 青緑のハンドルを使用して、ピック アセンブリを下げます。

**自動ドキュメント フィーダの正面に面板を付け直すには**

1. 図 8 に示すとおり、面板を HP All-in-One の左側に引っ掛け、面板内部左端のプラスチック留め具 (2) が、自動ドキュメント フィーダの前面にあるノッチ (1) に留まるようにします。

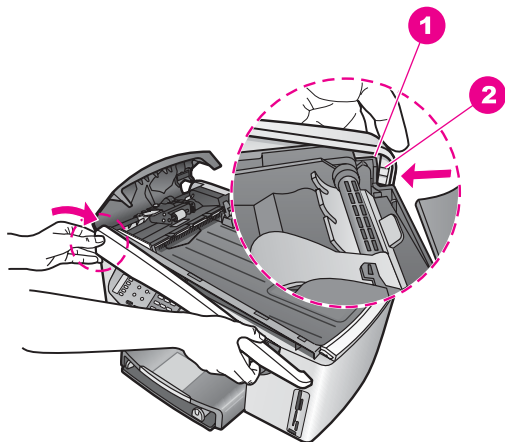



**図 8**

| | |
|---|---|
| 1 | ノッチ |
| 2 | プラスチック留め具 |

2. 図 9 のとおりに、面板の右端を HP All-in-One の右側と合わせて、パチンと音がするまで面板の右側を押し込みます。

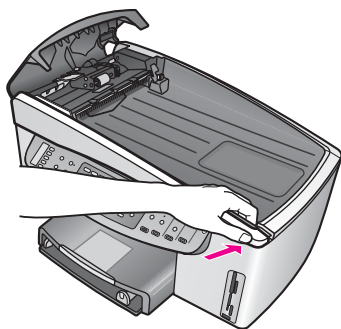



**図 9**

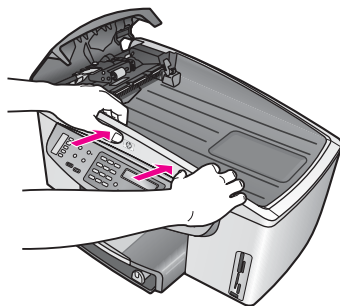
3. 図 10 のとおり、面板の中央に向けて手を置き、パチンと音がするまで面板の中央を押し込みます。
左側および右側がはまれば、パチンとはまる音が聞こえます。

トラブルシューティング情報

**図 10**

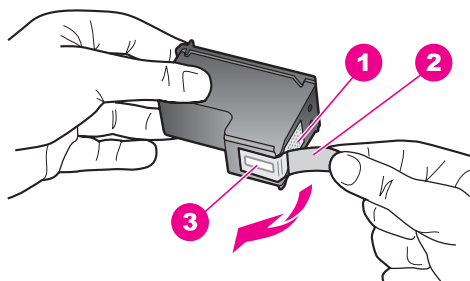
4. 自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。
5. ドキュメント フィーダ トレイを外した場合は、付け直します。

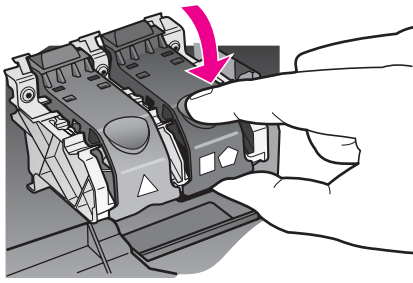
---

## プリント カートリッジのトラブルシューティング

印刷時に問題が発生した場合は、プリント カートリッジの 1 つに問題がある可能性があります。

解決方法

1. 右側のプリント カートリッジを取り外し、プラスチック テープがはがされていることを確認します。テープがインク ノズルをふさいでいる場合、ピンクのつまみを持ってテープを慎重に取り除いてください。銅色の接点やインク ノズルには触れないでください。

| | |
|---|---|
| 1 | 銅色の接点 |
| 2 | ピンクのつまみの付いたプラスチック テープ (本体に取り付ける前に取り外してください) |
| 3 | テープの下にあるインク ノズル |

2. もう一度プリント カートリッジを挿入し、カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入され、ロックされていることを確認してください。

3. 左側のプリント カートリッジに対しても、手順 1 と 2 を繰り返します。
4. プリント カートリッジを装着し直しても問題が解決しない場合、セルフテスト レポートを印刷して、プリント カートリッジに問題がないか確認します。
   このレポートには、ステータス情報など、プリント カートリッジに関する役立つ情報が表示されます。詳細については、セルフテスト レポートの印刷を参照してください。
5. セルフテスト レポートで問題が確認された場合、プリント カートリッジのクリーニングを行ってください。
   詳細については、プリント カートリッジのクリーニングを参照してください。
6. プリント カートリッジを装着し直しても問題が解決しない場合、プリント カートリッジの銅色の接点をクリーニングしてください。
   詳細については、プリント カートリッジの接点のクリーニングを参照してください。
7. 以上の操作を行っても印刷の問題が解決されない場合は、どのプリント カートリッジに問題があるかを確認して交換します。

## 印刷のトラブルシューティング

### 文書が印刷されない

**解決方法**　複数のプリンタを設置している場合は、お使いのソフトウェア アプリケーションで、印刷用に HP Officejet 7200 All−in−One series を選択してください。

注記　ソフトウェア アプリケーションで印刷時に自動的に選択されるように、HP All−in−One をデフォルトのプリンタとして設定することができます。 詳細については、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属のオンスクリーン『トラブルシューティング ヘルプ』を参照してください。

**解決方法**　紙詰まり、用紙不足などのエラーが起きていないかどうか、HP All-in-One の状態を確認します。

- コントロール パネル ディスプレイにエラー メッセージが表示されていないかどうか確認します。
- Windows ユーザーの場合： HP All-in-One から HP All-in-One の状態を確認します。「**HP ディレクタ**」 で 「**状態**」 をクリックします。

検出された問題を解決します。 エラー メッセージについては、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属のオンスクリーン『トラブルシューティング ヘルプ』を参照してください。

### メモリ カードのトラブルシューティング

次に示すトラブルシューティングのヒントは、Macintosh の iPhoto ユーザーにだけ適用されます。

#### メモリ カードをネットワークに接続された HP All-in-One に挿入したが、iPhoto がカードを検出できない

**解決方法**　iPhoto がメモリ カードを検出するためには、カードがデスクトップ上に表示されていることが必要ですが、ネットワークに接続された HP All-in-One に挿入されたメモリ カードは自動的にはデスクトップにマウントされません。 フォルダから iPhoto を起動するだけでは、挿入されてはいるがマウントされていないメモリ カードをアプリケーションが検出できません。 この場合は、「**HP ディレクタ**」 を起動し、「**その他のソフト**」 から「**iPhoto**」 を選択します。この方法で 「**HP ディレクタ**」 から iPhoto を起動した場合は、アプリケーションがメモリ カードを検出し、自動的にマウントします。

#### メモリ カードにビデオ クリップが保存されているが、メモリ カードの内容をインポートした後も iPhoto にクリップが表示されない

**解決方法**　iPhoto が処理できるのはスチル写真だけです。ビデオ クリップとスチル写真を同時に管理するには、「**HP ディレクタ**」 から 「**画像の転送**」 を使用します。

## デバイスの更新

HP カスタマ サポートのアドバイスがあったり、コンピュータにメッセージが表示された場合は、HP All-in-One を更新します。 更新方法には複数あり、それぞれの方法で、コンピュータにファイルをダウンロードして、「**デバイスの更新ウィザード**」 を開始します。

## デバイスの更新 (Windows)

次のいずれかの方法で、デバイスの更新を検索します。

- HP カスタマ サポートの指示があった場合、Web ブラウザを使用して、ご使用の HP All-in-One 用の更新を www.hp.com/support からダウンロードします。
- 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属の 「**ソフトウェアの更新**」 ユーティリティを使用して、あらかじめ決めた間隔で HP サポート Web サイトからデバイスの更新を検索します。「**ソフトウェアの更新**」 ユーティリティの詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

注記　コンピュータに 「**ソフトウェアの更新**」 ユーティリティーをインストールすると、デバイスの更新を検索します。インストールのときに 「**ソフトウェアの更新**」 ユーティリティーの最新バージョンがなければ、コンピュータにダイアログ ボックスが表示され、更新するように指示します。更新に同意します。 アップグレードが完了したら、「**ソフトウェア更新**」 ユーティリティを再起動して、お使いの HP All-in-One 用のアップデートを検出します。

## デバイスの更新 (Macintosh)

HP カスタマ サポートのアドバイスがあったり、コンピュータにメッセージが表示された場合は、デバイス更新インストーラを使用して以下の方法で更新を HP All-in-One に適用します。

1. Web ブラウザを使用して、ご使用の HP All-in-One 用の更新を www.hp.com/support からダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
   コンピュータにインストーラが表示されます。
3. 画面の指示に従い、HP All-in-One に更新をインストールします。
4. HP All-in-One を再起動して、プロセスを完了します。

# 17 HP製品サポートについて

弊社では、ご使用の HP All-in-One のサポートをインターネットおよび電話で提供しております。
この章では、次の点について説明します。インターネットからのサポートの入手、HP カスタマ サポートへの問い合わせ、シリアル番号とサービス ID の確認、 HP Japan カスタマ サポートへの連絡、他国のサポートへの問い合わせ、HP All-in-One の発送準備。
製品に付属する印刷マニュアルまたはオンスクリーン マニュアルで必要な答えが見つからない場合は、以下のページに記載されている HP サポート サービスに問い合わせることができます。一部のサポート サービスは米国とカナダでしか利用できませんが、その他のサポート サービスは世界中の多くの国/地域で利用できます。お住まいの国/地域のサポート サービスの電話番号が記載されていない場合は、最寄りの HP 正規代理店までお問い合わせください。

## インターネットからのサポートの利用およびその他の情報の入手

インターネットに接続可能な場合は、www.hp.com/support のヘルプを参照できます。 この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、サプライ品、および注文に関する情報が用意されています。

## 保証サポート

HP 修理 サービスを利用するには、最初にサービス オフィスに連絡するか、HPカスタマ サポート センターに連絡して、基本的なトラブルシューティングを行っていただく必要があります。カスタマ サポートに連絡する前に実行する手順については、HP カスタマ サポートを参照してください。

注記　この情報は、日本のカスタマには当てはまりません。日本でのサービス オプションについては、HP Quick Exchange Service (日本) を参照してください。

### 修理のための HP All-in-One の返送

修理等のサービスを受ける際、HP All-in-One を返送する前に、HP カスタマ サポートに連絡してください。カスタマ サポートに連絡する前に実行する手順については、HP カスタマ サポートを参照してください。

注記　この情報は、日本のカスタマには当てはまりません。日本でのサービス オプションについては、HP Quick Exchange Service (日本) を参照してください。

## HP カスタマ サポート

HP All-in-One には、他社のソフトウェア プログラムが付属している場合があります。このようなプログラムで問題が発生した場合は、そのメーカーの担当技術者にお問い合わせになると最適な技術サポートが受けられます。
HP カスタマ サポートに問い合わせる必要がある場合は、連絡の前に以下の作業を行ってください。

1. 以下の事項を確認します。

a. HP All-in-One が接続され、電源がオンになっていること。
   b. 指定のプリント カートリッジが正しく取り付けられていること。
   c. 推奨される用紙が給紙トレイに正しくセットされていること。
2. 以下の手順に従って HP All-in-One をリセットします。
   a. **On** ボタンを押して HP All-in-One の電源をオフにします。
   b. 電源コードを HP All-in-One の後部から取り外します。
   c. 電源コードを HP All-in-One に元通り差し込みます。
   d. **On** ボタンを押して HP All-in-One の電源を入れます。
3. 詳細は、www.hp.com/support にアクセスしてください。
   この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、サプライ品、および注文に関する情報が用意されています。
4. 上記の作業を行っても問題が解決されず、HP カスタマ サポート担当に問い合わせる必要がある場合は、以下の作業を行います。
   a. 本体のコントロール パネルに明記されている HP All-in-One のモデル名をメモします。
   b. セルフテスト レポートを印刷してください。セルフテスト レポートの印刷方法については、セルフテスト レポートの印刷を参照してください。
   c. サンプル出力として利用できるカラー コピーを作成します。
   d. 発生した問題を詳しく説明できるように準備します。
   e. シリアル番号とサービス ID をメモします。シリアル番号とサービス ID を確認する方法については、シリアル番号とサービス ID の確認を参照してください。
5. HP カスタマ サポートに連絡します。連絡するときは、HP All-in-One の近くで行ってください。

## シリアル番号とサービス ID の確認

HP All-in-One の 「情報メニュー」 を使用すると、重要な情報を確認できます。

**注記** HP All-in-Oneの電源がオンになっていない場合は、デバイスの背面の左上隅に貼ってあるステッカーでシリアル番号を確認できます。シリアル番号は、ラベルの左上隅にある 10 桁のコードです。

1. **OK** を押し続けます。 **OK** を押しながら **4** を押してください。
   「情報 メニュー」 が表示されます。
2. 「モデル番号」 が表示されるまで ▶ を押して、次に **OK** を押します。
   サービス ID が表示されます。このサービス ID をメモしてください。
3. **キャンセル** を押して、次に「シリアル番号」 が表示されるまで ▶ を押します。
4. **OK**を押します。
   シリアル番号が表示されます。 表示されたシリアル番号を省略せずにメモしてください。
5. **キャンセル** を押して 「情報メニュー」 を終了します。

## 他国のサポートへの問い合わせ

以下に記載されている電話番号は、このガイドの発行日の時点での番号です。 各国向け HPサポート サービスの最新の電話番号一覧を参照するには、www.hp.com/support にアクセスし、お住まいの国/地域か、言語を選択してください。

以下の国/地域では、HP サポート センターに問い合わせることができます。お住まいの国/地域が一覧にない場合は、お近くの代理店、または最寄りの HP 営業サポート事務所にお問い合わせください。

注記　このセクションで提示する電話1 回1 分間あたりの課金レートは概算です。

ヨーロッパについては、国または地域によって電話でのサポート内容や条件が異なりますので、HPの Web サイト www.hp.com/support でご確認ください。

代理店への問い合わせ、またはこのガイドに記載されている電話番号の HP に連絡することもできます。

当社では、電話サポート サービスを向上させるために絶えず努力しています。定期的に当社の Web サイトを確認して、サービスの機能や提供方法に関する新しい情報を入手することをお勧めします。

| 国/地域 | HP 技術サポート | 国/地域 | HP 技術サポート |
|---|---|---|---|
| アイルランド | +353 1890 923 902 | トルコ | +90 216 579 71 71 |
| アメリカ合衆国 | 1-800-474-6836 (1-800-HP invent) | ドイツ (0.12 ユーロ/分) | +49 (0) 180 5652 180 |
| アラブ首長国連邦 | +971 4 366 2020 | ドミニカ共和国 | 1-800-711-2884 |
| アルジェリア[1] | +213 61 56 45 43 | ナイジェリア | +234 1 3204 999 |
| アルゼンチン | (54)11-4778-8380, 0-810-555-5520 | ニュージーランド | 0800 441 147 |
| イエメン | +971 4 366 2020 | ノルウェー[2] | +47 815 62 070 |
| イギリス | +44 (0) 870 010 4320 | ハンガリー | +36 1 382 1111 |
| イスラエル | +972 (0) 9 830 4848 | バングラデシュ | ファクス番号：+65-6275-6707 |
| イタリア | +39 848 800 871 | バーレーン | 800 171 |
| イングリッシュ インターナショナル | +44 (0) 207 512 5202 | パキスタン | ファクス番号：+65-6275-6707 |
| インド | 91-80-8526900 | パナマ | 001-800-711-2884 |
| インド (通話料無料) | 1600-4477 37 | パレスチナ | +971 4 366 2020 |
| インドネシア | 62-21-350-3408 | フィリピン | 632-867-3551 |
| ウクライナ、キエフ | +7 (380 44) 4903520 | フィンランド | +358 (0) 203 66 767 |
| エクアドル (Andinatel) | 999119 +1-800-7112884 | フランス (0.34 ユーロ/分) | +33 (0)892 69 60 22 |
| エクアドル (Pacifitel) | 1-800-225528 +1-800-7112884 | ブラジル (その他の地域) | 0800 157751 |

| 国/地域 | HP 技術サポート | 国/地域 | HP 技術サポート |
| --- | --- | --- | --- |
| エジプト | +20 2 532 5222 | ブラジル （リオグランデ、サンパウロ） | (11) 3747 7799 |
| オマーン | +971 4 366 2020 | ブルネイ | ファクス番号：+65-6275-6707 |
| オランダ (0.10 ユーロ/分) | 0900 2020 165 | プエルトリコ | 1-877-232-0589 |
| オーストラリア (保証期間内) | 1300 721 147 | ベトナム | 84-8-823-4530 |
| オーストラリア (保証期間終了後、1 回ごとに料金が発生) | 1902 910 910 | ベネズエラ | 0-800-474-6836 (0-800-HP invent) |
| オーストリア | +43 1 86332 1000 | ベネズエラ (カラカス) | (502) 207-8488 |
| カタール | +971 4 366 2020 | ベルギー (オランダ語) | +32 070 300 005 |
| カナダ (保証期間内) | (905) 206 4663 | ベルギー (フランス語) | +32 070 300 004 |
| カナダ (保証期間終了後、1 回ごとに料金が発生) | 1-877-621-4722 | ペルー | 0-800-10111 |
| カリブおよび中央アメリカ | 1-800-711-2884 | ボリビア | 800-100247 |
| カンボジア | ファクス番号：+65-6275-6707 | ポルトガル | +351 808 201 492 |
| ギリシャ (キプロスからアテネ、通話料無料) | 800 9 2649 | ポーランド | +48 22 5666 000 |
| ギリシャ (国内向け) | 801 11 22 55 47 | マレーシア | 1-800-805405 |
| ギリシャ (国外向け) | +30 210 6073603 | メキシコ | 01-800-472-6684 |
| クウェート | +971 4 366 2020 | メキシコ (メキシコ市) | (55) 5258-9922 |
| グアテマラ | 1800-999-5105 | モロッコ[1] | +212 22 404747 |
| コスタリカ | 0-800-011-4114, 1-800-711-2884 | ヨルダン | +971 4 366 2020 |

付録 17
(続き)

| 国/地域 | HP 技術サポート | 国/地域 | HP 技術サポート |
|---|---|---|---|
| コロンビア | 01-800-51-474-6836 (01-800-51-HP invent) | ルクセンブルグ (ドイツ語) | 900 40 007 |
| サウジアラビア | 800 897 1444 | ルクセンブルグ (フランス語) | 900 40 006 |
| シリア | +971 4 366 2020 | ルーマニア | +40 (21) 315 4442 |
| シンガポール | 65 - 62725300 | レバノン | +971 4 366 2020 |
| ジャマイカ | 1-800-711-2884 | ロシア連邦、サンクトペテルブルグ | +7 812 3467997 |
| スイス[3] | +41 0848 672 672 | ロシア連邦、モスクワ | +7 095 7973520 |
| スウェーデン | +46 (0) 77 120 4765 | 中国 | 021-38814518, 8008103888 |
| スペイン | +34 902 010 059 | 中東 (国際) | +971 4 366 2020 |
| スリランカ | ファクス番号 : +65-6275-6707 | 南アフリカ (RSA) | 086 0001030 |
| スロバキア | +421 2 50222444 | 南アフリカ、共和国以外 | +27 11 2589301 |
| タイ | 0-2353-9000 | 台湾 | +886 (2) 8722-8000, 0800 010 055 |
| チェコ共和国 | +420 261307310 | 日本 | +81-3-3335-9800 |
| チュニジア[1] | +216 71 89 12 22 | 西アフリカ | +351 213 17 63 80 |
| チリ | 800-360-999 | 韓国 | +82 1588 3003 |
| デンマーク | +45 70 202 845 | 香港 SAR | +(852) 2802 4098 |
| トリニダート&トバゴ島 | 1-800-711-2884 | | |

1 このコールセンターでは、モロッコ、チュニジア、アルジェリアのユーザに対しフランス語でサポートしています。

2 1 回のコールにかかるお金は、0.55 ノルウェー クローネ (0.08 ユーロ)です。1 分間にお客様が支払う料金は、0.39 ノルウェー クローネ (0.05 ユーロ)です。

3 このコール センターでは、スイス国内のドイツ語、フランス語、イタリア語を使用するユーザーをサポートしています。(ピーク時は 0.08 CHF/分、非ピーク時は 0.04 CHF/分)

# 日本 HP カスタマ サポートへの問い合わせ

カスタマー･ケア･センター

**TEL : 0570-000-511**（ナビダイヤル）

**03-3335-9800**（ナビダイヤルをご利用いただけない場合）

**FAX : 03-3335-8338**

月～金 **9:00 ～ 17:00**

土･日　**10:00 ～ 17:00**（祝祭日、**1/1**～**3** を除く）

**FAX** によるお問い合わせは、ご質問内容とともに、ご連絡先、

弊社製品名、接続コンピュータ名をご記入ください。

## HP Quick Exchange Service (日本)

製品に問題がある場合は以下に記載されている電話番号に連絡してください。製品が故障している、または欠陥があると判断された場合、HP Quick Exchange Serviceがこの製品を正常品と交換し、故障した製品を回収します。保証期間中は、修理代と配送料は無料です。また、お住まいの地域にもよりますが、プリンタを次の日までに交換することも可能です。

電話番号： 0570-000511 （自動応答）
:03-3335-9800（自動応答システムが使用できない場合）
サポート時間**:** 平日の午前 9:00 から午後 5:00 まで
土日の午前 10:00 から午後 5:00 まで。
祝祭日および1月1日から 3日は除きます。

サービスの条件

- サポートの提供は、カスタマケアセンターを通してのみ行われます。
- カスタマケアセンターがプリンタの不具合と判断した場合に、サービスを受けることができます。
  **ご注意:** ユーザの扱いが不適切であったために故障した場合は、保証期間中であっても修理は有料となります。詳細については保証書を参照してください。

その他の制限

- 運送の時間はお住まいの地域によって異なります。　詳しくは、カスタマケアアターに連絡してご確認ください。
- 出荷配送は、当社指定の配送業者が行います。
- 配送は交通事情などの諸事情によって、遅れる場合があります。
- このサービスは、将来予告なしに変更することがあります。

# HP All-in-One の発送準備

HP カスタマ サポートに問い合わせた後、お買い求めの販売店に返品される場合は、送料はお客様の自己負担で、プリント カートリッジを取り除き、さらに深刻な損傷を防ぐために元の梱包材料でお使いのHP All-in-Oneを梱包して発送していただくよう求められます。電源がオンになっているいないにかかわらず、お使いの HP All-in-Oneからプリント カートリッジを取り外すことができます。万一 HP All-in-Oneの交換が必要な場合には、電源コードとコントロール パネル オーバーレイはそのままにしておいてください。

このセクションでは、動作中の HP All-in-One からプリント カートリッジを取り外す方法、動作していない HP All-in-One からプリント カートリッジを取り外す方法、およびコントロール パネル オーバーレイを取り外し、HP All-in-One を梱包する方法について説明します。

注記　この情報は、日本のカスタマには当てはまりません。日本でのサービス オプションについては、HP Quick Exchange Service (日本) を参照してください。

**機能しているHP All-in-Oneからプリント カートリッジを取り外す**

1. HP All-in-One の電源をオンにします。
   デバイスの電源が入らない場合は、機能していないHP All-in-Oneからプリント カートリッジを取り外すを参照してください。
2. プリント キャリッジ アクセス ドアを開きます。
3. プリント キャリッジが停止して静かになってから、プリント カートリッジをスロットから取り外し、ラッチを下げます。プリント カートリッジを取り外す方法については、プリント カートリッジの交換を参照してください。

   注記　両方のプリント カートリッジを取り外し、両方のラッチを下げてください。この作業を怠ると、HP All-in-One が損傷するおそれがあります。

4. プリント カートリッジを、乾燥しないように気密性の高いプラスチック容器 (,またはプリント カートリッジ ケース) に入れて保管します。HP カスタマ サポートの電話担当者から指示された場合を除き、プリント カートリッジは HP All-in-One と一緒に発送しないでください。
5. プリント キャリッジのアクセス ドアを閉め、プリント キャリッジがホーム ポジション (右側) に戻るまでしばらく待ちます。

   注記　HP All-in-One の電源をオフにする前に、スキャナが所定の位置に戻っていることを確認してください。

6. **On** ボタンを押して、HP All-in-Oneの電源をオフにします。
7. 電源コードを抜いてから、HP All-in-Oneからプラグを抜いてください。

   注記　HP All-in-Oneと一緒に電源コードと電源アダプタを返送しないでください。交換用に配送される HP All-in-One にこれらのものは付属しません。HP All-in-Oneの交換品が到着するまで、電源コードと電源アダプタは安全な場所に保管しておいてください。

8. 発送に関する必要な準備をすべて整えるためにお使いのHP All-in-Oneを梱包するを参照してください。

**機能していないHP All-in-Oneからプリント カートリッジを取り外す**

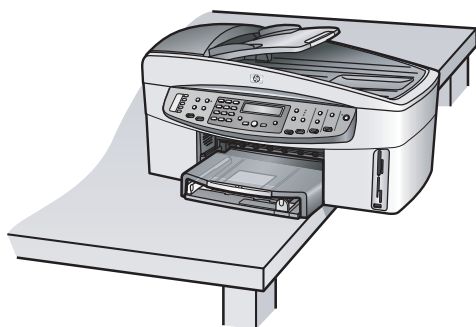
お使いのHP All-in-Oneの電源が入らない場合で、発送のためにプリント カートリッジを取り外す場合は以下の手順に従ってください。 お使いのデバイスの電源がオンになっているかどうか機能しているHP All-in-Oneからプリント カートリッジを取り外すを確認してください。 以下の手順に従ってプリント カートリッジ クレードルをア

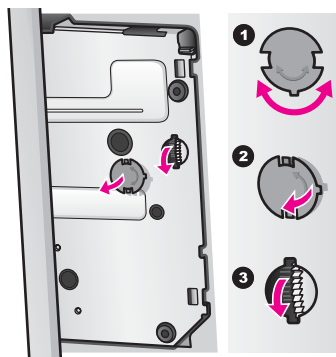
ンロックし、プリント カートリッジを取り外してください。次にプリント カートリッジ クレードルをロックします。

1. 電源コードを抜いてから、HP All-in-Oneからプラグを抜いてください。

注記　HP All-in-Oneと一緒に電源コードと電源アダプタを返送しないでください。交換用に配送される HP All-in-One にこれらのものは付属しません。HP All-in-Oneの交換品が到着するまで、電源コードと電源アダプタは安全な場所に保管しておいてください。

2. HP All-in-Oneの正面に向かって、底を平らな面（机やテーブルなど）の端から右側方向に約12.5ｃｍ突き出してください。
下側に丸い紫色のカバーがあらわれます。

警告　横に傾けないでください。デバイスが損傷するおそれがあります。

3. 下側のカバーの位置を確認してから、下記の手順にしたがってプリント カートリッジ クレードルのロックをはずしてください。
   a. つまみを使用してカバーをどちらか一方向に1/4回転してください。
   b. カバーを取り外します。プリント カートリッジ クレイドルの高さを調整するギアがあらわれます。
   c. ギアをユニットの後方に向けて止まるまで回してください。

注記　何回かギアを回すと止まります。

4. プリント キャリッジ アクセス ドアを開き、スロットからプリント カートリッジを取り外しラッチを下げます。

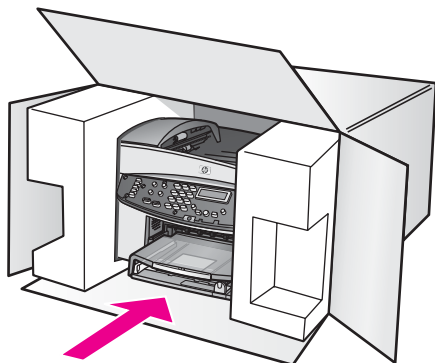
注記　両方のプリント カートリッジを取り外し、両方のラッチを下げてください。この作業を怠ると、HP All-in-One が損傷するおそれがあります。

5. プリント カートリッジを、乾燥しないように気密性の高いプラスチック容器 (,またはプリント カートリッジ ケース) に入れて保管します。HP カスタマ サポートの電話担当者から指示された場合を除き、プリント カートリッジは HP All-in-One と一緒に発送しないでください。
6. ギアをHP All-in-Oneの前方に止まるまで回してください。
プリント カートリッジがロックされて安定し安全に発送できます。
7. 本体側のくぼみと、カバーの２つのつまみを互いに向かい合うようまっすぐに揃えてHP All-in-Oneの底にカバーを再び取り付けてください。適切な位置にカバーを合わせ1/4回転させて所定の位置にロックしてください。
8. 発送に関する必要な準備をすべて整えるためにお使いのHP All-in-Oneを梱包するを参照してください。

## お使いのHP All-in-Oneを梱包する

以下の手順にしたがっていったんプリント カートリッジを取り外し、HP All-in-One のプラグを抜いて電源を切ってください。

警告　必ずプラグを抜いて電源を切ってから以下の手順にしたがってください。

1. ご使用のHP All-in-Oneに HP 自動両面印刷対応ハガキトレイが取り付けられている場合は、デバイスの背面から取り外してください。
2. 可能な場合は、元の梱包用材料を使用するか、代替製品が梱包されていた材料を使用して HP All-in-One を梱包し、発送します。

元の梱包用材料がない場合は、他の適切な梱包用材料を使用してください。不適切な梱包や運送によって発生する損傷は、保証の対象にはなりません。

3. 返送用のラベルを箱の外側に貼ります。
4. 箱には、以下のものを入れてください。
   – サービス担当に宛てた、症状の詳細な説明 (印刷品質を示す実際の出力サンプルが役に立ちます。)
   – 保証が適用される期間内であることを証明する保証書またはその他の購入証明書のコピー
   – 氏名、住所、および日中に連絡可能な電話番号

# 18 Hewlett-Packard 限定保証条項



## 限定保証の期間

| HP 製品 | 限定保証の期間 |
|---|---|
| ソフトウェア | 90 日 |
| プリンタ | 1 年 |
| プリント カートリッジ | HP カートリッジのインクが消耗した当日の日付、またはカートリッジに記載されている「保証期限」の日付のうち、どちらか早い方の日付。 本保証は、補充、再製品化、修理調整されたもの、または改ざんされたHP純正インク製品については対象外になります。 |
| アクセサリ | 90 日間 |

## 限定保証の範囲

Hewlett-Packard (以下 HP) は、エンドユーザーであるお客様に、HP 製品が上記に定められた期間内に、材質また品質上の瑕疵がないことを保証いたします。この期間は、お客様に本製品をご購入いただいた当日から開始されます。

ソフトウェア製品については、この HP 限定保証は、プログラミング命令の実行エラーにのみ適用されます。 HP は、HP 製品の稼働中に中断や障害がまったく発生しないという保証はいたしません。

HP 限定保証の対象となるのは、本製品を正しく使用したにもかかわらず生じた瑕疵に限定されます。次のような使用によって発生した瑕疵は保証の対象外です。 a. 不適切な保守または改造、 b. HPが提供またはサポートしていないソフトウェア、メディア、パーツ、サプライ品、 c. 製品の仕様から外れた操作、 d. HPが認めていない修理、改造または誤使用

HP プリンタ製品については、お客様が他社製インク カートリッジまたは充填式インク カートリッジを使用した場合でも、お客様の保証またはお客様とHPサポート契約とのいずれにも影響は及びません。 ただし、プリンタの障害または破損が他社製または充填式インク カートリッジに起因する場合、特定の障害または損傷に関するプリンタの修理に際しては、通常の料金形態に基づいた時間と材料費を請求させていただきます。

万が一、保証期間内にHP保証の対象製品にそのような瑕疵の報告を受けた場合、HPはその製品を随時に修理もしくは交換します。

HP の保証の対象である瑕疵のある本製品を、修理または交換することが不可能な場合は、瑕疵があることが通知されてから妥当な期間内に本製品の購入費用を払い戻しいたします。

HPには、お客様が瑕疵のある製品をHPに返送されるまで、修理、交換、返金に応じる義務はないものとします。

交換後の製品は、新品または新品と同様で、交換前の製品と同等の性能を持つものとします。

HP製品には、新品と等しい性能を持つ再生部品、コンポーネントまたは材料が含まれている場合があります。

HPの限定保証条項は、保証の対象となる HP 製品が流通するすべての国/地域で有効です。 オンサイト サービスなどの追加保証サービスに関するご契約については、HP または正規輸入代理店によって販売される国の HP サービス センターにて承っております。

## 保証の制限

現地の法律によって許可される範囲において、HP および第三者の供給業者のいずれも、対象の HP 製品に関して、明示または黙示に関係なく他のいかなる種類の保証または条件も制定しません。また、市場性、十分な品質、および特定目的への適合性の保証または条件について責任を否認します。

## 義務の制限

国、地域の法律で認められる範囲内において、上記の保証以外に、HPは一切の責任を負いません。

国、地域の法律で認められる範囲内において、本保証条項で特別に規定された義務を除き、HPまたはその供給元である第三者は、直接的、間接的、特殊、付随的、派生的損害に関して、契約、不法行為、その他の法的制約のいかんにかかわらず、一切の責任を負いません。たとえ、このような損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

## 現地法

本保証は、お客様の特定の法的権利に関するものです。 お客さまは、その他の権利も有しますが、この権利は米国およびカナダでは州によって異なり、世界的な見地でも国によって異なります。

本保証条項が国または地域の法律と矛盾する場合、これらの法律と合致させるため、本保証条項に修正を加えるものとします。 このような法律では、本保証条項における特定の免責事項と制限によっては、お客様に適用されない場合があります。 たとえば、米国の一部の州の他、米国以外の一部の政府では (カナダの州を含め)、以下の事例が発生することがあります。

本保証条項の免責事項と制限は、消費者の法規上の権利の制限から除外される (例:イギリスなど)。

あるいは、上記の免責条項または制限条項をメーカーが実施できないように制限されることがあります。

お客様に追加の保証権利を付与し、製造元が放棄できない黙示的保証の期間を明記する、または、黙示的保証期間の制限を認める。

本条項の保証条件は、法律が許容する場合を除き、本 HP 製品のお客様への販売に適用される強制法規上の権利を排除し、制限し、修正し、追加するものではありません。

## EU 諸国/地域に対する限定保証情報

EU 諸国で HP の限定保証 (メーカー保証) を付与できる HP 企業の会社名と所在地を以下に示します。

**このメーカー保証のほかにも、購買契約に基づいて売り手に対抗できる法的特権がユーザーには与えられます。この特権は、メーカー保証によって制限されません。**

| ベルギー/ルクセンブルグ<br>Hewlett-Packard Belgium BVBA/SPRL<br>Luchtschipstraat 1<br>Rue de l'aeronef<br>B-1140 Bruxelles | アイルランド<br>Hewlett-Packard Ireland Ltd.<br>30 Herbert Street<br>IRL-Dublin 2 | デンマーク<br>Hewlett-Packard A/S<br>Kongevejen 25<br>DK-3460 Birkeroed |
|---|---|---|
| オランダ<br>Hewlett-Packard Nederland BV<br>Startbaan 16<br>1187 XR Amstelveen NL | フランス<br>Hewlett-Packard France<br>1 Avenue du Canada<br>Zone d'Activite de Courtaboeuf<br>F-91947 Les Ulis Cedex | ポルトガル<br>Hewlett-Packard Portugal - Sistemas de<br>Informática e de Medida S.A.<br>Edificio D. Sancho I<br>Quinta da Fonte<br>Porto Salvo<br>2780-730 Paco de Arcos<br>P-Oeiras |
| ドイツ<br>Hewlett-Packard GmbH<br>Herrenberger Straße 110-140<br>D-71034 Böblingen | オーストリア<br>Hewlett-Packard Ges.m.b.H.<br>Lieblgasse 1<br>A-1222 Wien | スペイン<br>Hewlett-Packard Española S.L.<br>C/ Vicente Aleixandre 1<br>Parque Empresarial Madrid - Las Rozas<br>28230 Las Rozas<br>E-Madrid |
| フィンランド<br>Hewlett-Packard Oy<br>Piispankalliontie 17<br>FIN-02200 Espoo | ギリシャ<br>Hewlett-Packard Hellas E.Π.E.<br>Voriou Epirou 76<br>151 25 Maroussi<br>アテネ | スウェーデン<br>Hewlett-Packard Sverige AB<br>Skalholtsgatan 9<br>S-164 97 Kista |
| イタリア<br>Hewlett-Packard Italiana S.p.A<br>Via G. Di Vittorio 9<br>20063 Cernusco sul Naviglio<br>I-Milano | イギリス<br>Hewlett-Packard Ltd<br>Cain Road<br>Bracknell<br>GB-Berks RG12 1HN | ポルスカ<br>Hewlett-Packard Polska Sp. z o.o.<br>ul. Szturmowa 2A<br>02–678 Warszawa<br>Wpisana do rejstru przedsiebiorcow w Sadzie Rejonowym dla m.st. Warszawy, XX Wydzial Gospodarczy pod numerem KRS 0000016370 |

| ハンガリー | リトアニア | ラトビア |
|---|---|---|
| Hewlett-Packard Magyarország Kft.<br>1117 Budapest<br>Neumann J. u. 1. | UAB “Hewlett-Packard”<br>Šeimyniškių g. 21B<br>09200 Vilnius | Hewlett-Packard SIA<br>Palasta iela 7<br>Riga, LV-1050 |
| スロバキア共和国<br>Hewlett-Packard Slovakia, s.r.o.<br>Miletičova 23<br>826 00 Bratislava | チェコ共和国<br>HEWLETT-PACKARD s.r.o.<br>Vyskočilova 1/1410<br>140 21 Praha 4 | エストニア<br>HP Oy Eesti Filiaal<br>Estonia pst. 1<br>EE-10143 Tallinn<br>tel +372 6 813 820<br>fax +372 6 813 822 |
| スロベニア<br>Hewlett-Packard d.o.o.<br>Tivolska cesta 48<br>1000 Ljubliana | キプロス/キブリス<br>Hewlett-Packard Hellas Ε.Π.Ε.<br>Voriou Epirou 76<br>151 25 Maroussi<br>アテネ（ギリシャ） | マルタ<br>Hewlett-Packard Europe B.V.<br>Amsterdam, Meyrin Branch<br>150, Route de Nant d'Avril<br>1217 Meyrin, Geneva<br>スイス |

# 19 技術情報

この章では、次の情報について説明します。

- Windows および Macintosh のシステム要件
- 用紙、印刷、コピー、ファクス、メモリ カード、スキャンの仕様
- 物理的仕様、電気的仕様、環境仕様
- 規制に関する告知
- 適合宣言

## システム要件

ソフトウェアのシステム要件は、Readme ファイルに収録されています。Readme ファイルの表示の詳細については、Readme ファイルの表示 を参照してください。

## 用紙の仕様

このセクションでは、用紙トレイの収容枚数、用紙サイズ、印刷余白の仕様について説明します。

### 用紙トレイの収容枚数

| 種類 | 用紙の重さ | 給紙トレイ* | 排紙トレイ** |
| --- | --- | --- | --- |
| 普通紙 | 60～90 gsm (16 ～ 24 lb.) | 150 (20 lb. の用紙) | 50 (20 lb. の用紙) |
| リーガル用紙 | 75 ～ 90 gsm (20～ 24 lb.) | 150 (20 lb. の用紙) | 50 (20 lb. の用紙) |
| カード | 200 gsm (110 lb.、インデックス最大) | 60 | 10 |
| 封筒 | 75～90 gsm (20 ～ 24lb.) | 22 | 10 |
| バナー | 60～90 gsm (16 ～ 24 lb.) | 20 | 20 枚以下 |
| OHP フィルム | N/A | 25 | 25 枚以下 |
| ラベル | N/A | 20 | 20 |
| 10 x 15 cm フォト用紙 | 236 gsm (145 lb.) | 30 | 30 |
| A4/216 x 279 mm フォト用紙 | N/A | 20 | 20 |

* 最大収容枚数。

** 排紙トレイの収容枚数は、用紙の種類および使用するインクの量から影響を受けます。排紙トレイは、頻繁に空にしてください。

### 用紙サイズ

| 種類 | サイズ |
|---|---|
| 用紙 | レター： 216 x 279 mm<br>A4：210 x 297 mm<br>A5:148 x 210 mm<br>エグゼクティブ: 184 x 267 mm<br>リーガル： 216 x 356 mm<br>B5：176 x 250 mm |
| バナー | HP バナー用紙、A4<br>Z 折り<br>コンピュータ用紙：(紙送り用ミシン目は除く) |
| 封筒 | US No.10： 105 x 241 mm<br>US No.9： 99 x 226 mm<br>A2： 111 x 146 mm<br>DL： 110 x 220 mm<br>C6： 114 x 162 mm |
| OHP フィルム | レター： 216 x 279 mm<br>A4：210 x 297 mm |
| フォト用紙 | 102 x 152 mm<br>127 x 178 mm<br>レター： 216 x 280 mm<br>A4：210 x 297 mm<br>102 x 305 mm パノラマ<br>127 x 305 mm パノラマ |
| カード | 76 x 127 mm<br>インデックス カード： 101 x 152 mm<br>127 x 178 mm<br>A6:105 x 149 mm<br>はがき： 100 x 148 mm |
| ラベル | レター： 216 x 279 mm<br>A4：210 x 297 mm |
| カスタム | 77 x 127 ～ 215 x 609 mm |

### 印刷余白の仕様

| | 上 (先端) | 下 (後端)* |
|---|---|---|
| **用紙または OHP フィルム** | | |
| US (レター サイズ、リーガル サイズ、エグゼクティブ サイズ) | 1.8 mm | 6.7 mm |
| ISO (A4、A5) および JIS (B5) | 1.8 mm | 6.7 mm |
| **封筒** | | |
| | 3.2 mm | 6.7 mm |
| **カード** | | |
| | 1.8 mm | 6.7 mm |

* この余白は HP All-in-One には対応していませんが、印刷領域には対応しています。印刷領域は、中心から 5.4 mm (0.21 インチ) オフセットされています。このため、上と下の余白は同じではありません。
また、Macintosh では下端の余白は Windows よりも大きくなります。

## 印刷の仕様

- 1200 x 1200 dpi (モノクロ)
- 2400 x 1200 dpi (カラー：HPPhotoREt III を使用)
- 方法：オンデマンド型サーマル インクジェット
- 言語：HPPCL レベル 3、PCL3 GUI または PCL 10
- 印刷速度は、文書の複雑さによって異なります。
- 動作周期: 500 ページ/月 (平均)、5000 ページ/月 (最大)
- パノラマ サイズ印刷

| モード | | 解像度 (dpi) | 速度 (ppm) |
|---|---|---|---|
| 高画質 | モノクロ | 1200 x 1200 | 2 |
| | カラー | 1200 x 1200 ～ 4800 dpi に最適化* | 2 |
| きれい | モノクロ | 600 x 600 | 9 |
| | カラー | 600 x 600 | 7 |
| はやい | モノクロ | 300 x 300 | 30 |
| | カラー | 300 x 300 | 20 |

* 最高 4800 x 1200 dpi 解像度は入力データ解像度を1200 dpiに設定し、プレミアムプラスフォト用紙に印刷した場合

## コピーの仕様

- デジタル画像処理
- 原稿からのコピーは 99 枚まで (モデルによって異なります)
- 25 ～ 400% のデジタル ズーム (モデルによって異なります)
- ページに合わせて印刷、ポスター印刷、割り付け印刷
- 最大 30 枚/分のモノクロ コピー、最大 20 枚/分のカラー コピー (モデルによって異なります)。
- コピーの速度は、文書の複雑さによって異なります。

| モード | | 速度 (ppm) | 印刷の解像度 (dpi) | スキャンの解像度 (dpi) |
|---|---|---|---|---|
| 高画質 | モノクロ | 最大 2 | 1200 x 1200 | 1200 x 2400 |
| | カラー | 最大 2 | 1200 x 1200** | 1200 x 2400 |
| きれい | モノクロ | 最大 9 | 600 x 1200 | 600 x 1200 |
| | カラー | 最大 5 | 600 x 600 | 600 x 1200 |
| はやい | モノクロ | 最大 30 | 300 x 1200 | 600 x 1200 |
| | カラー | 最大 20 | 600 x 300 | 600 x 1200 |

** フォト用紙またはプレミアム用紙使用時。

## ファクスの仕様

- 最大 75 件の短縮ダイヤル (モデルによって異なります)
- 最大 90 ページのメモリ (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合で、モデルよって異なります。 より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります)
- 伝送速度 33.6 Kbps
- 36.6 Kbps の場合の伝送速度は 6 秒/枚 (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合。 より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります)

技術情報

- CCITT/ITU Group 3 ファクス (エラー訂正モード対応)
- Walk-up 方式のモノクロおよびカラー ファクス機能
- 複数ページの手動ファクス
- 自動リダイヤル (最大 5 回まで)
- 確認レポートおよびアクティビティ レポート
- 呼び出しの自動検出とそれに伴うファクス/留守番電話の自動切り替え

| | 写真 (dpi) | 高画質 (dpi) | 標準 (dpi) |
|---|---|---|---|
| モノクロ | 200 x 200 (8 ビット グレースケール) | 200 x 200 | 200 x 100 |
| カラー | 200 x 200 | 200 x 200 | 200 x 200 |

## メモリ カードの仕様

- メモリ カード上のファイル数 (最大推奨値) : 1,000
- 各ファイルのサイズ (最大推奨値) : 12 メガピクセル (最大)、8 MB (最大)
- メモリ カードのサイズ (最大推奨値) : 1 GB (半導体のみ)

注記　メモリ カードの最大推奨値に近づくと、HP All-in-One のパフォーマンスが期待値より遅くなる場合があります。

**サポートされているメモリ カードのタイプ**

- CompactFlash
- SmartMedia
- Magic Gate Memory Stick
- Memory Stick
- Memory Stick Duo
- Memory Stick Pro
- Secure Digital
- MultiMediaCard (MMC)
- xD-Picture カード

## スキャンの仕様

- イメージ エディタ付属
- 統合 OCR ソフトウェアによってスキャンしたテキストを編集可能なテキストに自動的に変換(Windowsのみ)
- スキャンの速度は、文書の複雑さによって異なります。
- Twain 互換 インタフェース
- 解像度 : 光学解像度 2400 x 4800 dpi、最大補間解像度 19200 dpi
- カラー : 48 ビット カラー、8 ビット グレースケール (256 階調の灰色)
- ガラス板からの最大スキャン サイズ :  216 x 279 mm

## 物理的仕様

- **高さ:** 290 mm
- **幅:** 381 mm
- **奥行き:** 502 mm
- 重さ :  10.5 kg

技術情報

## 電気的仕様

- 消費電力：最大 75 W
- 入力電圧：入力電圧：AC 100 〜 240 V、2 A、50 / 60 Hz、アース済み
- 出力電圧：DC 31Vdc===2420 mA

## 環境仕様

- 推奨される動作時の温度範囲：15°〜 32°C（59°〜 90°F）
- 許容される動作時の温度範囲：15°〜 35°C（59°〜 95°F）
- 湿度：15 〜 85% RH (結露しないこと)
- 非動作時 (保管時) の温度範囲：-40°〜 60°C（-40°〜 140°F）

**注記**　強い電磁気が発生している場所では、HP All-in-One の印刷結果に多少の歪みが出るおそれがあります。
強い電磁気が原因で発生するインクジェットのノイズを最小化するために、使用する USB ケーブルは長さが 3 m 以下のものとしてください。

## その他の仕様

インターネットにアクセス可能な場合は、騒音に関する情報を次の HP Web サイトから入手することができます。 www.hp.com/support.

## 環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム

このセクションでは、環境保護、オゾン層保護、エネルギー消費、リサイクル紙の使用、プラスチック、化学物質安全性データ シート、リサイクル プログラムについて説明します。

### 環境の保護

Hewlett-Packard では、優れた製品を環境に対して適切な方法で提供することに積極的に取り組んでいます。この製品は、私たちの環境への影響を最も少なくする特性を備えるように設計されています。
詳細については、以下のアドレスの HP の「環境保護」の Web サイトにアクセスしてください。
www1.jpn.hp.com/info/company/environment/index.html

### オゾンガスの発生

この製品では、検出可能なオゾン ガス (O3) は生成されません。

### Energy consumption

Energy usage drops significantly while in ENERGY STAR® mode, which saves natural resources, and saves money without affecting the high performance of this product. This product qualifies for ENERGY STAR, which is a voluntary program established to encourage the development of energy-efficient office products.

技術情報

ENERGY STAR is a U.S. registered service mark of the U.S. EPA. As an ENERGY STAR partner, HP has determined that this product meets ENERGY STAR guidelines for energy efficiency.
For more information on ENERGY STAR guidelines, go to the following website:
www.energystar.gov

### リサイクル紙の使用

この製品は、DIN 19309 に準拠したリサイクル用紙の使用に適しています。

### プラスチック

25 グラムを超えるプラスチック部品は、製品が役目を終えたときにリサイクルするため、プラスチックを識別しやすくする国際規格に従って記号が付けられています。

### 化学物質安全性データシート

化学物質安全性データシート(MSDS) は、次の HP Web サイトから入手することができます。
www.hp.com/go/msds
インターネットにアクセスできないユーザーは、最寄りの HP カスタマ ケア センターにお問い合わせください。

### リサイクル プログラム

HP では、より多くの製品を返却してもらえるよう、リサイクル プログラムを多くの国/地域で展開しているほか、世界で最大の電子機器リサイクル センターのいくつかと協力しています。また、HP では最も広く使用されている製品のいくつかを新しく作り直し、再度販売するなど、資源の保護に努めています。 (現在日本では本体のリサイクル プログラムは行われていません)

HP の本製品には、製品が役目を終えたときに特別な取り扱いが必要な以下のものが含まれています。

- 水銀 (スキャナの蛍光灯内、2 mg 未満)
- 鉛 (はんだ内)

### HP インクジェット消耗品リサイクル プログラム

HP では、環境の保護に積極的に取り組んでいます。HP のインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのプリント カートリッジを無料でリサイクルすることができます。詳しくは、次の Web サイトを参照してください。
www1.jpn.hp.com/info/company/environment/index.html

## 規制に関する告知

HP All-in-One は、お住まいの国/地域の規制当局における製品要件と適合しています。
このセクションでは、無線機能に関係しない規制に関するトピックを説明しています。

### 規制モデルの ID 番号

規制の識別を目的として、お使いの製品には規制モデル番号が割り当てられています。本製品の規制モデル番号は、SDGOA-0324 です。この番号は、商品名

(HP Officejet 7200 All−in−One series) または製品番号 (Q3046A) とはまったく別のものです。

**Notice to users of the U.S. telephone network: FCC requirements**

This equipment complies with FCC rules, Part 68. On this equipment is a label that contains, among other information, the FCC Registration Number and Ringer Equivalent Number (REN) for this equipment. If requested, provide this information to your telephone company.

An FCC compliant telephone cord and modular plug is provided with this equipment. This equipment is designed to be connected to the telephone network or premises wiring using a compatible modular jack which is Part 68 compliant. This equipment connects to the telephone network through the following standard network interface jack: USOC RJ-11C.

The REN is useful to determine the quantity of devices you may connect to your telephone line and still have all of those devices ring when your number is called. Too many devices on one line may result in failure to ring in response to an incoming call. In most, but not all, areas the sum of the RENs of all devices should not exceed five (5). To be certain of the number of devices you may connect to your line, as determined by the REN, you should call your local telephone company to determine the maximum REN for your calling area.

If this equipment causes harm to the telephone network, your telephone company may discontinue your service temporarily. If possible, they will notify you in advance. If advance notice is not practical, you will be notified as soon as possible. You will also be advised of your right to file a complaint with the FCC. Your telephone company may make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the proper operation of your equipment. If they do, you will be given advance notice so you will have the opportunity to maintain uninterrupted service.

If you experience trouble with this equipment, please contact the manufacturer, or look elsewhere in this manual, for warranty or repair information. Your telephone company may ask you to disconnect this equipment from the network until the problem has been corrected or until you are sure that the equipment is not malfunctioning.

This equipment may not be used on coin service provided by the telephone company. Connection to party lines is subject to state tariffs. Contact your state public utility commission, public service commission, or corporation commission for more information.

This equipment includes automatic dialing capability. When programming and/or making test calls to emergency numbers:

- Remain on the line and explain to the dispatcher the reason for the call.
- Perform such activities in the off-peak hours, such as early morning or late evening.

Note The FCC hearing aid compatibility rules for telephones are not applicable to this equipment.

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device, including fax machines, to send any message unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity, or other individual sending the

技術情報

message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity, or individual. (The telephone number provided may not be a 900 number or any other number for which charges exceed local or long-distance transmission charges.) In order to program this information into your fax machine, you should complete the steps described in the software.

### FCC statement

The United States Federal Communications Commission (in 47 CFR 15.105) has specified that the following notice be brought to the attention of users of this product.

Declaration of Conformity: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. Class B limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

For more information, contact the Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company, San Diego, (858) 655-4100.

The user may find the following booklet prepared by the Federal Communications Commission helpful: How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems. This booklet is available from the U.S. Government Printing Office, Washington DC, 20402. Stock No. 004-000-00345-4.

Caution Pursuant to Part 15.21 of the FCC Rules, any changes or modifications to this equipment not expressly approved by the Hewlett-Packard Company may cause harmful interference and void the FCC authorization to operate this equipment.

### Exposure to radio frequency radiation

Caution The radiated output power of this device is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the device shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. This product and any attached external antenna, if supported, shall be placed in such a manner to minimize the potential for human contact during normal operation. In order to avoid the possibility of exceeding the FCC radio frequency exposure limits, human proximity to the antenna shall not be less than 20 cm (8 inches) during normal operation.

**Note à l'attention des utilisateurs du réseau téléphonique Canadien/notice to users of the Canadian telephone network**

Cet appareil est conforme aux spécifications techniques des équipements terminaux d'Industrie Canada. Le numéro d'enregistrement atteste de la conformité de l'appareil. L'abréviation IC qui précède le numéro d'enregistrement indique que l'enregistrement a été effectué dans le cadre d'une Déclaration de conformité stipulant que les spécifications techniques d'Industrie Canada ont été respectées. Néanmoins, cette abréviation ne signifie en aucun cas que l'appareil a été validé par Industrie Canada.

Pour leur propre sécurité, les utilisateurs doivent s'assurer que les prises électriques reliées à la terre de la source d'alimentation, des lignes téléphoniques et du circuit métallique d'alimentation en eau sont, le cas échéant, branchées les unes aux autres. Cette précaution est particulièrement importante dans les zones rurales.

Remarque Le numéro REN (Ringer Equivalence Number) attribué à chaque appareil terminal fournit une indication sur le nombre maximal de terminaux qui peuvent être connectés à une interface téléphonique. La terminaison d'une interface peut se composer de n'importe quelle combinaison d'appareils, à condition que le total des numéros REN ne dépasse pas 5.

Basé sur les résultats de tests FCC Partie 68, le numéro REN de ce produit est 0.2B.

This equipment meets the applicable Industry Canada Terminal Equipment Technical Specifications. This is confirmed by the registration number. The abbreviation IC before the registration number signifies that registration was performed based on a Declaration of Conformity indicating that Industry Canada technical specifications were met. It does not imply that Industry Canada approved the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution may be particularly important in rural areas.

Note The Ringer Equivalence Number (REN) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface may consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

The REN for this product is 0.2B, based on FCC Part 68 test results.

**Notice to users in the European Economic Area**

This product is designed to be connected to the analog Switched Telecommunication Networks (PSTN) of the European Economic Area (EEA) countries/regions.

Network compatibility depends on customer selected settings, which must be reset to use the equipment on a telephone network in a country/region other than where the product was purchased. Contact the vendor or Hewlett-Packard Company if additional product support is necessary.

This equipment has been certified by the manufacturer in accordance with Directive 1999/5/EC (annex II) for Pan-European single-terminal connection to the public

switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

This equipment is designed for DTMF tone dialing and loop disconnect dialing. In the unlikely event of problems with loop disconnect dialing, it is recommended to use this equipment only with the DTMF tone dial setting.

**Notice to users of the German telephone network**

This HP fax product is designed to connect only to the analogue public-switched telephone network (PSTN). Please connect the TAE N telephone connector plug, provided with the HP All-in-One into the wall socket (TAE 6) code N. This HP fax product can be used as a single device and/or in combination (in serial connection) with other approved terminal equipment.

**Gerauschemission**

LpA < 70 dB am Arbeitsplatz im Normalbetrieb nach DIN 45635 T. 19

**日本のユーザーに対する告知 (VCCI-2)**

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。
取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

**韓国のユーザーに対する告知**

## 사용자 안내문(B급 기기)

이 기기는 비업무용으로 전자파 적합 등록을 받은 기기로서,
주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

# Declaration of conformity (European Economic Area)

The Declaration of Conformity in this document complies with ISO/IEC Guide 22 and EN 45014. It identifies the product, manufacturer's name and address, and applicable specifications recognized in the European community.

# 適合宣言

## DECLARATION OF CONFORMITY

according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

**Manufacturer's Name:** Hewlett-Packard Company

**Manufacturer's Address:** 16399 West Bernardo Drive
San Diego CA 92127, USA

**declares, that the product**

**Regulatory Model Number:** SDGOB-0305-01

**Product Name:** OfficeJet 7200 Series **(Q3460A, Q3463A)**

**Model Number(s):** OfficeJet 7210 (Q5560A/B), 7210xi (Q5561A), 7210v (Q5566A),
7205 (Q5567A/B), 7213 (Q5572C), 7215 (Q5568B), 7208 (Q5565D)
7210 (Q5575A, Q5574C)

**Power Adapter(s) HP part#:** 0950-4483 (domestic), 0950-4484 (international)
0957-2106 (international)

**conforms to the following Product Specifications:**

Safety:
IEC 60950-1: 2001
EN 60950-1: 2002
IEC 60825-1 Edition 1.2: 2001 / EN 60825-1+A11+A2+A1: 2002 Class 1(Laser/Led)
UL 60950-1: 2003, CAN/CSA-22.2 No. 60950-1-03
NOM 019-SFCI-1993, AS/NZS 60950: 2000, GB4943: 2001

EMC:
CISPR 22:1997 / EN 55022:1998 Class B
CISPR 24:1997 / EN 55024:1998
IEC 61000-3-2: 2000 / EN 61000-3-2: 2000
IEC 61000-3-3/A1: 2001 / EN 61000-3-3/ A1: 2001
AS/NZS CISPR 22: 2002
CNS13438:1998, VCCI-2
FCC Part 15-Class B/ICES-003, Issue 2
GB9254: 1998, EN 301-489-17:2002

Telecom: TBR 21:1998, AS/ACIF S002:2002

**Supplementary Information:**

The product herewith complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EC, the EMC Directive 89/336/EC and with the R&TTE Directive 1999/5/EC (Annex II) and carries the CE-marking accordingly. The product was tested in a typical configuration

29 June 2004
Date

Steve Smith, Hardware Test & Regs MGR.

European Contact for regulatory topics only: Hewlett Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, D-71034 Böblingen Germany. (FAX +49-7031-14-3143

# 索引

し



す



せ

## そ



## た



## ち



## て



## と